


世論調査結果報告書
平成30年7月調査

都民生活に関する世論調査

平成30年11月

 東京都生活文化局

ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

今回は、経年調査の他に「多文化共生」を取り上げ、東京に暮らす外国人との関わりや外国人が増えることの影響、行政に望むことなど、多文化共生に関する意識等を調査しました。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のある方々のお役に立てれば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

※ 「都民生活に関する世論調査」は、昭和43年から毎年実施してきた「都市生活に関する世論調査」と、昭和47年から毎年実施してきた「都民要望に関する世論調査」を平成10年に統合したものです。

平成30年11月

東京都生活文化局広報広聴部

目 次

※印は過去の調査との比較がある質問項目

調査実施の概要	①～⑤
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東京	60
※3-1 東京の住みよさ	60
※3-2 東京定住意向	66
4 都政への要望	79
※4-1 これからの都政の進め方	79
※4-2 都政への要望	82
4-3 具体的な要望施策	86
5 多文化共生	92
5-1 多文化共生の認知	92
5-2 外国人との関わり	95
5-3 今後の関わり方	97
5-4 具体的な関わり方	99
5-5 壁に感じていること	101
5-6 外国人に望むこと	103
5-7 外国人が増えることについての考え	105
5-8 外国人が増えることの影響	108
5-9 行政に求めること	110
調査票及び単純集計結果	113
付属資料	131

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、東京に暮らす外国人との関わりや外国人が増えることの影響、行政に望むことなど、多文化共生に関する意識等を調査した。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 多文化共生

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：3,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- (5) 調査期間：平成30年7月6日～7月22日/8月21日～8月31日
- (6) 調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 1,856標本（61.9%）
- (2) 未完了標本数（率） 1,144標本（38.1%）

未完了標本内訳

	転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
1,144標本	122	70	488	74	319	71
比率(%)	10.7	6.1	42.7	6.5	27.9	6.2

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	19	12	63.2	14	8	57.1	33	20	60.6
20代	220	86	39.1	220	98	44.5	440	184	41.8
30代	268	113	42.2	229	128	55.9	497	241	48.5
40代	341	198	58.1	240	145	60.4	581	343	59.0
50代	277	158	57.0	186	136	73.1	463	294	63.5
60代	237	175	73.8	248	174	70.2	485	349	72.0
70歳以上	231	194	84.0	270	231	85.6	501	425	84.8
合計	1,593	936	58.8	1,407	920	65.4	3,000	1,856	61.9

(注) 平成28年度より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,856)

上段：実数
下段：(%)

(1) 性別

男	女	計
936	920	1,856
50.4	49.6	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
男	12	86	113	198	158	175	194	936
	0.6	4.6	6.1	10.7	8.5	9.4	10.5	50.4
女	8	98	128	145	136	174	231	920
	0.4	5.3	6.9	7.8	7.3	9.4	12.4	49.6
計	20	184	241	343	294	349	425	1,856
	1.1	9.9	13.0	18.5	15.8	18.8	22.9	100.0

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業 (計)					勤め (計)							無職			無回答	計
農林漁業	商工・サービス業	自由業	無回答		経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	サービス職	販売・無回答	主婦・主夫	無職の学生	その他の無職	無回答		
247	7	163	75	2	997	68	69	496	173	126	65	354	54	184	20	1,856
13.3	0.4	8.8	4.0	0.1	53.7	3.7	3.7	26.7	9.3	6.8	3.5	19.1	2.9	9.9	1.1	100.0

(4) 雇用形態 (勤めのみ n=997)

正社員、正規職員			派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど			無回答	計
男	女		男	女			
626	436	190	346	112	234	25	997
62.8	43.7	19.1	34.7	11.2	23.5	2.5	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)	持家以外 (計)			民間の借家 (二戸建)	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎など	その他	無回答	計
	持家 (二戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)	持家								
1,209	1,031	178	635	41	435	110	29	6	14	12	1,856
65.1	55.5	9.6	34.2	2.2	23.4	5.9	1.6	0.3	0.8	0.6	100.0

(6) 未・既婚

未婚 (計)	既婚 (計)		無回答	計					
	有配偶				離・死別				
	男	女			男	女			
474	250	224	1,362	602	550	70	140	20	1,856
25.5	13.5	12.1	73.4	32.4	29.6	3.8	7.5	1.1	100.0

(7) 共働き状況 (既婚・有配偶のみ n = 1,152)

共働きをしている (計)			共働きをしていない (計)			無回答	計
男	女	男	女	女			
562	287	275	537	281	256	53	1,152
48.8	24.9	23.9	46.6	24.4	22.2	4.6	100.0

(8) 子供の数

いない	いる						無回答	計
		1人	2人	3人	4人	5人以上		
651	1,177	350	600	196	24	7	28	1,856
35.1	63.4	18.9	32.3	10.6	1.3	0.4	1.5	100.0

(9) 家族人数

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答	計
336	535	459	320	117	47	21	21	1,856
18.1	28.8	24.7	17.2	6.3	2.5	1.1	1.1	100.0

(10) 居住地生まれか否か

居住地生まれ	居住地以外生まれ	無回答	計
478	1,364	14	1,856
25.8	73.5	0.8	100.0

(11) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外からきた	無回答	計
906	913	37	1,856
48.8	49.2	2.0	100.0

(12) 地域居住年数

1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	わからない	無回答	計
56	133	101	182	189	135	245	795	7	13	1,856
3.0	7.2	5.4	9.8	10.2	7.3	13.2	42.8	0.4	0.7	100.0

(13) 東京居住年数

1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	わからない	無回答	計
14	45	39	105	98	95	254	1,189	4	13	1,856
0.8	2.4	2.1	5.7	5.3	5.1	13.7	64.1	0.2	0.7	100.0

(14) 世帯年収

200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～900万円未満	900～1,100万円未満	1,100～1,300万円未満	1,300～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない	無回答	計
182	190	201	187	252	168	139	78	42	40	55	256	66	1,856
9.8	10.2	10.8	10.1	13.6	9.1	7.5	4.2	2.3	2.2	3.0	13.8	3.6	100.0

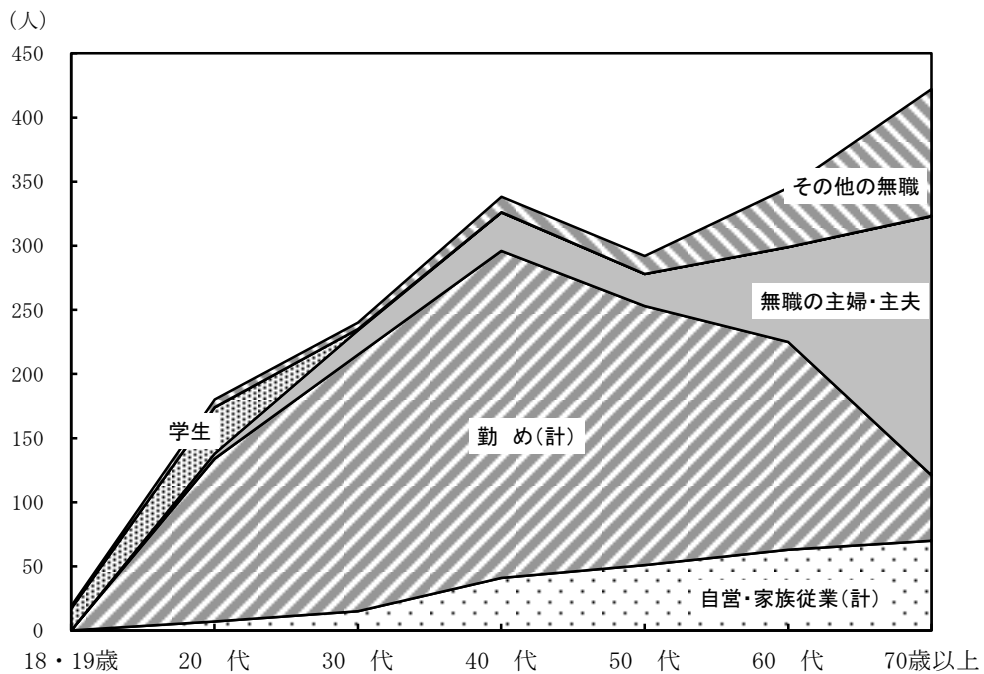
(15) インターネットの利用

利用している (計)	利用している		利用していない (計)	利用していない		無回答	計
	よく利用している	ときどき利用している		あまり利用していない	利用していない		
1,318	1,062	256	528	86	442	10	1,856
71.0	57.2	13.8	28.4	4.6	23.8	0.5	100.0

(16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区部 (計)	区部			市町村部 (計)	多摩				計
	センター・コア	区部東部・北部	区部西部・南部		多摩東部	多摩中央部北	多摩中央部南	多摩西部・島しょ	
1,184	306	389	489	672	254	99	270	49	1,856
63.8	16.5	21.0	26.3	36.2	13.7	5.3	14.5	2.6	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
自営・家族従業(計)	-	7	15	41	51	63	70	247
勤め(計)	-	127	200	255	202	162	51	997
無職の主婦・主夫	-	4	19	30	25	74	202	354
学生	17	36	1	-	-	-	-	54
その他の無職	2	6	5	12	14	46	99	184
計	19	180	240	338	292	345	422	1,836

(注) 無回答を除く

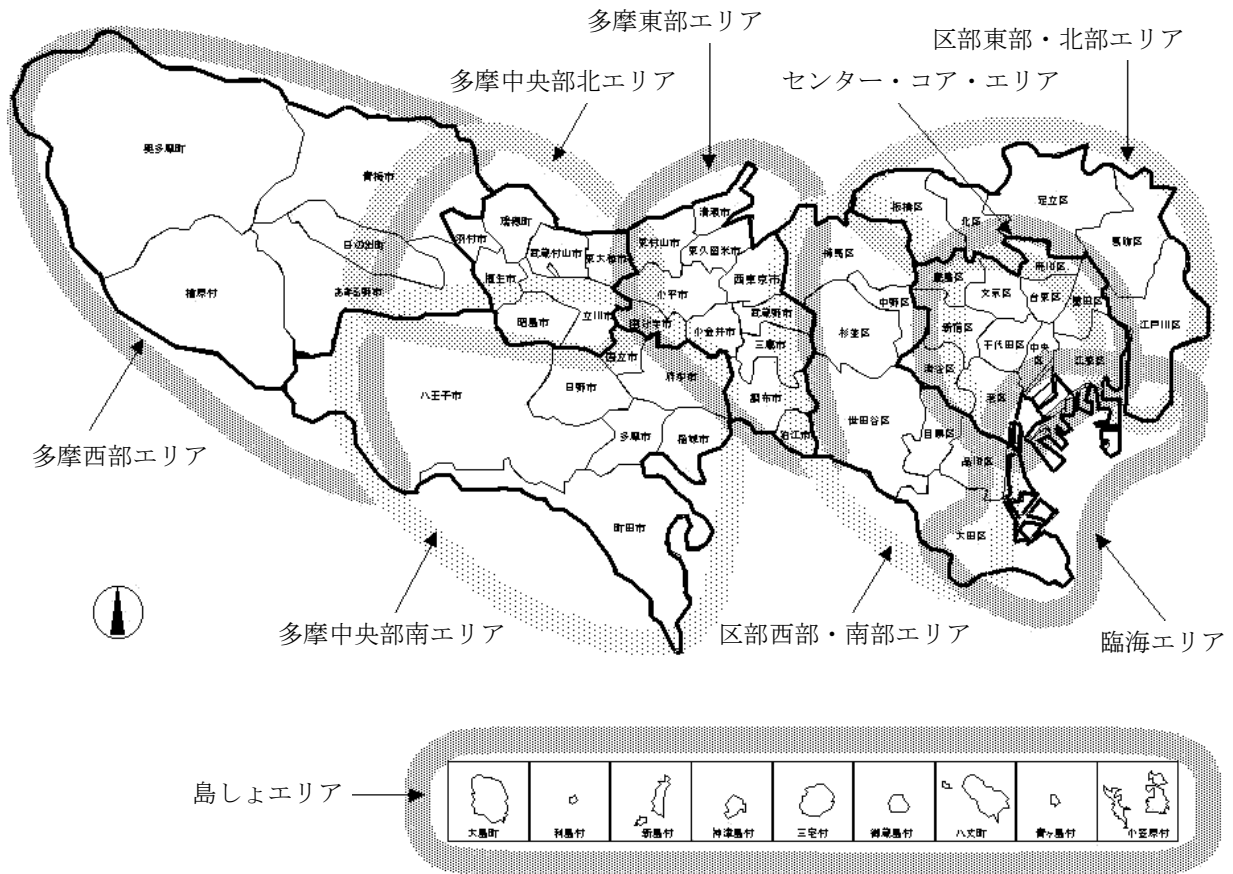
※ 層（エリア）

〔区 部〕

- センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区
- 区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区
- 区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

〔市町村部〕

- 多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市
- 多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町
- 多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市
- 多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

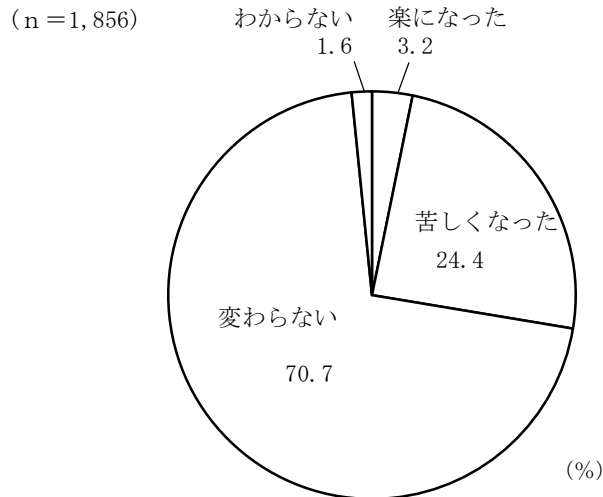
1 暮らし

※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

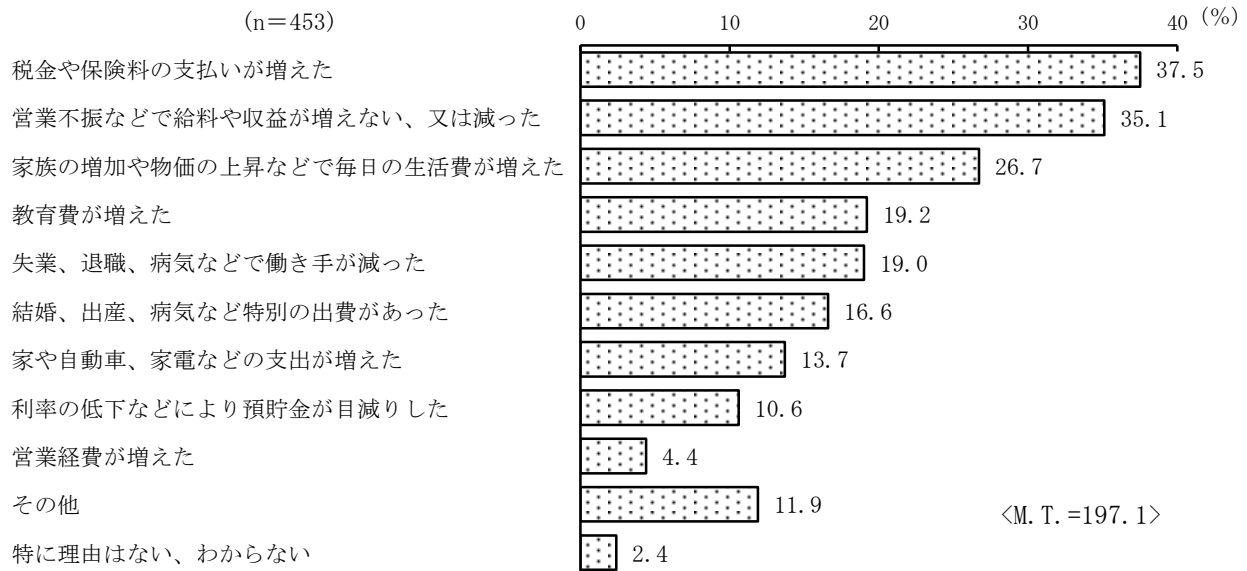
(全員に)

Q1 さっそくですが、お宅の暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。



(Q1で「苦しくなった」と答えた方に)

SQ それはなぜでしょうか。この中から、いくつでもあげてください。(M. A.)



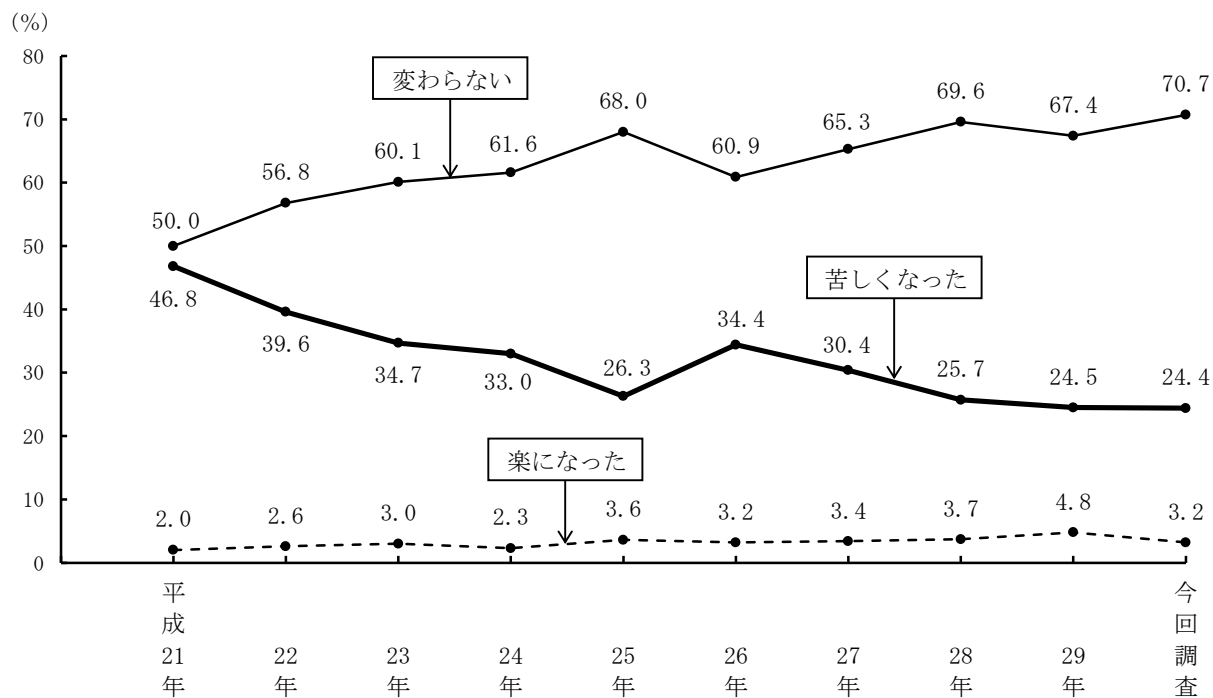
暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」3%、「苦しくなった」24%、「変わらない」71%となっている。

暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(453人)にその理由を聞いたところ、「税金や保険料の支払いが増えた」が38%と最も多く、次いで「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」35%、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」27%、「教育費が増えた」と「失業、退職、病気などで働き手が減った」がそれぞれ19%などの順となっている。(図1-1-1)

暮らしむきの変化を過去との比較で見ると、「変わらない」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「楽になった」は昨年よりも2ポイント減少している。(図1-1-2)

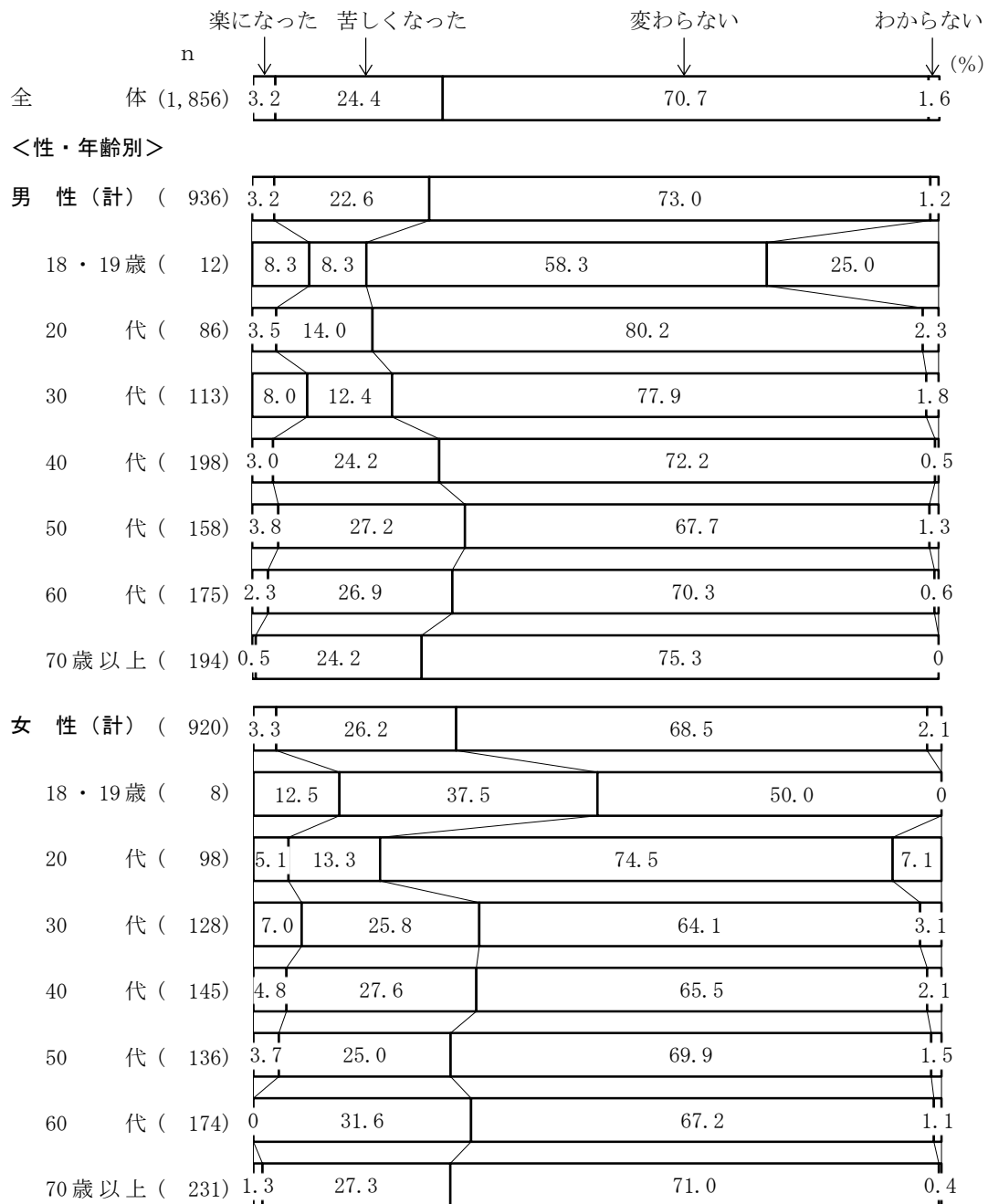
なお、暮らしむきの変化の昭和46年からの時系列比較を巻末の付属資料(P133 図1)に掲載している。

図1-1-2 暮らしむきの変化—過去との比較



性・年齢別にみると、「楽になった」は男性30代で1割近くとなっている。一方、「苦しくなった」は女性60代で3割を超えて多くなっている。(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別

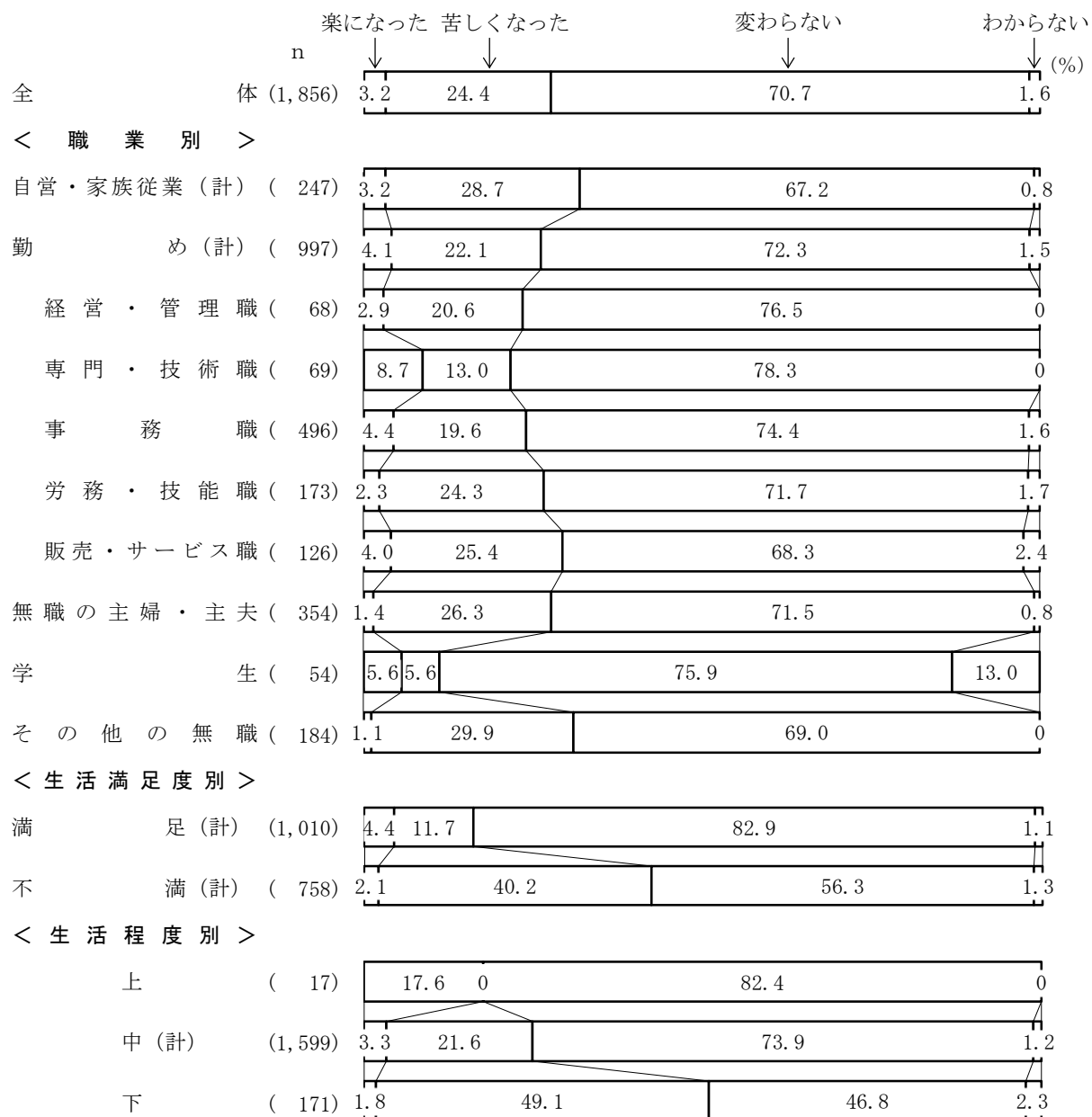


職業別にみると、「楽になった」は専門・技術職で1割近くとなっている。

生活満足度（Q5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で約4割と多くなっている。一方、「変わらない」は『満足（計）』で8割を超えて多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で5割近くと多くなっている。一方、「変わらない」は『中（計）』で7割半ばと多くなっている。（図1-1-4）

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



暮らしむきが苦しくなった理由を過去との比較で見ると、昨年よりも「税金や保険料の支払いが増えた」は4ポイント増加している。一方、「教育費が増えた」は5ポイント、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は4ポイント減少している。(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由－過去との比較

(%)

	n	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	教育費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の費用があつた	家や自動車、家電などの支出が増えた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない
<過去との比較>												
今回調査	453	37.5	35.1	26.7	19.2	19.0	16.6	13.7	10.6	4.4	11.9	2.4
平成29年	444	34.0	33.1	30.4	24.1	20.0	16.9	14.0	13.1	3.8	14.0	1.4
28年	463	33.9	37.8	33.0	17.9	18.4	13.6	12.3	12.7	3.7	7.8	1.9
27年	578	39.6	36.3	40.3	16.3	19.2	16.1	12.5	10.2	4.2	8.8	1.2
26年	637	45.1	36.6	44.1	16.8	14.8	14.3	15.4	12.2	5.0	9.1	1.7
25年	529	32.9	42.2	23.3	19.8	20.4	14.7	12.1	11.2	3.6	10.6	2.3
24年	661	34.8	49.8	21.3	17.7	20.1	11.8	10.0	14.4	3.2	10.3	1.7
23年	698	25.8	51.0	21.1	19.9	21.5	11.9	13.6	13.5	4.0	9.3	1.9
22年	798	28.3	54.8	17.0	16.3	22.1	13.7	12.2	13.9	3.5	5.9	1.3
21年	948	31.5	58.2	21.1	17.9	17.4	11.6	12.0	17.8	3.7	4.5	0.8

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で7割近くと多くなっている。「教育費が増えた」は勤め（計）で2割半ばと多くなっている。「失業、退職、病気などで働き手が減った」はその他の無職で3割半ばと多くなっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由—職業別

(%)

	n	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	毎家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	教育費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の費用があつた	家や自動車、家電などの支出が増えた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない
全 体	453	37.5	35.1	26.7	19.2	19.0	16.6	13.7	10.6	4.4	11.9	2.4
< 職 業 別 >												
自営・家族従業（計）	71	42.3	67.6	23.9	19.7	5.6	15.5	12.7	14.1	12.7	2.8	-
勤 め（計）	220	38.6	39.5	27.7	25.0	16.8	15.9	14.5	8.6	3.6	7.7	2.7
経営・管理職	14	57.1	50.0	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	-
専門・技術職	9	33.3	44.4	33.3	-	11.1	22.2	-	11.1	-	22.2	-
事務職	97	35.1	38.1	29.9	24.7	15.5	20.6	15.5	9.3	3.1	6.2	2.1
労務・技能職	42	47.6	33.3	26.2	28.6	16.7	9.5	14.3	-	7.1	4.8	2.4
販売・サービス職	32	34.4	46.9	21.9	25.0	25.0	18.8	15.6	12.5	3.1	6.3	6.3
無職の主婦・主夫	93	37.6	16.1	25.8	11.8	21.5	15.1	11.8	12.9	2.2	25.8	4.3
学 生	3	-	-	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
そ の 他 の 無 職	55	30.9	10.9	25.5	1.8	36.4	23.6	12.7	10.9	1.8	18.2	1.8

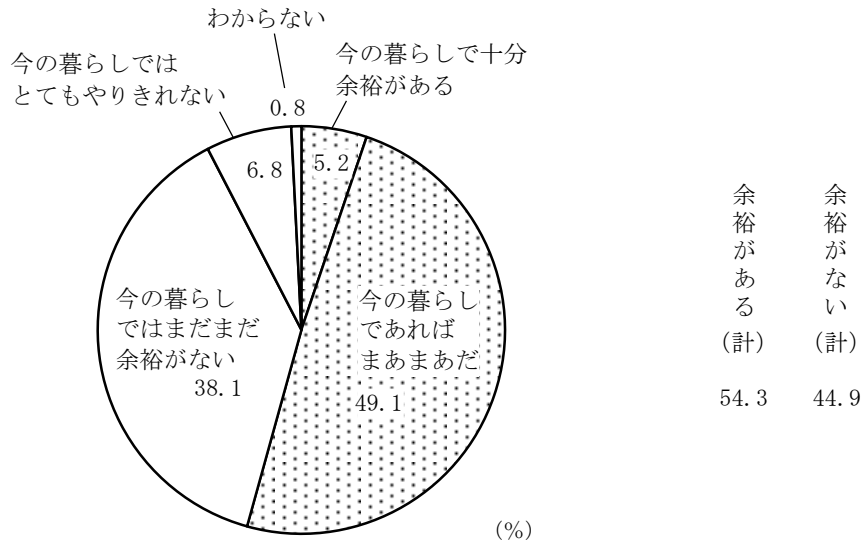
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員に)

Q2 お宅の暮らしは、このように分けるとどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけ選んでください。

(n=1,856)



(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』は54%、『余裕がない (計)』は45%となっている。(図1-2-1)

暮らしの余裕を過去との比較でみると、『余裕がない（計）』は昨年よりも2ポイント増加している。一方、『余裕がある（計）』は昨年よりも1ポイント減少している。（図1-2-2）

なお、暮らしの余裕の昭和46年からの時系列比較を巻末の付属資料（P135 表1）に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕—過去との比較

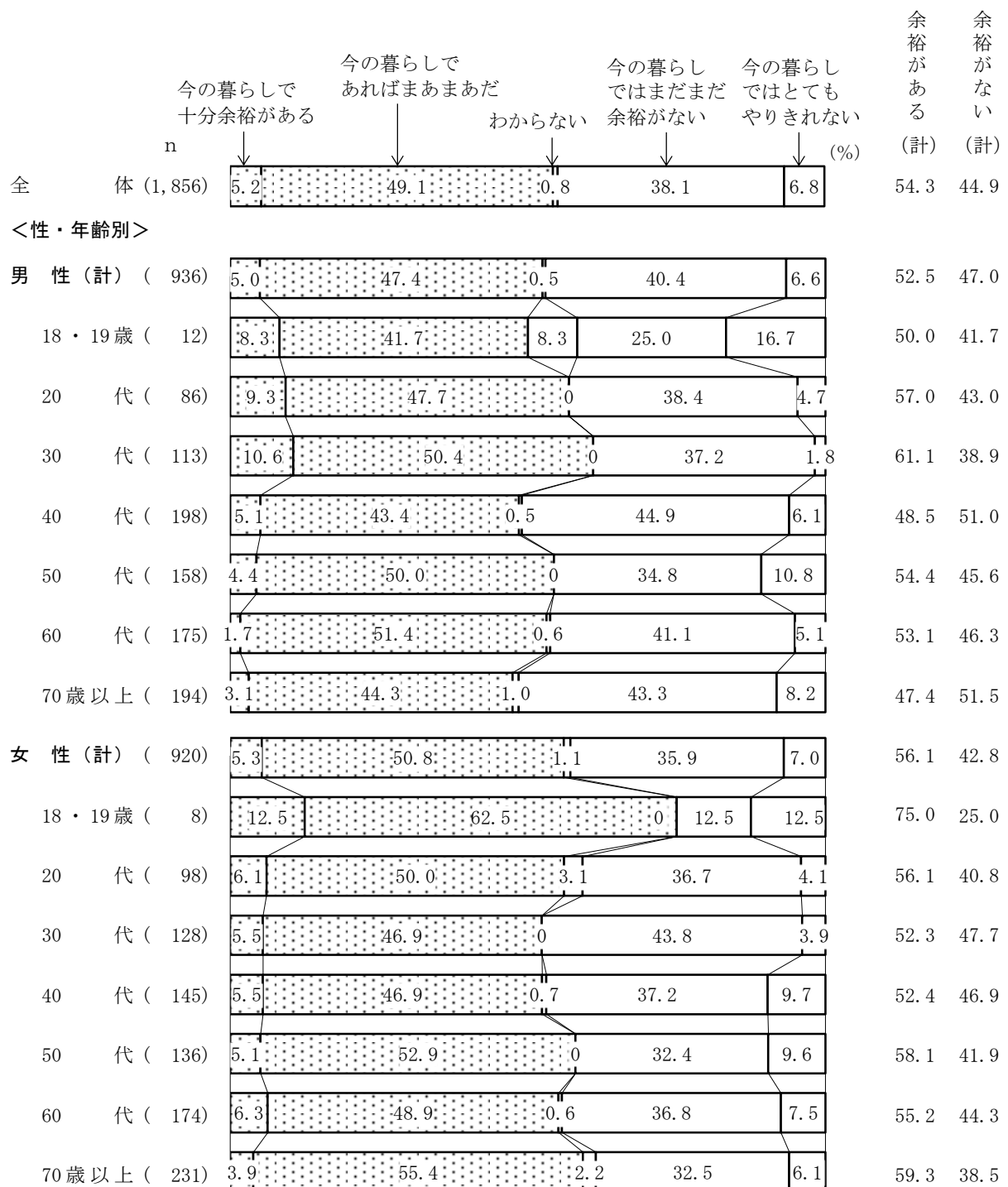
n	今の暮らしで十分余裕がある	今の暮らしであればまあまあだ	わからない	今の暮らしではまだまだ余裕がない	今の暮らしではとてもやりきれない	余裕がある（計）	余裕がない（計）
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
今回調査 (1,856)	5.2	49.1	0.8	38.1	6.8	54.3	44.9
平成29年 (1,810)	5.4	49.6	2.1	36.7	6.3	54.9	43.0
28年 (1,805)	4.7	47.1	0.9	40.1	7.1	51.9	47.2
27年 (1,900)	3.6	46.2	0.9	41.7	7.6	49.8	49.3
26年 (1,850)	4.5	45.9	0.7	40.4	8.4	50.4	48.9
25年 (2,010)	4.8	43.9	2.6	41.2	7.4	48.8	48.7
24年 (2,002)	3.6	44.7	2.4	41.0	8.3	48.3	49.3
23年 (2,009)	4.0	45.2	2.5	40.5	7.8	49.2	48.3
22年 (2,013)	4.0	41.9	0.7	45.4	8.0	45.9	53.4
21年 (2,025)	2.8	39.7	0.9	46.4	10.2	42.5	56.6

(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

性・年齢別にみると、『余裕がない（計）』は男性40代、70歳以上で5割を超えて多くなっている。

(図1-2-3)

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別



(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は経営・管理職で7割半ば、専門・技術職で7割を超えて多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は販売・サービス職、労務・技能職で6割近く、その他の無職で5割を超えて多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がある（計）』は正社員、正規職員で6割を超えて多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどで5割半ばと多くなっている。

(図1-2-4)

図1-2-4 暮らしの余裕—職業別、雇用形態別

	n	今の暮らしで					余裕がある (計)	余裕がない (計)
		十分余裕がある	あればまあまあだ	わからない	ではまだまだ余裕がない	ではとてもやりきれない		
全体 (1,856)		5.2	49.1	0.8	38.1	6.8	54.3	44.9
< 職業別 >								
自営・家族従業 (計) (247)		6.9	45.3	0	38.9	8.9	52.2	47.8
勤め (計) (997)		5.0	49.3	0.4	39.9	5.3	54.4	45.2
経営・管理職 (68)		5.9	69.1	0	25.0	0	75.0	25.0
専門・技術職 (69)		8.7	63.8	0	26.1	1.4	72.5	27.5
事務職 (496)		6.0	51.2	0.4	36.9	5.4	57.3	42.3
労務・技能職 (173)		2.9	40.5	0	50.3	6.4	43.4	56.6
販売・サービス職 (126)		3.2	36.5	1.6	51.6	7.1	39.7	58.7
無職の主婦・主夫 (354)		4.5	54.2	1.7	34.7	4.8	58.8	39.5
学生 (54)		7.4	55.6	3.7	27.8	5.6	63.0	33.3
その他の無職 (184)		4.3	41.8	1.6	38.0	14.1	46.2	52.2
< 雇用形態別 >								
正社員、正規職員 (628)		6.2	54.3	0.3	35.2	4.0	60.5	39.2
派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど (350)		3.4	40.0	0.3	48.6	7.7	43.4	56.3

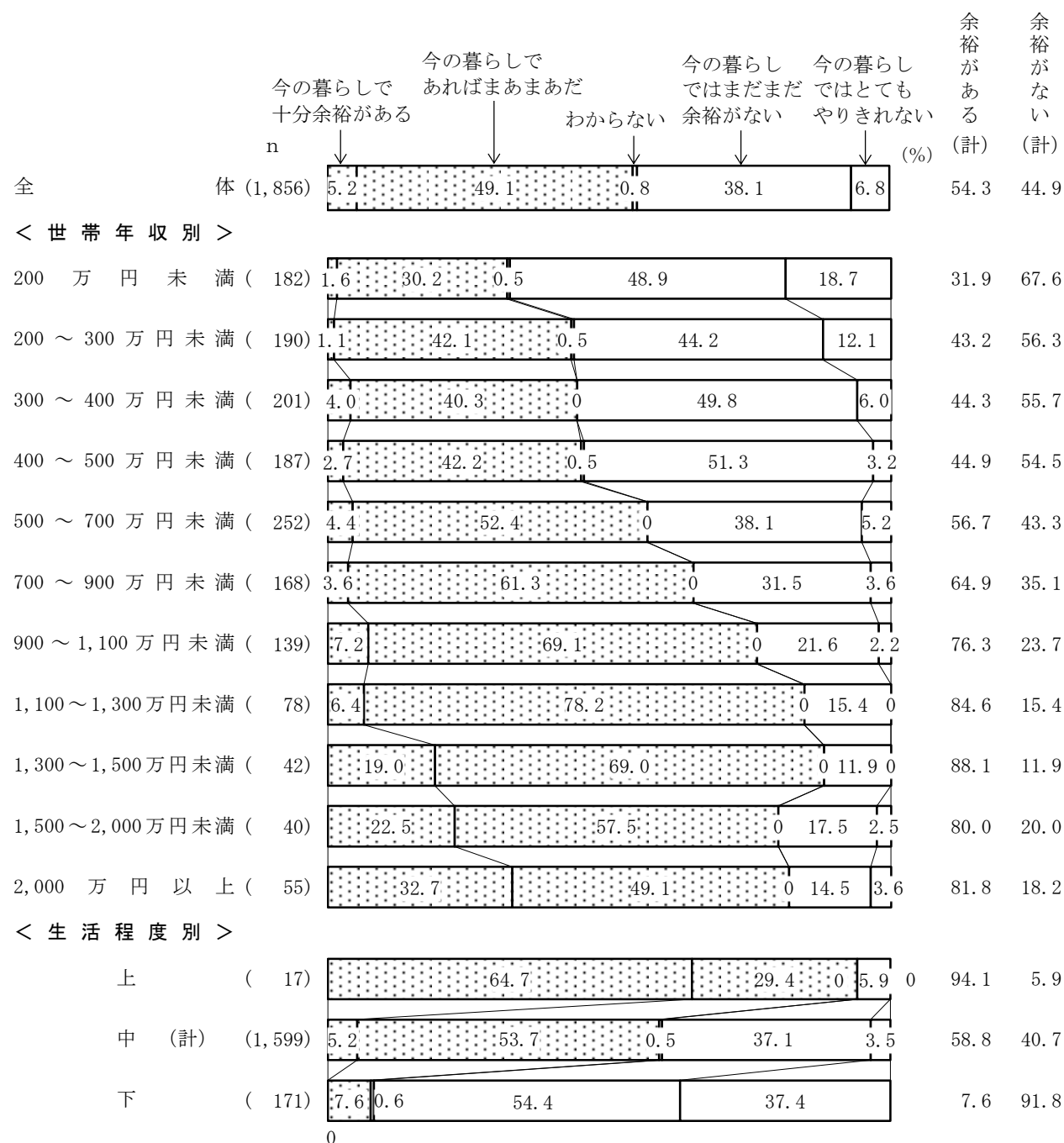
(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』はおおむね世帯年収が多くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収1,100万円以上の世帯でいずれも8割台と多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で7割近く、年収200万円以上500万円未満の世帯でいずれも5割台と多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人では『余裕がない（計）』が『余裕がある（計）』を84ポイント上回っている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕—世帯年収別、生活程度別



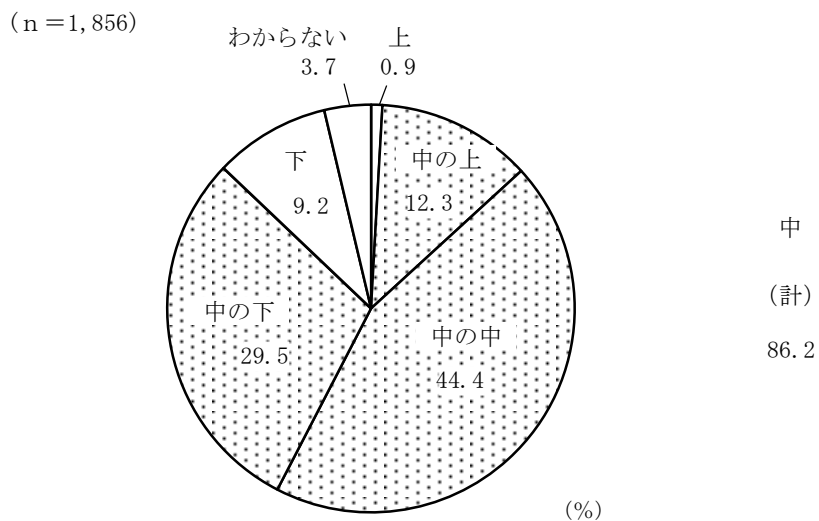
(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員に)

Q3 お宅の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに入りますか。

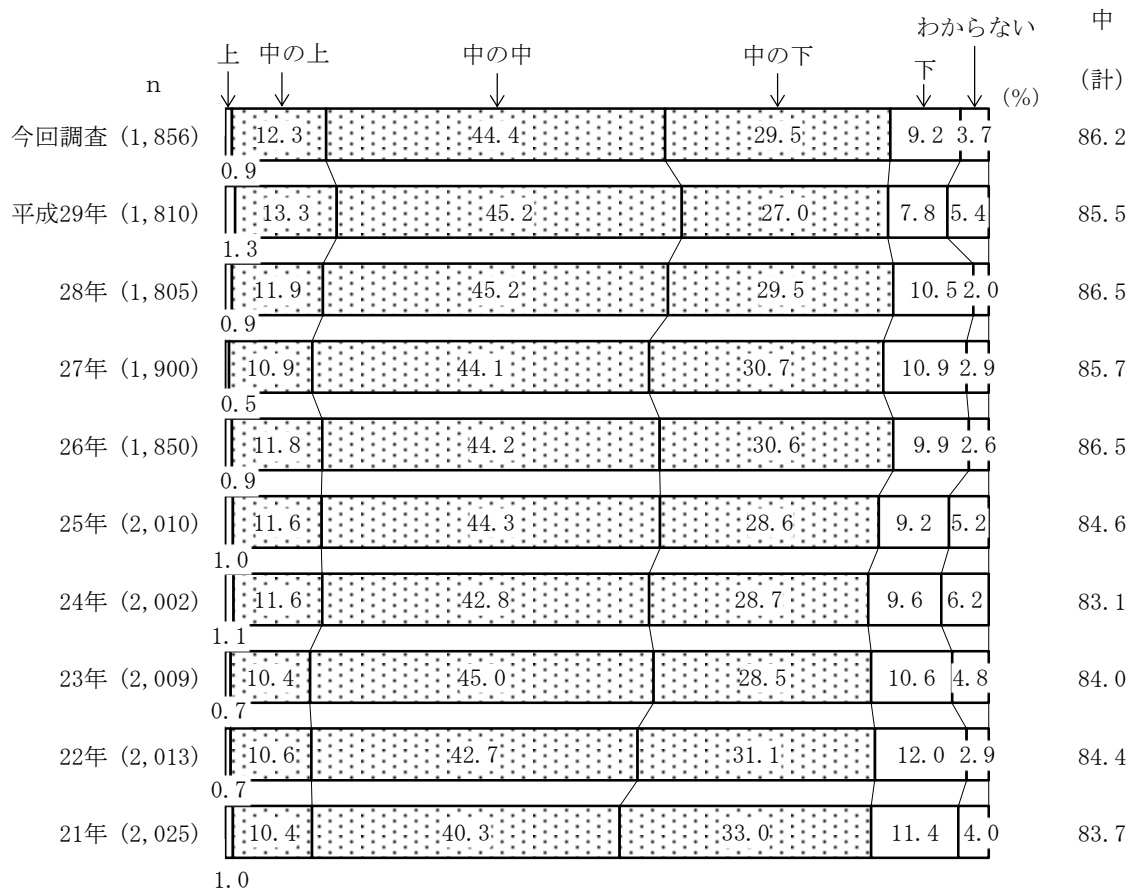


(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」1%、「中の上」12%、「中の中」44%、「中の下」30%、「下」9%となっている。「中の上」、「中の中」、「中の下」を合わせた『中 (計)』は86%となっている。(図1-3-1)

生活程度を過去との比較でみると、『中（計）』は平成21年以降は8割台で推移し、「下」がおおむね1割前後となっている。（図1-3-2）

図1-3-2 生活程度—過去との比較

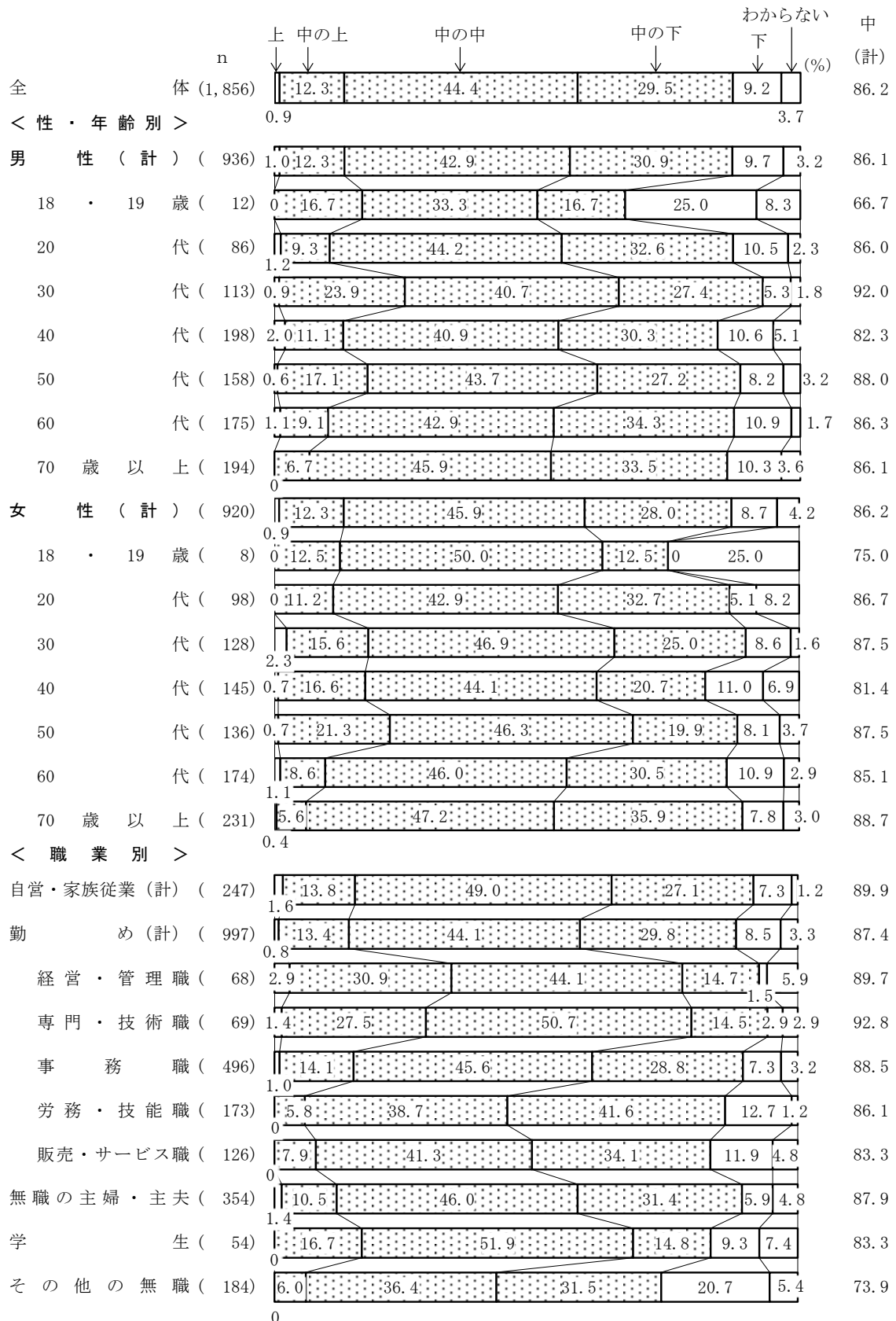


(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

性・年齢別にみると、『中（計）』は男性30代で9割を超えて多くなっている。

職業別にみると、『中（計）』は自営・家族従業（計）で約9割と多くなっている。一方、「下」はその他の無職で2割を超えている。（図1-3-3）

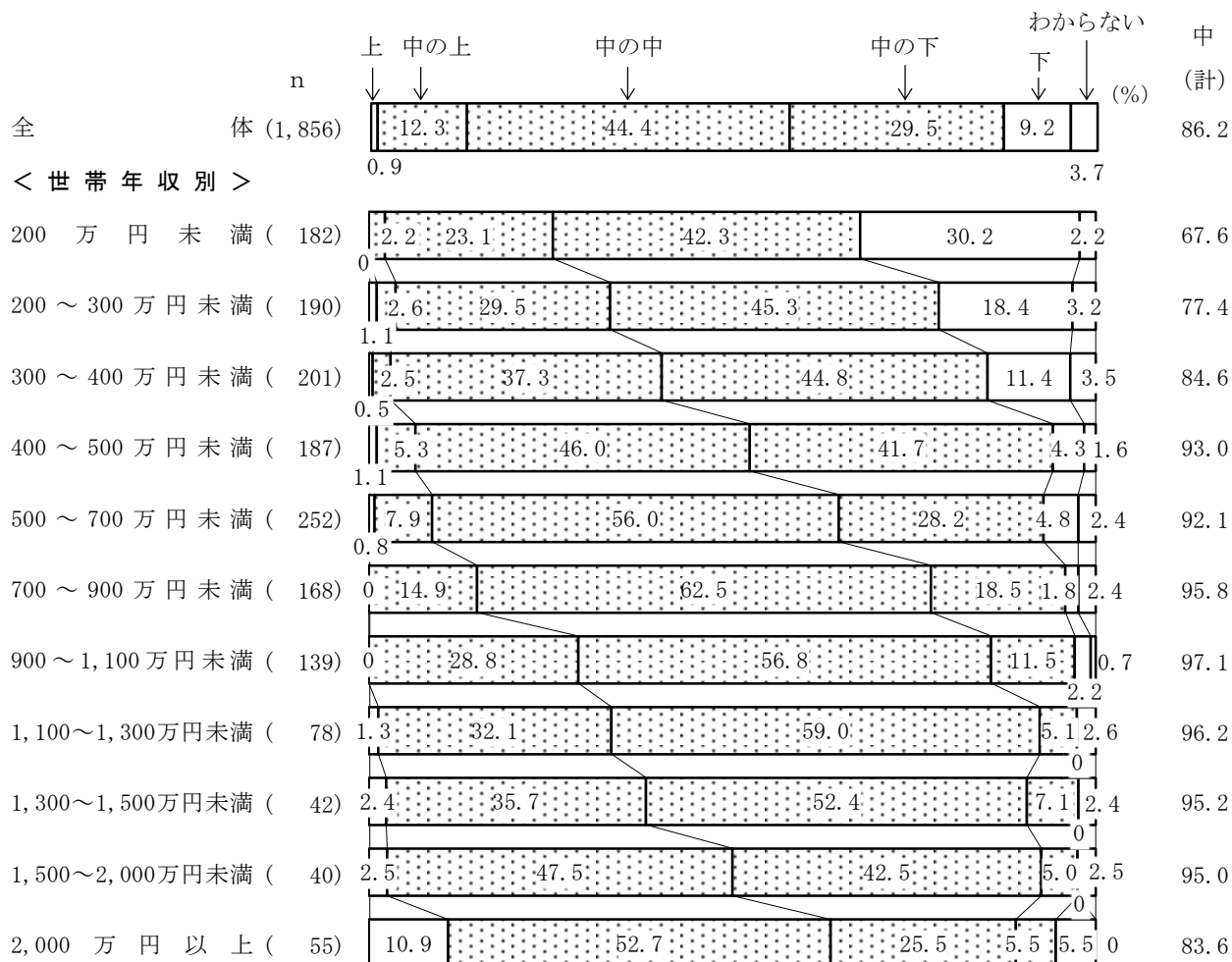
図1-3-3 生活程度－性・年齢別、職業別



(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

世帯年収別にみると、「上」は年収2,000万円以上で1割を超えている。『中（計）』は年収400万円以上1,300万円未満の世帯で9割台と多くなっている。一方、「下」は年収200万円未満の世帯で約3割、年収200～300万円未満の世帯で2割近くとなっている。（図1-3-4）

図1-3-4 生活程度—世帯年収別



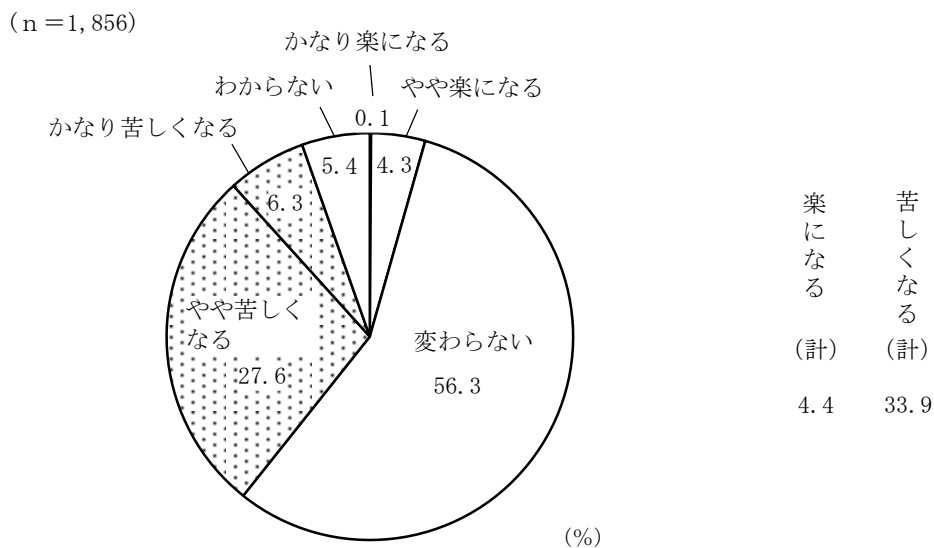
(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員に)

Q4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますか、苦しくなると思いますか。それとも変わらないと思いますか。



(注)『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

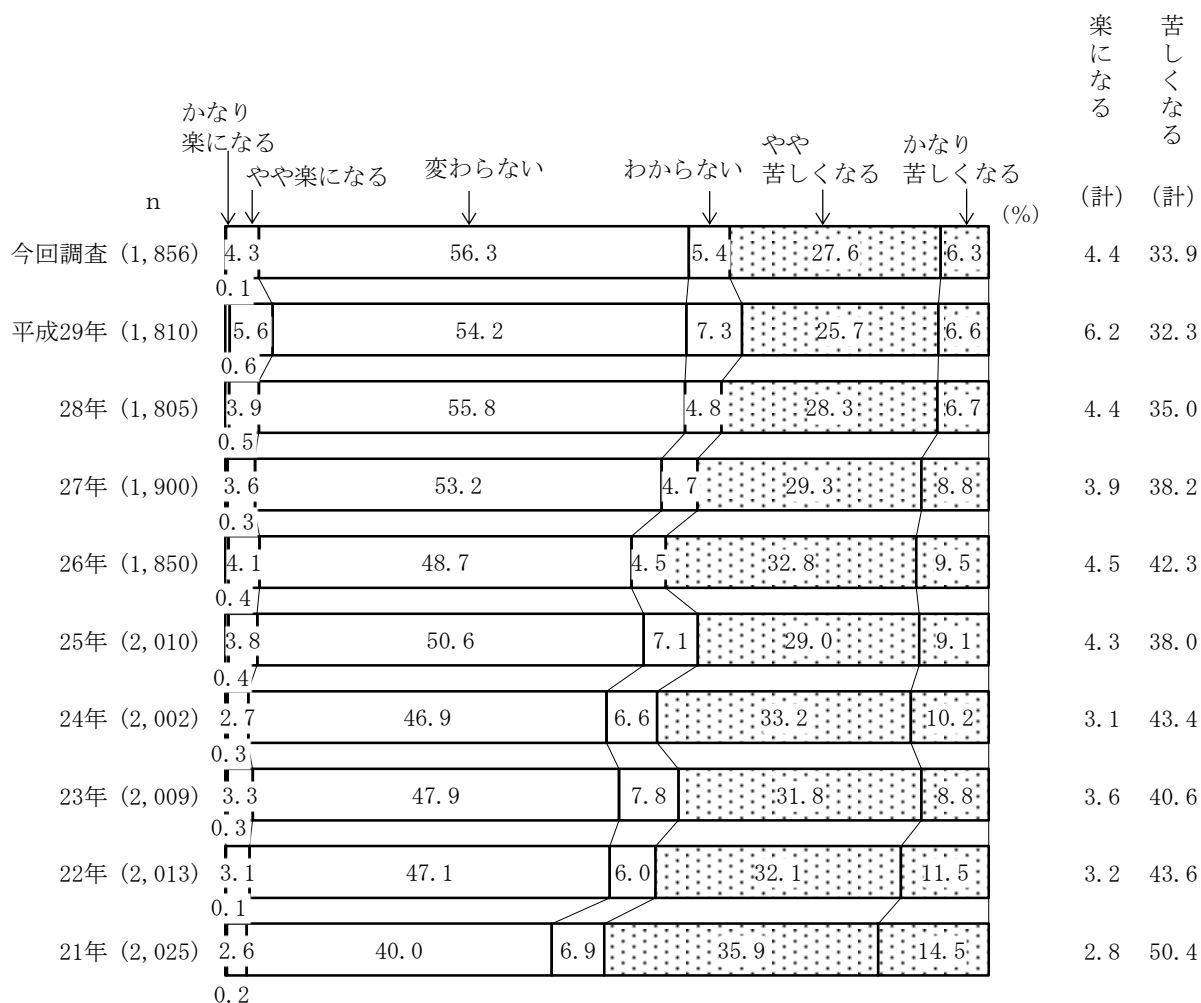
これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』は4%、『苦しくなる (計)』は34%となっており、「変わらない」が56%となっている。(図1-4-1)

これからの暮らしむきを過去との比較で見ると、『楽になる（計）』は昨年よりも2ポイント減少している。一方、『苦しくなる（計）』「変わらない」はそれぞれ昨年よりも2ポイント増加している。

(図1-4-2)

なお、これからの暮らしむきの昭和55年からの時系列比較を巻末の付属資料（P135 表2）に掲載している。

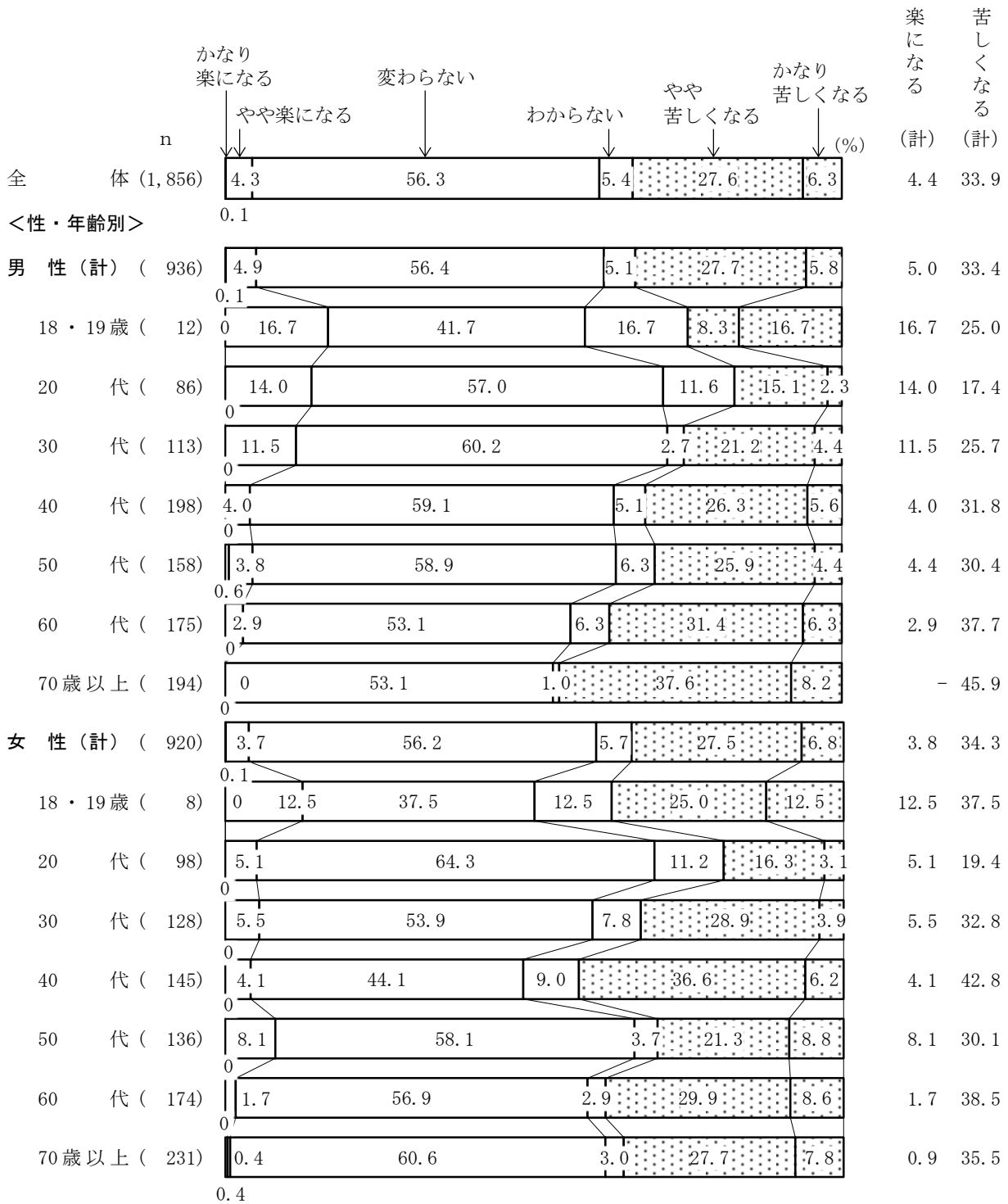
図1-4-2 これからの暮らしむき—過去との比較



(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

性・年齢別にみると、『楽になる（計）』は男性20代、30代で1割台となっている。一方、『苦しくなる（計）』は男性70歳以上、女性40代で4割台と多くなっている。（図1-4-3）

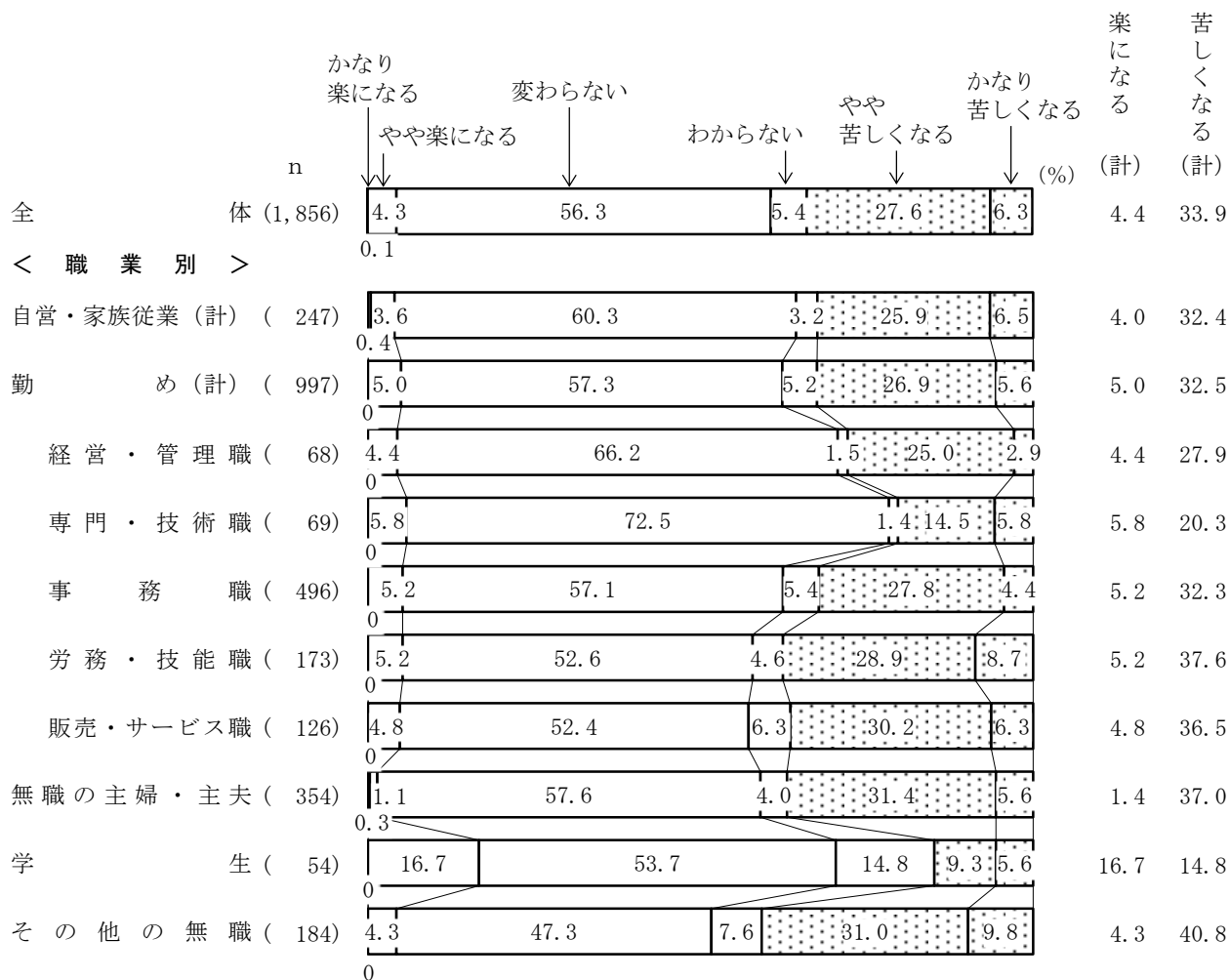
図1-4-3 これからの暮らしむき—性・年齢別



(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

職業別にみると、「やや楽になる」は学生で2割近くとなっている。「変わらない」は専門・技術職で7割を超えて多くになっている。一方、『苦しくなる(計)』はその他の無職で4割を超えて多くになっている。
(図1-4-4)

図1-4-4 これからの暮らしむき-職業別

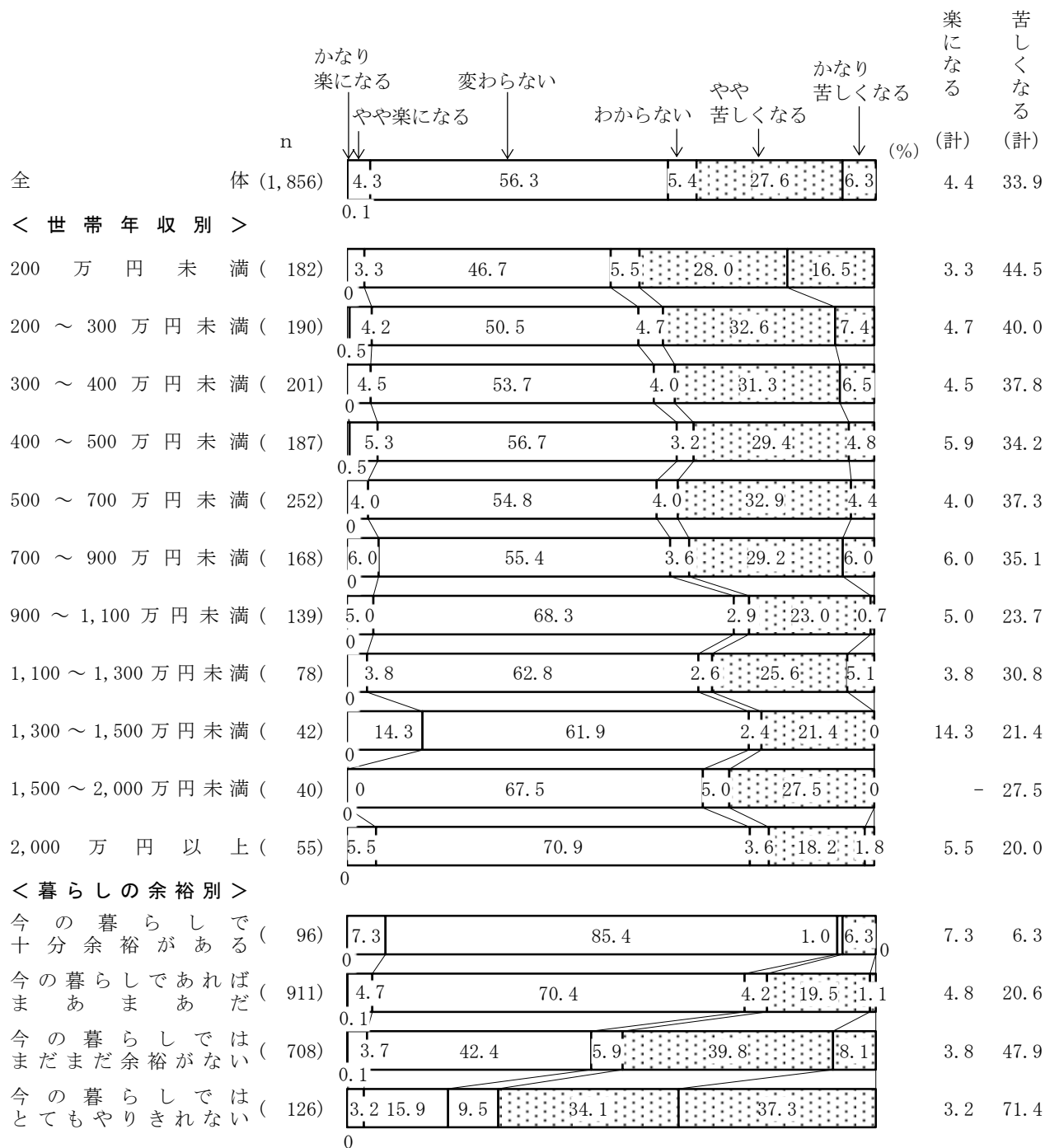


(注) 『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、「やや楽になる」は年収1,300～1,500万円未満の世帯で1割半ばとなっている。「変わらない」は年収2,000万円以上で7割を超えて多くなっている。一方、『苦しくなる（計）』は年収200万円未満の世帯で4割半ばと多くなっている。

暮らしの余裕（Q2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では7割を超え、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では5割近くと多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき—世帯年収別、暮らしの余裕別



(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

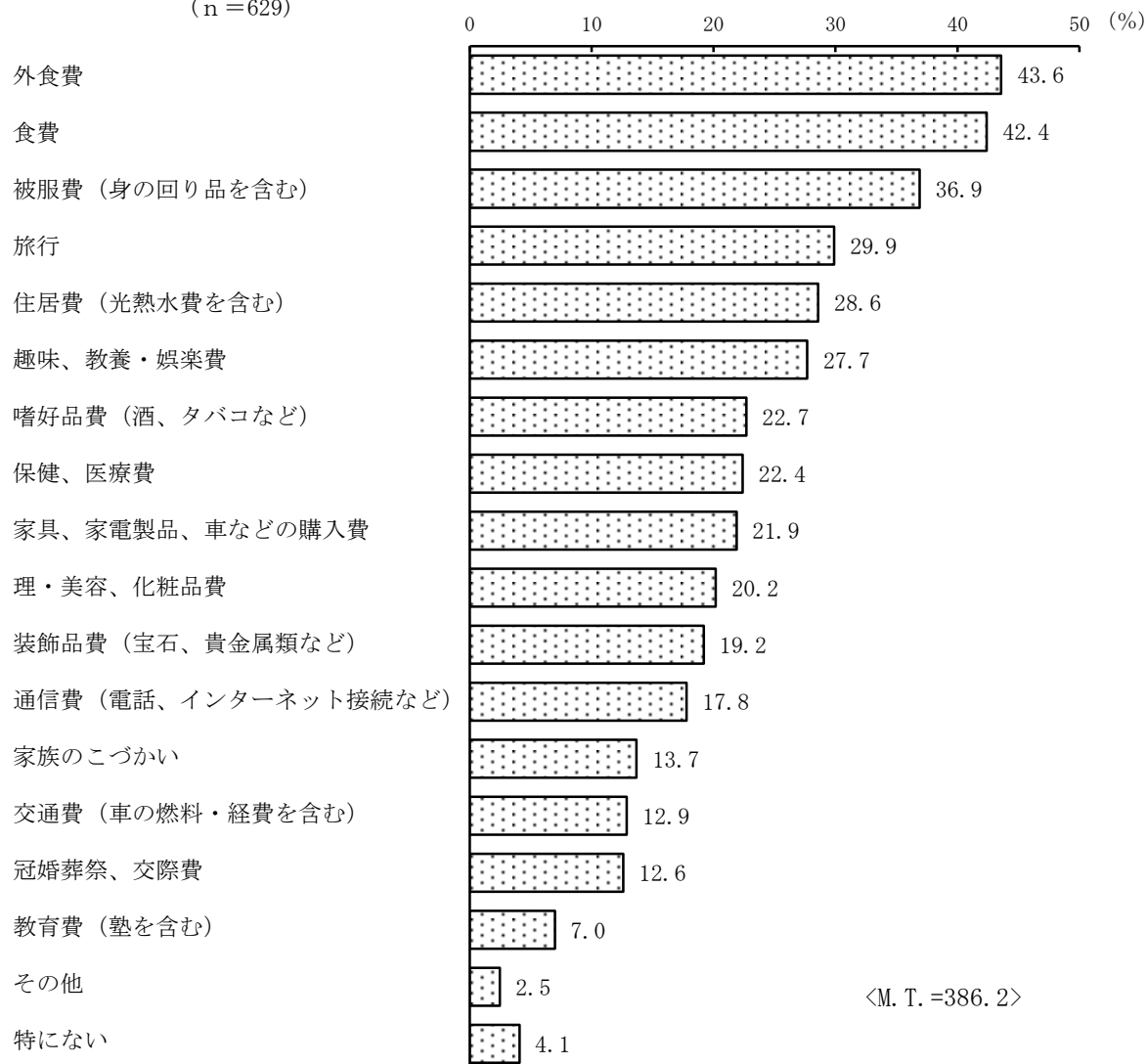
※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(Q4で「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた方に)

SQ では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。この中からいくつでもお答えください。(M. A.)

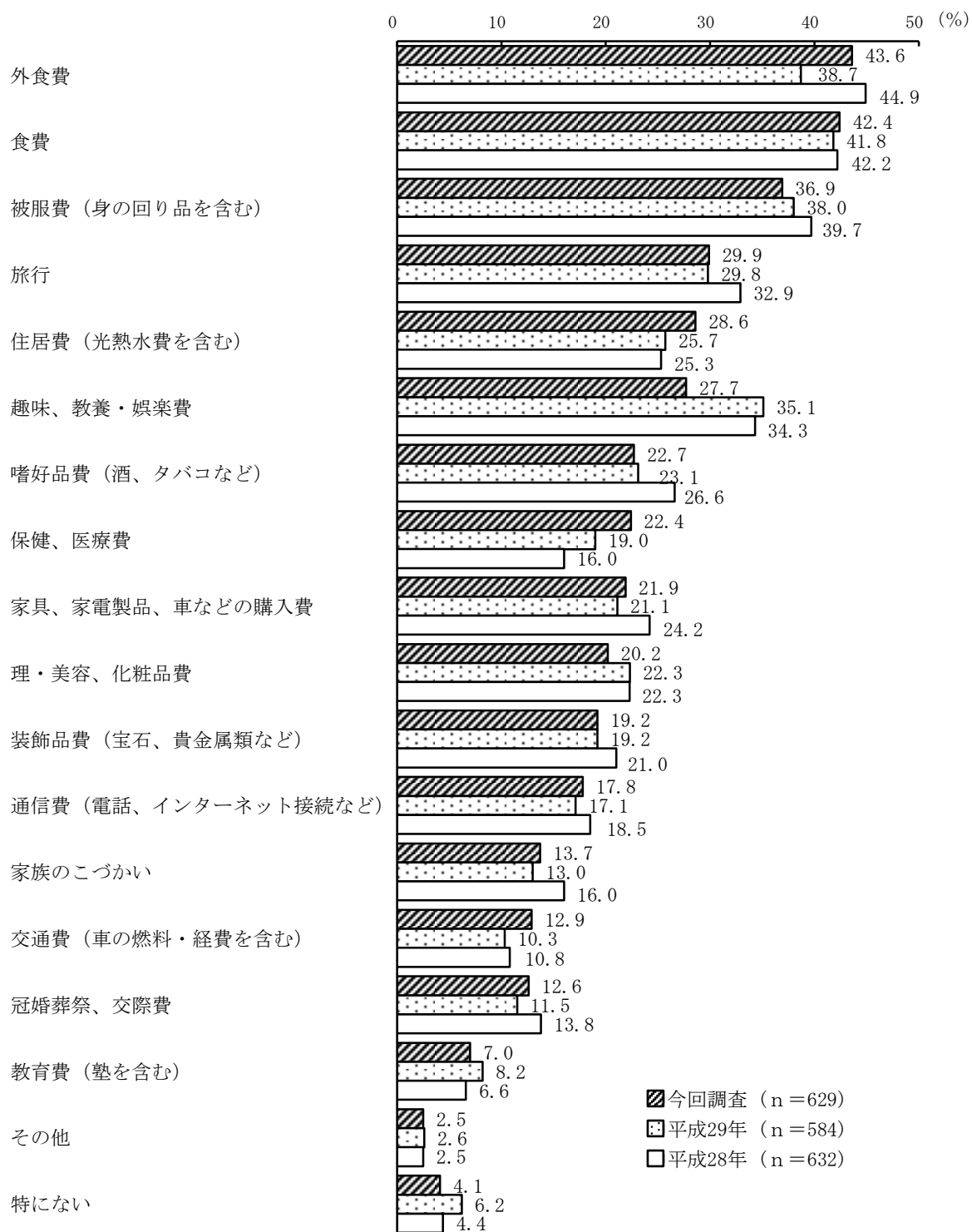
(n=629)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人 (629人) に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「外食費」が44%で最も多く、次いで「食費」42%、「被服費 (身の回り品を含む)」37%、「旅行」30%、「住居費 (光熱水費を含む)」29%などの順となっている。(図1-5-1)

今後切りつめていくものを過去との比較でみると、「外食費」は昨年よりも5ポイント増加している。一方、「趣味、教養・娯楽費」は昨年よりも7ポイント減少している。(図1-5-2)

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去との比較



性・年齢別にみると、男性は女性よりも「嗜好品（酒、タバコなど）」が11ポイント高く、特に男性60代で3割半ばと多くなっている。また、女性は男性よりも「理・美容、化粧品費」が17ポイント高くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で6割近くと多くなっている。また、「住居費（光熱水費を含む）」も“下”と答えた人で5割近くと多くなっている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつめていくもの一性・年齢別、生活程度別

		(%)																		
		外食費	食費	被服費（身の回り品を含む）	旅行	住居費（光熱水費を含む）	趣味、教養・娯楽費	嗜好品費（酒、タバコなど）	保健、医療費	家具、家電製品、車などの購入費	理・美容、化粧品費	装飾品費（宝石、貴金属類など）	通信費（電話、インターネット接続など）	家族のこづかい	交通費（車の燃料・経費を含む）	冠婚葬祭、交際費	教育費（塾を含む）	その他	特になし	
全	体	629	43.6	42.4	36.9	29.9	28.6	27.7	22.4	21.9	20.2	19.2	17.8	13.7	12.9	12.6	7.0	2.5	4.1	
<性・年齢別>																				
男性（計）		313	42.8	39.6	32.3	28.1	27.2	29.4	22.4	22.0	11.5	16.3	16.9	16.6	14.7	10.5	6.4	2.2	5.1	
	18・19歳	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	
	20代	15	40.0	46.7	40.0	13.3	13.3	20.0	46.7	6.7	20.0	6.7	13.3	13.3	6.7	-	6.7	-	6.7	
	30代	29	55.2	37.9	34.5	37.9	27.6	48.3	31.0	10.3	13.8	6.9	10.3	17.2	24.1	13.8	10.3	-	3.4	
	40代	63	50.8	31.7	30.2	31.7	27.0	36.5	20.6	22.2	25.4	14.3	15.9	20.6	14.3	17.5	9.5	15.9	-	4.8
	50代	48	35.4	35.4	33.3	27.1	29.2	33.3	29.2	20.8	22.9	10.4	16.7	12.5	18.8	4.2	10.4	6.3	6.3	6.3
	60代	66	43.9	50.0	43.9	28.8	36.4	24.2	34.8	18.2	27.3	12.1	18.2	22.7	13.6	21.2	10.6	4.5	1.5	6.1
	70歳以上	89	38.2	38.2	23.6	24.7	21.3	22.5	25.8	33.7	19.1	12.4	18.0	12.4	19.1	16.9	13.5	-	3.4	4.5
女性（計）		316	44.3	45.3	41.5	31.6	30.1	25.9	17.1	22.5	21.8	28.8	22.2	18.7	10.8	11.1	14.6	7.6	2.8	3.2
	18・19歳	3	-	33.3	-	-	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	
	20代	19	47.4	57.9	57.9	21.1	21.1	36.8	21.1	15.8	10.5	31.6	21.1	10.5	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3	-
	30代	42	57.1	42.9	35.7	28.6	16.7	31.0	23.8	19.0	21.4	28.6	9.5	21.4	7.1	11.9	4.8	16.7	-	2.4
	40代	62	50.0	43.5	37.1	32.3	22.6	32.3	16.1	11.3	19.4	22.6	17.7	17.7	9.7	9.7	12.9	14.5	3.2	3.2
	50代	41	48.8	41.5	41.5	41.5	39.0	22.0	19.5	24.4	24.4	36.6	31.7	26.8	14.6	7.3	9.8	12.2	2.4	-
	60代	67	44.8	46.3	43.3	32.8	40.3	25.4	13.4	26.9	22.4	28.4	23.9	20.9	14.9	16.4	16.4	1.5	4.5	1.5
	70歳以上	82	31.7	46.3	43.9	30.5	30.5	19.5	14.6	30.5	25.6	30.5	26.8	13.4	9.8	9.8	23.2	-	1.2	7.3
<生活程度別>																				
	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中の上	34	61.8	20.6	29.4	32.4	5.9	23.5	11.8	5.9	32.4	20.6	26.5	17.6	11.8	5.9	11.8	11.8	2.9	2.9
	中の中	227	42.3	37.4	35.2	32.2	22.0	25.1	21.6	17.6	19.8	18.1	19.8	15.4	11.0	14.1	11.0	7.5	3.5	1.8
	中の下	245	42.0	44.5	37.1	26.5	29.8	29.4	25.7	26.1	20.4	21.6	19.2	16.3	15.9	12.2	14.7	6.1	0.8	7.3
	下	101	43.6	57.4	40.6	30.7	46.5	30.7	21.8	27.7	24.8	20.8	14.9	22.8	14.9	14.9	9.9	7.9	4.0	2.0

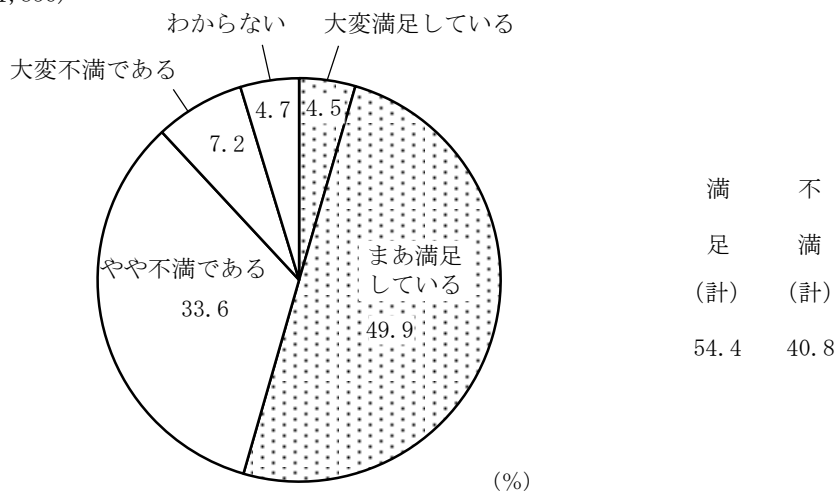
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員に)

Q5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。

(n=1,856)



(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

現在の生活に満足しているかどうか聞いたところ、『満足 (計)』は54%、『不満 (計)』は41%となっている。(図1-6-1)

生活満足度を過去との比較で見ると、『不満（計）』は昨年よりも1ポイント増加している。

(図1-6-2)

なお、生活満足度の昭和52年からの時系列比較を巻末の付属資料（P136 表3、P137 図4）に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去との比較

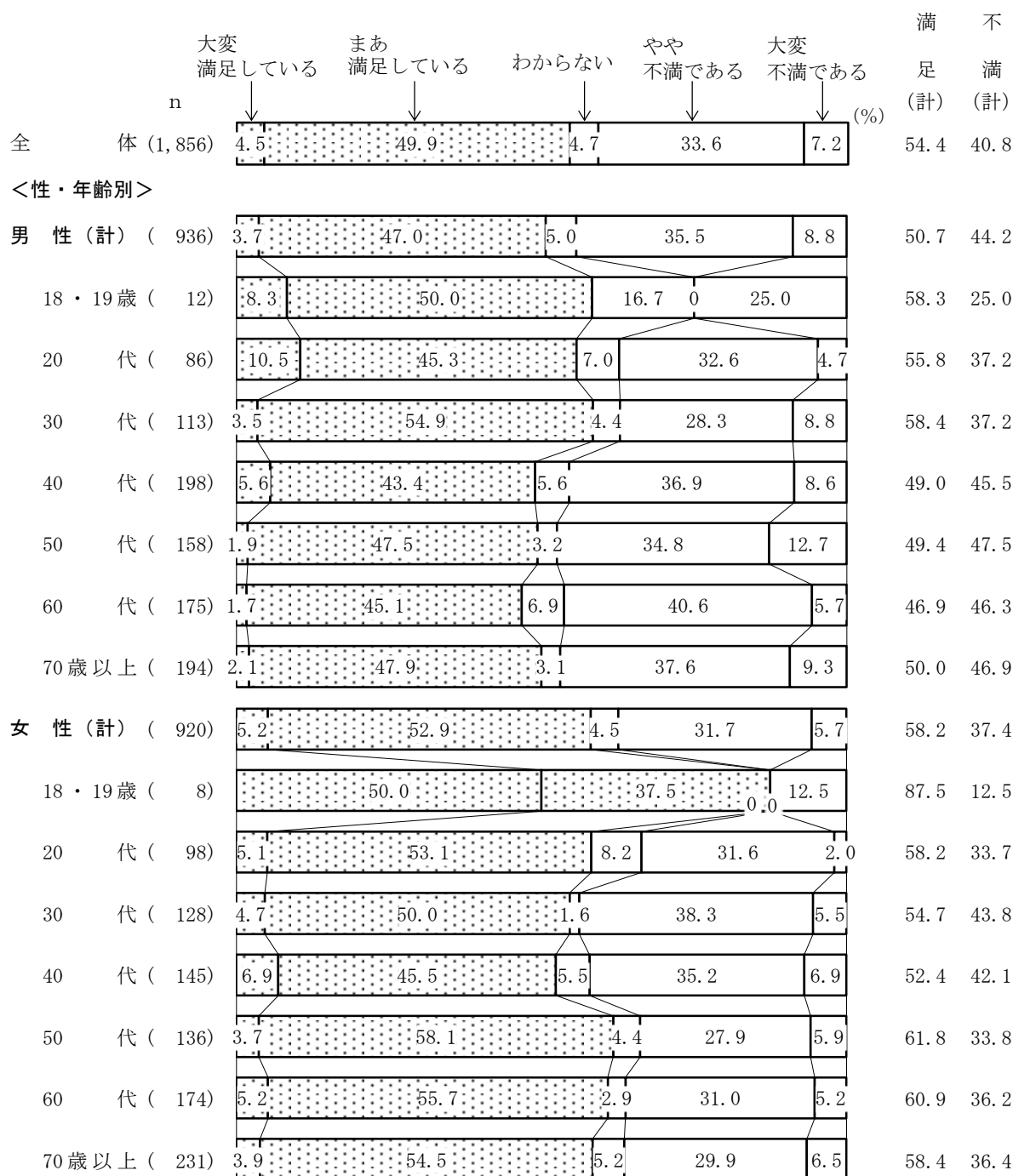
n	生活満足度の割合 (%)					満足 (計)	不満 (計)
	大変満足している	まあ満足している	わからない	やや不満である	大変不満である		
今回調査 (1,856)	4.5	49.9	4.7	33.6	7.2	54.4	40.8
平成29年 (1,810)	4.5	49.4	5.8	33.3	7.0	54.0	40.2
28年 (1,805)	4.4	49.3	4.8	33.1	8.4	53.7	41.6
27年 (1,900)	3.0	47.8	4.1	35.9	9.1	50.8	45.1
26年 (1,850)	3.6	49.4	3.6	34.0	9.5	53.0	43.5
25年 (2,010)	4.3	49.5	4.9	32.6	8.7	53.8	41.3
24年 (2,002)	3.6	49.9	4.6	33.9	8.0	53.4	42.0
23年 (2,009)	4.0	49.4	3.8	34.1	8.6	53.5	42.7
22年 (2,013)	2.9	44.8	4.1	36.8	11.5	47.6	48.3
21年 (2,025)	2.8	42.6	4.5	37.5	12.6	45.4	50.1

(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

性・年齢別にみると、女性は男性よりも『満足（計）』で8ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも『不満（計）』で7ポイント高くなっている。また、「大変満足している」は男性20代で1割半ばとなっており、「大変不満である」は男性50代で1割を超えている。（図1-6-3）

図1-6-3 生活満足度—性・年齢別



（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で6割を超え、持家以外（計）よりも18ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で5割を超え、持家（計）よりも17ポイント高くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多くなるほど割合が高くなる傾向がある。一方、『不満（計）』はおおむね年収が低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収400万円未満の世帯で5割台と多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度—住居形態別、世帯年収別

n	生活満足度					満足 （計）	不満 （計）
	大変満足している	まあ満足している	わからない	やや不満である	大変不満である		
全体 (1,856)	4.5	49.9	4.7	33.6	7.2	54.4	40.8
< 住居形態別 >							
持家（計） (1,209)	5.2	55.5	4.3	29.6	5.4	60.7	35.0
持家（一戸建） (1,031)	4.9	56.0	3.9	29.9	5.3	60.9	35.2
持家（分譲マンション など集合住宅） (178)	6.7	52.8	6.7	28.1	5.6	59.6	33.7
持家以外（計） (635)	3.0	39.8	5.2	41.4	10.6	42.8	52.0
民間の借家（一戸建） (41)	7.3	34.1	2.4	39.0	17.1	41.5	56.1
民間の借家（賃貸マンション・ アパートなど集合住宅） (435)	2.3	42.3	4.8	39.8	10.8	44.6	50.6
都市機構（旧公団）・公社・ 公営の賃貸住宅・アパート 社宅・公務員住宅 など給与住宅 (110)	1.8	27.3	6.4	57.3	7.3	29.1	64.5
住み込み・寮・寄宿舎など (29)	13.8	65.5	10.3	10.3	0	79.3	10.3
住み込み・寮・寄宿舎など (6)	0	50.0	0	16.7	33.3	50.0	50.0
< 世帯年収別 >							
200万円未満 (182)	3.3	33.0	4.9	40.1	18.7	36.3	58.8
200～300万円未満 (190)	3.2	41.6	4.2	41.6	9.5	44.7	51.1
300～400万円未満 (201)	1.0	43.3	3.5	42.8	9.5	44.3	52.2
400～500万円未満 (187)	2.7	48.1	3.2	42.2	3.7	50.8	46.0
500～700万円未満 (252)	4.8	49.6	3.2	36.1	6.3	54.4	42.5
700～900万円未満 (168)	3.6	60.7	1.2	32.1	2.4	64.3	34.5
900～1,100万円未満 (139)	7.9	68.3	5.8	15.1	2.9	76.3	18.0
1,100～1,300万円未満 (78)	6.4	67.9	1.3	21.8	2.6	74.4	24.4
1,300～1,500万円未満 (42)	9.5	61.9	2.4	26.2	0	71.4	26.2
1,500～2,000万円未満 (40)	7.5	70.0	7.5	15.0	0	77.5	15.0
2,000万円以上 (55)	7.3	70.9	3.6	12.7	5.5	78.2	18.2

（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

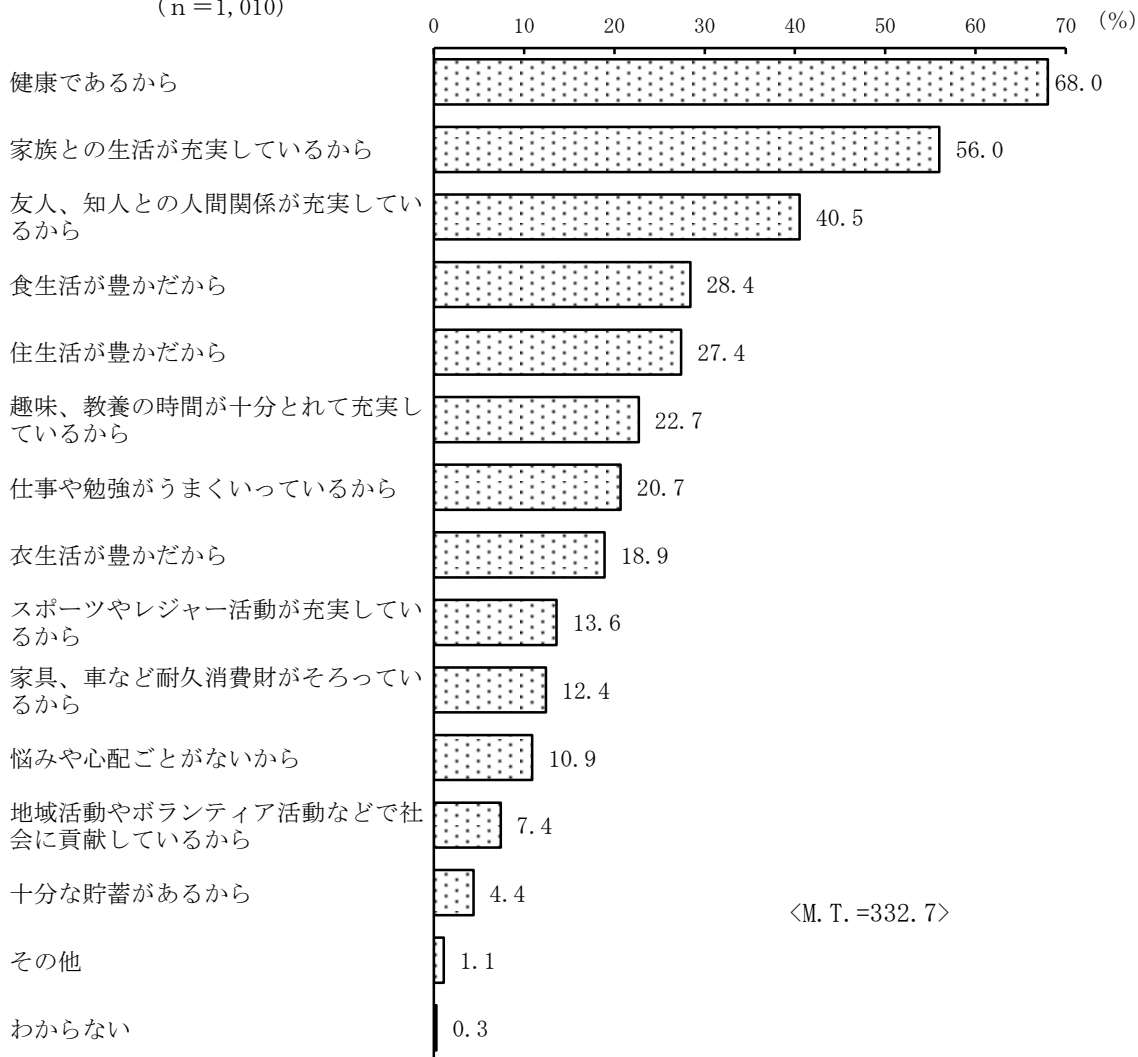
※1-7 満足の原因

図1-7-1

(Q5で「大変満足している」「まあ満足している」と答えた方に)

SQ1 どのような理由で満足されていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(M. A.)

(n=1,010)

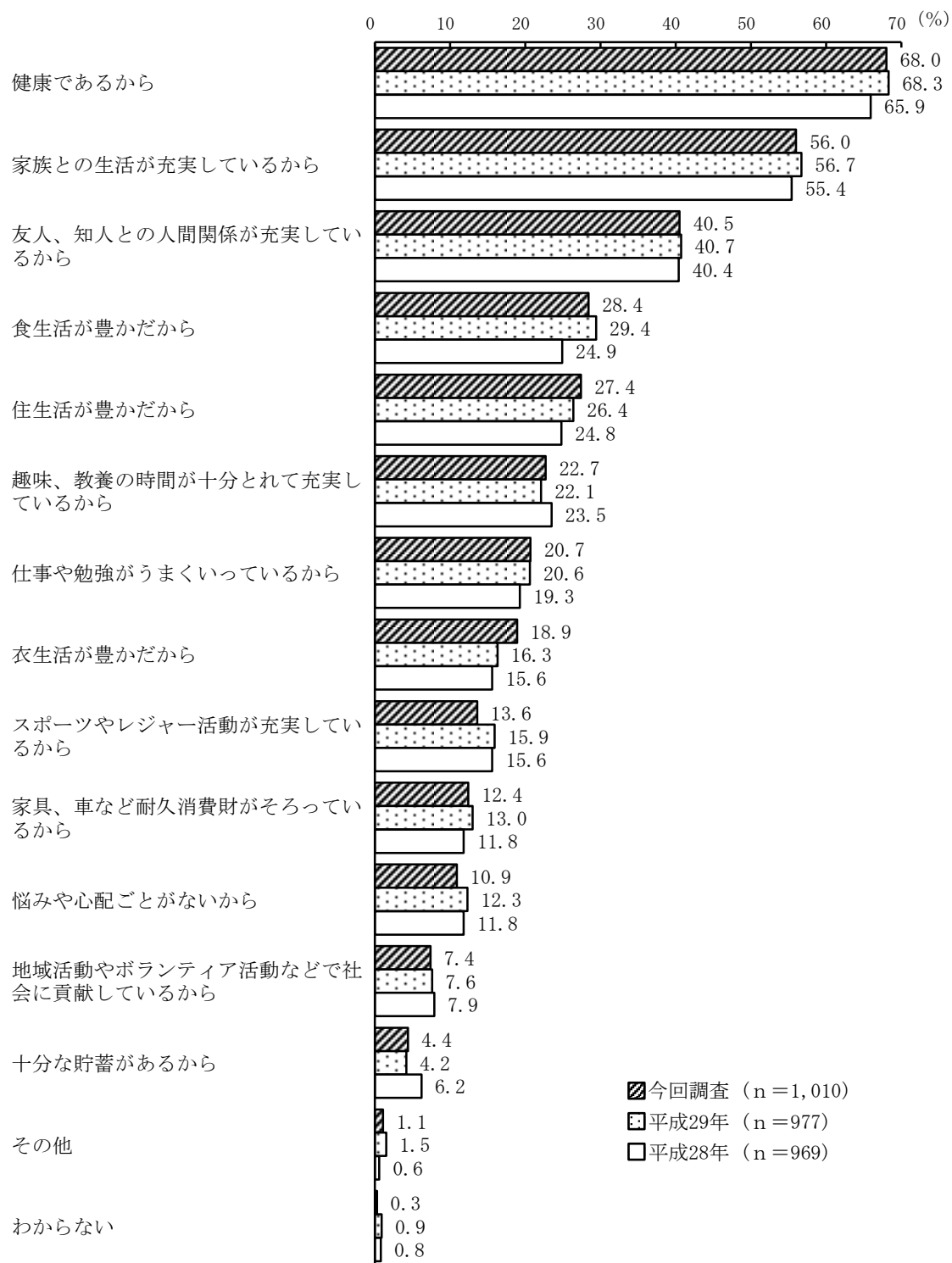


現在の生活に満足しているという人(1,010人)にその理由を聞いたところ、「健康であるから」が68%で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」56%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」41%、「食生活が豊かだから」28%、「住生活が豊かだから」27%などの順となっている。

(図1-7-1)

満足の理由を過去との比較で見ると、「家族との生活が充実しているから」と「食生活が豊かだから」は昨年よりも1ポイント減少している。(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由—過去との比較



性・年齢別にみると、女性は男性よりも「友人、知人との人間関係が充実しているから」で13ポイント高くなっている。「家族との生活が充実しているから」は男性40代で7割を超えて多くなっている。また、女性30代で「食生活が豊かだから」が4割を超え、「衣生活が豊かだから」が3割半ばと多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、ほとんどの生活程度が高いほど割合も高くなる傾向になっている。（表1-7-1）

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

(%)

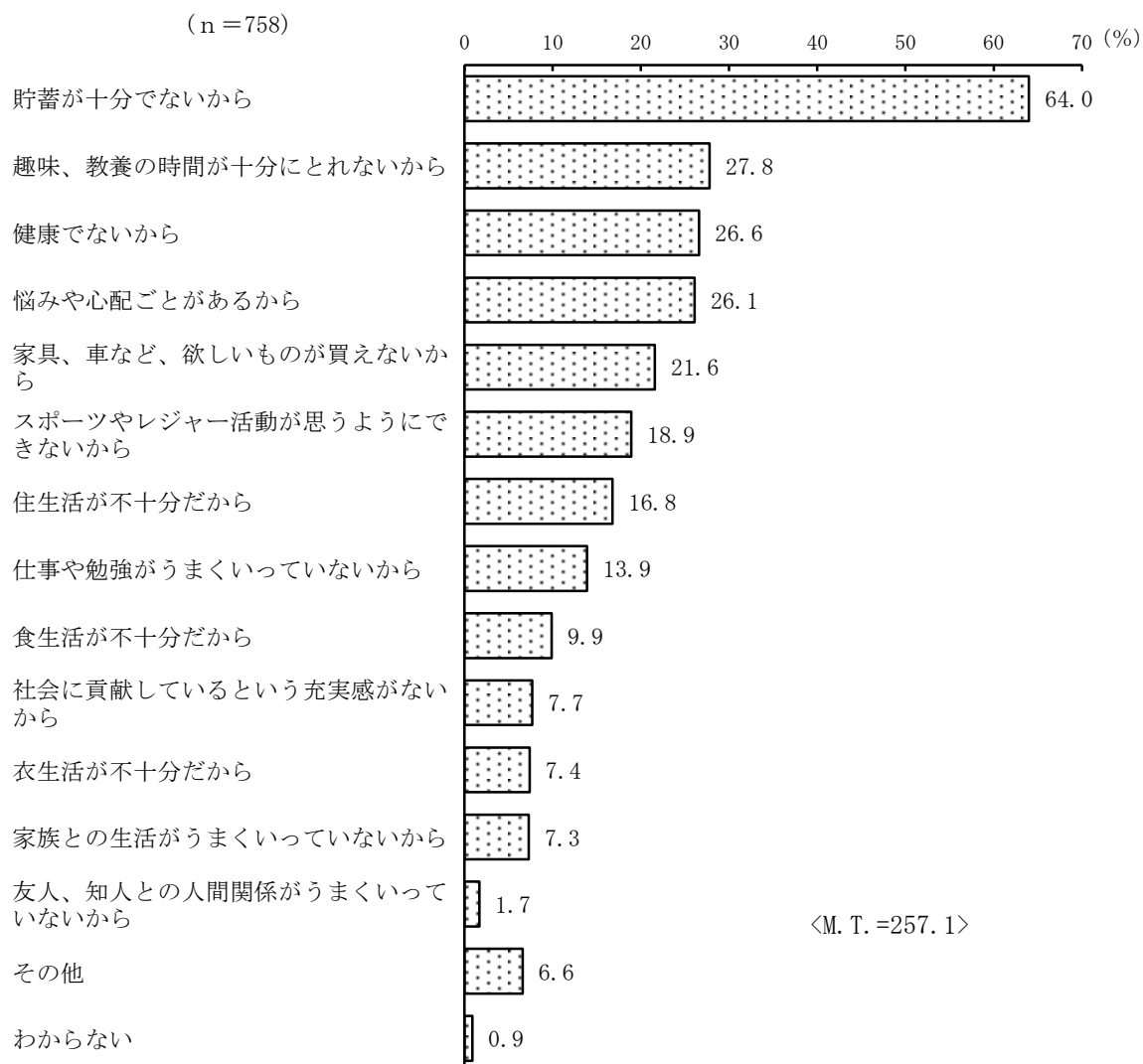
	n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	仕事や勉強がうまくいっているから	衣生活が豊かだから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	悩みや心配ごとがないから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	十分な貯蓄があるから	その他	わからない
全体	1,010	68.0	56.0	40.5	28.4	27.4	22.7	20.7	18.9	13.6	12.4	10.9	7.4	4.4	1.1	0.3
<性・年齢別>																
男性（計）	475	67.8	55.6	33.5	26.3	26.7	21.3	22.1	17.9	15.4	12.2	10.1	6.9	4.2	0.8	0.2
18・19歳	7	57.1	42.9	57.1	-	-	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-
20代	48	75.0	35.4	50.0	29.2	33.3	27.1	29.2	25.0	16.7	6.3	8.3	2.1	2.1	4.2	-
30代	66	69.7	69.7	28.8	34.8	27.3	18.2	30.3	18.2	13.6	10.6	7.6	-	6.1	-	-
40代	97	64.9	72.2	24.7	33.0	34.0	18.6	25.8	20.6	15.5	16.5	10.3	8.2	6.2	1.0	-
50代	78	66.7	50.0	26.9	24.4	24.4	14.1	26.9	15.4	15.4	6.4	3.8	3.8	5.1	-	-
60代	82	64.6	51.2	26.8	24.4	25.6	32.9	19.5	24.4	14.6	12.2	13.4	4.9	1.2	-	-
70歳以上	97	70.1	48.5	46.4	17.5	20.6	18.6	8.2	9.3	16.5	17.5	15.5	17.5	4.1	1.0	1.0
女性（計）	535	68.2	56.4	46.7	30.3	28.0	23.9	19.4	19.8	12.0	12.5	11.6	7.9	4.5	1.3	0.4
18・19歳	7	71.4	57.1	42.9	14.3	14.3	14.3	-	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-
20代	57	66.7	43.9	54.4	40.4	36.8	35.1	19.3	29.8	14.0	15.8	7.0	-	-	-	-
30代	70	64.3	67.1	52.9	42.9	38.6	24.3	25.7	34.3	8.6	18.6	7.1	4.3	10.0	1.4	-
40代	76	71.1	61.8	32.9	35.5	26.3	15.8	30.3	21.1	9.2	13.2	10.5	2.6	5.3	2.6	-
50代	84	75.0	60.7	45.2	26.2	26.2	21.4	32.1	16.7	14.3	11.9	8.3	2.4	3.6	1.2	-
60代	106	70.8	54.7	45.3	16.0	19.8	26.4	19.8	9.4	11.3	9.4	13.2	12.3	1.9	2.8	-
70歳以上	135	63.0	51.9	50.4	31.1	28.1	23.7	3.0	17.0	13.3	11.1	17.0	15.6	5.9	-	1.5
<生活程度別>																
上	16	75.0	62.5	62.5	50.0	62.5	56.3	25.0	43.8	31.3	31.3	31.3	-	18.8	-	-
中の上	206	71.4	65.0	39.8	42.7	39.3	22.8	32.0	31.6	15.0	17.0	11.2	7.3	11.2	1.5	-
中の中	562	69.0	56.4	40.7	27.4	26.2	23.5	19.4	17.3	14.2	11.6	10.7	7.1	2.5	0.4	0.4
中の下	175	64.6	49.7	38.3	17.7	20.0	20.0	15.4	10.3	10.3	9.7	8.0	7.4	1.7	1.7	-
下	24	45.8	29.2	45.8	20.8	12.5	16.7	4.2	12.5	4.2	-	16.7	20.8	-	4.2	-

※1-8 不満の理由

図1-8-1

(Q5で「やや不満である」「大変不満である」と答えた方に)

S Q2 どのような理由で不満であると感じていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(M. A.)



現在の生活に不満であるという人(758人)にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が64%で最も多く、次いで「趣味、教養の時間が十分にとれないから」28%、「健康でないから」27%、「悩みや心配ごとがあるから」26%、「家具、車など、欲しいものが買えないから」22%、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」19%などの順となっている。(図1-8-1)

不満の理由を過去との比較でみると、「健康でないから」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「仕事や勉強がうまくいっていないから」が6ポイント減少、「悩みや心配ごとがあるから」が4ポイント減少している。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由—過去との比較

(%)

	n	貯蓄が十分でないから	趣味、教養の時間が十分にとれないから	健康でないから	悩みや心配ごとがあるから	家具、車などが買えないから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	食生活が不十分だから	社会に貢献していないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	わからない
<過去との比較>																
今回調査	758	64.0	27.8	26.6	26.1	21.6	18.9	16.8	13.9	9.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9
29年	728	64.0	29.7	23.2	30.1	22.5	21.0	15.4	19.9	9.6	8.4	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4
28年	750	63.1	27.1	24.9	24.1	19.2	16.5	21.5	15.2	12.4	9.9	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1
27年	856	65.5	28.2	23.1	24.1	19.9	17.4	17.8	14.6	13.8	10.0	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3
26年	804	71.5	28.2	25.0	25.9	23.5	18.4	19.9	16.0	14.1	8.1	10.4	5.2	2.1	5.3	0.9
25年	830	66.9	25.8	22.0	26.1	24.5	17.5	19.5	16.9	10.6	9.3	7.3	5.1	2.3	6.4	2.4
24年	840	63.7	27.1	25.5	28.2	21.1	17.3	18.1	16.3	11.8	9.0	9.9	6.7	2.1	5.2	2.5
23年	858	62.2	28.1	21.9	25.2	20.2	19.3	16.9	19.9	10.3	12.1	6.6	5.8	2.4	6.4	1.3
22年	972	67.3	27.8	24.3	26.0	25.8	17.1	20.1	18.6	15.0	12.6	12.2	5.6	1.5	6.5	0.4
21年	1,014	63.4	26.2	22.5	22.9	25.0	21.0	22.7	18.2	14.3	10.4	11.5	5.0	2.2	5.3	0.6

性・年齢別にみると、女性は男性よりも「悩みや心配ごとがあるから」が13ポイント高くなっている。「健康でないから」は女性70歳以上で5割半ば、男性70歳以上で約4割と多くなっている。「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」は男性50代で約4割と多くなっている。(表1-8-2)

表1-8-2 不満の理由－性・年齢別

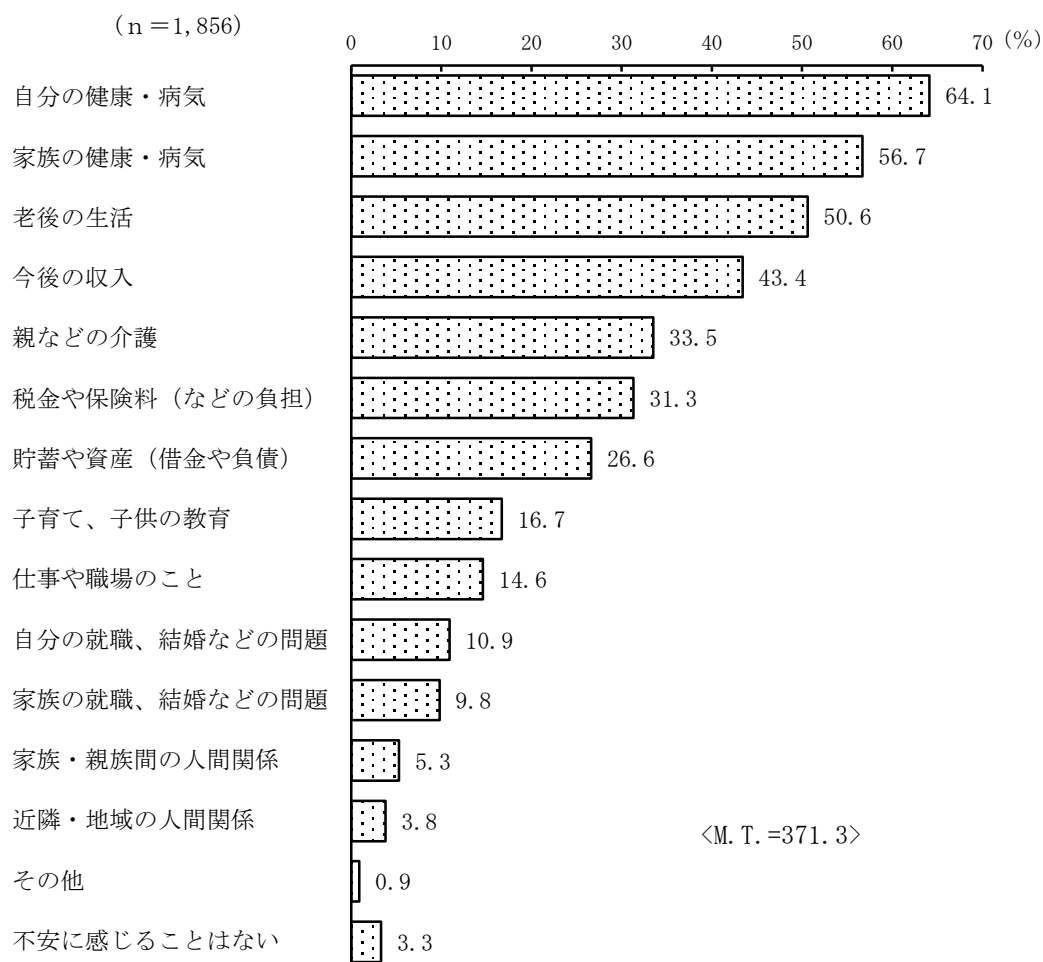
		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	趣味、教養の時間が十分に とれないから	健康でないから	悩みや心配ごとがあるから	家具、車など、欲しいものが 買えないから	スポーツやレジャー活動が 思うようにできないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいって いないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという 充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっ ていないから	友人、知人との人間関係が うまくいっていないから	その他	わからない
全 体	758	64.0	27.8	26.6	26.1	21.6	18.9	16.8	13.9	9.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9
< 性・年齢別 >																
男 性 (計)	414	63.0	26.6	25.4	20.3	25.1	21.5	17.9	14.3	11.4	8.7	7.7	6.3	1.4	6.0	1.2
18・19 歳	3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
20 代	32	59.4	18.8	12.5	12.5	28.1	9.4	21.9	21.9	18.8	12.5	9.4	6.3	6.3	-	-
30 代	42	64.3	47.6	7.1	28.6	50.0	21.4	11.9	16.7	4.8	9.5	9.5	9.5	-	7.1	-
40 代	90	71.1	30.0	12.2	22.2	33.3	23.3	17.8	23.3	7.8	10.0	10.0	8.9	2.2	3.3	2.2
50 代	75	60.0	34.7	26.7	28.0	24.0	40.0	25.3	18.7	13.3	9.3	6.7	4.0	2.7	9.3	1.3
60 代	81	63.0	17.3	37.0	21.0	16.0	16.0	18.5	11.1	12.3	9.9	6.2	3.7	-	6.2	1.2
70 歳以上	91	58.2	17.6	39.6	8.8	13.2	14.3	12.1	-	12.1	4.4	5.5	6.6	-	7.7	1.1
女 性 (計)	344	65.1	29.4	28.2	33.1	17.4	15.7	15.4	13.4	8.1	6.4	7.0	8.4	2.0	7.3	0.6
18・19 歳	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 代	33	81.8	42.4	9.1	33.3	27.3	21.2	27.3	12.1	15.2	6.1	15.2	12.1	9.1	3.0	-
30 代	56	75.0	37.5	12.5	41.1	28.6	17.9	19.6	21.4	10.7	7.1	8.9	3.6	-	7.1	-
40 代	61	70.5	37.7	19.7	37.7	19.7	18.0	11.5	16.4	9.8	-	9.8	11.5	-	4.9	1.6
50 代	46	71.7	15.2	21.7	28.3	19.6	10.9	10.9	17.4	2.2	6.5	2.2	10.9	4.3	6.5	2.2
60 代	63	66.7	28.6	30.2	33.3	12.7	17.5	17.5	14.3	6.3	9.5	3.2	9.5	3.2	14.3	-
70 歳以上	84	42.9	21.4	53.6	27.4	7.1	11.9	11.9	3.6	7.1	8.3	6.0	6.0	-	6.0	-

※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員に)

Q6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありますか。この中からいくつでもお答えください。(M. A.)

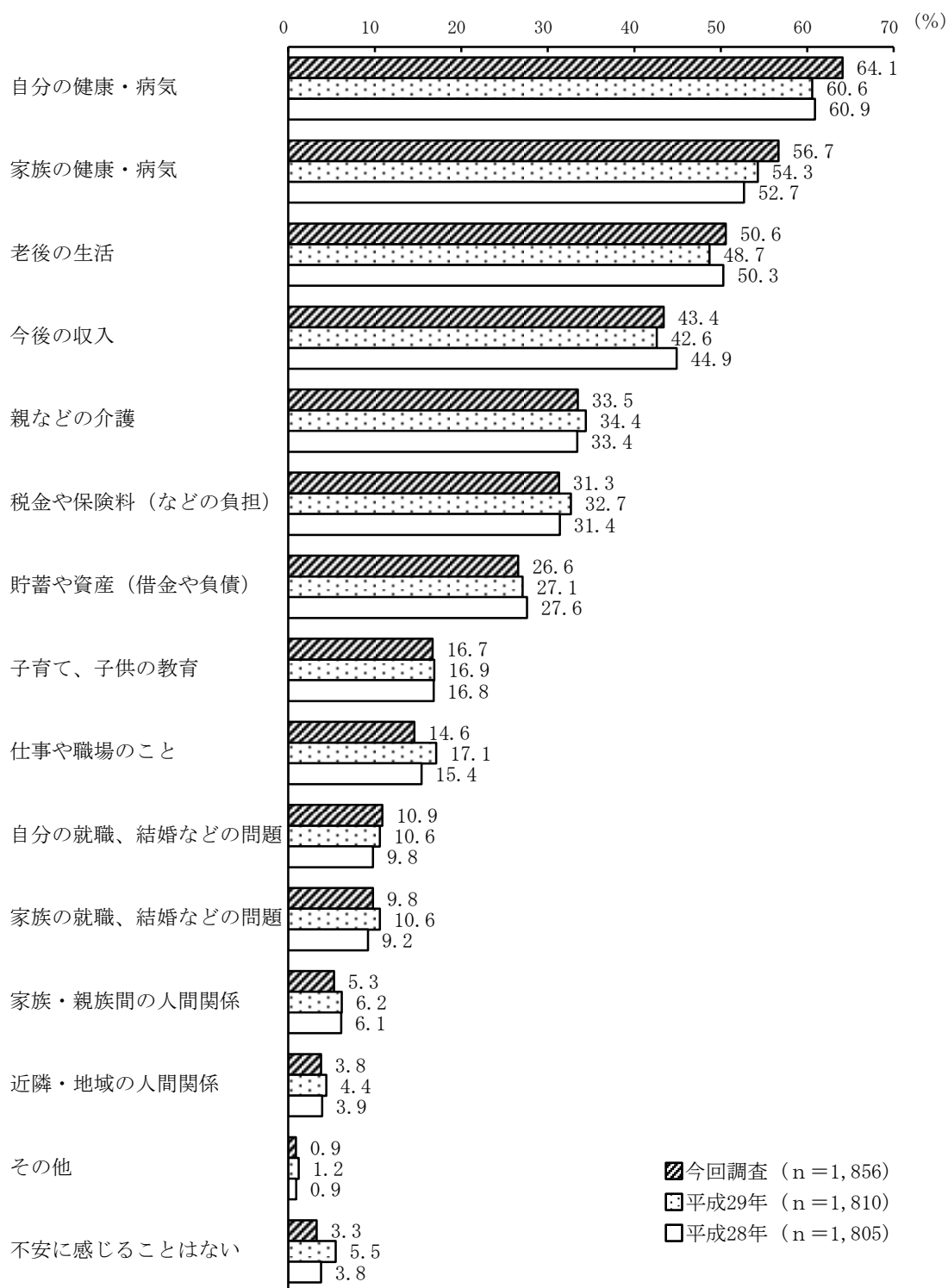


今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が64%で最も多く、次いで「家族の健康・病気」57%、「老後の生活」51%、「今後の収入」43%、「親などの介護」34%、「税金や保険料 (などの負担)」31%などの順となっている。(図1-9-1)

今後の生活の不安を過去との比較でみると、「自分の健康・病気」が4ポイント、「家族の健康・病気」、「老後の生活」で2ポイント増加している。一方、「仕事や職場のこと」は3ポイント減少している。

(図1-9-2)

図1-9-2 今後の生活の不安－過去との比較



性・年齢別にみると、女性は男性よりも「家族の健康・病気」が11ポイント高くなっている。特に女性40代で7割を超えて多くなっている。「自分の健康・病気」はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男女とも60代以上でいずれも7割を超えて多くなっている。「老後の生活」は男性50代、女性50代、60代で6割台と多くなっている。(表1-9-1)

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	親などの介護	税金や保険料(などの負担)	貯蓄や資産(借金や負債)	子育て、子供の教育	仕事や職場のこと	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない
全体	1,856	64.1	56.7	50.6	43.4	33.5	31.3	26.6	16.7	14.6	10.9	9.8	5.3	3.8	0.9	3.3
＜性・年齢別＞																
男性(計)	936	60.6	51.2	47.8	43.8	33.9	32.1	27.0	18.1	15.9	10.3	8.0	3.6	3.2	0.5	4.0
18・19歳	12	33.3	33.3	8.3	25.0	16.7	-	16.7	8.3	16.7	50.0	-	-	-	8.3	8.3
20代	86	43.0	39.5	16.3	46.5	33.7	30.2	30.2	20.9	25.6	37.2	3.5	2.3	5.8	-	7.0
30代	113	48.7	57.5	34.5	54.9	50.4	33.6	38.9	45.1	28.3	18.6	5.3	6.2	3.5	0.9	2.7
40代	198	50.5	51.0	48.5	44.9	52.5	32.3	37.9	33.8	19.7	7.6	6.6	6.1	3.0	0.5	3.0
50代	158	60.1	49.4	63.9	46.2	46.8	32.3	34.2	12.7	18.4	9.5	11.4	3.2	3.8	-	3.8
60代	175	75.4	53.1	54.9	46.9	24.0	32.0	15.4	6.9	9.1	2.9	14.3	1.1	1.1	0.6	2.9
70歳以上	194	74.2	53.6	51.5	31.4	4.6	33.5	12.9	-	4.6	1.0	5.2	3.1	3.6	0.5	5.2
女性(計)	920	67.6	62.3	53.6	43.0	33.0	30.5	26.1	15.3	13.3	11.5	11.5	7.0	4.3	1.2	2.7
18・19歳	8	37.5	62.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	62.5	-	-	-	-	12.5
20代	98	44.9	50.0	32.7	42.9	30.6	36.7	30.6	22.4	20.4	38.8	5.1	8.2	3.1	1.0	5.1
30代	128	59.4	59.4	51.6	56.3	50.8	40.6	46.1	39.1	25.0	26.6	5.5	6.3	3.1	0.8	0.8
40代	145	59.3	71.0	53.1	49.7	62.1	31.0	37.9	34.5	17.9	9.0	9.7	11.7	4.8	0.7	2.8
50代	136	64.7	65.4	64.0	50.7	46.3	30.9	29.4	8.1	16.9	6.6	25.7	6.6	4.4	1.5	2.2
60代	174	77.6	63.2	65.5	52.9	24.7	35.6	20.7	1.7	8.0	3.4	16.7	5.7	4.0	2.3	1.7
70歳以上	231	82.3	61.0	50.2	20.3	5.2	18.2	8.2	1.7	2.6	0.4	6.9	5.2	5.6	0.9	3.5

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収300万円未満の世帯で7割半ばと多くなっている。「親などの介護」は年収900～1,100万円未満の世帯で5割半ばと多くなっている。

生活満足度（Q5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「今後の収入」が26ポイント、「貯蓄や資産（借金や負債）」、「税金や保険料（などの負担）」が21ポイント、「老後の生活」で12ポイント高くなっている。（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

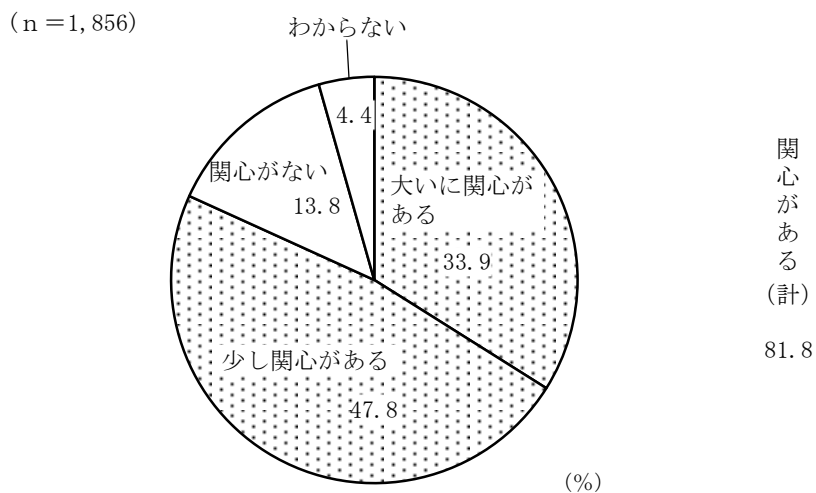
		(%)															
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	親などの介護	税金や保険料（などの負担）	貯蓄や資産（借金や負債）	子育て、子供の教育	仕事や職場のこと	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	
全 体	1,856	64.1	56.7	50.6	43.4	33.5	31.3	26.6	16.7	14.6	10.9	9.8	5.3	3.8	0.9	3.3	
< 世帯年収別 >																	
200 万円 未 満	182	75.3	43.4	52.7	40.1	15.4	26.4	19.2	4.9	11.5	12.1	6.0	4.4	4.4	1.1	2.2	
200 ～ 300 万円 未 満	190	76.3	52.1	51.6	44.2	18.9	35.8	21.1	10.0	18.4	14.2	7.4	6.3	4.7	1.1	4.2	
300 ～ 400 万円 未 満	201	58.7	54.7	55.2	51.7	27.9	37.8	25.9	11.9	9.5	12.9	10.9	2.5	0.5	0.5	3.0	
400 ～ 500 万円 未 満	187	63.6	57.8	50.3	51.9	34.8	34.2	38.0	18.2	13.9	8.0	5.3	4.3	3.2	-	2.1	
500 ～ 700 万円 未 満	252	61.5	59.5	58.3	46.8	44.4	40.1	38.5	25.8	20.2	9.9	13.1	6.3	4.0	0.8	2.0	
700 ～ 900 万円 未 満	168	61.3	61.3	44.0	45.2	40.5	25.0	32.1	23.2	13.7	7.7	15.5	4.2	4.8	-	1.8	
900 ～ 1,100 万円 未 満	139	56.8	65.5	51.8	33.1	54.7	22.3	19.4	25.2	12.9	10.1	12.2	5.8	2.9	0.7	0.7	
1,100 ～ 1,300 万円 未 満	78	59.0	61.5	61.5	48.7	48.7	25.6	26.9	26.9	16.7	7.7	14.1	6.4	1.3	-	1.3	
1,300 ～ 1,500 万円 未 満	42	59.5	64.3	40.5	28.6	26.2	28.6	19.0	19.0	19.0	7.1	11.9	9.5	4.8	7.1	4.8	
1,500 ～ 2,000 万円 未 満	40	50.0	55.0	57.5	40.0	62.5	40.0	20.0	47.5	15.0	7.5	20.0	7.5	10.0	2.5	5.0	
2,000 万 円 以 上	55	63.6	61.8	43.6	25.5	38.2	21.8	16.4	12.7	7.3	7.3	18.2	1.8	3.6	-	9.1	
< 生活満足度別 >																	
大 変 満 足 し て い る	83	51.8	59.0	22.9	21.7	28.9	15.7	13.3	18.1	8.4	10.8	6.0	2.4	-	-	12.0	
ま あ 満 足 し て い る	927	64.7	58.6	48.2	33.5	33.2	23.1	18.2	16.1	10.6	8.3	10.6	3.2	2.9	1.1	3.1	
や や 不 満 で あ る	624	64.4	56.1	56.3	57.4	33.8	41.5	36.5	17.1	17.8	12.7	8.7	7.2	5.0	1.0	1.4	
大 変 不 満 で あ る	134	70.1	51.5	66.4	65.7	43.3	54.5	50.0	20.9	30.6	19.4	14.9	11.2	5.2	-	1.5	
満 足 （ 計 ）	1,010	63.7	58.6	46.1	32.6	32.9	22.5	17.8	16.2	10.4	8.5	10.2	3.2	2.7	1.0	3.9	
不 満 （ 計 ）	758	65.4	55.3	58.0	58.8	35.5	43.8	38.9	17.8	20.1	13.9	9.8	7.9	5.0	0.8	1.5	

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1

(全員に)

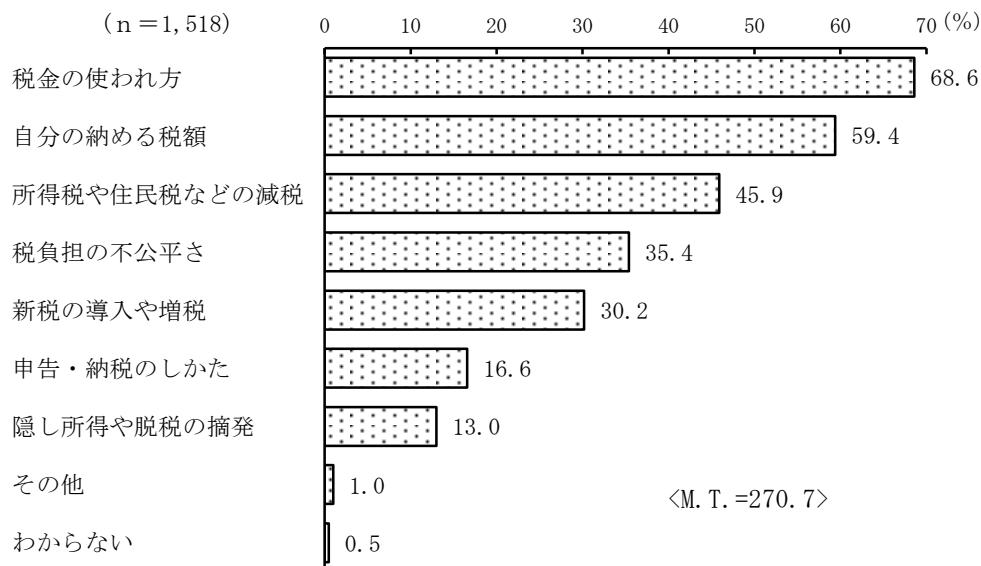
Q7 あなたは、税金について関心がありますか。



(注)『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

(Q7で「大いに興味がある」「少し興味がある」と答えた方に)

SQ では、今、関心をもっているのはどのようなことですか。この中から当てはまるものをいくつかもあげてください。(M. A.)

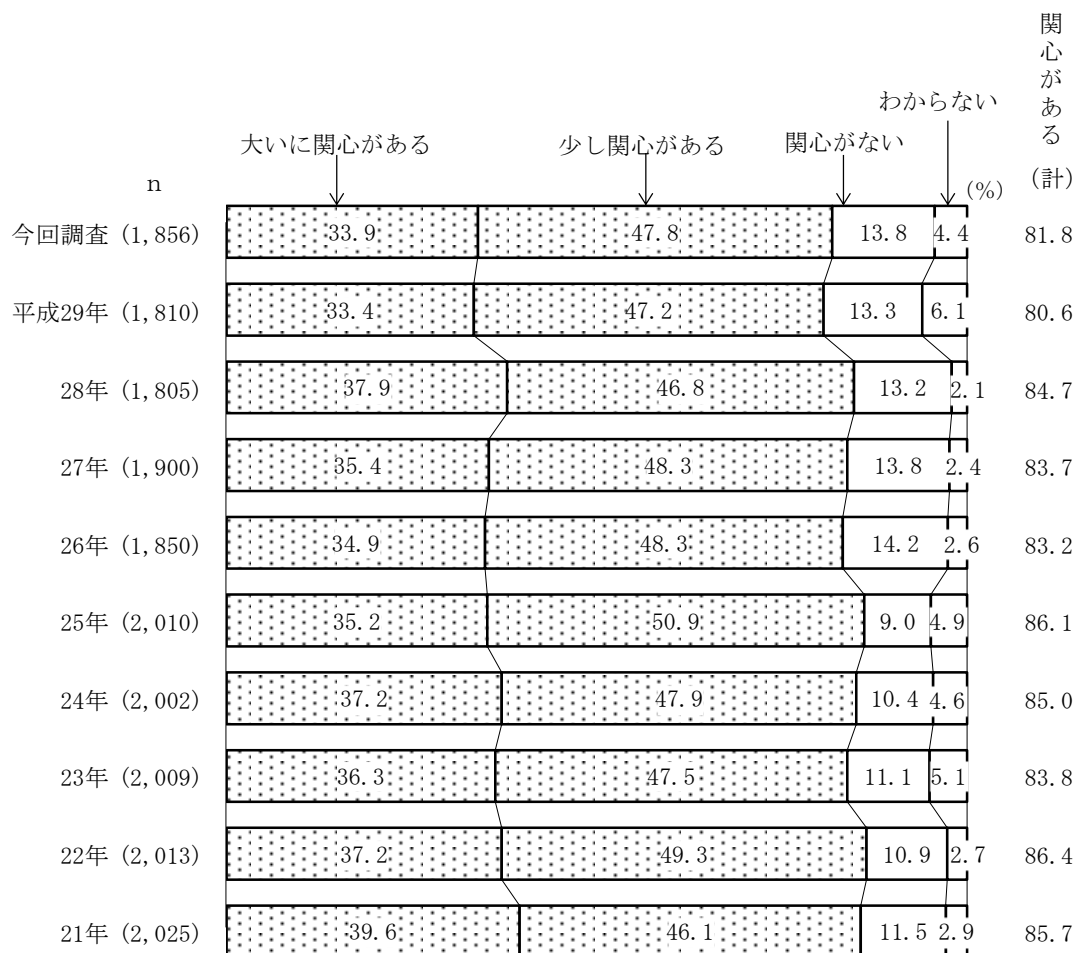


税金について関心があるかどうか聞いたところ、『関心がある (計)』は82%、「関心がない」は14%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,518人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」69%が最も多く、次いで「自分の納める税額」59%、「所得税や住民税などの減税」46%、「税負担の不公平さ」35%、「新税の導入や増税」30%などの順となっている。(図1-10-1)

税金への関心度を過去との比較でみると、『関心がある（計）』は昨年よりも1ポイント増加している。
 (図1-10-2)

図1-10-2 税金への関心度—過去との比較

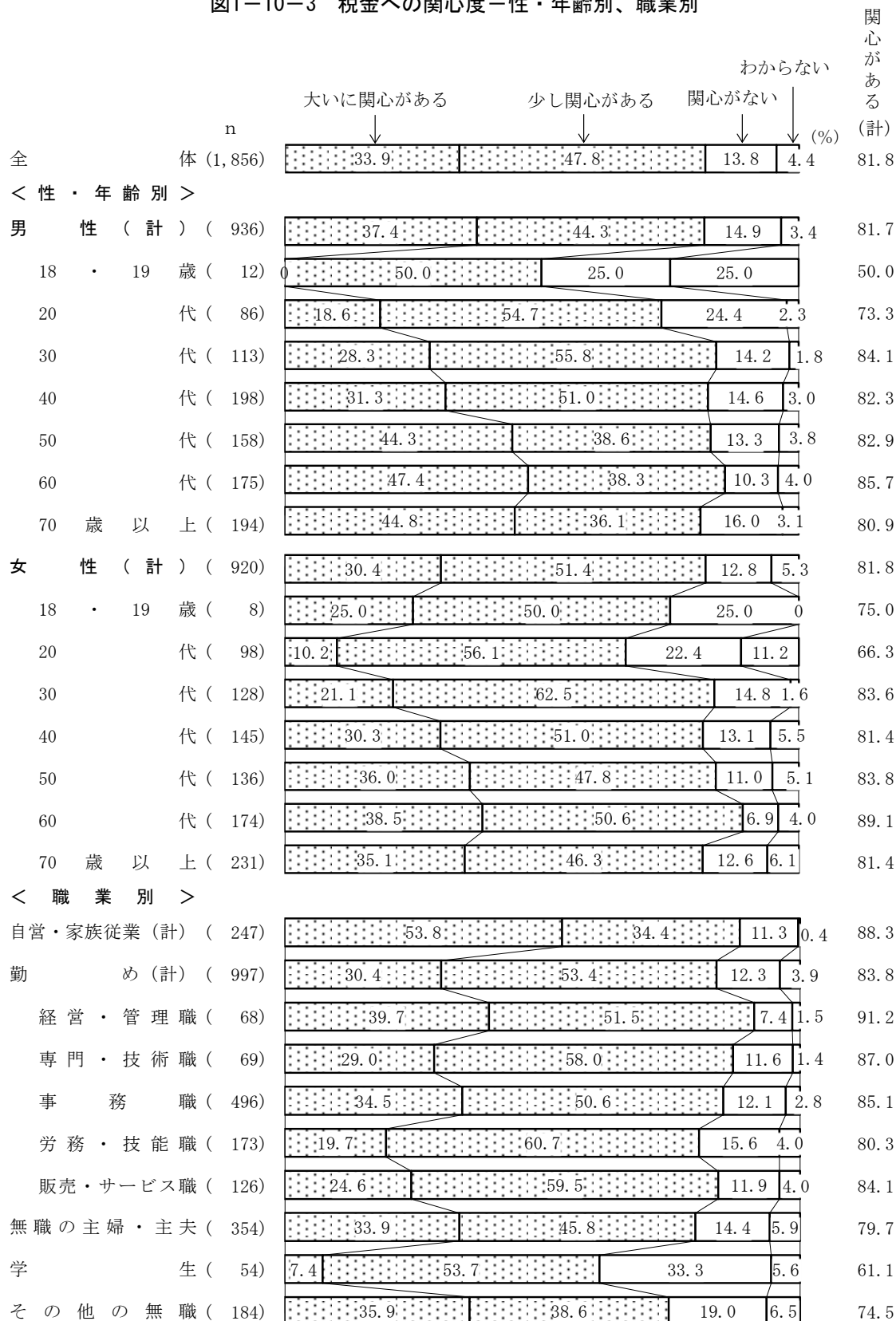


(注) 『関心がある（計）』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

性・年齢別にみると、『関心がある（計）』は女性60代で9割近くと多くなっている。一方、「関心がない」は男女20代で2割台と多くなっている。

職業別にみると、『関心がある（計）』は自営・家族従業で9割近くと多くなっている。一方、「関心がない」は学生で3割を超えて多くなっている。（図1-10-3）

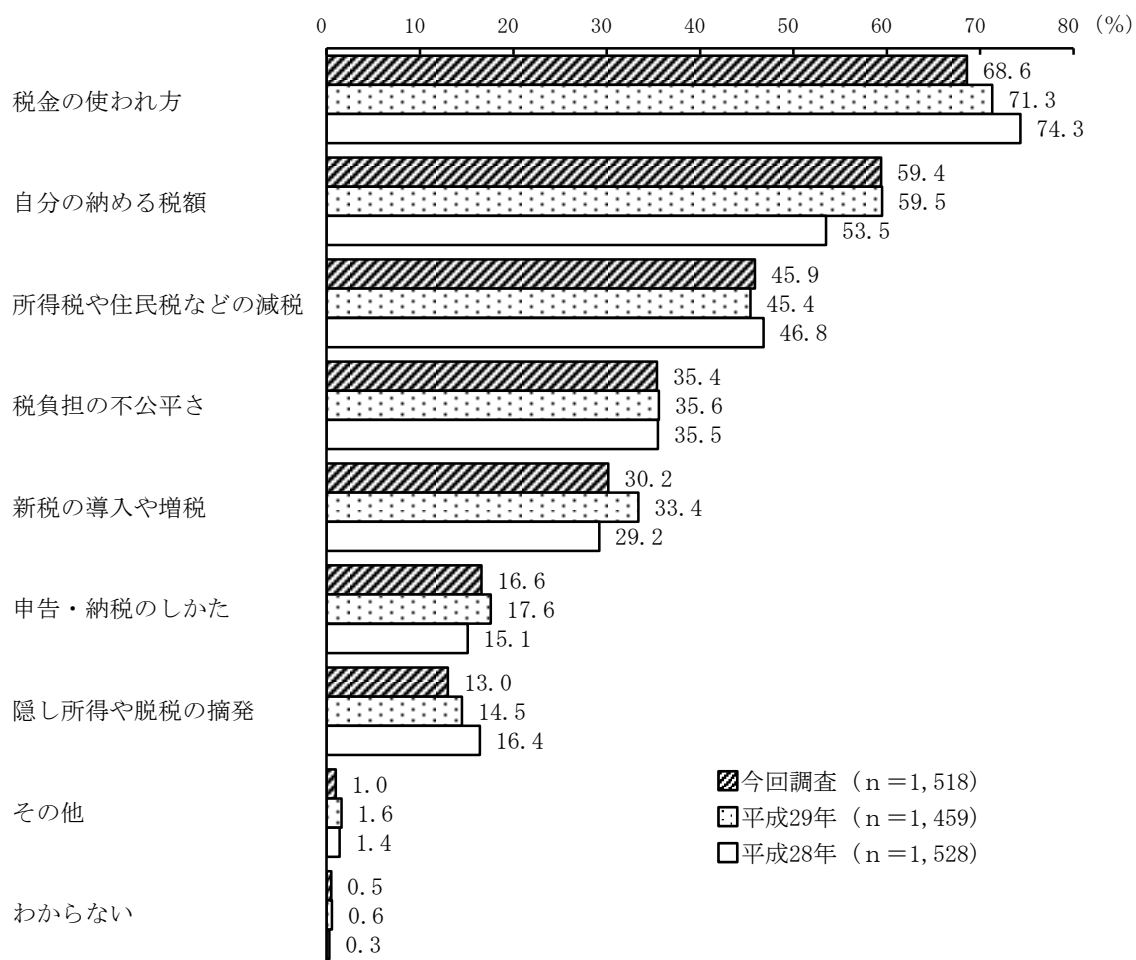
図1-10-3 税金への関心度－性・年齢別、職業別



(注) 『関心がある（計）』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

税金について関心がある内容を過去との比較でみると、「税金の使われ方」と「新税の導入や増税」が、昨年よりも3ポイント減少している。(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容—過去との比較



性・年齢別にみると、「税金の使われ方」は女性50代で8割近くと多くなっている。「自分の納める税額」は男女とも30代で7割を超えて多くなっている。(表1-10-1)

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)										
	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	わからない
全 体	1,518	68.6	59.4	45.9	35.4	30.2	16.6	13.0	1.0	0.5
<性・年齢別>										
男 性 (計)	765	67.7	60.8	45.9	37.9	29.7	15.2	12.8	0.4	0.3
18・19歳	6	16.7	66.7	-	-	16.7	33.3	-	-	-
20代	63	68.3	69.8	39.7	23.8	20.6	33.3	9.5	-	-
30代	95	67.4	71.6	49.5	38.9	33.7	14.7	18.9	-	1.1
40代	163	62.0	62.6	43.6	42.3	31.9	11.7	9.8	0.6	0.6
50代	131	70.2	58.8	50.4	40.5	38.2	14.5	15.3	-	-
60代	150	74.7	56.7	48.0	38.7	29.3	14.7	12.7	0.7	-
70歳以上	157	66.9	54.1	44.6	36.9	22.3	12.1	12.1	0.6	-
女 性 (計)	753	69.5	58.0	45.9	32.9	30.8	18.1	13.1	1.6	0.8
18・19歳	6	50.0	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-
20代	65	61.5	70.8	50.8	16.9	36.9	29.2	12.3	-	-
30代	107	65.4	72.0	57.9	35.5	29.9	18.7	8.4	1.9	-
40代	118	68.6	62.7	47.5	47.5	38.1	13.6	11.0	-	0.8
50代	114	77.2	54.4	45.6	34.2	28.9	13.2	17.5	3.5	-
60代	155	75.5	58.1	47.7	32.3	29.7	27.7	14.2	1.9	-
70歳以上	188	66.0	44.7	36.2	28.2	26.6	11.7	14.4	1.6	2.7

職業別にみると、「所得税や住民税などの減税」は販売・サービス職で6割近くと多くなっている。「申告・納税のしかた」も販売・サービス職で3割近くと多くなっている。

世帯年収別にみると、「自分の納める税額」は年収1,500～2,000万円未満の世帯で7割半ばと多くなっている。「税負担の不公平さ」は年収1,500～2,000万円未満の世帯で6割を超えて多くなっている。

(表1-10-2)

表1-10-2 税金への関心の内容－職業別、世帯年収別

(%)

	n	税金の 使われ方	自分の 納める 税額	減所得 税や 住民 税など の	税負担 の不公平 さ	新税の 導入や 増税	申告・ 納税の しかた	隠し所得 や脱税の 摘発	その他	わからない
全 体	1,518	68.6	59.4	45.9	35.4	30.2	16.6	13.0	1.0	0.5
< 職 業 別 >										
自営・家族従業(計)	218	66.1	63.3	47.7	33.0	30.3	16.5	8.3	0.9	-
勤 め(計)	835	69.7	64.0	49.6	36.3	31.4	16.5	12.3	0.8	0.1
経営・管理職	62	74.2	64.5	46.8	41.9	25.8	11.3	6.5	1.6	-
専門・技術職	60	78.3	63.3	50.0	26.7	23.3	15.0	16.7	-	-
事務職	422	69.2	63.7	47.6	37.0	33.2	15.6	11.8	1.2	0.2
労務・技能職	139	64.7	61.2	50.4	35.3	30.9	14.4	10.1	0.7	-
販売・サービス職	106	68.9	67.9	56.6	32.1	32.1	27.4	12.3	-	-
無職の主婦・主夫	282	69.1	48.2	39.0	37.6	30.5	13.8	17.4	1.8	1.4
学 生	33	48.5	60.6	30.3	18.2	18.2	42.4	3.0	-	-
そ の 他 の 無 職	137	69.3	50.4	38.0	33.6	25.5	16.8	17.5	0.7	1.5
< 世 帯 年 収 別 >										
200 万 円 未 満	121	70.2	46.3	38.0	34.7	27.3	14.9	14.0	1.7	1.7
200～300万円未満	155	63.2	59.4	43.9	32.3	27.1	17.4	21.3	0.6	-
300～400万円未満	167	69.5	62.3	46.1	29.9	24.6	16.2	13.8	-	0.6
400～500万円未満	154	70.8	65.6	47.4	32.5	35.7	13.0	13.0	0.6	0.6
500～700万円未満	227	67.4	63.0	48.0	38.8	31.3	21.1	14.1	1.8	-
700～900万円未満	148	66.9	60.8	52.0	34.5	31.8	20.3	10.1	-	-
900～1,100万円未満	117	68.4	63.2	40.2	36.8	30.8	11.1	13.7	2.6	-
1,100～1,300万円未満	69	76.8	60.9	49.3	43.5	26.1	10.1	13.0	-	-
1,300～1,500万円未満	40	62.5	65.0	57.5	40.0	30.0	22.5	7.5	-	-
1,500～2,000万円未満	38	73.7	76.3	42.1	60.5	39.5	18.4	10.5	2.6	-
2,000万円以上	47	72.3	59.6	51.1	36.2	36.2	14.9	6.4	-	-

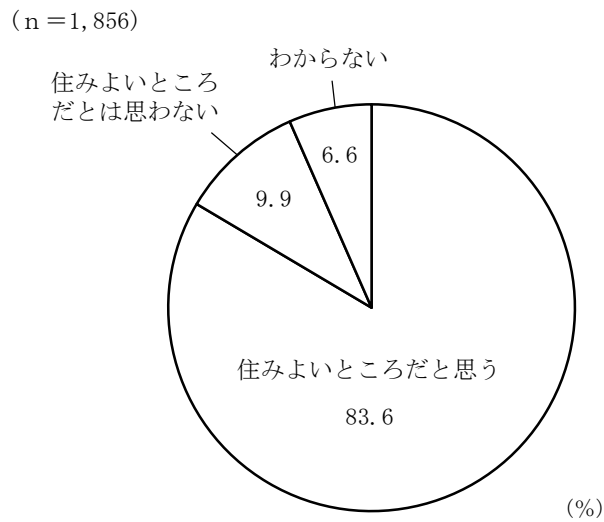
2 住んでいる地域

※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員に)

Q8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。

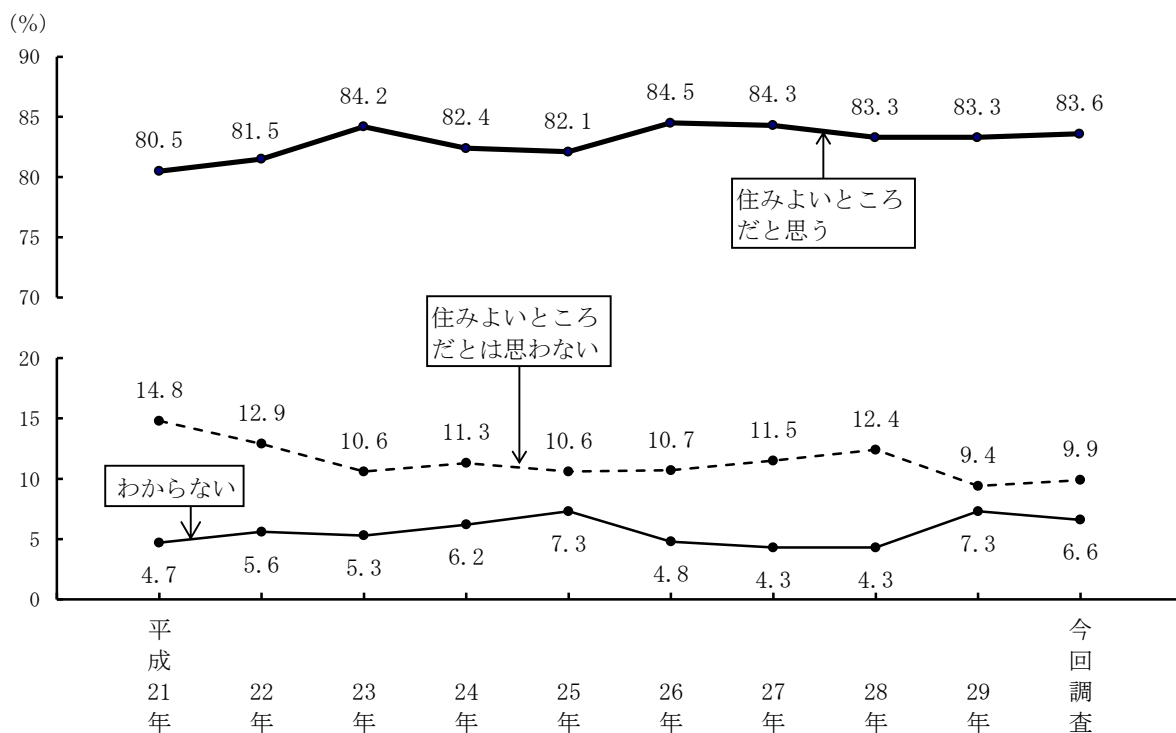


今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は84%、「住みよいところだとは思わない」は10%、「わからない」は7%となっている。(図2-1-1)

地域の住みよさを過去との比較で見ると、「住みよいところだとは思わない」は昨年よりも1ポイント増加している。(図2-1-2)

なお、地域の住みよさの昭和56年からの時系列比較を巻末の付属資料(P138 図5)に掲載している。

図2-1-2 地域の住みよさー過去との比較



エリア別にみると、すべてのエリアで「住みよいところだと思う」は多摩東部で9割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(図2-1-3)

図2-1-3 地域の住みよさ—エリア別、性・年齢別

	n	住みよさ		
		住みよいところだと思う	わからない	住みよいところだとは思わない
全体	(1,856)	83.6	6.6	9.9
< エリア別 >				
区部(計)	(1,184)	82.1	7.3	10.6
センター・コア	(306)	84.6	7.2	8.2
区部東部・北部	(389)	80.7	7.5	11.8
区部西部・南部	(489)	81.6	7.2	11.2
市町村部(計)	(672)	86.2	5.4	8.5
多摩東部	(254)	89.0	3.5	7.5
多摩中央部北	(99)	87.9	5.1	7.1
多摩中央部南	(270)	83.3	6.7	10.0
多摩西部・島しょ	(49)	83.7	8.2	8.2
< 性・年齢別 >				
男性(計)	(936)	83.5	6.5	9.9
18・19歳	(12)	66.7	33.3	0
20代	(86)	83.7	4.7	11.6
30代	(113)	84.1	6.2	9.7
40代	(198)	85.9	5.6	8.6
50代	(158)	79.7	8.9	11.4
60代	(175)	83.4	8.0	8.6
70歳以上	(194)	85.1	3.6	11.3
女性(計)	(920)	83.6	6.6	9.8
18・19歳	(8)	100.0	0	0
20代	(98)	82.7	9.2	8.2
30代	(128)	79.7	7.8	12.5
40代	(145)	84.1	6.2	9.7
50代	(136)	81.6	10.3	8.1
60代	(174)	84.5	5.2	10.3
70歳以上	(231)	85.7	4.3	10.0

住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」は持家（計）で9割近くと多くなっており、持家以外（計）よりも11ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みよいところだと思う」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高くなる傾向があり、30年以上で9割近くと多くなっている。「住みよいところだとは思わない」は1～3年未満で2割近くと多くなっている。（図2-1-4）

図2-1-4 地域の住みよさ－住居形態別、地域居住年数別

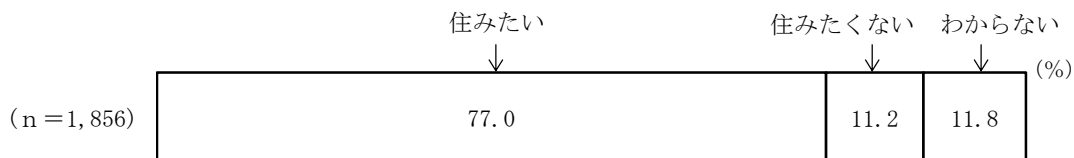
n	住みよいところだと思う	住みよいところだとは思わない	
		わからない	
全体 (1,856)	83.6	6.6	9.9
< 住居形態別 >			
持家（計） (1,209)	87.4	5.3	7.3
持家（一戸建） (1,031)	87.2	5.3	7.5
持家（分譲マンションなど集合住宅） (178)	88.8	5.1	6.2
持家以外（計） (635)	76.4	9.0	14.6
民間の借家（一戸建） (41)	70.7	4.9	24.4
民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅） (435)	77.9	8.7	13.3
都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート (110)	72.7	11.8	15.5
社宅・公務員住宅など給与住宅 (29)	82.8	3.4	13.8
住み込み・寮・寄宿舎など (6)	50.0	0	50.0
< 地域居住年数別 >			
1年未満 (56)	80.4	8.9	10.7
1～3年未満 (133)	74.4	9.0	16.5
3～5年未満 (101)	82.2	5.9	11.9
5～10年未満 (182)	79.7	7.1	13.2
10～15年未満 (189)	79.9	6.3	13.8
15～20年未満 (135)	83.0	5.9	11.1
20～30年未満 (245)	86.1	6.9	6.9
30年以上 (795)	86.8	5.8	7.4

※2-2 地域定住意向

図2-2-1

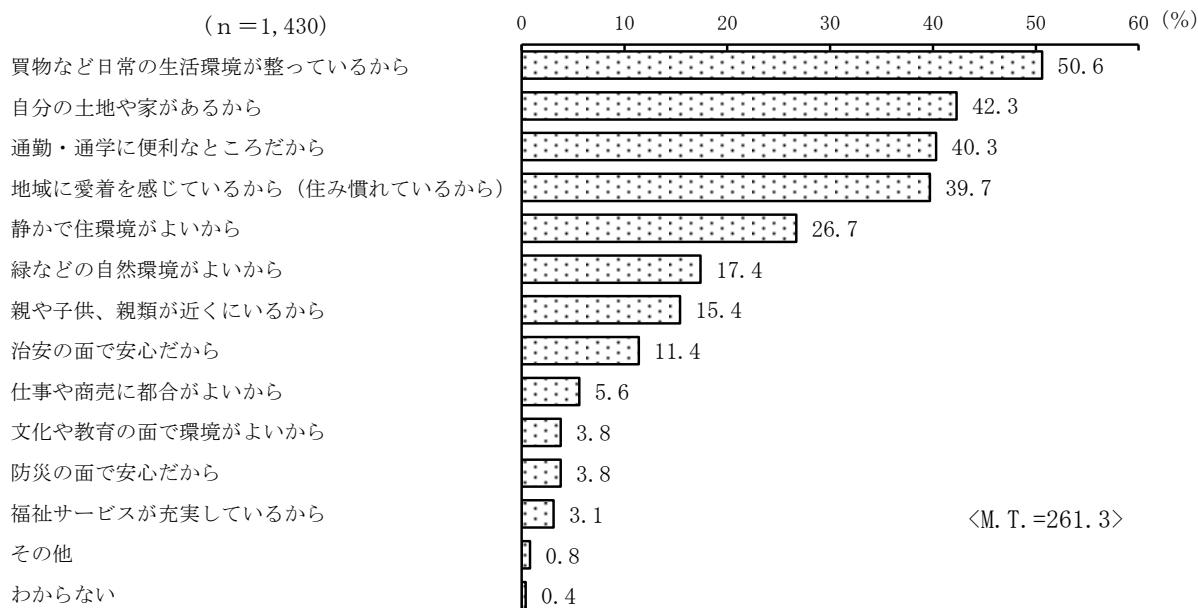
(全員に)

Q9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたのお気持ちをお答えください。



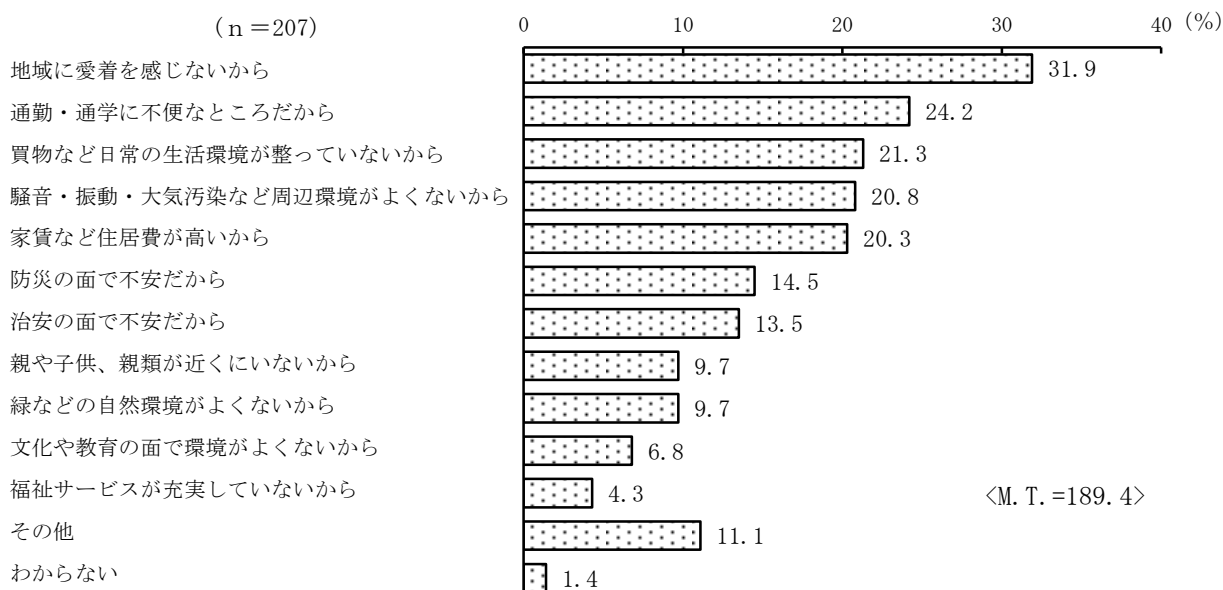
(Q9で「住みたい」と答えた方に)

SQ1 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



(Q9で「住みたくない」と答えた方に)

SQ2 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は77%、「住みたくない」は11%となっている。

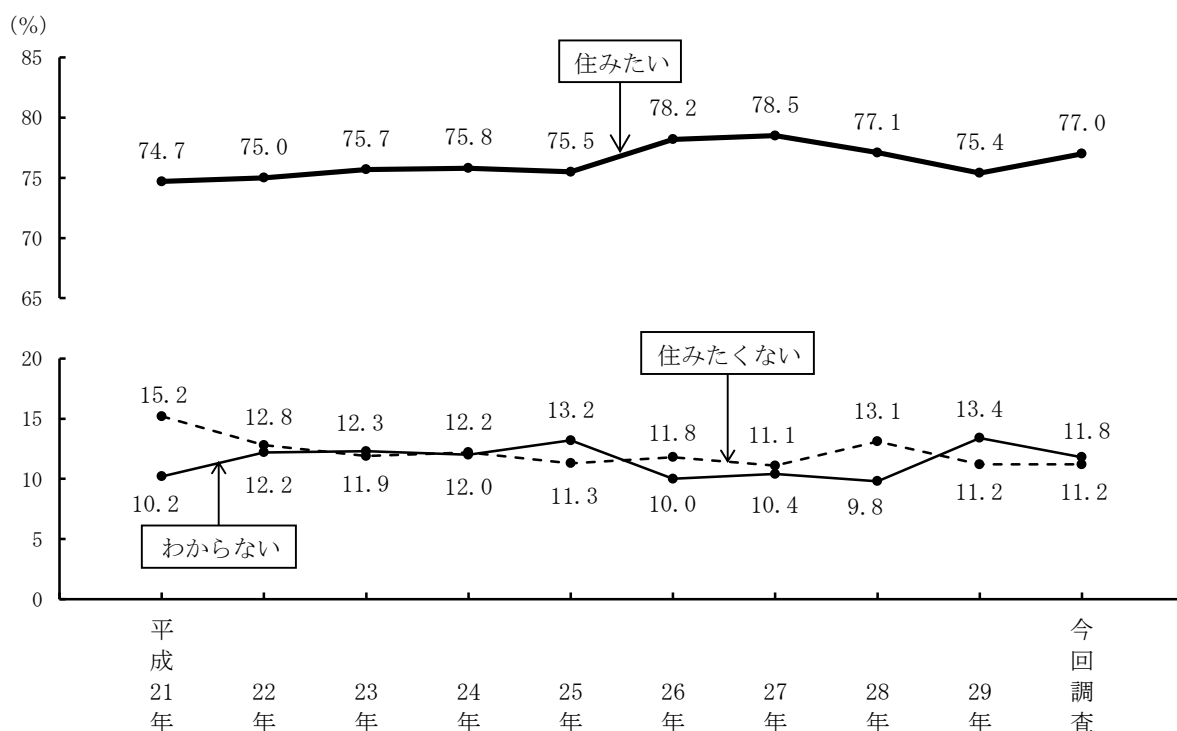
「住みたい」と答えた人(1,430人)に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が51%で最も多く、次いで「自分の土地や家があるから」42%、「通勤・通学に便利などところだから」、「地域に愛着を感じているから(住み慣れているから)」40%、「静かで住環境がよいから」27%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人(207人)に、その理由を聞いたところ、「地域に愛着を感じないから」が32%で最も多く、「通勤・通学に不便なところだから」24%、「買物など日常の生活環境が整っていないから」、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」21%、「家賃など住居費が高いから」20%などの順となっている。(図2-2-1)

地域定住意向を過去との比較でみると、「住みたい」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「住みたくない」は昨年と同じ値となっている。(図2-2-2)

なお、地域定住意向の昭和52年からの時系列比較を巻末の付属資料(P139 図6)に掲載している。

図2-2-2 地域定住意向—過去との比較



エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みたい」は女性70歳以上で9割近くと多くなっている。一方、「住みたくない」は女性30代で約2割、男性20代で2割近くとなっている。(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別

		住みたい	わからない	住みたくない	(%)
全	体 (1,856)	77.0	11.8	11.2	
< エリア別 >					
区	部 (計) (1,184)	76.4	12.2	11.4	
	センター・コア (306)	79.1	9.8	11.1	
	区部東部・北部 (389)	75.6	12.3	12.1	
	区部西部・南部 (489)	75.3	13.7	11.0	
市町村部	(計) (672)	78.3	11.0	10.7	
	多摩東部 (254)	76.0	11.4	12.6	
	多摩中央部北 (99)	78.8	12.1	9.1	
	多摩中央部南 (270)	80.4	9.6	10.0	
	多摩西部・島しょ (49)	77.6	14.3	8.2	
< 性・年齢別 >					
男	性 (計) (936)	77.6	10.8	11.6	
	18・19歳 (12)	66.7	33.3	0	
	20代 (86)	69.8	11.6	18.6	
	30代 (113)	70.8	14.2	15.0	
	40代 (198)	81.3	11.1	7.6	
	50代 (158)	75.9	10.1	13.9	
	60代 (175)	78.3	13.1	8.6	
	70歳以上 (194)	82.5	5.2	12.4	
女	性 (計) (920)	76.5	12.8	10.7	
	18・19歳 (8)	87.5		12.5	0
	20代 (98)	62.2	21.4	16.3	
	30代 (128)	65.6	14.8	19.5	
	40代 (145)	73.1	16.6	10.3	
	50代 (136)	77.9	14.0	8.1	
	60代 (174)	80.5	9.2	10.3	
	70歳以上 (231)	86.6	7.8	5.6	

住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割を超え、持家以外（計）よりも14ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高くなっており、30年以上で8割半ばと多くなっている。一方、「住みたくない」は3年未満で2割を超えて多くなっている。

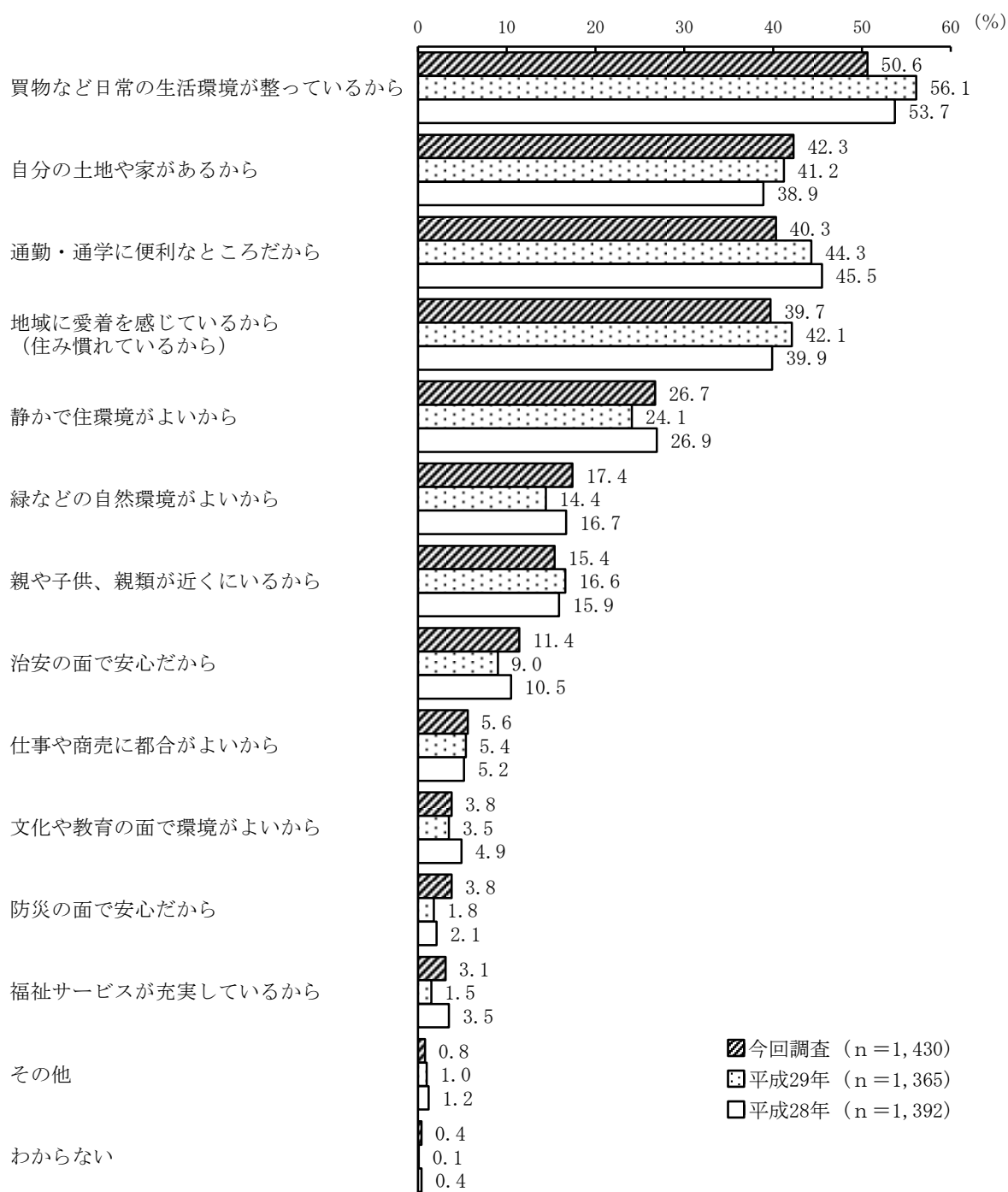
地域の住みよさ（Q8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思う”と答えた人で9割近くと多くなっている。一方、「住みたくない」は“住みよいところとは思わない”と答えた人で7割近くと多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別

	n	住居形態別		
		住みたい ↓	わからない ↓	住みたくない ↓
全体	(1,856)	77.0	11.8	11.2
< 住居形態別 >				
持家（計）	(1,209)	82.1	10.1	7.8
持家（一戸建）	(1,031)	81.9	10.2	8.0
持家（分譲マンション など集合住宅）	(178)	83.7	9.6	6.7
持家以外（計）	(635)	67.7	14.6	17.6
民間の借家（一戸建）	(41)	68.3	12.2	19.5
民間の借家（賃貸マンション ・アパートなど集合住宅）	(435)	67.4	14.0	18.6
都市機構（旧公団）・公社・ 公営の賃貸住宅・アパート	(110)	70.9	19.1	10.0
社宅・公務員住宅 など給与住宅	(29)	62.1	17.2	20.7
住み込み・寮・寄宿舎など	(6)	50.0	0	50.0
< 地域居住年数別 >				
1年未満	(56)	69.6	8.9	21.4
1～3年未満	(133)	63.2	15.8	21.1
3～5年未満	(101)	70.3	15.8	13.9
5～10年未満	(182)	69.2	13.7	17.0
10～15年未満	(189)	75.1	13.2	11.6
15～20年未満	(135)	72.6	10.4	17.0
20～30年未満	(245)	77.1	13.9	9.0
30年以上	(795)	84.2	9.1	6.8
< 地域の住みよさ別 >				
住みよいところ だと思う	(1,551)	88.8		6.8
住みよいところ とは思わない	(183)	16.4	14.2	69.4

居住地に住みたい理由を過去との比較でみると、「緑などの自然環境がよいから」と「静かで住環境がよいから」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「買物など日常生活環境が整っているから」は昨年よりも6ポイント、「通勤・通学に便利なところだから」は昨年よりも4ポイント減少している。(図2-2-5)

図2-2-5 居住地に住みたい理由—過去との比較



居住地に住みたい理由をエリア別にみると、区部（計）は市町村部（計）よりも「通勤・通学に便利なところだから」で21ポイント、「買物など日常の生活環境が整っているから」で11ポイント高くなっている。一方、市町村部（計）は区部（計）よりも「緑などの自然環境がよいから」で20ポイント、「静かで住環境がよいから」で16ポイント高くなっている。

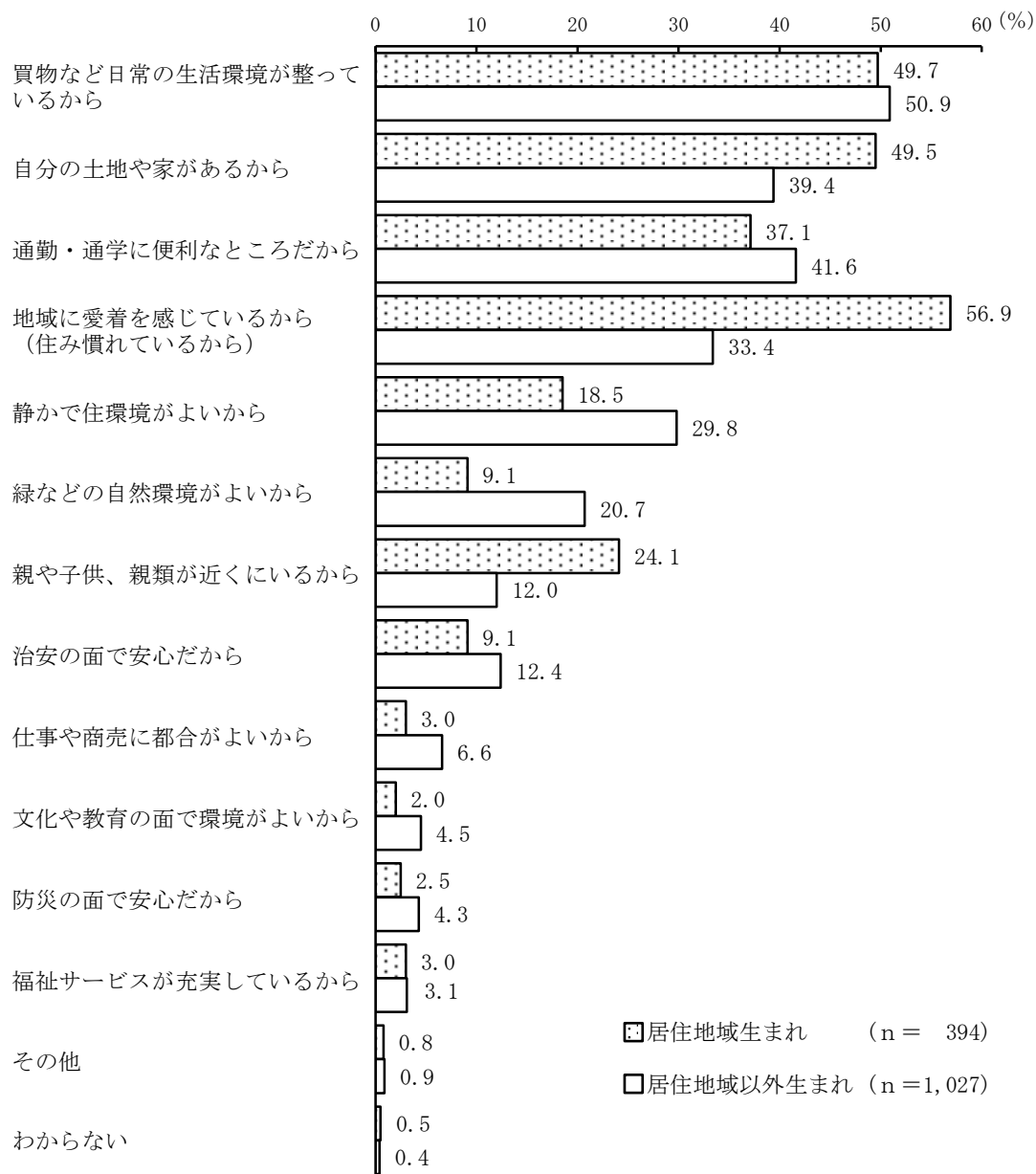
性・年齢別にみると、「買物など日常の生活環境が整っているから」は女性40代で6割を超えて多くなっている。「自分の土地や家があるから」は男性70歳以上で6割を超えている。女性60代以上でも5割を超えており、男女とも多くなっている。「通勤・通学に便利なところだから」は男女とも20代から40代で5割台と多くなっている。「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」は女性60代で5割を超えて多くなっている。（表2-2-1）

表2-2-1 居住地に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

		(%)													
	n	買物など日常の生活環境が整っているから	自分の土地や家があるから	通勤・通学に便利なおところから	地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）	静かで住環境がよいから	緑などの自然環境がよいから	親や子供、親類が近くにいます	治安の面で安心だから	仕事や商売に都合がよいから	文化や教育の面で環境がよいから	防災の面で安心だから	福祉サービスが充実しているから	その他	わからない
全体	1,430	50.6	42.3	40.3	39.7	26.7	17.4	15.4	11.4	5.6	3.8	3.8	3.1	0.8	0.4
< エリア別 >															
区部（計）	904	54.4	40.3	48.1	41.0	20.9	10.2	13.5	13.1	6.3	4.2	3.2	3.0	0.9	0.6
センター・コア	242	52.9	37.6	55.8	42.1	16.5	5.4	10.3	20.7	8.3	7.0	3.3	1.2	0.8	0.4
区部東部・北部	294	51.0	43.9	45.9	45.2	18.4	8.5	19.0	5.8	5.4	2.4	2.0	5.4	1.4	0.3
区部西部・南部	368	58.2	39.1	44.8	37.0	25.8	14.7	11.1	13.9	5.7	3.8	4.1	2.2	0.5	0.8
市町村部（計）	526	43.9	45.8	26.8	37.5	36.7	29.8	18.6	8.6	4.4	3.2	4.8	3.2	0.8	0.2
多摩東部	193	40.4	38.9	31.6	35.8	45.1	31.1	16.1	10.9	5.7	3.1	3.1	3.1	-	-
多摩中央部北	78	67.9	48.7	21.8	37.2	23.1	24.4	23.1	3.8	2.6	5.1	7.7	6.4	2.6	-
多摩中央部南	217	38.2	49.8	24.9	40.1	33.2	30.9	18.4	8.3	4.1	3.2	4.6	1.8	0.9	0.5
多摩西部・島しょ	38	44.7	52.6	23.7	31.6	42.1	28.9	23.7	7.9	2.6	-	7.9	5.3	-	-
< 性・年齢別 >															
男性（計）	726	46.4	42.1	42.1	39.4	26.9	19.1	13.4	11.6	5.6	3.4	4.4	1.9	0.8	0.7
18・19歳	8	25.0	12.5	37.5	25.0	37.5	12.5	25.0	12.5	-	25.0	12.5	-	-	-
20代	60	43.3	10.0	53.3	33.3	28.3	16.7	13.3	13.3	8.3	3.3	3.3	-	-	1.7
30代	80	43.8	26.3	57.5	36.3	27.5	27.5	20.0	13.8	3.8	3.8	5.0	1.3	1.3	-
40代	161	44.7	41.0	56.5	35.4	24.2	19.3	11.8	8.7	7.5	3.7	1.9	1.9	0.6	1.2
50代	120	49.2	40.0	43.3	35.0	27.5	15.0	15.8	10.8	5.0	3.3	2.5	2.5	0.8	0.8
60代	137	46.0	48.9	37.2	47.4	24.8	15.3	10.2	11.7	6.6	5.1	6.6	5.1	0.7	-
70歳以上	160	50.0	60.6	19.4	44.4	29.4	22.5	11.9	13.1	3.8	0.6	6.3	-	1.3	0.6
女性（計）	704	54.8	42.5	38.4	40.1	26.6	15.6	17.5	11.2	5.5	4.3	3.1	4.3	0.9	0.1
18・19歳	7	85.7	28.6	42.9	57.1	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-
20代	61	52.5	9.8	57.4	32.8	27.9	14.8	16.4	16.4	3.3	4.9	1.6	3.3	1.6	-
30代	84	56.0	23.8	59.5	34.5	16.7	20.2	23.8	9.5	6.0	7.1	2.4	3.6	1.2	-
40代	106	61.3	31.1	54.7	32.1	30.2	14.2	18.9	11.3	5.7	4.7	1.9	4.7	0.9	-
50代	106	53.8	41.5	44.3	37.7	23.6	12.3	17.9	11.3	8.5	6.6	3.8	2.8	-	0.9
60代	140	53.6	55.0	35.0	52.1	25.7	14.3	16.4	9.3	10.7	4.3	2.1	2.9	-	-
70歳以上	200	52.0	58.5	14.0	41.0	31.0	18.0	15.0	11.5	1.0	1.5	5.0	6.5	1.5	-

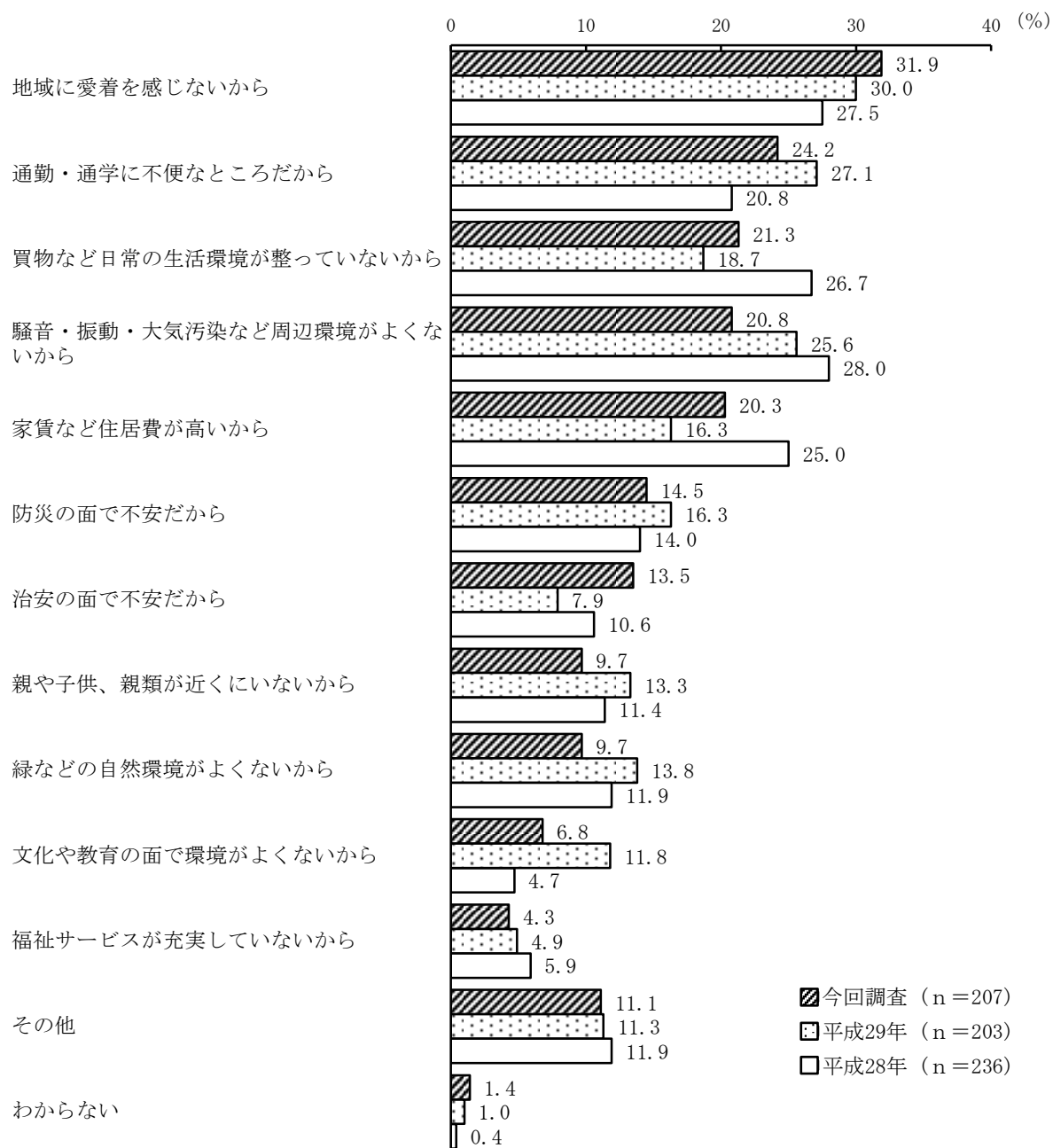
地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が24ポイント、「親や子供、親類が近くにいるから」が12ポイント、「自分の土地や家があるから」が10ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「緑などの自然環境がよいから」が12ポイント、「静かで住環境がよいから」が11ポイント高くなっている。（図2-2-6）

図2-2-6 居住地域に住みたい理由—地域生まれか否か別



居住地域に住みたくない理由を過去との比較で見ると、「治安の面で不安だから」が昨年よりも6ポイント、「家賃など住居費が高いから」が昨年よりも4ポイント高くなっている。一方、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」が昨年よりも5ポイント減少している。(図2-2-7)

図2-2-7 居住地域に住みたくない理由－過去との比較



エリア別にみると、市町村部（計）は区部（計）よりも「通勤・通学に不便なところだから」で12ポイント高くなっている。一方、区部（計）は市町村部（計）よりも「防災の面で不安だから」は区部（計）で12ポイント高くなっている。

性別、年齢別にみると、大きな差はみられない。（表2-2-2）

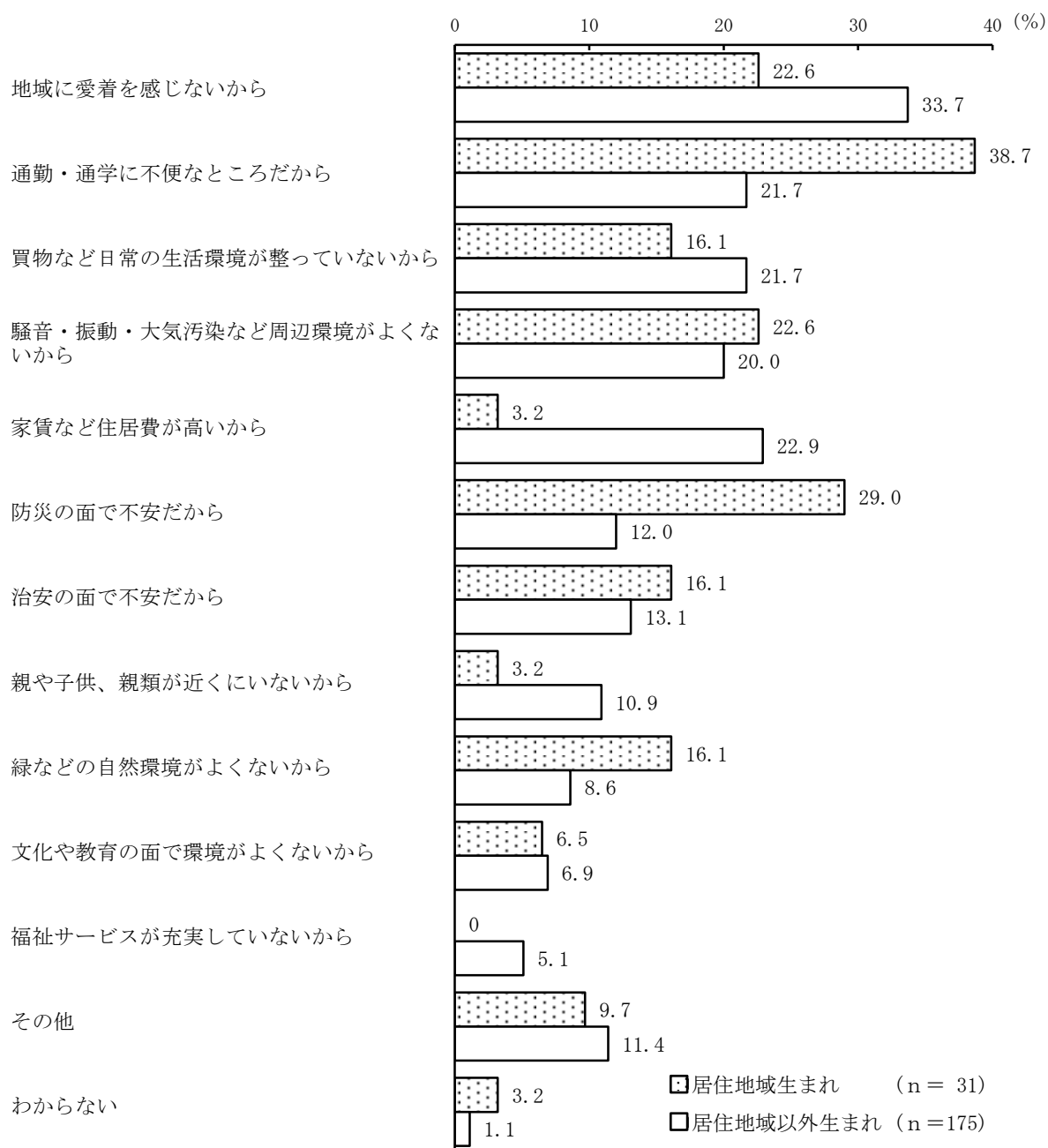
表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	地域に愛着を感じないから	通勤・通学に不便なところだから	整つていないから	買物など日常生活環境が	周辺環境がよくないから	騒音・振動・大気汚染など	家賃など住居費が高いから	防災の面で不安だから	治安の面で不安だから	親や子供、親類が近くにいないから	緑などの自然環境がよくないから	文化や教育の面で環境がよくないから	福祉サービスが充実していないから	その他	わからない
全 体	207	31.9	24.2	21.3	20.8	20.3	14.5	13.5	9.7	9.7	6.8	4.3	11.1	1.4		
< エリア別 >																
区 部（計）	135	30.4	20.0	20.0	23.7	21.5	18.5	14.8	8.9	13.3	7.4	3.0	11.9	2.2		
センター・コア	34	26.5	8.8	17.6	29.4	29.4	23.5	8.8	8.8	17.6	5.9	2.9	14.7	2.9		
区部東部・北部	47	36.2	23.4	14.9	17.0	8.5	25.5	19.1	6.4	10.6	8.5	2.1	17.0	2.1		
区部西部・南部	54	27.8	24.1	25.9	25.9	27.8	9.3	14.8	11.1	13.0	7.4	3.7	5.6	1.9		
市町村部（計）	72	34.7	31.9	23.6	15.3	18.1	6.9	11.1	11.1	2.8	5.6	6.9	9.7	-		
多摩東部	32	31.3	31.3	9.4	18.8	34.4	3.1	6.3	15.6	3.1	3.1	6.3	6.3	-		
多摩中央部北	9	44.4	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	-	11.1	11.1	11.1	-		
多摩中央部南	27	40.7	29.6	44.4	14.8	-	11.1	18.5	-	3.7	-	3.7	14.8	-		
多摩西部・島しょ	4	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-		
< 性別 >																
男 性	109	30.3	23.9	21.1	20.2	19.3	17.4	15.6	8.3	11.9	6.4	4.6	11.0	1.8		
女 性	98	33.7	24.5	21.4	21.4	21.4	11.2	11.2	11.2	7.1	7.1	4.1	11.2	1.0		
< 年齢別 >																
18 ・ 19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20 代	32	25.0	40.6	25.0	15.6	37.5	9.4	12.5	9.4	9.4	6.3	-	6.3	-		
30 代	42	26.2	33.3	16.7	21.4	26.2	7.1	16.7	21.4	14.3	9.5	-	4.8	2.4		
40 代	30	43.3	13.3	16.7	23.3	13.3	16.7	13.3	13.3	3.3	10.0	6.7	20.0	-		
50 代	33	42.4	30.3	12.1	24.2	15.2	12.1	24.2	6.1	12.1	9.1	9.1	9.1	-		
60 代	33	30.3	24.2	24.2	21.2	18.2	30.3	9.1	3.0	6.1	-	3.0	15.2	-		
70 歳 以 上	37	27.0	2.7	32.4	18.9	10.8	13.5	5.4	2.7	10.8	5.4	8.1	13.5	5.4		

地域生まれか否か別にみると、「通勤・通学に不便なところだから」と「防災の面で不安だから」は居住地域生まれの人が居住地域以外生まれの人よりも17ポイント高くなっている。一方、「地域に愛着を感じないから」は居住地域以外生まれの人が居住地域生まれの人よりも11ポイント高くなっている。
(図2-2-8)

図2-2-8 居住地域に住みたくない理由－地域生まれか否か別



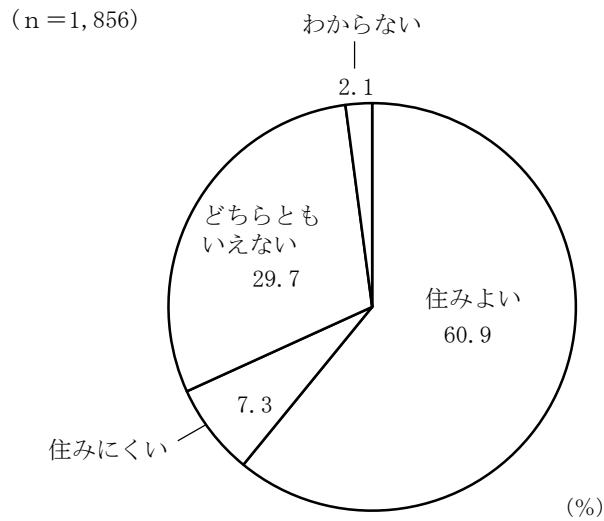
3 東京

※3-1 東京の住みよさ

図3-1-1

(全員に)

Q10 ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて、住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。

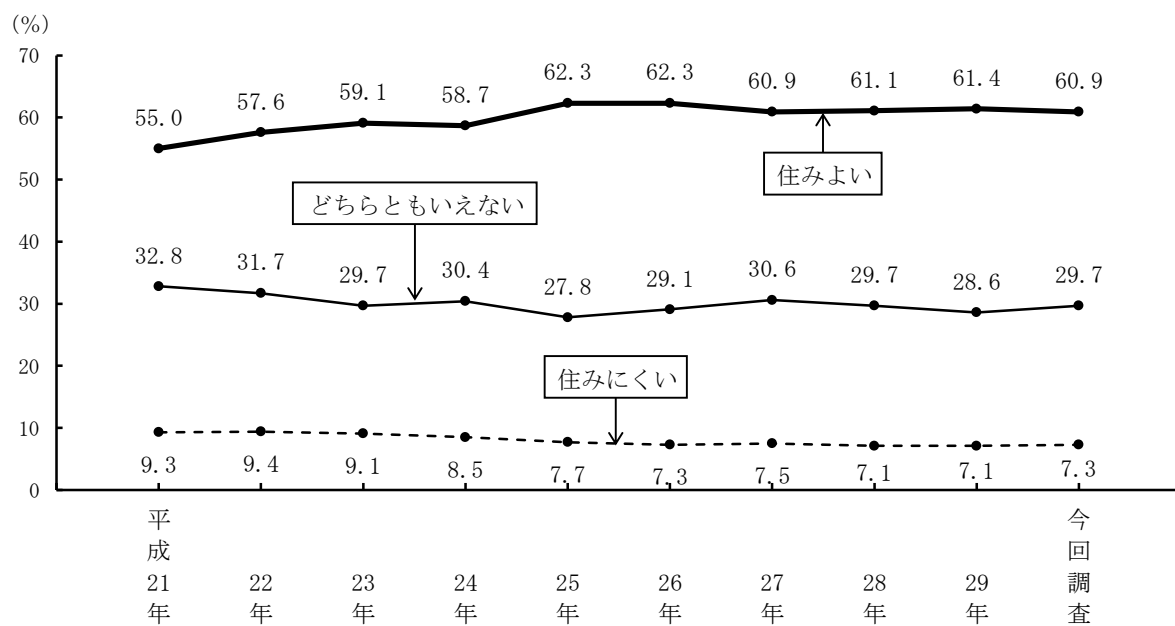


東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は61%、「住みにくい」は7%、「どちらともいえない」は30%となっている。(図3-1-1)

東京の住みよさを過去との比較で見ると、「どちらともいえない」は昨年より1ポイント増加している。一方、「住みよい」は昨年より1ポイント減少している。(図3-1-2)

なお、東京の住みよさの昭和52年からの時系列比較を巻末の付属資料(P140 図7)に掲載している。

図3-1-2 東京の住みよさー過去との比較



エリア別にみると、「住みよい」はセンター・コアで7割近くと多くなっている。一方、「住みにくい」は多摩中央部北で2割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、「住みよい」は女性70歳以上で約7割、男性70歳以上で7割近くと多くなっている。一方、「どちらともいえない」は男性の50代で約4割と多くなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 東京の住みよさ—エリア別、性・年齢別

		住みよい	どちらともいえない	わからない	住みにくい	(%)
全体	(1,856)	60.9	29.7	2.1	7.3	
< エリア別 >						
区部(計)	(1,184)	62.5	29.1	1.8	6.6	
センター・コア	(306)	69.3	24.5	1.3	4.9	
区部東部・北部	(389)	60.4	31.6	1.0	6.9	
区部西部・南部	(489)	59.9	30.1	2.7	7.4	
市町村部(計)	(672)	58.0	30.7	2.7	8.6	
多摩東部	(254)	55.5	33.1	2.4	9.1	
多摩中央部北	(99)	51.5	30.3	1.0	17.2	
多摩中央部南	(270)	62.6	27.0	4.1	6.3	
多摩西部・島しょ	(49)	59.2	38.8	0	2.0	
< 性・年齢別 >						
男性(計)	(936)	58.8	31.0	1.9	8.3	
18・19歳	(12)	75.0	8.3	0	16.7	
20代	(86)	57.0	33.7	2.3	7.0	
30代	(113)	56.6	31.0	1.8	10.6	
40代	(198)	55.6	35.9	0.5	8.1	
50代	(158)	49.4	39.9	2.5	8.2	
60代	(175)	61.7	28.6	4.0	5.7	
70歳以上	(194)	68.0	21.1	1.0	9.8	
女性(計)	(920)	63.0	28.4	2.3	6.3	
18・19歳	(8)	62.5	25.0	0	12.5	
20代	(98)	57.1	32.7	3.1	7.1	
30代	(128)	53.1	35.2	2.3	9.4	
40代	(145)	55.2	33.8	2.8	8.3	
50代	(136)	68.4	26.5	0.7	4.4	
60代	(174)	66.7	24.7	1.1	7.5	
70歳以上	(231)	70.1	23.4	3.0	3.5	

東京生まれか否か別にみると、「住みよい」は東京生まれの人で7割近くと多く、東京以外生まれの人よりも12ポイント高くなっている。一方、「住みにくい」は東京以外生まれの人で約1割となっている。東京居住年数別にみると、「住みよい」は30年以上で6割半ばと多くなっている。(図3-1-4)

図3-1-4 東京の住みよさ－東京生まれか否か別、東京居住年数別

n		住みよい	どちらともいえない	わからない	住みにくい	(%)
全	体 (1,856)	60.9	29.7	2.1	7.3	
<東京生まれか否か別>						
東	京 生 ま れ (906)	67.4	25.4	2.2	5.0	
東	京 以 外 生 ま れ (913)	55.5	32.7	2.0	9.7	
<東京居住年数別>						
1	年 未 満 (14)	50.0	28.6	0	21.4	
1	～ 3 年 未 満 (45)	37.8	46.7	4.4	11.1	
3	～ 5 年 未 満 (39)	59.0	28.2	0	12.8	
5	～ 10 年 未 満 (105)	47.6	33.3	5.7	13.3	
10	～ 15 年 未 満 (98)	54.1	34.7	1.0	10.2	
15	～ 20 年 未 満 (95)	52.6	34.7	2.1	10.5	
20	～ 30 年 未 満 (254)	55.9	34.3	2.8	7.1	
30	年 以 上 (1,189)	65.9	26.5	1.6	6.0	

東京の住みよさと地域の住みよさ（Q8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」55%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」5%、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」4%、「東京も地域も住みよいとは思わない」2%となっている。（表3-1-1）

表3-1-1 東京と地域の住みよさ

		(%)		
地域の住みよさ \ 東京の住みよさ	住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない	
	住みよいところだと思う	55.3	5.0	23.2
住みよいところだとは思わない	3.7	2.0	4.2	
わからない	1.9	0.3	4.4	

東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去との比較でみると、「東京も地域も住み良い」は昨年よりも1ポイント減少している。（図3-1-5）

図3-1-5 東京と地域の住みよさ一過去との比較

n	東京は住みよいが 地域は住みにくい					その他
	東京も地域も住みよい	地域は住みよいが 東京は住みにくい	東京は住みよいが 地域は住みにくい	東京も地域も 住みにくい		
今回調査 (1,856)	55.3	5.0	3.7	2.0	34.0	
平成29年 (1,810)	56.2	4.8	3.4	1.7	33.9	
28年 (1,805)	55.8	4.5	3.9	2.4	33.4	
27年 (1,900)	55.7	5.0	4.4	2.2	32.7	
26年 (1,850)	57.7	4.4	3.3	2.5	32.1	
25年 (2,010)	56.4	4.8	4.2	2.0	32.6	
24年 (2,002)	53.2	4.9	3.7	3.2	34.9	
23年 (2,009)	54.4	6.0	3.4	2.7	33.5	
22年 (2,013)	52.6	5.8	3.6	2.9	35.1	
21年 (2,025)	49.7	5.9	4.2	3.0	37.2	

エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」はセンター・コアで6割半ばと多くなっている。一方、「地域は住みよいが、東京は住みにくい」は多摩中央部北で1割を超えている。

性・年齢別にみると、「東京も地域も住みよい」は女性70歳以上で6割半ばと多くなっている。

(図3-1-6)

図3-1-6 東京と地域の住みよさ—エリア別、性・年齢別

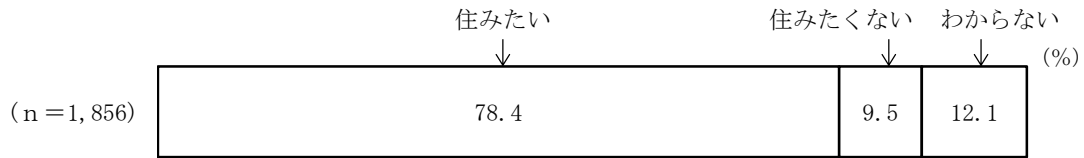
		東京は住みよいが地域は住みにくい					地域は住みよいが東京は住みにくい					東京も地域も住みよい					その他									
		東京も地域も住みよい					東京も地域も住みよい					東京も地域も住みよい					その他									
n																										
全	体 (1,856)	55.3					5.0					3.7					2.0					34.0				
< エリア別 >																										
区	部 (計) (1,184)	57.3					3.9					3.1					2.3					33.4				
	センター・コア (306)	64.4					2.3					2.0					2.3					29.1				
	区部東部・北部 (389)	54.2					4.6					3.9					2.1					35.2				
	区部西部・南部 (489)	55.2					4.3					3.3					2.5					34.8				
市	町村部 (計) (672)	51.9					7.0					4.6					1.5					35.0				
	多摩東部 (254)	51.2					7.5					3.5					1.6					36.2				
	多摩中央部北 (99)	48.5					13.1					3.0					3.0					32.3				
	多摩中央部南 (270)	54.1					5.2					6.3					1.1					33.3				
	多摩西部・島しょ (49)	51.0					2.0					4.1					0					42.9				
< 性・年齢別 >																										
男	性 (計) (936)	53.1					5.6					3.2					2.6					35.6				
	18・19歳 (12)	50.0					8.3					0					0					41.7				
	20代 (86)	57.0					2.3					0					4.7					36.0				
	30代 (113)	50.4					8.8					2.7					1.8					36.3				
	40代 (198)	50.5					6.6					3.0					1.5					38.4				
	50代 (158)	42.4					5.1					4.4					3.2					44.9				
	60代 (175)	56.0					4.0					2.9					1.1					36.0				
	70歳以上 (194)	61.9					5.7					4.6					4.1					23.7				
女	性 (計) (920)	57.6					4.5					4.1					1.4					32.4				
	18・19歳 (8)	62.5					0					0					0					37.5				
	20代 (98)	52.0					3.1					3.1					3.1					38.8				
	30代 (128)	48.4					7.8					4.7					1.6					37.5				
	40代 (145)	50.3					6.9					4.1					1.4					37.2				
	50代 (136)	63.2					2.2					3.7					1.5					29.4				
	60代 (174)	60.3					4.6					4.6					1.7					28.7				
	70歳以上 (231)	64.1					3.0					4.3					0.4					28.1				

※3-2 東京定住意向

図3-2-1

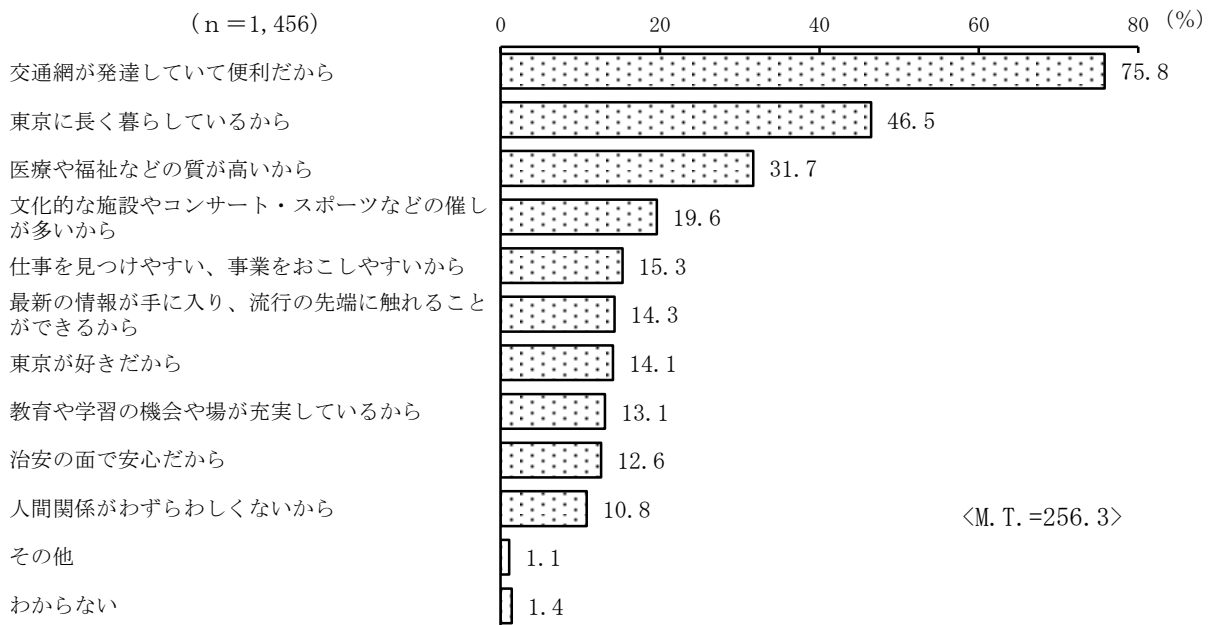
(全員に)

Q11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。
あなたの今のお気持ちをお答えください。



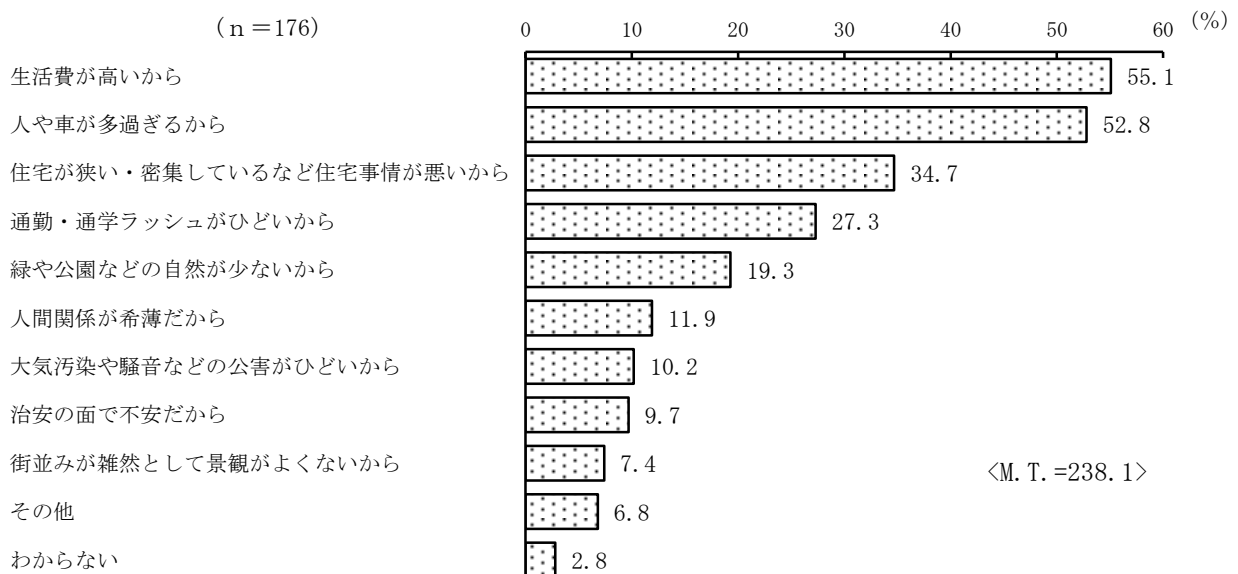
(Q11で「住みたい」と答えた方に)

SQ1 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



(Q11で「住みたくない」と答えた方に)

SQ2 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は78%、「住みたくない」は10%となっている。

「住みたい」と答えた人(1,456人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が76%で最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」47%、「医療や福祉などの質が高いから」32%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」20%などの順となっている。

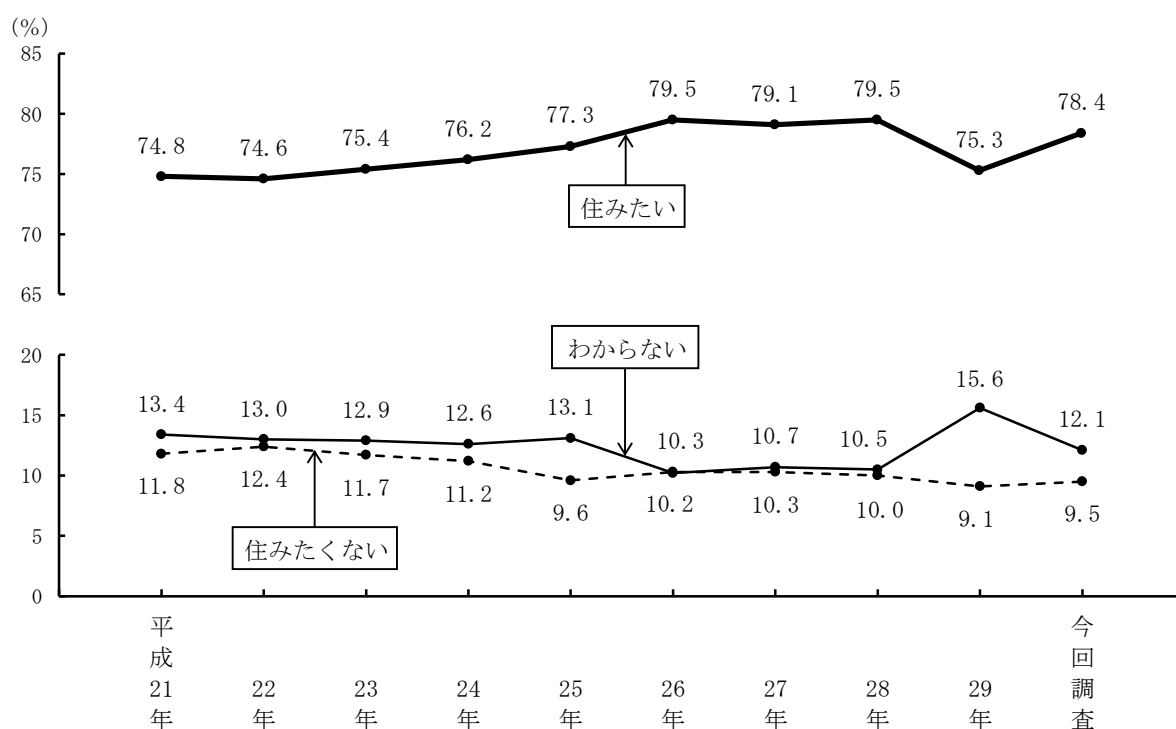
「住みたくない」と答えた人(176人)にその理由を聞いたところ、「生活費が高いから」が55%で最も多く、次いで「人や車が多過ぎるから」53%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」35%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」27%などの順となっている。(図3-2-1)

東京定住意向を過去との比較でみると、「住みたい」は昨年よりも3ポイント増加している。

(図3-2-2)

なお、東京定住意向の昭和58年からの時系列比較を巻末の付属資料(P141 図8)に掲載している。

図3-2-2 東京定住意向—過去との比較



エリア別にみると、「住みたい」は多摩中央部南で8割半ばと多くなっている。一方、「住みたくない」は多摩東部で1割を超えている。

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女の70歳以上で9割前後と高くなっている。一方、「住みたくない」は男女の30代で2割近くとなっている。(図3-2-3)

図3-2-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別

		住みたい	わからない	住みたくない	(%)
全	体 (1,856)	78.4	12.1	9.5	
< エリア別 >					
区	部 (計) (1,184)	77.5	12.8	9.7	
	センター・コア (306)	81.4	9.8	8.8	
	区部東部・北部 (389)	78.7	12.3	9.0	
	区部西部・南部 (489)	74.2	14.9	10.8	
市町村部	(計) (672)	80.1	10.9	9.1	
	多摩東部 (254)	75.2	11.4	13.4	
	多摩中央部北 (99)	74.7	14.1	11.1	
	多摩中央部南 (270)	86.3	8.9	4.8	
	多摩西部・島しょ (49)	81.6	12.2	6.1	
< 性・年齢別 >					
男	性 (計) (936)	77.2	12.8	9.9	
	18・19歳 (12)	83.3	16.7	0	
	20代 (86)	74.4	16.3	9.3	
	30代 (113)	66.4	15.0	18.6	
	40代 (198)	76.3	16.7	7.1	
	50代 (158)	69.0	15.8	15.2	
	60代 (175)	81.1	10.3	8.6	
	70歳以上 (194)	88.7	5.7	5.7	
女	性 (計) (920)	79.7	11.3	9.0	
	18・19歳 (8)	87.5	12.5	0	
	20代 (98)	74.5	12.2	13.3	
	30代 (128)	63.3	18.0	18.8	
	40代 (145)	74.5	15.9	9.7	
	50代 (136)	80.9	15.4	3.7	
	60代 (174)	83.3	7.5	9.2	
	70歳以上 (231)	90.5	4.8	4.8	

住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割を超え、持家以外（計）よりも10ポイント高く
なっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割半ばとなっている。（図3-2-4）

図3-2-4 東京定住意向－住居形態別

		住みたい	わからない	住みたくない	(%)
全	n 体 (1,856)	78.4	12.1	9.5	
＜ 住 居 形 態 別 ＞					
持	家 (計) (1,209)	82.1	11.1	6.8	
	持家 (一戸建) (1,031)	82.3	10.7	7.0	
	持家 (分譲マンション など集合住宅) (178)	80.9	13.5	5.6	
持	家以外 (計) (635)	71.7	13.7	14.6	
	民間の借家 (一戸建) (41)	78.0	12.2	9.8	
	民間の借家 (賃貸マンション ・アパートなど集合住宅) (435)	68.3	15.4	16.3	
	都市機構 (旧公団) ・公社・ 公営の賃貸住宅・アパート (110)	82.7	8.2	9.1	
	社宅・公務員住宅 など給与住宅 (29)	62.1	13.8	24.1	
	住み込み・寮・寄宿舎など (6)	100.0	0	0	

東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で8割半ばと多く、東京以外生まれの人よりも11ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みたい」は30年以上で8割半ばと高くなっている。一方、「住みたくない」は10年未満で2割台と高くなっている。(図3-2-5)

図3-2-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別

n	住みたい			わからない		住みたくない		(%)
全体 (1,856)	78.4			12.1		9.5		
<東京生まれか否か別>								
東京生まれ (906)	84.4			10.6		5.0		
東京以外生まれ (913)	73.5			12.8		13.7		
<東京居住年数別>								
1年未満 (14)	64.3			14.3		21.4		
1～3年未満 (45)	62.2			11.1		26.7		
3～5年未満 (39)	61.5			17.9		20.5		
5～10年未満 (105)	59.0			20.0		21.0		
10～15年未満 (98)	73.5			10.2		16.3		
15～20年未満 (95)	67.4			18.9		13.7		
20～30年未満 (254)	75.6			15.7		8.7		
30年以上 (1,189)	83.7			9.8		6.6		

地域定住意向（Q9 P50）との関係でみると、住んでいる地域に“住みたい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は9割近くと多くなっている。一方、地域に“住みたくない”と答えた人で、東京にも「住みたくない」と思っている人は4割を超えている。

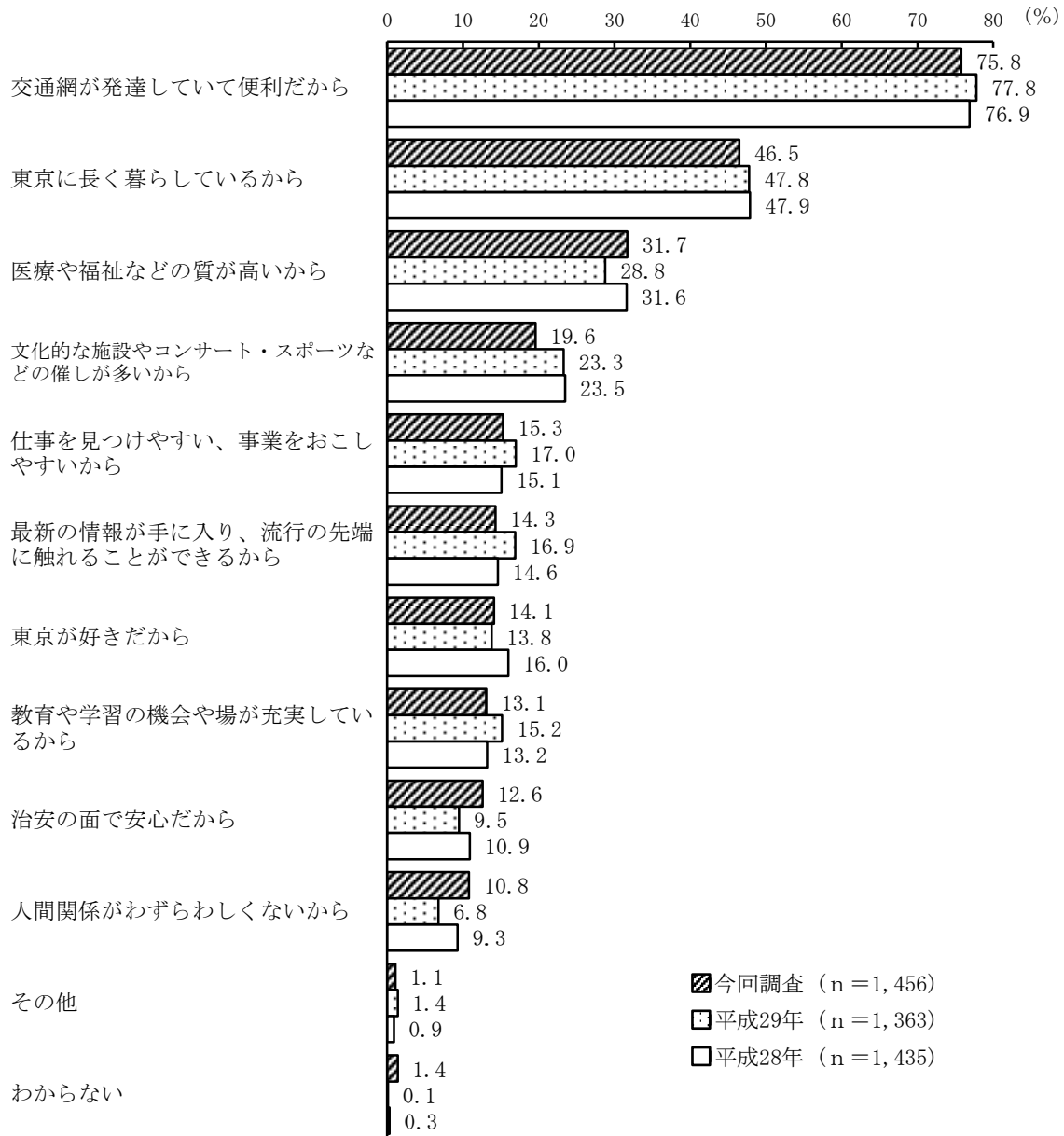
東京の住みよさ（Q10 P60）との関係でみると、東京は“住みよい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は9割を超えて多くなっている。一方、東京は“住みにくい”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は5割近くと多くなっている。（図3-2-6）

図3-2-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京の住みよさ別

		住みたい	わからない	住みたくない	(%)
全体	n (1,856)	78.4	12.1	9.5	
＜地域定住意向別＞					
住みたい	(1,430)	88.0	6.9	5.1	
住みたくない	(207)	50.7	7.7	41.5	
＜東京の住みよさ別＞					
住みよい	(1,130)	92.9	5.1	1.9	
住みにくい	(136)	39.7	13.2	47.1	
どちらともいえない	(551)	59.9	24.9	15.2	

東京に住みたい理由を過去との比較でみると、「医療や福祉などの質が高いから」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は昨年よりも4ポイント減少している。(図3-2-7)

図3-2-7 東京に住みたい理由—過去との比較



東京に住みたい理由をエリア別にみると、「交通網が発達していて便利だから」は区部東部・北部で8割を超えて多くなっている。「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は区部西部・南部で2割半ばとなっている。

性・年齢別にみると、「医療や福祉などの質が高いから」は男性60代以上と女性70歳以上で4割台と多くなっている。「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は女性20代、50代で3割台と多くなっている。(表3-2-1)

表3-2-1 東京に住みたい理由—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの質 が高いから	文化的な施設やコンサ ート・ス	仕事を 見つけやすい、事業を おこ	最新の情報が手に入り、 流行の先	東京が 好きだから	教育や学 習の機会 や場が充 実して	治安の 面で安心 だから	人間関係 がわずら わしくない から	その他	わから ない
全 体	1,456	75.8	46.5	31.7	19.6	15.3	14.3	14.1	13.1	12.6	10.8	1.1	1.4
< エリア別 >													
区 部 (計)	918	77.9	46.9	31.4	19.8	15.1	14.3	15.1	13.2	11.1	10.0	1.1	1.9
センター・コア	249	78.7	48.6	26.1	19.3	14.9	14.5	18.5	11.6	11.6	12.0	1.2	1.2
区部東部・北部	306	81.7	49.3	34.0	14.4	14.1	16.7	14.1	13.1	8.2	8.5	1.6	1.0
区部西部・南部	363	74.1	43.8	32.8	24.8	16.3	12.1	13.8	14.3	13.2	9.9	0.6	3.0
市町村部 (計)	538	72.1	45.7	32.2	19.3	15.6	14.3	12.3	13.0	15.1	12.1	1.1	0.7
多摩東部	191	70.7	45.5	30.4	17.8	12.6	13.6	16.2	13.1	14.7	12.6	1.6	1.6
多摩中央部北	74	71.6	48.6	39.2	21.6	17.6	18.9	5.4	16.2	18.9	10.8	1.4	-
多摩中央部南	233	74.7	43.3	29.2	21.0	17.6	14.2	12.0	12.0	12.9	11.6	0.9	0.4
多摩西部・島しょ	40	65.0	55.0	45.0	12.5	15.0	10.0	7.5	12.5	22.5	15.0	-	-
< 性・年齢別 >													
男 性 (計)	723	75.4	44.8	32.5	15.9	16.6	14.5	14.2	13.4	13.6	9.8	1.1	1.0
18・19歳	10	80.0	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-
20代	64	84.4	18.8	7.8	25.0	31.3	28.1	12.5	14.1	7.8	10.9	1.6	-
30代	75	81.3	34.7	22.7	12.0	17.3	18.7	13.3	30.7	9.3	6.7	-	-
40代	151	72.8	45.7	22.5	15.9	23.2	16.6	13.2	18.5	11.9	9.3	1.3	1.3
50代	109	70.6	45.9	37.6	12.8	18.3	15.6	11.0	13.8	12.8	8.3	-	1.8
60代	142	78.2	52.8	43.7	23.2	16.2	11.3	13.4	9.9	10.6	7.7	2.1	0.7
70歳以上	172	72.1	52.3	43.0	10.5	3.5	7.6	18.6	4.1	22.7	14.5	1.2	1.2
女 性 (計)	733	76.1	48.2	30.8	23.3	14.1	14.1	13.9	12.8	11.6	11.7	1.1	1.9
18・19歳	7	100.0	71.4	-	28.6	-	28.6	28.6	14.3	-	-	-	-
20代	73	78.1	43.8	5.5	38.4	19.2	23.3	19.2	15.1	1.4	4.1	1.4	2.7
30代	81	80.2	40.7	23.5	23.5	27.2	27.2	7.4	24.7	3.7	9.9	1.2	2.5
40代	108	82.4	41.7	26.9	21.3	27.8	13.0	13.0	27.8	1.9	8.3	0.9	0.9
50代	110	81.8	44.5	30.0	32.7	17.3	18.2	9.1	10.0	15.5	6.4	0.9	0.9
60代	145	76.6	51.7	37.2	20.0	9.7	10.3	18.6	6.2	15.2	13.8	2.1	3.4
70歳以上	209	66.5	54.5	41.6	16.3	1.9	6.2	13.9	5.7	19.1	18.7	0.5	1.4

職業別にみると、「交通網が発達していて便利だから」は専門・技術職、事務職で8割台と多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」はその他の無職で4割を超えて、無職の主婦・主夫で4割近くと多くなっている。(表3-2-2)

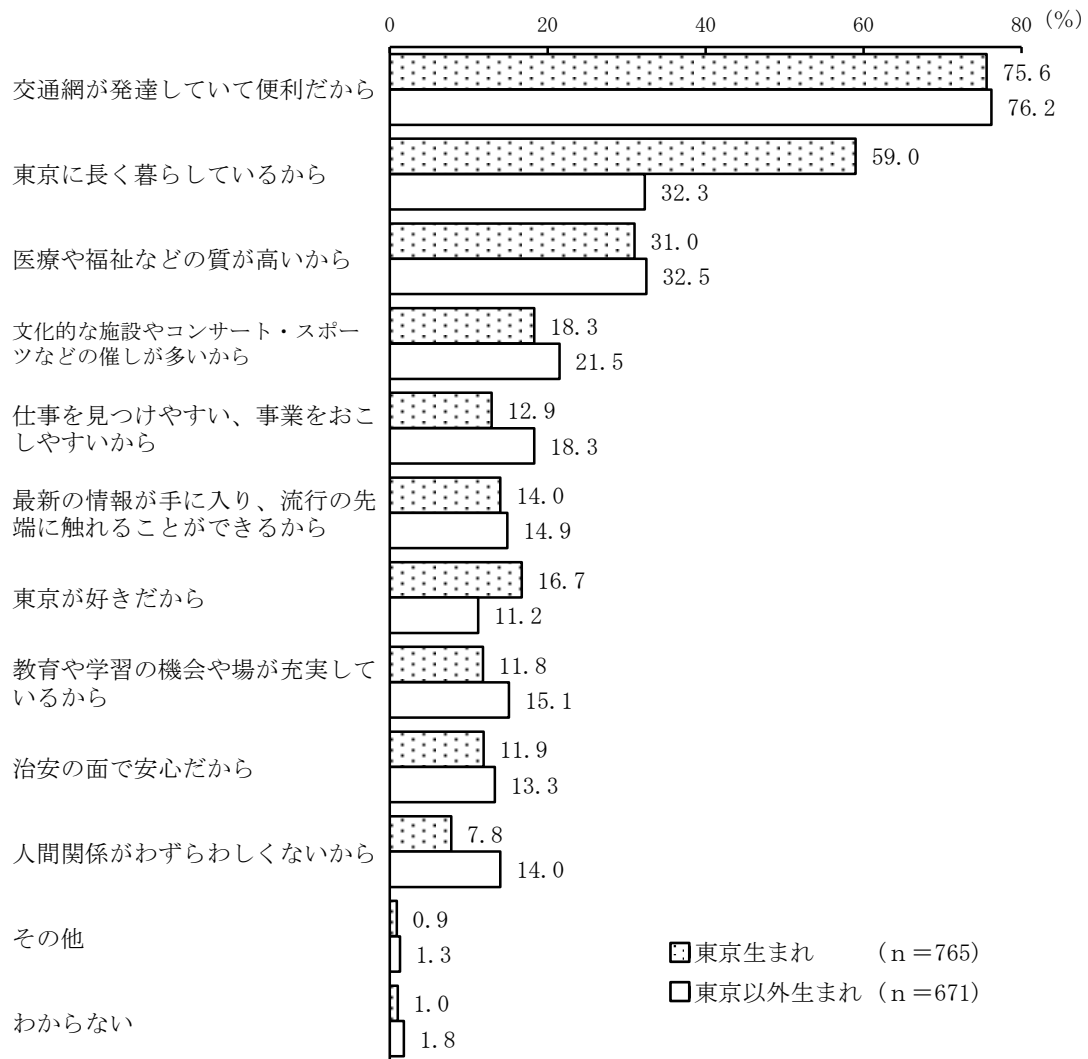
表3-2-2 東京に住みたい理由－職業別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮ら しているから	医療や福祉など の質が高いから	文化的な施設や コンサート・ス ポーツなどの催 しが多いから	仕事をを見つけ やすいから	最新の情報が手 に入り、流行の先 端に触れること ができるから	東京が好きだ から	教育や学習の 機会や場が充 実しているから	治安の面で安 心だから	人間関係がわ ずらわしくない から	その他	わからない
全 体	1,456	75.8	46.5	31.7	19.6	15.3	14.3	14.1	13.1	12.6	10.8	1.1	1.4
< 職 業 別 >													
自営・家族従業(計)	198	67.7	51.0	33.8	14.1	15.7	12.6	15.7	12.6	17.7	12.1	0.5	2.5
勤 め(計)	734	79.0	42.4	27.7	21.5	22.1	16.8	13.4	15.7	8.6	9.3	1.1	1.5
経 営・管 理 職	56	78.6	42.9	35.7	19.6	12.5	17.9	10.7	28.6	7.1	8.9	1.8	1.8
専 門・技 術 職	50	88.0	32.0	22.0	34.0	24.0	20.0	6.0	40.0	2.0	6.0	-	2.0
事 務 職	367	80.9	40.1	25.9	22.9	23.2	17.7	13.1	15.5	7.1	9.3	1.4	1.6
労 務・技 能 職	129	76.7	47.3	33.3	16.3	20.2	14.0	14.0	8.5	14.7	13.2	-	-
販 売・サ ー ビ ス 職	88	75.0	50.0	25.0	17.0	27.3	17.0	17.0	6.8	11.4	5.7	2.3	1.1
無職の主婦・主夫	314	72.9	51.6	38.5	19.4	3.2	9.9	13.7	11.5	18.8	13.7	1.0	1.3
学 生	44	81.8	36.4	6.8	31.8	20.5	27.3	15.9	18.2	2.3	2.3	2.3	-
そ の 他 の 無 職	154	73.4	52.6	41.6	15.6	5.2	9.7	16.2	4.5	14.3	13.0	1.9	0.6

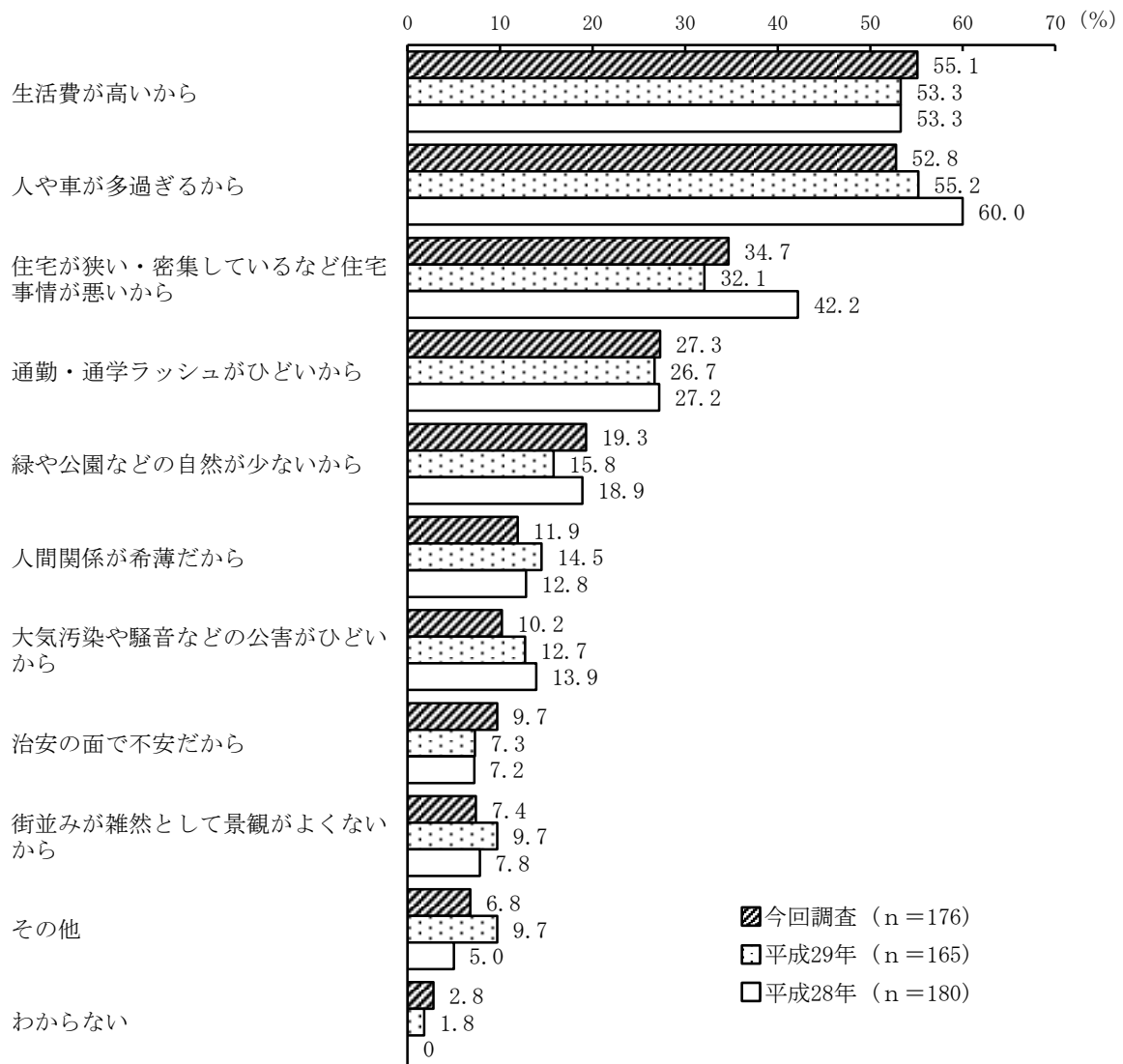
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が27ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「人間関係がわずらわしくないから」が6ポイント、「仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから」が5ポイント高くなっている。(図3-2-8)

図3-2-8 東京に住みたい理由－東京生まれか否か別



東京に住みたくない理由を過去との比較でみると、「緑や公園などの自然が少ないから」は昨年よりも4ポイント、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「人間関係が希薄だから」、「大気汚染や騒音などの公害がひどいから」は昨年よりも3ポイント減少している。(図3-2-9)

図3-2-9 東京に住みたくない理由—過去との比較



性別にみると、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、「人間関係が希薄だから」は50代で2割半ばとなっている。(表3-2-3)

表3-2-3 東京に住みたくない理由－性別、年齢別

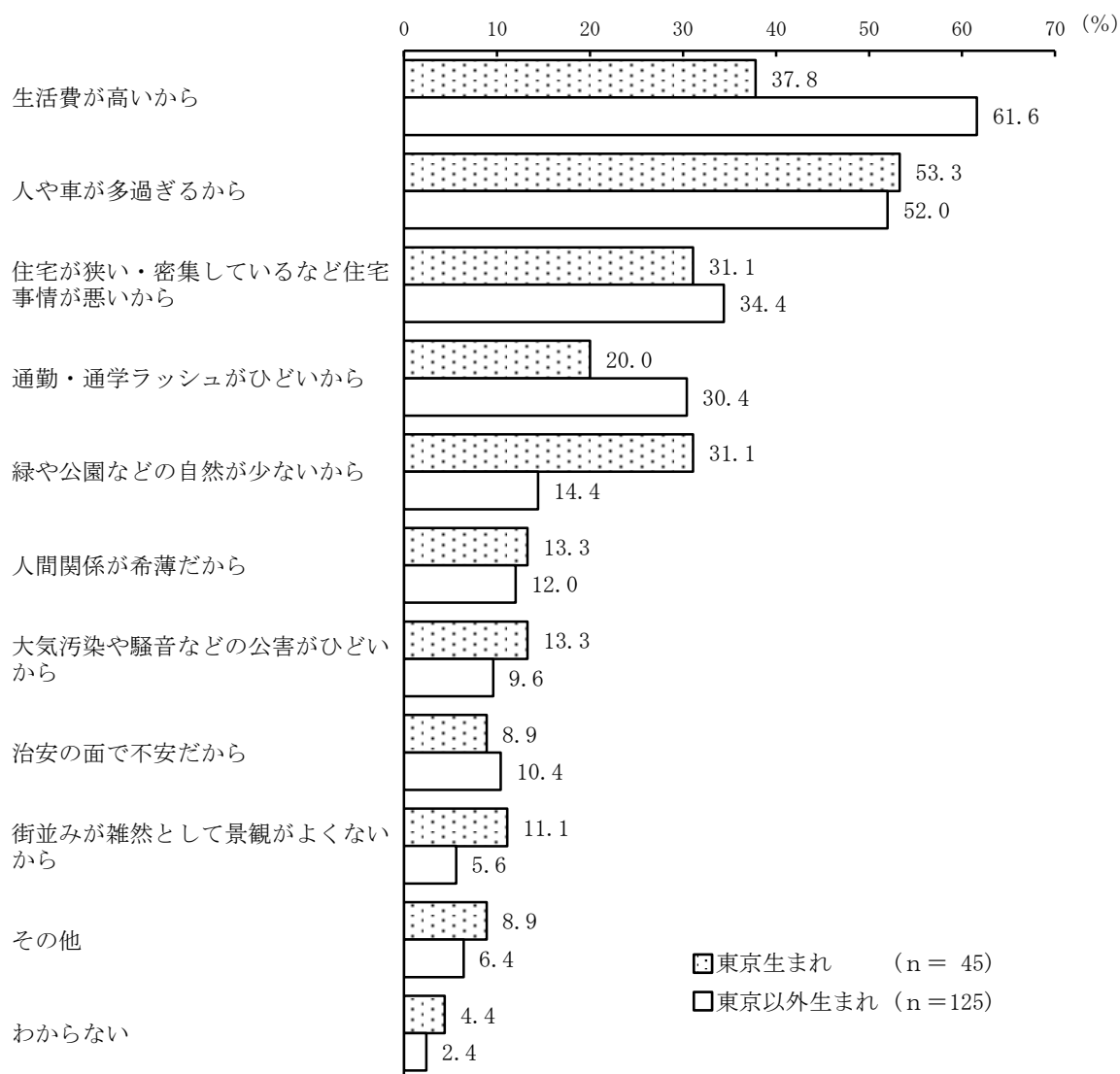
(%)

	n	生活費が高いから	人や車が多過ぎるから	住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	通勤・通学ラッシュがひどいから	緑や公園などの自然が少ないから	人間関係が希薄だから	大気汚染や騒音などの公害がひどいから	治安の面で不安だから	街並みが雑然として景観がよくないから	その他	わからない
全 体	176	55.1	52.8	34.7	27.3	19.3	11.9	10.2	9.7	7.4	6.8	2.8
< 性別 >												
男 性	93	51.6	55.9	34.4	28.0	18.3	16.1	14.0	11.8	10.8	7.5	-
女 性	83	59.0	49.4	34.9	26.5	20.5	7.2	6.0	7.2	3.6	6.0	6.0
< 年齢別 >												
18・19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 代	21	47.6	57.1	38.1	38.1	14.3	-	9.5	4.8	14.3	4.8	-
30 代	45	55.6	55.6	37.8	35.6	24.4	8.9	2.2	8.9	4.4	11.1	-
40 代	28	57.1	64.3	46.4	32.1	14.3	10.7	7.1	10.7	3.6	7.1	-
50 代	29	58.6	55.2	34.5	34.5	20.7	24.1	13.8	10.3	17.2	-	-
60 代	31	58.1	45.2	25.8	12.9	12.9	12.9	16.1	3.2	3.2	9.7	9.7
70 歳以上	22	50.0	36.4	22.7	4.5	27.3	13.6	18.2	22.7	4.5	4.5	9.1

東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「緑や公園などの自然が少ないから」が17ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「生活費が高いから」が24ポイント、「通勤・通学ラッシュがひどいから」が10ポイント高くなっている。

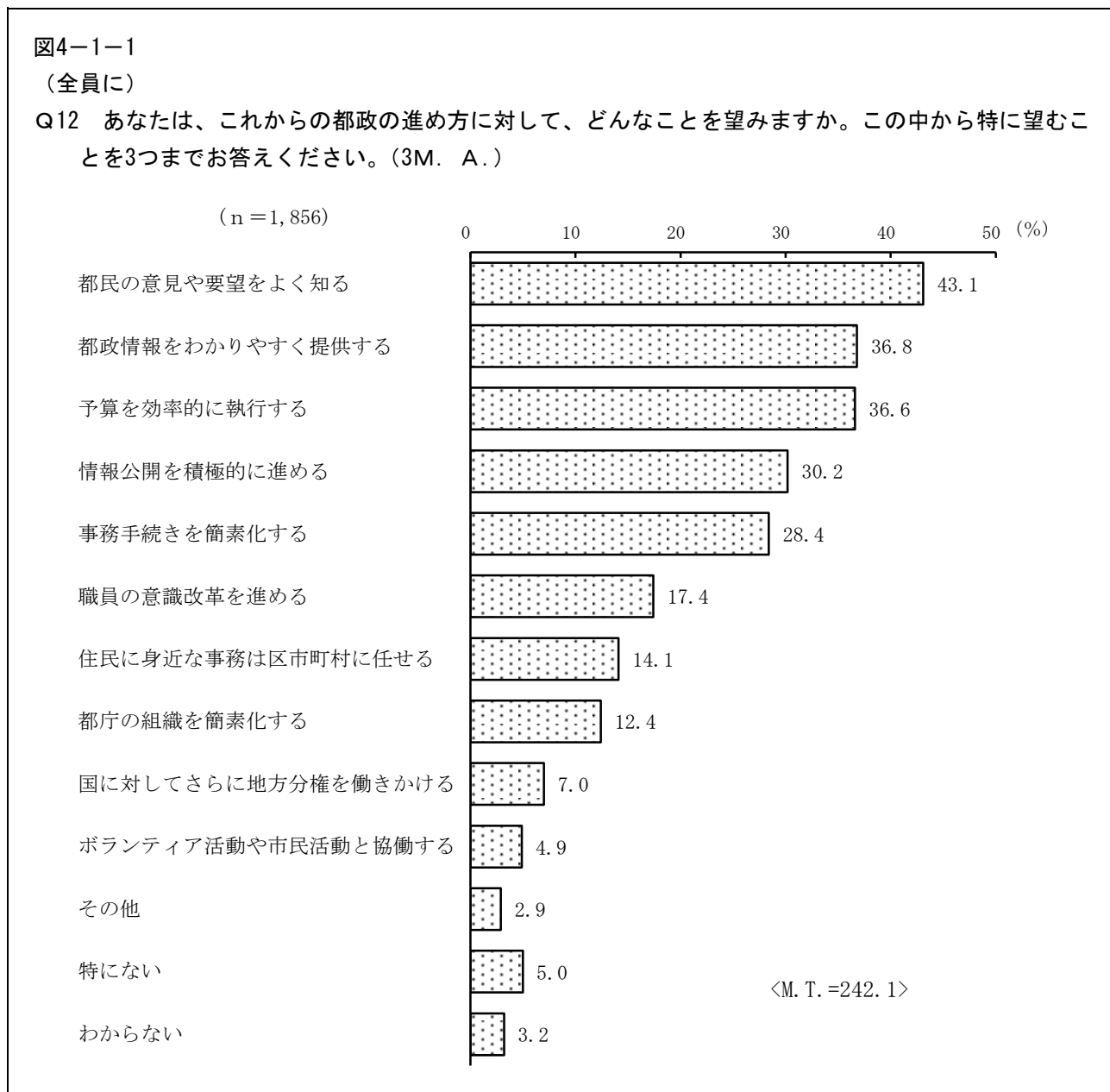
(図3-2-10)

図3-2-10 東京に住みたくない理由—東京生まれか否か別



4 都政への要望

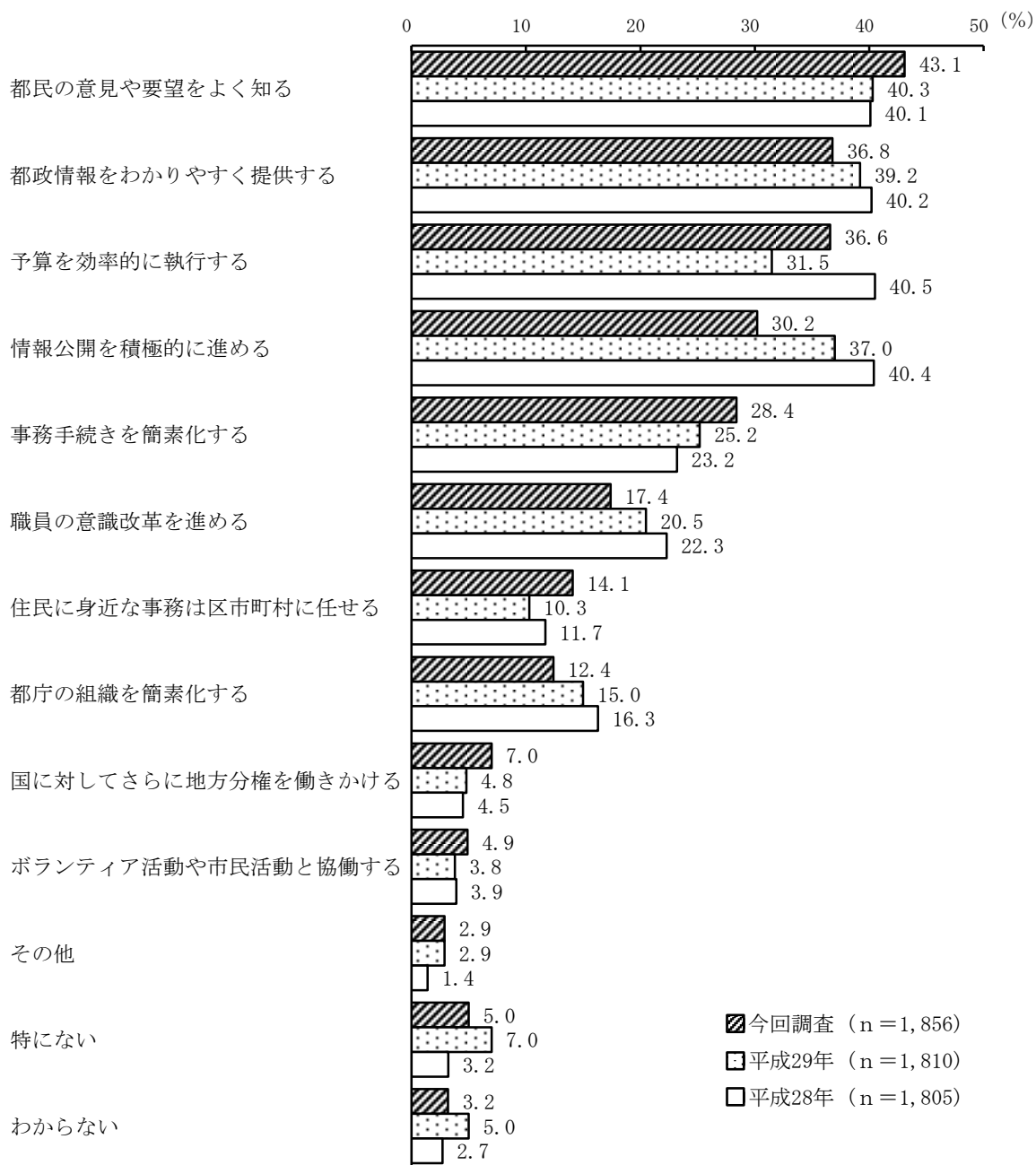
※4-1 これからの都政の進め方



これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「都民の意見や要望をよく知る」が43%で最も多く、次いで「都政情報をわかりやすく提供する」、「予算を効率的に執行する」37%、「情報公開を積極的に進める」30%、「事務手続きを簡素化する」28%などの順となっている。(図4-1-1)

これからの都政の進め方を過去との比較でみると、「予算を効率的に執行する」が昨年よりも5ポイント、「住民に身近な事務は区市町村に任せる」が昨年よりも4ポイント増加している。一方、「情報公開を積極的に進める」は昨年よりも7ポイント減少している。(図4-1-2)

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去との比較



エリア別にみると、「情報公開を積極的に進める」は多摩中央部北で4割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、「都民の意見や要望をよく知る」は女性が男性よりも11ポイント高く、特に女性40代で6割近くと多くなっている。「事務手続きを簡素化する」は女性30代で4割を超えて多くなっている。(表4-1-1)

表4-1-1 これからの都政の進め方—エリア別、性・年齢別

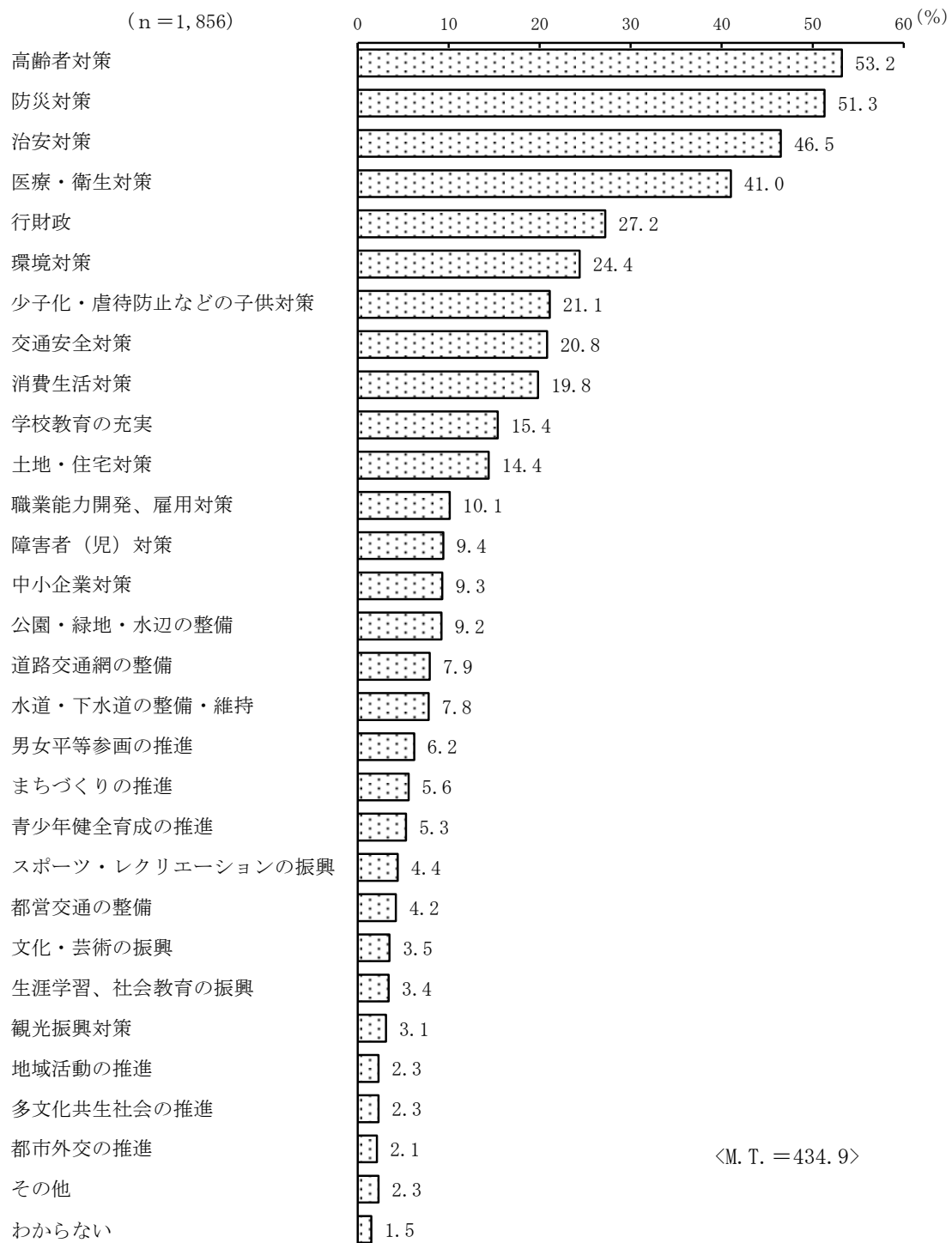
	n	都民の意見や要望をよく知る	都政情報をわかりやすく提供する	予算を効率的に執行する	情報公開を積極的に進める	事務手続きを簡素化する	職員の意識改革を進める	住民に身近な事務は区市町村に任せる	都庁の組織を簡素化する	国に対してさらに地方分権を働きかける	ボランティア活動や市民活動と協働する	その他	特にない	わからない	
全体	1,856	43.1	36.8	36.6	30.2	28.4	17.4	14.1	12.4	7.0	4.9	2.9	5.0	3.2	
＜エリア別＞															
区部(計)	1,184	43.0	37.9	36.1	29.5	29.1	17.6	13.2	12.6	6.9	4.5	3.5	5.1	3.7	
センター・コア	306	41.2	37.9	33.0	29.1	29.1	18.0	10.1	9.5	4.9	3.6	5.6	6.2	3.6	
区部東部・北部	389	42.7	39.6	35.7	28.8	31.4	16.5	15.2	13.1	6.7	4.1	1.8	5.9	3.1	
区部西部・南部	489	44.4	36.6	38.2	30.3	27.2	18.2	13.5	14.1	8.4	5.3	3.5	3.7	4.3	
市町村部(計)	672	43.3	34.8	37.6	31.5	27.2	17.1	15.8	12.2	7.1	5.7	1.9	4.8	2.4	
多摩東部	254	39.0	33.1	42.5	28.3	23.6	20.5	11.8	13.8	7.5	5.9	2.0	4.7	2.0	
多摩中央部北	99	41.4	36.4	41.4	39.4	26.3	11.1	20.2	10.1	4.0	6.1	4.0	6.1	3.0	
多摩中央部南	270	47.8	36.7	30.7	33.0	30.0	15.2	18.9	11.5	8.9	5.2	1.5	4.1	2.2	
多摩西部・島しょ	49	44.9	30.6	42.9	24.5	32.7	22.4	10.2	12.2	2.0	6.1	-	6.1	4.1	
＜性・年齢別＞															
男性(計)	936	37.5	36.2	39.7	31.3	26.2	17.6	14.3	13.8	9.9	5.2	3.5	6.1	2.5	
18・19歳	12	33.3	25.0	58.3	25.0	8.3	8.3	-	8.3	-	16.7	8.3	8.3	-	
20代	86	39.5	41.9	40.7	25.6	29.1	9.3	8.1	8.1	8.1	4.7	5.8	8.1	1.2	
30代	113	42.5	38.1	46.0	28.3	32.7	15.0	10.6	8.8	9.7	4.4	3.5	3.5	0.9	
40代	198	40.9	42.4	40.4	30.8	31.3	16.2	13.1	13.1	9.1	4.5	2.0	4.0	3.5	
50代	158	38.6	31.0	46.8	34.2	24.7	19.6	14.6	17.1	11.4	4.4	3.8	3.2	2.5	
60代	175	32.0	34.9	37.1	33.1	26.9	21.7	17.7	16.6	12.6	6.3	4.0	4.0	4.0	
70歳以上	194	34.5	32.5	30.4	32.5	17.5	19.6	18.0	14.9	8.8	5.7	3.1	12.9	1.5	
女性(計)	920	48.8	37.4	33.5	29.1	30.7	17.2	13.9	11.1	4.0	4.6	2.3	3.8	4.0	
18・19歳	8	50.0	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	25.0	
20代	98	42.9	35.7	36.7	25.5	35.7	10.2	6.1	4.1	2.0	1.0	5.1	3.1	6.1	
30代	128	50.8	39.8	44.5	30.5	40.6	15.6	7.0	7.0	5.5	5.5	2.3	2.3	3.1	
40代	145	57.9	38.6	43.4	33.1	31.7	15.2	11.7	9.0	2.8	7.6	0.7	2.8	3.4	
50代	136	51.5	38.2	33.1	32.4	32.4	20.6	12.5	13.2	3.7	4.4	1.5	2.9	3.7	
60代	174	50.6	39.1	33.9	30.5	28.7	20.7	20.1	16.1	3.4	4.6	3.4	2.9	1.1	
70歳以上	231	41.6	34.6	19.5	25.1	23.4	17.7	19.0	12.6	5.6	3.5	1.7	6.9	5.6	

※4-2 都政への要望

図4-2-1

(全員に)

Q13 これからの都政全体について考えた場合、ここにあげてあることのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまで選んでください。(5M. A.)

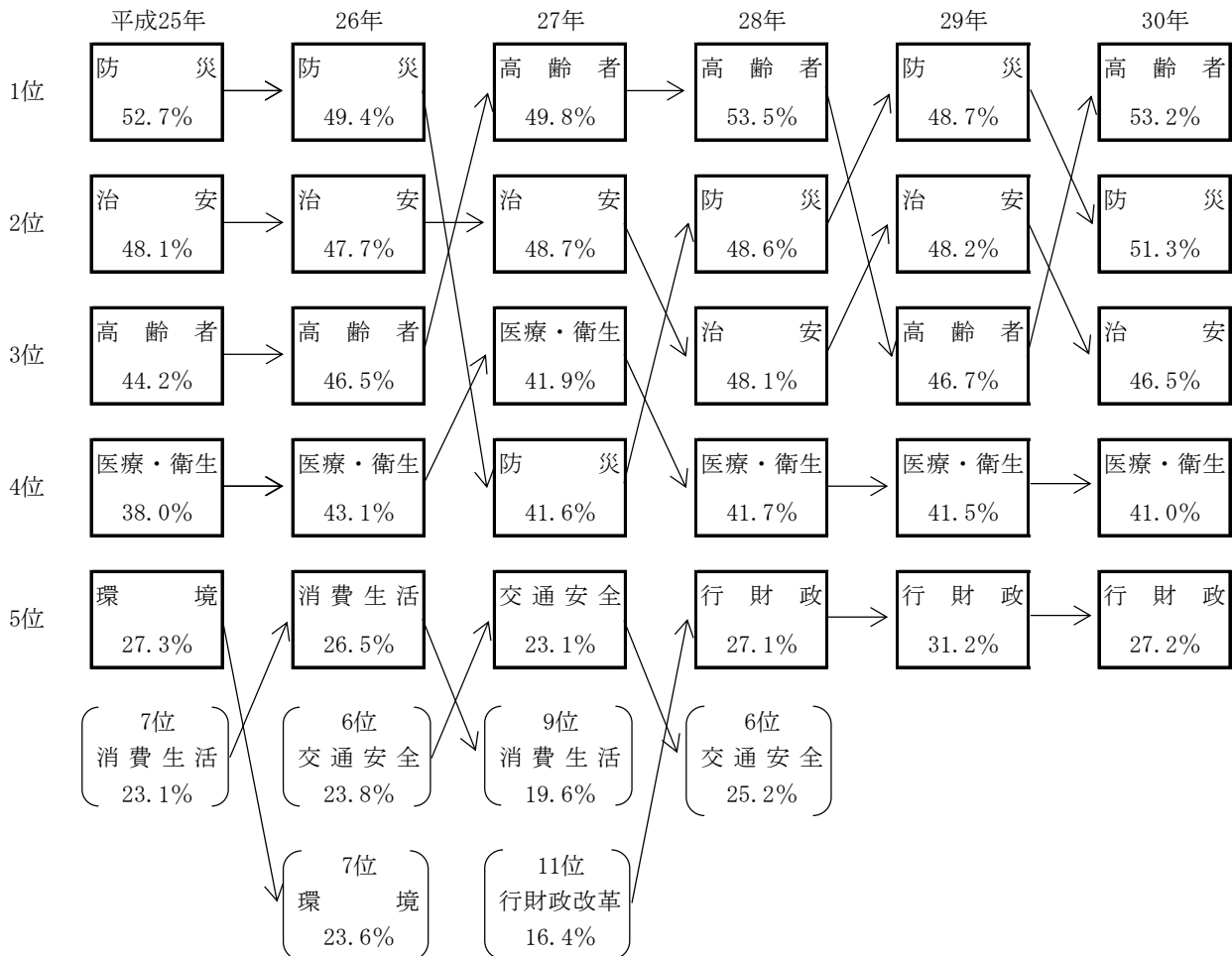


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「高齢者対策」53%、第2位「防災対策」51%、第3位「治安対策」47%、第4位「医療・衛生対策」41%、第5位「行財政」27%となっている。(図4-2-1)

都政への要望の経年変化をみると、上位5位は順位に変動があるものの、昨年と同じ項目となっている。昨年度第3位だった「高齢者対策」が7ポイント増加し、第1位となっている。また、昨年度第1位だった「防災対策」は3ポイント増加しているものの第2位となっている。(図4-2-2)

なお、都政への要望の昭和50年からの時系列比較を巻末の付属資料（P142 表4）に掲載している。

図4-2-2 都政への要望－上位5位の推移



(注) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

都政への要望をエリア別にみると、「高齢者対策」はセンター・コアと多摩中央部北を除き、第1位となっている。そのセンター・コアと多摩中央部北は「防災対策」が第1位となっている。(表4-2-1)

表4-2-1 都政への要望上位5位－エリア別

							(%)
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
全 体	1,856	高 齢 者 53.2	防 災 51.3	治 安 46.5	医 療 ・ 衛 生 41.0	行 財 政 27.2	
区 部 (計)	1,184	高 齢 者 53.8	防 災 52.8	治 安 48.9	医 療 ・ 衛 生 40.6	行 財 政 28.0	
センター・コア	306	防 災 56.2	高 齢 者 53.6	治 安 46.7	環 境 32.4	医 療 ・ 衛 生 32.0	
区部東部・北部	389	高 齢 者 54.2	防 災 52.2	治 安 51.2	医 療 ・ 衛 生 45.8	行 財 政 27.5	
区部西部・南部	489	高 齢 者 53.6	防 災 51.1	治 安 48.5	医 療 ・ 衛 生 41.9	行 財 政 30.5	
市町村部 (計)	672	高 齢 者 52.1	防 災 48.8	治 安 42.3	医 療 ・ 衛 生 41.7	行 財 政 25.7	
多 摩 東 部	254	高 齢 者 51.2	防 災 48.4	医 療 ・ 衛 生 41.7	治 安 37.0	行 財 政 29.5	
多摩中央部北	99	防 災 46.5	高 齢 者 42.4	治 安 40.4	医 療 ・ 衛 生 37.4	少 子 化 ・ 子 供 29.3	
多摩中央部南	270	高 齢 者 55.6	防 災 50.7	治 安 48.5	医 療 ・ 衛 生 41.5	行 財 政 26.7	
多 摩 西 部 ・ 島 しょ	49	高 齢 者 57.1	医 療 ・ 衛 生 51.0	防 災 44.9	治 安 38.8	少 子 化 ・ 子 供 24.5	

性・年齢別にみると、「高齢者対策」は同率を含め、男性50代以上、女性40代以上で第1位となっている。「防災対策」は同率を含め、男性50代、女性18・19歳、30代、40代で第1位となっている。「治安対策」は男性40代以下、女性20代で第1位となっている。(表4-2-2)

表4-2-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

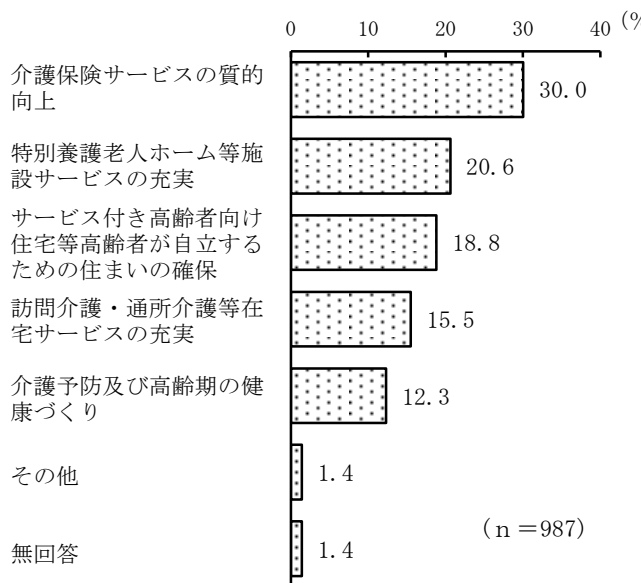
		(%)				
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,856	高 齢 者 53.2	防 災 51.3	治 安 46.5	医 療・衛 生 41.0	行 財 政 27.2
男 性 (計)	936	防 災 49.4	高 齢 者 48.7	治 安 46.8	医 療・衛 生 38.2	行 財 政 29.5
18・19 歳	12	治 安 50.0	職 業 能 力 開 発、 雇 用 41.7	防 災 / 環 境 / 高 齢 者 33.3		
20 代	86	治 安 47.7	防 災 44.2	行 財 政 32.6	医 療・衛 生 25.6	交 通 安 全 / 消 費 生 活 24.4
30 代	113	治 安 47.8	防 災 44.2	少 子 化・子 供 33.6	行 財 政 30.1	交 通 安 全 / 環 境 / 医 療・衛 生 29.2
40 代	198	治 安 51.5	防 災 49.5	高 齢 者 40.9	医 療・衛 生 33.8	交 通 安 全 29.8
50 代	158	防 災 / 高 齢 者 46.8		治 安 44.9	医 療・衛 生 38.0	行 財 政 27.8
60 代	175	高 齢 者 68.0	防 災 54.3	治 安 42.3	医 療・衛 生 41.1	行 財 政 37.1
70 歳 以 上	194	高 齢 者 68.0	防 災 53.1	医 療・衛 生 52.6	治 安 46.4	環 境 26.3
女 性 (計)	920	高 齢 者 57.7	防 災 53.4	治 安 46.2	医 療・衛 生 43.8	行 財 政 24.8
18・19 歳	8	防 災 62.5	治 安 / 観 光 振 興 / 少 子 化・子 供 / 学 校 教 育 50.0			
20 代	98	治 安 49.0	防 災 48.0	少 子 化・子 供 33.7	環 境 30.6	医 療・衛 生 28.6
30 代	128	防 災 44.5	治 安 / 医 療・衛 生 43.0		少 子 化・子 供 37.5	高 齢 者 32.8
40 代	145	防 災 / 高 齢 者 55.9		医 療・衛 生 43.4	治 安 42.1	学 校 教 育 27.6
50 代	136	高 齢 者 63.2	防 災 51.5	治 安 49.3	医 療・衛 生 47.1	行 財 政 / 環 境 30.9
60 代	174	高 齢 者 70.1	防 災 63.8	治 安 51.7	医 療・衛 生 44.3	行 財 政 28.7
70 歳 以 上	231	高 齢 者 74.0	防 災 51.9	医 療・衛 生 49.8	治 安 43.3	消 費 生 活 26.0

4-3 具体的な要望施策

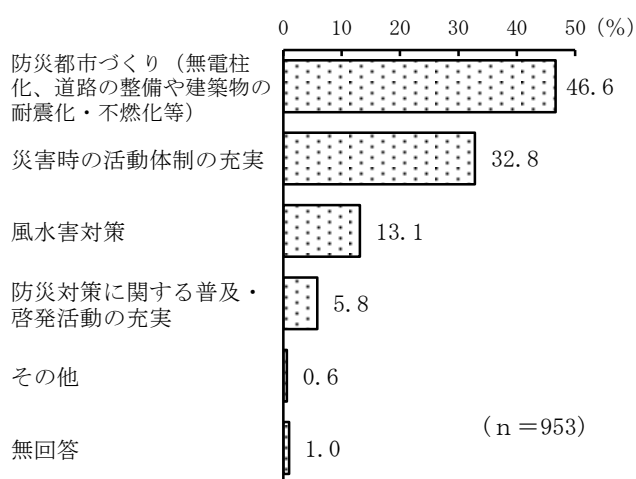
5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-3である。(図4-3)

図4-3 具体的な要望施策

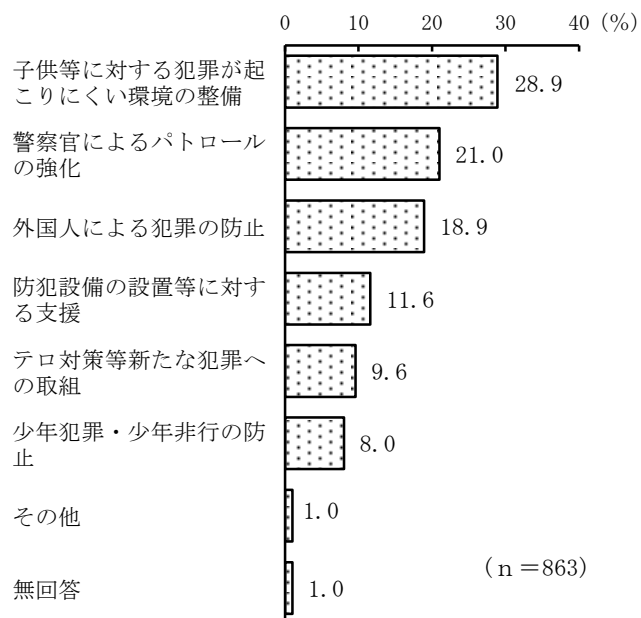
1 高齢者対策



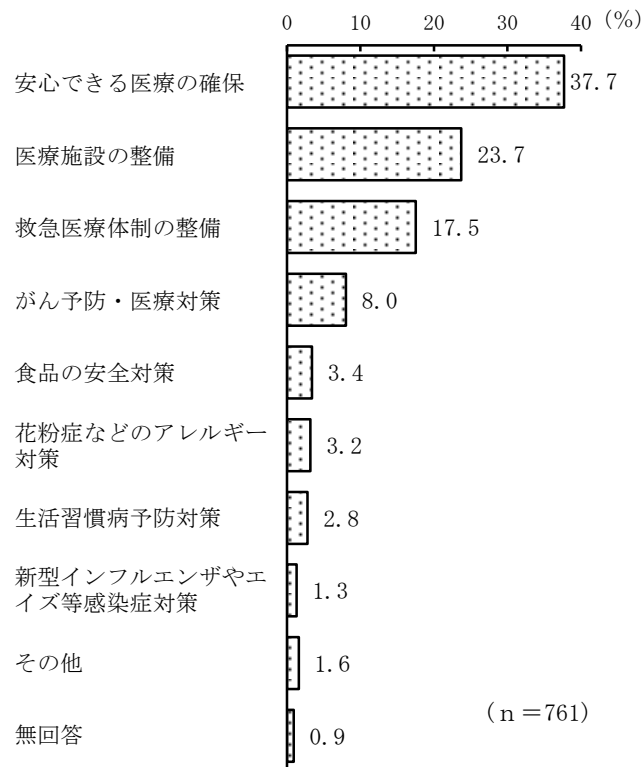
2 防災対策



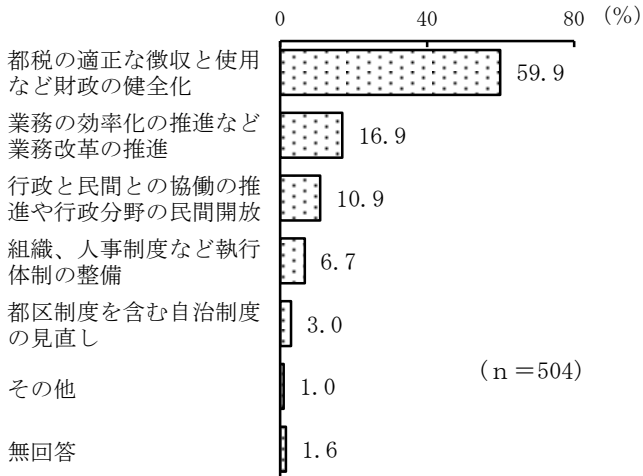
3 治安対策



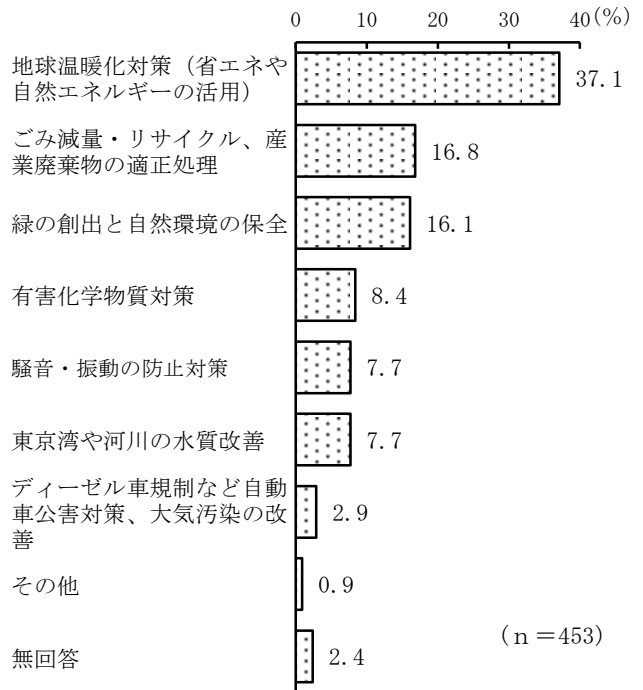
4 医療・衛生対策



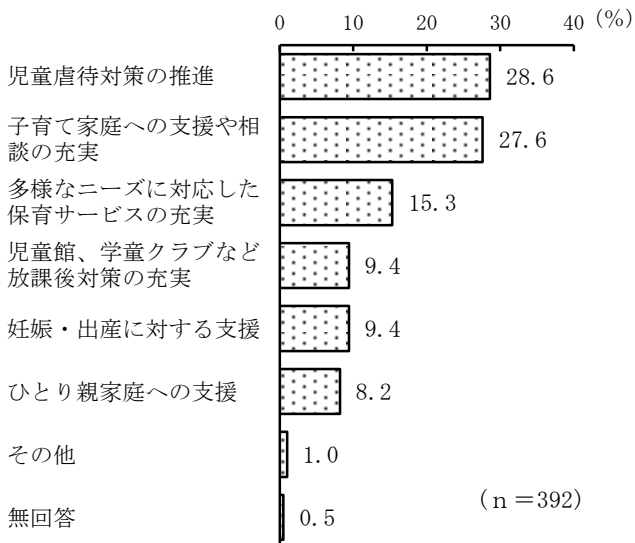
5 行財政



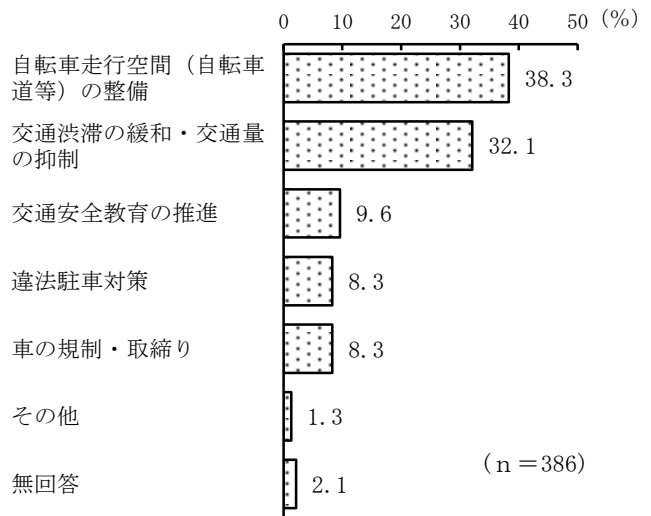
6 環境対策



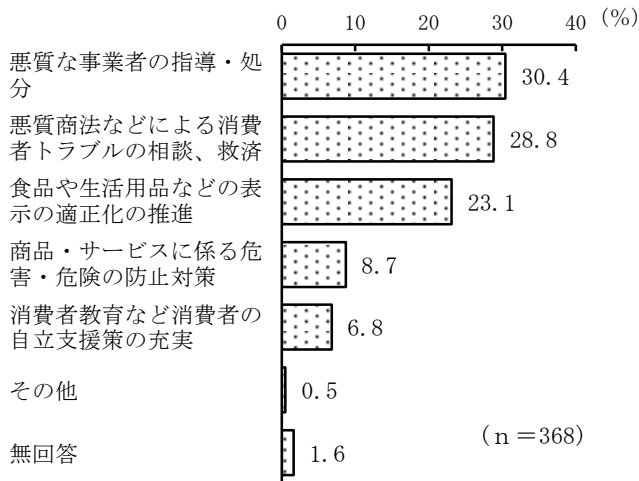
7 少子化・虐待防止などの子供対策



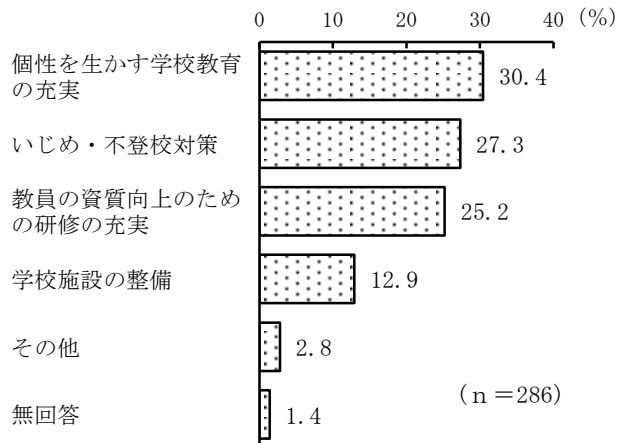
8 交通安全対策



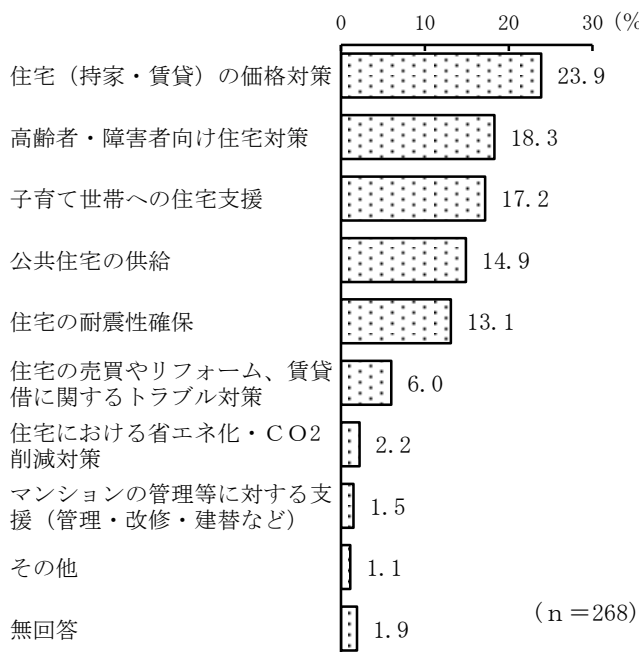
9 消費生活対策



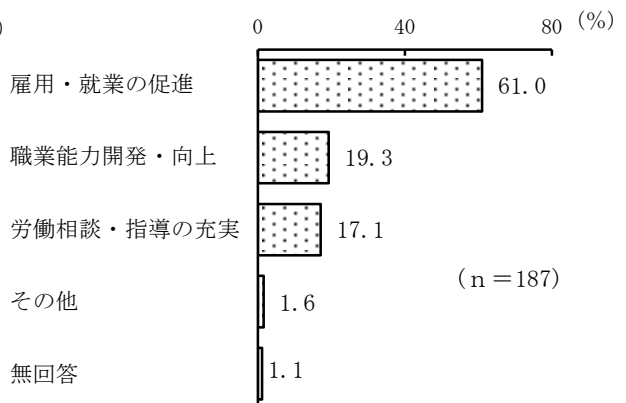
10 学校教育の充実



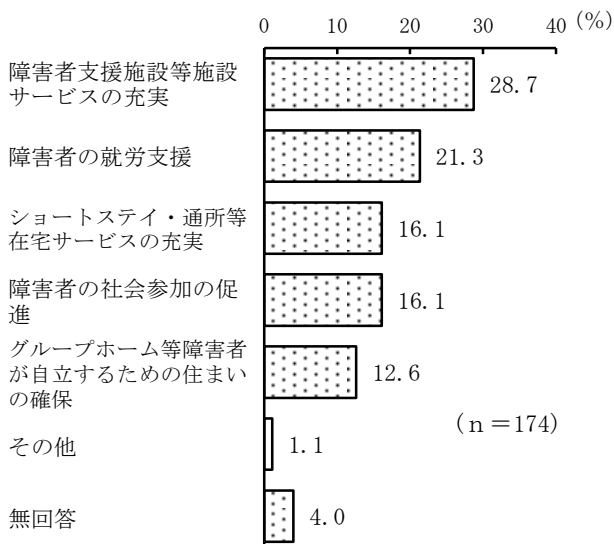
11 土地・住宅対策



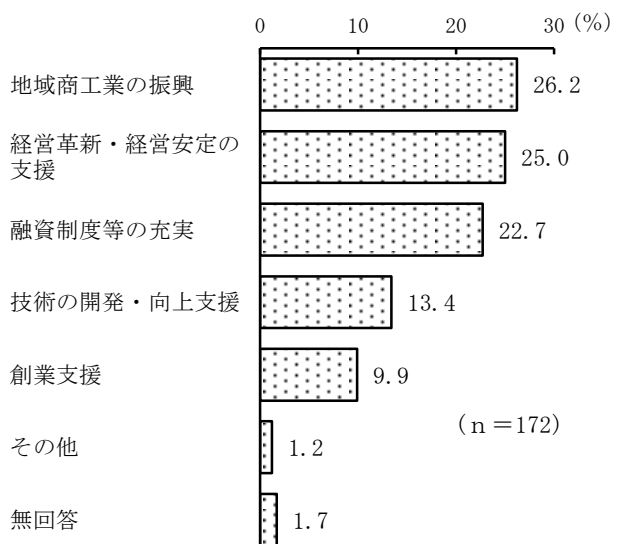
12 職業能力開発、雇用対策



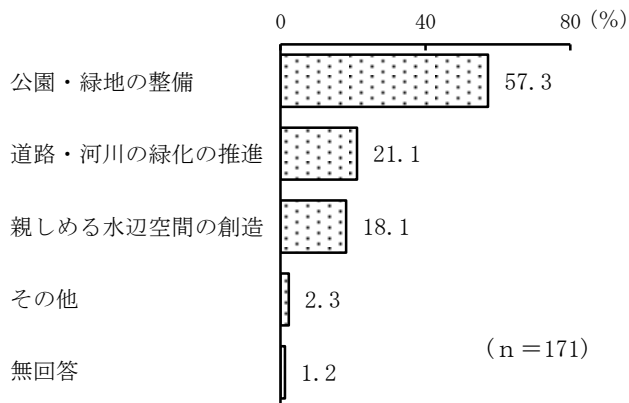
13 障害者（児）対策



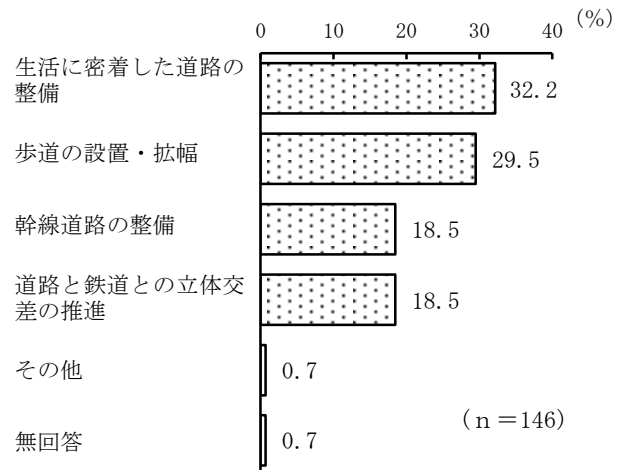
14 中小企業対策



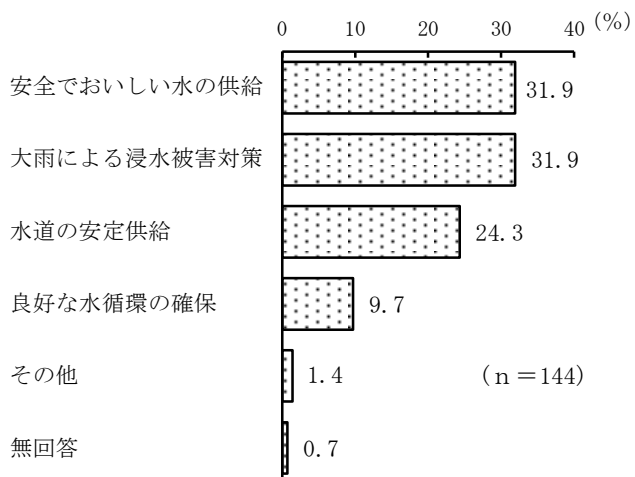
15 公園・緑地・水辺の整備



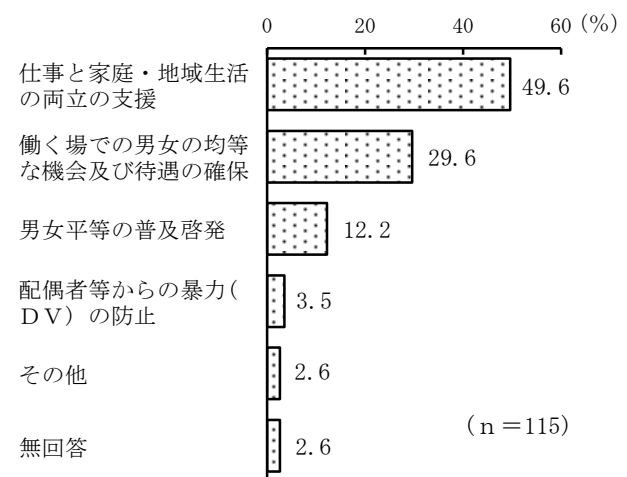
16 道路交通網の整備



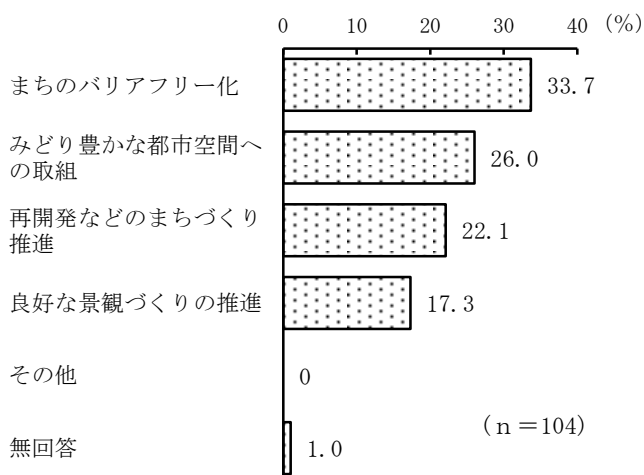
17 水道・下水道の整備・維持



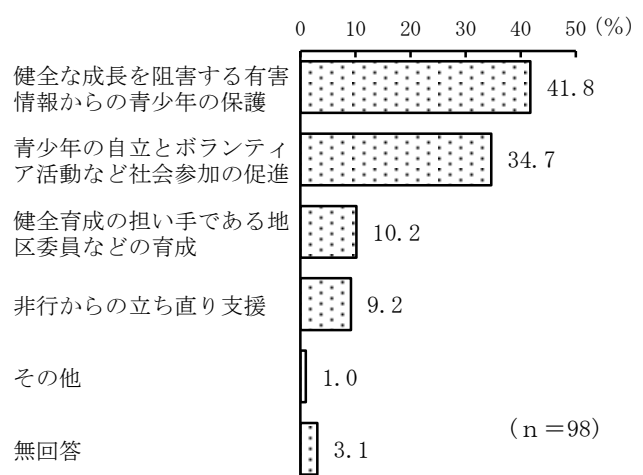
18 男女平等参画の推進



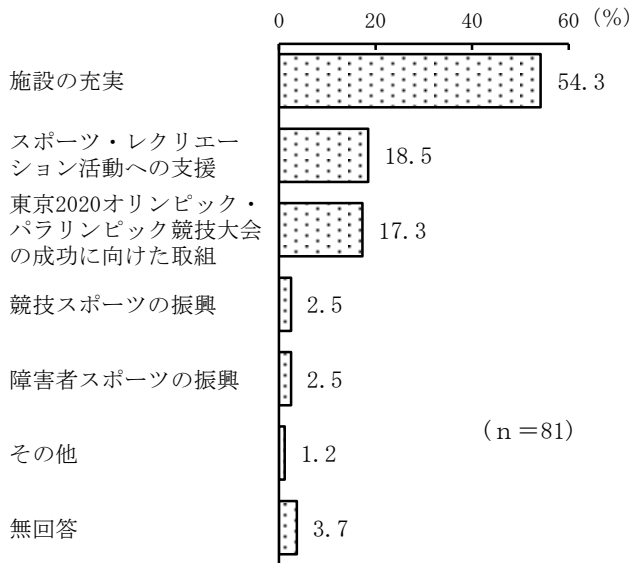
19 まちづくりの推進



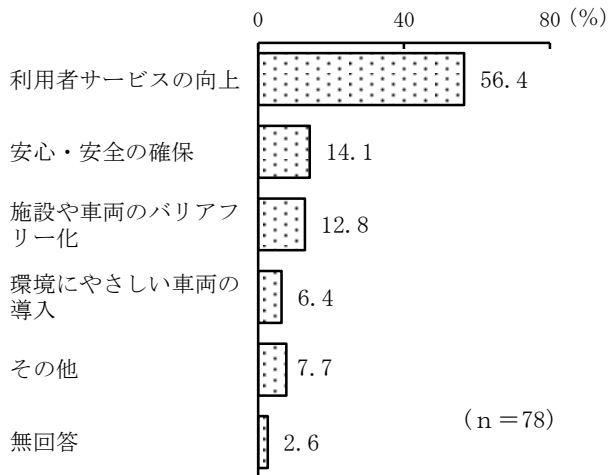
20 青少年健全育成の推進



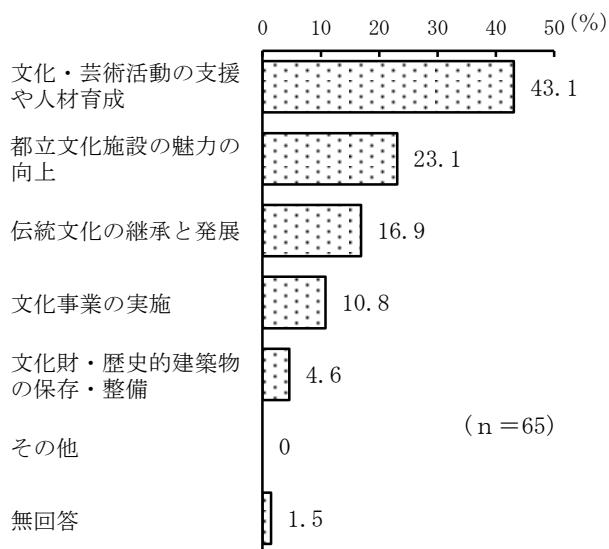
21 スポーツ・レクリエーションの振興



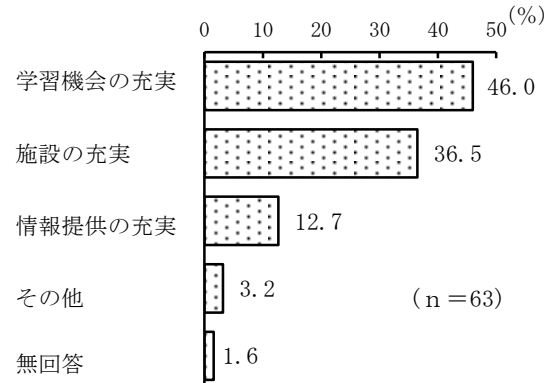
22 都営交通の整備



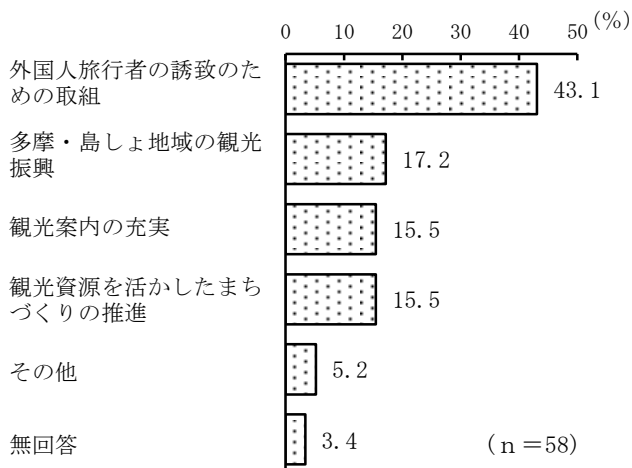
23 文化・芸術の振興



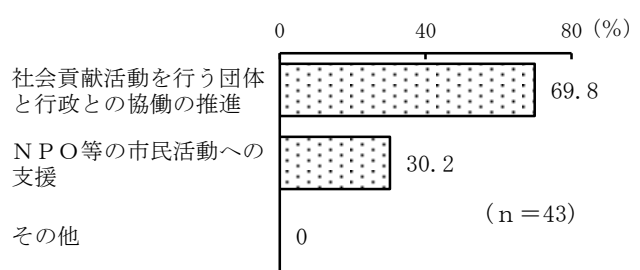
24 生涯学習、社会教育の振興



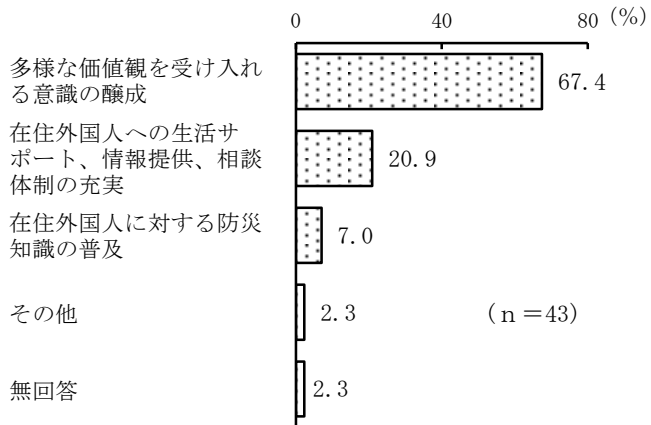
25 観光振興対策



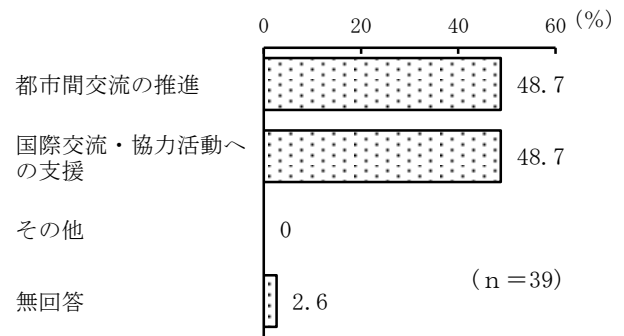
26 地域活動の推進



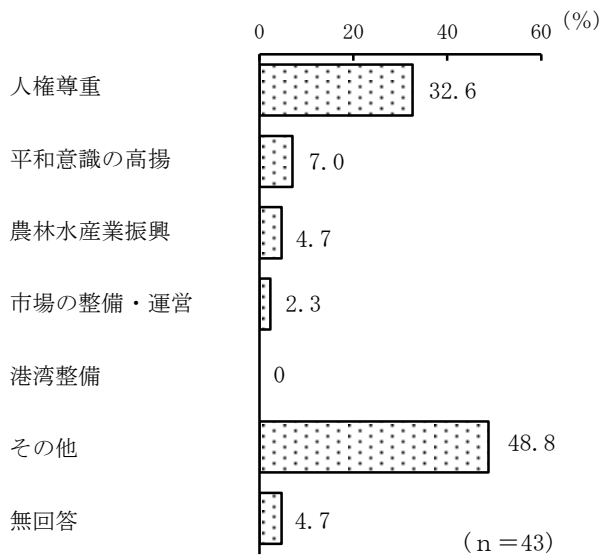
27 多文化共生社会の推進



28 都市外交の推進



29 その他



5 多文化共生

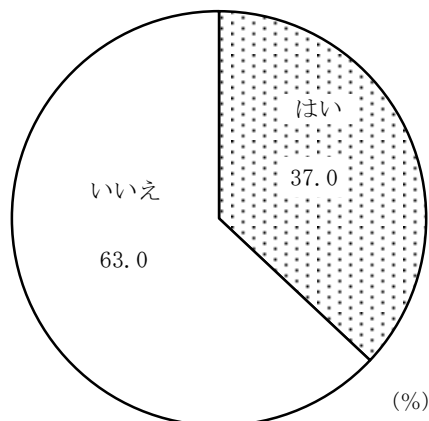
5-1 多文化共生の認知

図5-1-1

(全員に)

Q14 現在、東京には52万人を超える外国人（観光客は含みません。以下の質問も同様です。）が暮らしています。東京都は、「多文化共生 *」の社会づくりを推進していますが、あなたは、「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。

(n=1,856)



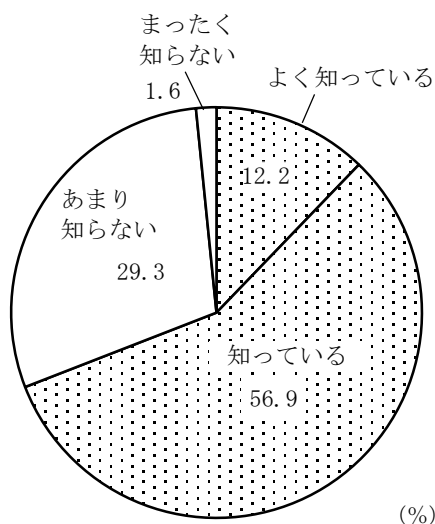
* 「多文化共生」（総務省による定義）

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

(Q14で「1 はい」と答えた方に)

SQ1 あなたは、「多文化共生」という言葉の意味を知っていますか。

(n=687)



知っている (計)	知らない (計)
69.1	30.9

(注) 『知っている (計)』は「よく知っている」「知っている」の合計

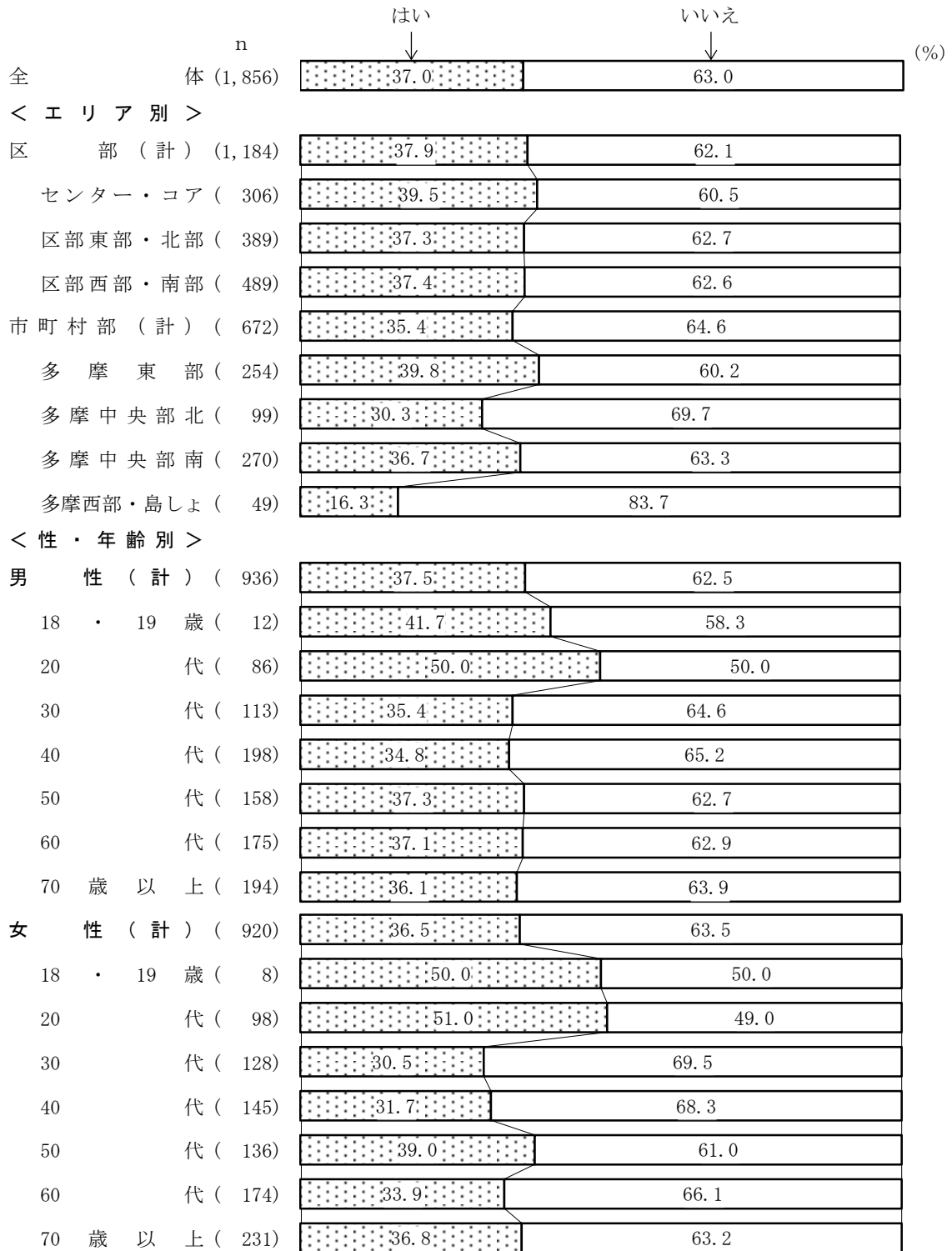
『知らない (計)』は「まったく知らない」「あまり知らない」の合計

多文化共生という言葉を知ったことがあるかについては、「はい」は37%、「いいえ」は63%となっている。

「はい」と答えた人(687人)に、意味まで知っているかを聞いたところ、『知っている (計)』は69%、『知らない (計)』は31%となっている。(図5-1-1)

エリア別にみると、「いいえ」は多摩西部・島しょで8割半ばと多くなっている。
 性・年齢別にみると、「はい」は男女の20代で5割台と多くなっている。(図5-1-2)

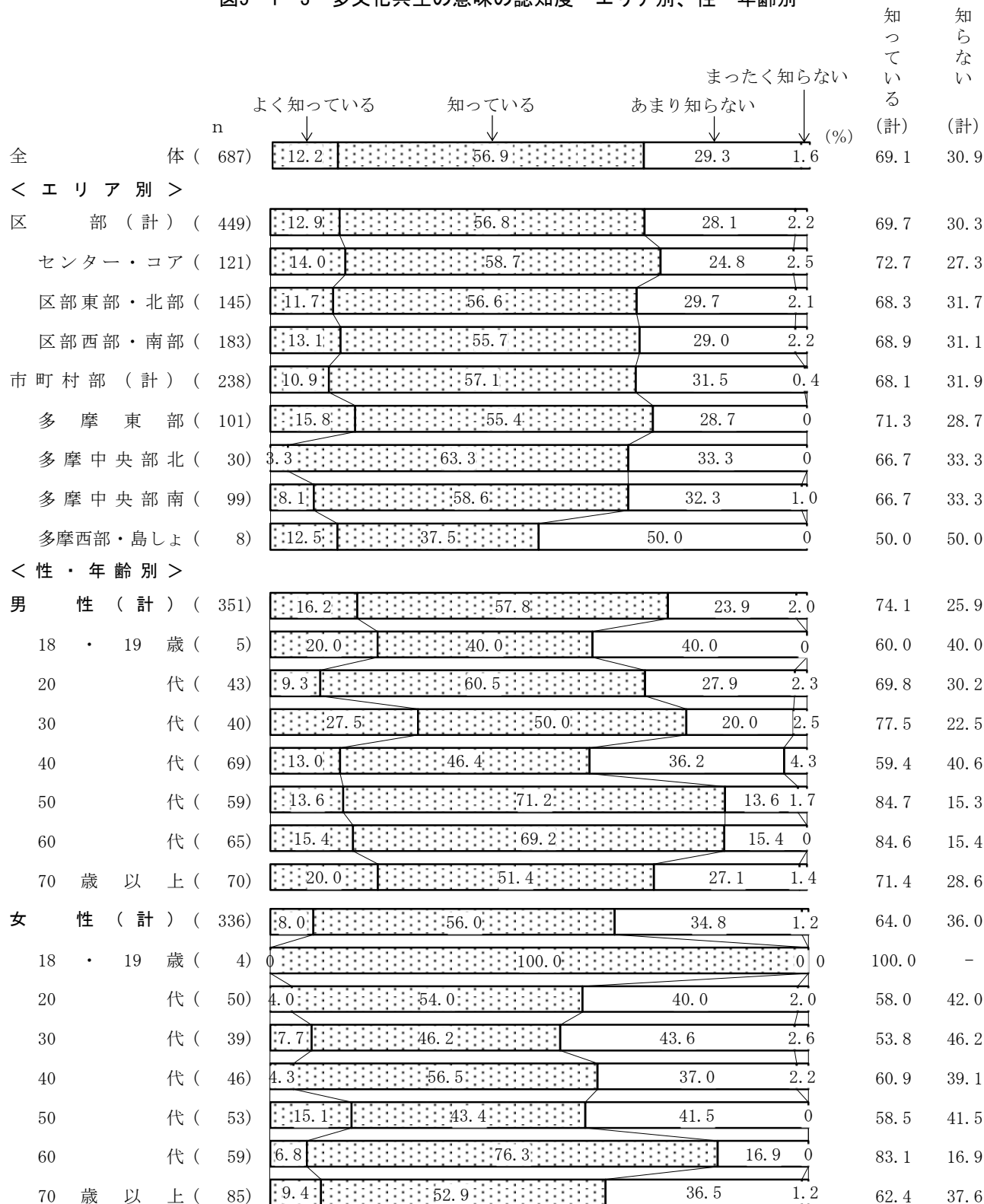
図5-1-2 多文化共生を聞いたことがあるかーエリア別、性・年齢別



多文化共生の意味の認知度をエリア別にみると、『知っている（計）』はセンター・コア、多摩東部で7割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、男性は女性よりも『知っている（計）』が10ポイント高くなっている。特に男性50代、60代で8割半ばと多くなっている。（図5-1-3）

図5-1-3 多文化共生の意味の認知度－エリア別、性・年齢別



(注) 『知っている（計）』は「よく知っている」「知っている」の合計
『知らない（計）』は「まったく知らない」「あまり知らない」の合計

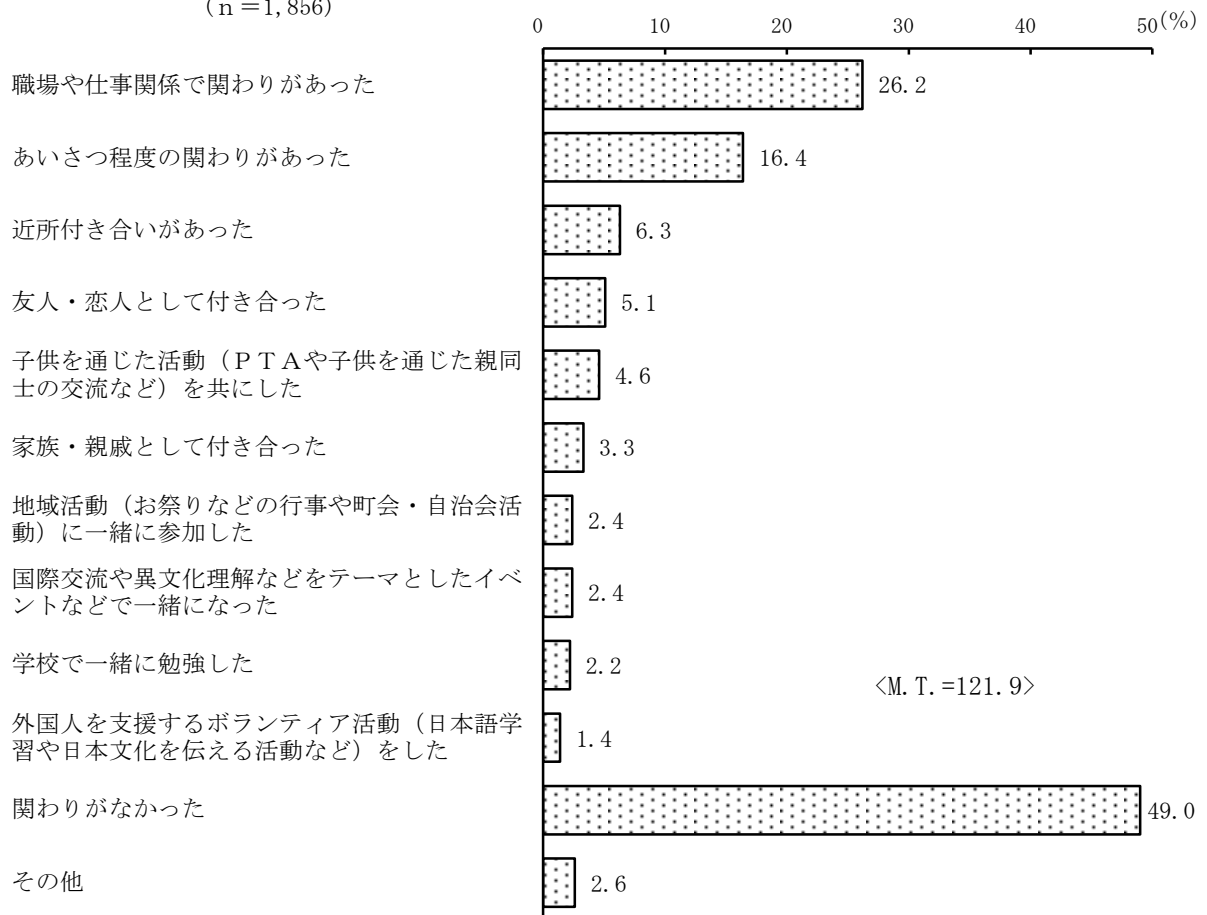
5-2 外国人との関わり

図5-2-1

(全員に)

Q15 あなたはこの一年間で、東京に暮らす外国人とどのような関わりがありましたか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(M. A.)

(n=1,856)



この一年間で東京に暮らす外国人との関わりを聞いたところ、「職場や仕事場で関わりがあった」が26%、「あいさつ程度の関わりがあった」16%などとなっている。一方、「関わりがなかった」は49%となっている。(図5-2-1)

エリア別にみると、市町村部（計）は区部（計）よりも「関わりがなかった」で10ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「職場や仕事関係で関わりがあった」は男性が女性よりも8ポイント高くなっている。特に男性20代、30代、50代で4割台、女性20代、50代で3割半ばと多くなっている。一方、「関わりがなかった」は男女とも70歳以上で6割台と多くなっている。（表5-2-1）

表5-2-1 外国人との関わり—エリア別、性・年齢別

		(%)														
	n	た職場や仕事関係で関わりがあった	あいさつ程度の関わりがあった	近所付き合いがあった	友人・恋人として付き合い合った	子供を通じた活動（PTAや子供を共にした親同士の交流など）	家族・親戚として付き合い合った	加した町会・自治会活動）に一緒に参	地域活動（お祭りなどの行事や	緒になつた	国際交流や異文化理解などを一	学校で一緒に勉強した	伝える活動（日本語学習や日本文化を	外国人を支援するボランティア	関わりがなかった	その他
全 体	1,856	26.2	16.4	6.3	5.1	4.6	3.3	2.4	2.4	2.2	1.4	49.0	2.6			
< エリア別 >																
区 部（計）	1,184	28.1	17.6	6.8	6.1	5.1	3.5	2.2	2.4	2.4	1.4	45.4	3.2			
センター・コア	306	27.1	19.0	7.2	6.5	4.9	4.2	3.6	2.3	2.3	1.6	45.4	3.6			
区部 東部・北部	389	30.1	19.0	5.9	4.1	5.9	2.3	1.5	1.0	1.5	0.5	42.9	3.3			
区部 西部・南部	489	27.2	15.5	7.4	7.4	4.5	3.9	1.8	3.7	3.3	2.0	47.4	2.9			
市町村部（計）	672	22.9	14.3	5.4	3.3	3.7	3.1	2.8	2.2	1.8	1.3	55.2	1.6			
多摩 東部	254	27.6	15.7	3.9	3.5	2.0	3.1	1.6	2.0	2.0	2.8	50.8	-			
多摩 中央部 北	99	27.3	18.2	7.1	2.0	5.1	-	4.0	-	1.0	2.0	51.5	3.0			
多摩 中央部 南	270	19.3	13.0	7.0	4.1	5.6	4.4	4.1	3.3	1.9	-	56.7	3.0			
多摩 西部・島しょ	49	10.2	6.1	-	-	-	2.0	-	2.0	2.0	-	77.6	-			
< 性・年齢別 >																
男 性（計）	936	30.3	15.4	5.7	4.9	2.7	3.2	2.0	1.9	1.7	1.3	48.9	2.5			
18・19 歳	12	-	16.7	-	-	-	-	-	8.3	25.0	-	58.3	-			
20 代	86	40.7	12.8	3.5	7.0	-	2.3	3.5	5.8	5.8	-	38.4	2.3			
30 代	113	46.9	22.1	6.2	4.4	3.5	2.7	3.5	1.8	2.7	0.9	31.0	1.8			
40 代	198	37.9	15.7	9.1	6.6	6.6	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	44.9	1.5			
50 代	158	40.5	13.3	5.7	3.8	2.5	3.2	1.3	0.6	1.3	1.9	44.3	2.5			
60 代	175	25.1	13.7	4.0	5.1	1.1	5.1	-	2.3	-	2.3	53.1	2.3			
70 歳以上	194	6.7	15.5	4.6	3.6	1.0	3.1	2.6	-	-	1.0	67.5	4.1			
女 性（計）	920	22.1	17.4	7.0	5.2	6.5	3.5	2.8	2.8	2.7	1.5	49.0	2.8			
18・19 歳	8	25.0	37.5	12.5	25.0	-	-	-	12.5	37.5	12.5	25.0	-			
20 代	98	35.7	17.3	7.1	6.1	4.1	3.1	2.0	1.0	9.2	1.0	35.7	3.1			
30 代	128	30.5	19.5	8.6	11.7	16.4	3.1	5.5	4.7	3.1	-	28.9	3.1			
40 代	145	21.4	17.2	6.2	5.5	13.1	5.5	2.1	2.1	3.4	0.7	48.3	2.8			
50 代	136	34.6	16.2	4.4	5.1	5.1	1.5	1.5	5.9	0.7	5.1	43.4	4.4			
60 代	174	20.1	17.2	8.0	2.9	1.7	2.9	3.4	2.3	1.1	1.1	54.6	1.1			
70 歳以上	231	6.1	16.5	6.9	2.2	2.6	4.3	2.6	1.3	0.4	0.9	66.2	3.0			

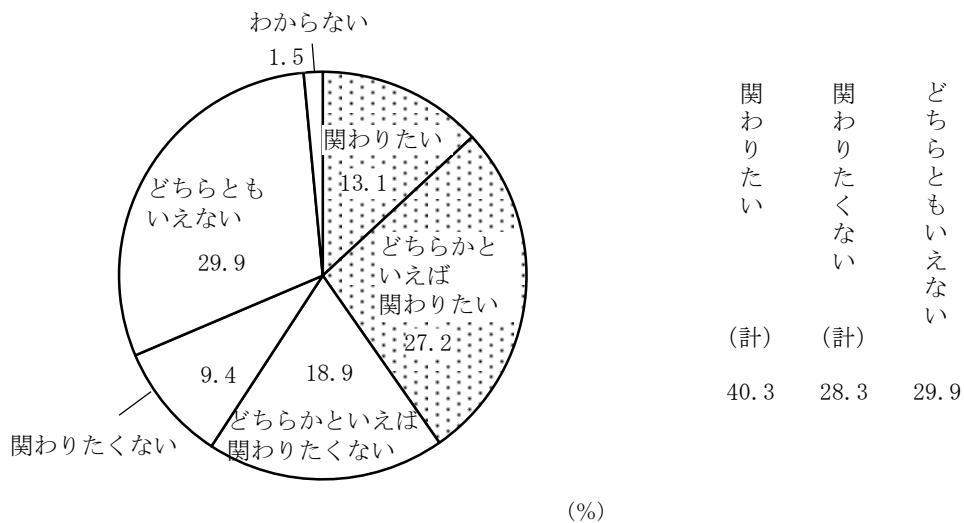
5-3 今後の関わり方

図5-3-1

(全員に)

Q16 今後、あなたは東京に暮らす外国人と関わりたいですか。

(n=1,856)



(注) 『関わりたい (計)』は「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」の合計

『関わりたくない (計)』は「関わりたくない」「どちらかといえば関わりたくない」の合

今後、東京で暮らす外国人と関わりたいか聞いたところ、『関わりたい (計)』40%、『関わりたくない (計)』28%、「どちらともいえない」30%となっている。(図5-3-1)

エリア別にみると、「関わりたい」は区部西部・南部で2割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、『関わりたい（計）』は女性30代で6割半ば、男性20代、30代で5割台と多くなっている。一方、『関わりたくない（計）』はおおむね年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、男女の70歳以上で4割を超えている。（図5-3-2）

図5-3-2 今後の関わり方—エリア別、性・年齢別

n	関わり方						関わりたい (計)	関わりたくない (計)
	関わりたい	どちらかといえば 関わりたい	どちらとも いえない	どちらかといえば 関わりたくない	関わりたくない	わからない		
全体 (1,856)	13.1	27.2	29.9	1.5	18.9	9.4	40.3	28.3
< エリア別 >								
区部 (計) (1,184)	13.9	25.5	32.3	1.4	17.7	9.1	39.4	26.9
センター・コア (306)	13.4	24.5	34.6	0.7	16.7	10.1	37.9	26.8
区部東部・北部 (389)	8.2	25.2	35.5	1.0	20.8	9.3	33.4	30.1
区部西部・南部 (489)	18.8	26.4	28.2	2.2	16.0	8.4	45.2	24.3
市町村部 (計) (672)	11.8	30.1	25.7	1.6	20.8	10.0	41.8	30.8
多摩東部 (254)	13.4	31.1	28.0	0.8	15.4	11.4	44.5	26.8
多摩中央部北 (99)	9.1	34.3	25.3	1.0	22.2	8.1	43.4	30.3
多摩中央部南 (270)	11.5	29.3	25.2	2.6	24.1	7.4	40.7	31.5
多摩西部・島しょ (49)	10.2	20.4	18.4	2.0	28.6	20.4	30.6	49.0
< 性・年齢別 >								
男性 (計) (936)	13.8	26.3	29.7	1.7	18.6	9.9	40.1	28.5
18・19歳 (12)	33.3	16.7	16.7	25.0	8.3		33.3	33.3
20代 (86)	20.9	34.9	25.6	3.5	12.8	2.3	55.8	15.1
30代 (113)	20.4	31.9	28.3	0.9	13.3	5.3	52.2	18.6
40代 (198)	17.2	29.8	32.3	1.0	13.1	6.6	47.0	19.7
50代 (158)	14.6	27.2	27.8	1.3	19.0	10.1	41.8	29.1
60代 (175)	11.4	22.3	29.7	2.3	24.0	10.3	33.7	34.3
70歳以上 (194)	5.7	18.0	32.0	1.0	24.2	19.1	23.7	43.3
女性 (計) (920)	12.5	28.0	30.1	1.3	19.1	8.9	40.5	28.0
18・19歳 (8)	25.0	37.5	37.5	0	0	0	62.5	-
20代 (98)	11.2	31.6	34.7	1.0	17.3	4.1	42.9	21.4
30代 (128)	23.4	43.0	19.5	0	12.5	1.6	66.4	14.1
40代 (145)	13.1	37.2	30.3	1.4	16.6	1.4	50.3	17.9
50代 (136)	14.0	30.1	28.7	2.2	19.1	5.9	44.1	25.0
60代 (174)	11.5	19.0	31.6	1.1	24.7	12.1	30.5	36.8
70歳以上 (231)	6.1	17.7	33.3	1.7	21.6	19.5	23.8	41.1

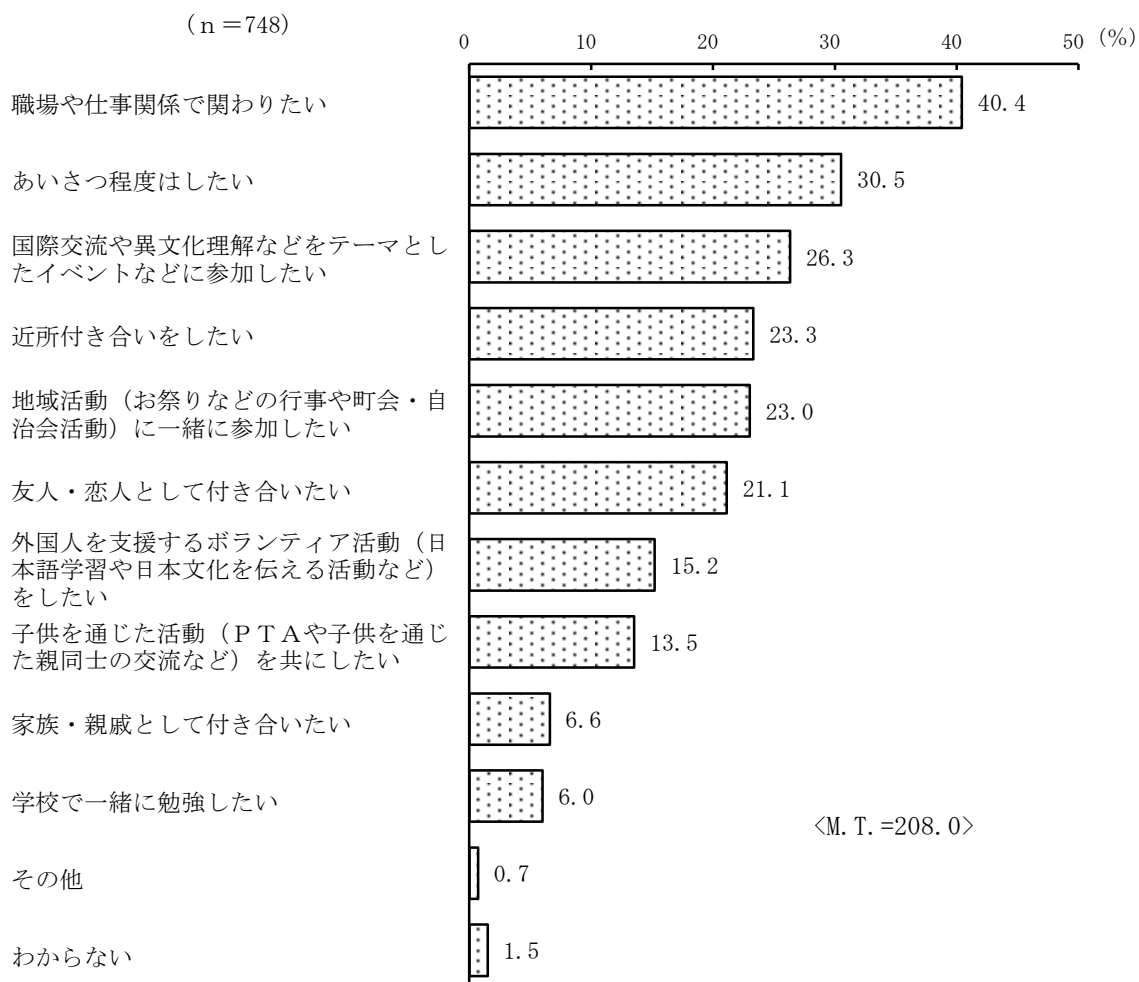
(注) 『関わりたい（計）』は「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」の合計
『関わりたくない（計）』は「関わりたくない」「どちらかといえば関わりたくない」の合計

5-4 具体的な関わり方

図5-4-1

(Q16で「1 関わりたい」「2 どちらかといえば関わりたい」と答えた方に)

SQ あなたは外国人とどのように関わりたいですか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。今現在行っている活動も含めます。(M. A.)



今後、東京で暮らす外国人と『関わりたい (計)』と答えた人 (748人) に、その具体的な内容を聞いたところ、「職場や仕事関係で関わりたい」が40%で最も多く、次いで「あいさつ程度はしたい」31%、「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」26%、「近所付き合いをしたい」、「地域活動 (お祭りなどの行事や町会・自治会活動) に一緒に参加したい」23%などの順となっている。(図5-4-1)

エリア別にみると、「地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）と一緒に参加したい」は多摩中央部南で3割半ばと多くなっている。

性・年齢別にみると、「職場や仕事関係で関わりたい」は男性が女性よりも16ポイント高く、特に男性30代で7割近く、40代、50代で6割近くと多くなっている。「あいさつ程度はしたい」は女性70歳以上で5割半ばと多くなっている。「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」は女性30代で約4割と多くなっている。（表5-4-1）

表5-4-1 具体的な関わり方—エリア別、性・年齢別

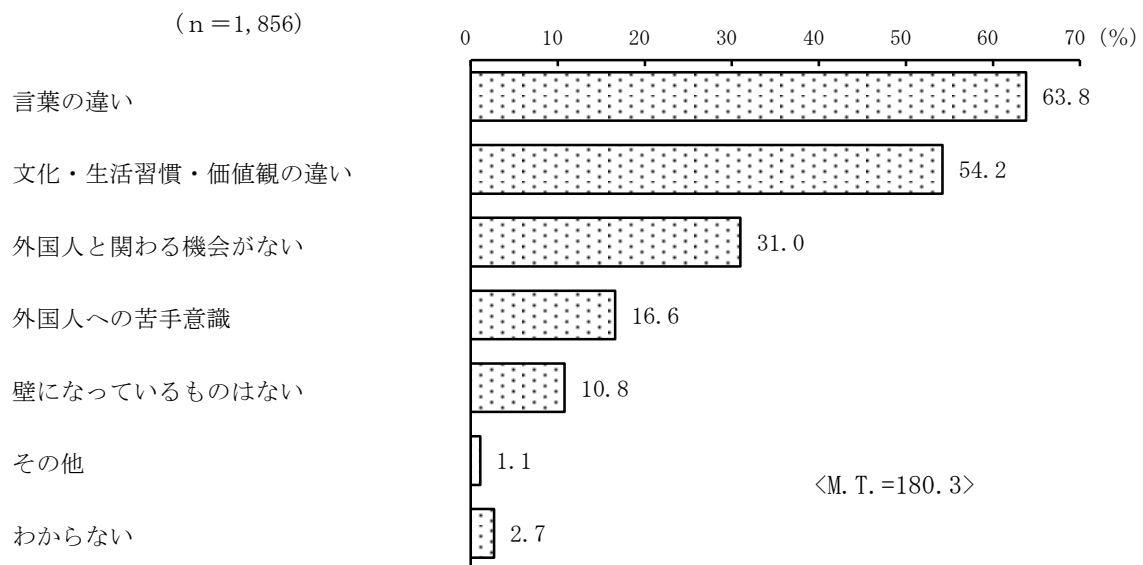
(%)														
	n	職場や仕事関係で関わりたい	あいさつ程度はしたい	国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい	近所付き合いをしたい	地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）と一緒に参加したい	友人・恋人として付き合いをしたい	外国人を支援するボランティア活動（日本語学習や日本文化を伝える活動など）をしたい	外国人を支援するボランティア活動（日本語学習や日本文化を共にしたい	子供を通じた活動（PTAや子供を通じた親同士の交流など）	家族・親戚として付き合いをしたい	学校と一緒に勉強したい	その他	わからない
全 体	748	40.4	30.5	26.3	23.3	23.0	21.1	15.2	13.5	6.6	6.0	0.7	1.5	
< エリア別 >														
区 部（計）	467	40.9	28.7	26.6	25.5	20.6	24.6	14.8	12.8	7.1	4.9	0.6	0.9	
センター・コア	116	37.1	30.2	25.0	28.4	20.7	26.7	10.3	11.2	8.6	6.0	-	0.9	
区部東部・北部	130	43.8	34.6	23.8	23.1	23.8	19.2	13.8	13.8	4.6	2.3	0.8	-	
区部西部・南部	221	41.2	24.4	29.0	25.3	18.6	26.7	17.6	13.1	7.7	5.9	0.9	1.4	
市町村部（計）	281	39.5	33.5	26.0	19.6	27.0	15.3	16.0	14.6	5.7	7.8	0.7	2.5	
多摩東部	113	40.7	38.1	18.6	20.4	17.7	10.6	9.7	8.0	4.4	8.0	-	3.5	
多摩中央部北	43	44.2	32.6	32.6	9.3	27.9	16.3	18.6	14.0	-	7.0	-	2.3	
多摩中央部南	110	37.3	31.8	30.0	23.6	36.4	20.0	21.8	21.8	10.0	9.1	0.9	0.9	
多摩西部・島しょ	15	33.3	13.3	33.3	13.3	26.7	13.3	13.3	13.3	-	-	6.7	6.7	
< 性・年齢別 >														
男 性（計）	375	48.3	26.7	24.8	22.4	20.5	22.9	13.1	11.2	6.4	5.9	0.8	2.1	
18・19歳	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	
20代	48	39.6	16.7	18.8	8.3	12.5	45.8	8.3	2.1	-	4.2	-	2.1	
30代	59	67.8	32.2	32.2	28.8	25.4	23.7	6.8	27.1	5.1	10.2	-	-	
40代	93	59.1	24.7	28.0	29.0	28.0	19.4	12.9	21.5	4.3	8.6	1.1	1.1	
50代	66	59.1	27.3	24.2	16.7	18.2	27.3	10.6	3.0	9.1	3.0	1.5	3.0	
60代	59	33.9	27.1	22.0	20.3	15.3	15.3	16.9	1.7	15.3	3.4	1.7	3.4	
70歳以上	46	15.2	32.6	19.6	28.3	19.6	10.9	26.1	4.3	4.3	-	-	4.3	
女 性（計）	373	32.4	34.3	27.9	24.1	25.5	19.3	17.4	15.8	6.7	6.2	0.5	0.8	
18・19歳	5	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0	-	-	
20代	42	47.6	38.1	19.0	11.9	14.3	21.4	14.3	7.1	4.8	11.9	-	-	
30代	85	45.9	28.2	40.0	22.4	34.1	35.3	18.8	28.2	7.1	4.7	-	-	
40代	73	26.0	31.5	28.8	16.4	23.3	16.4	12.3	31.5	8.2	5.5	1.4	2.7	
50代	60	43.3	26.7	23.3	26.7	16.7	18.3	21.7	3.3	5.0	3.3	-	-	
60代	53	28.3	32.1	26.4	35.8	35.8	7.5	18.9	7.5	5.7	7.5	-	1.9	
70歳以上	55	1.8	56.4	20.0	32.7	21.8	7.3	18.2	5.5	9.1	3.6	1.8	-	

5-5 壁に感じていること

図5-5-1

(全員に)

Q17 あなたが東京に暮らす外国人と関わるに当たり、壁になっていると感じるものがありますか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



東京に暮らす外国人と関わるに当たり、壁になっていると感じるものについて聞いたところ、「言葉の違い」が64%で最も多く、次いで「文化・生活習慣・価値観の違い」54%、「外国人と関わる機会がない」31%、「外国人への苦手意識」17%の順となっている。(図5-5-1)

エリア別にみると、「文化・生活習慣・価値観の違い」は区部東部・北部で6割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(表5-5-1)

表5-5-1 壁に感じていること—エリア別、性・年齢別

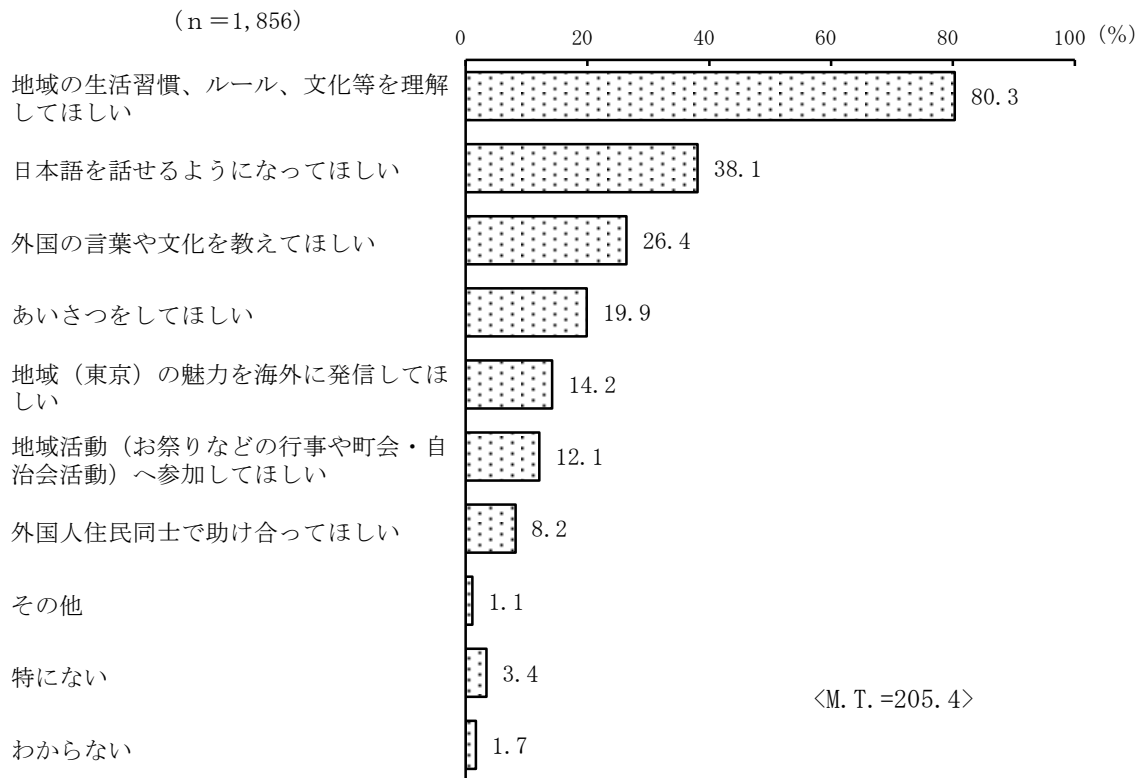
		(%)							
	n	言葉の違い	文化・生活習慣・価値観の違い	外国人と関わる機会がない	外国人への苦手意識	壁になっているものはない	その他	わからない	
全体	1,856	63.8	54.2	31.0	16.6	10.8	1.1	2.7	
＜エリア別＞									
区部(計)	1,184	64.2	55.7	31.3	17.4	11.0	1.0	2.7	
センター・コア	306	61.4	54.6	31.4	16.7	10.5	1.6	1.0	
区部東部・北部	389	68.9	60.9	32.1	18.0	10.0	0.5	3.9	
区部西部・南部	489	62.2	52.1	30.7	17.4	12.1	1.0	2.9	
市町村部(計)	672	63.1	51.6	30.5	15.3	10.4	1.3	2.7	
多摩東部	254	55.9	45.7	26.0	13.8	13.4	1.6	3.5	
多摩中央部北	99	71.7	57.6	31.3	16.2	7.1	1.0	2.0	
多摩中央部南	270	65.6	54.4	34.1	14.8	10.7	1.5	2.2	
多摩西部・島しょ	49	69.4	55.1	32.7	24.5	-	-	2.0	
＜性・年齢別＞									
男性(計)	936	62.8	56.0	28.8	16.9	11.4	1.2	2.4	
18・19歳	12	50.0	50.0	8.3	33.3	8.3	-	8.3	
20代	86	60.5	52.3	29.1	17.4	14.0	1.2	2.3	
30代	113	63.7	58.4	31.9	16.8	6.2	1.8	1.8	
40代	198	64.6	59.1	26.3	17.2	10.1	1.0	1.0	
50代	158	58.2	60.8	22.2	16.5	13.9	2.5	1.9	
60代	175	64.0	54.9	31.4	15.4	13.1	0.6	1.7	
70歳以上	194	64.9	50.5	34.0	17.0	11.3	0.5	4.6	
女性(計)	920	64.8	52.4	33.3	16.4	10.1	1.1	3.0	
18・19歳	8	75.0	25.0	37.5	-	-	-	12.5	
20代	98	61.2	53.1	29.6	22.4	5.1	-	3.1	
30代	128	64.8	58.6	34.4	19.5	6.3	3.1	2.3	
40代	145	60.7	50.3	33.1	17.2	13.1	-	2.8	
50代	136	66.9	61.0	27.9	16.9	5.9	0.7	1.5	
60代	174	66.1	55.2	37.4	14.9	13.8	1.1	2.9	
70歳以上	231	66.2	43.7	34.2	13.0	12.6	1.3	4.3	

5-6 外国人に望むこと

図5-6-1

(全員に)

Q18 あなたは、東京に暮らす外国人が地域社会の一員として生活していく上で、してほしいと思うことは何ですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



東京に暮らす外国人が地域社会の一員として生活していく上で、してほしいと思うことを聞いたところ、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」は80%で最も多く、次いで「日本語を話せるようになってほしい」38%、「外国の言葉や文化を教えてほしい」26%、「あいさつをしてほしい」20%、「地域(東京)の魅力在海外に発信してほしい」14%などの順となっている。(図5-6-1)

エリア別にみると、「地域（東京）の魅力在海外に発信してほしい」は多摩中央部北で2割を超えている。

性・年齢別にみると、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」は女性の50代で約9割、60代で9割近くと多くなっている。「外国の言葉や文化を教えてほしい」は男性20代で4割半ば、女性30代で4割近くと多くなっている。（表5-6-1）

表5-6-1 外国人に望むこと—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	地域の生活習慣、ルールの理解してほしい	日本語を話せるようになる	外国の言葉や文化を教えてほしい	あいさつをしてほしい	地域（東京）の魅力海外に発信してほしい	地域活動（お祭りなど）への参加してほしい	外国人住民同士で助け合ってもらいたい	その他	特になし	わからない
全体	1,856	80.3	38.1	26.4	19.9	14.2	12.1	8.2	1.1	3.4	1.7
< エリア別 >											
区部（計）	1,184	80.3	38.9	25.5	19.4	12.8	11.1	7.9	1.4	3.5	2.2
センター・コア	306	81.0	38.6	23.5	21.9	12.7	10.8	6.5	0.7	3.6	1.6
区部東部・北部	389	82.5	39.3	25.7	20.1	12.9	12.6	8.7	1.8	3.6	1.5
区部西部・南部	489	78.1	38.9	26.6	17.4	12.9	10.2	8.2	1.4	3.5	3.1
市町村部（計）	672	80.4	36.6	28.0	20.7	16.7	13.7	8.8	0.7	3.1	0.7
多摩東部	254	79.5	32.7	26.0	14.2	14.6	12.2	5.9	2.0	3.5	1.2
多摩中央部北	99	76.8	35.4	32.3	25.3	21.2	16.2	12.1	-	3.0	-
多摩中央部南	270	82.6	39.6	28.1	25.9	18.1	14.4	8.9	-	3.0	0.7
多摩西部・島しょ	49	79.6	42.9	28.6	16.3	10.2	12.2	16.3	-	2.0	-
< 性・年齢別 >											
男性（計）	936	80.4	40.9	26.1	20.1	15.5	11.4	8.0	1.4	3.7	1.4
18・19歳	12	58.3	50.0	16.7	25.0	-	8.3	-	-	-	-
20代	86	65.1	26.7	45.3	15.1	16.3	3.5	7.0	1.2	9.3	-
30代	113	85.0	37.2	36.3	16.8	17.7	5.3	8.0	1.8	2.7	0.9
40代	198	83.8	40.4	29.8	20.2	15.2	9.6	8.1	0.5	2.5	1.0
50代	158	84.8	43.7	21.5	21.5	12.0	12.0	8.9	1.9	1.9	1.3
60代	175	84.0	44.6	19.4	17.7	17.1	16.0	6.3	2.3	4.0	1.1
70歳以上	194	75.8	43.8	18.0	24.7	16.5	16.0	9.8	1.0	4.6	3.1
女性（計）	920	80.2	35.2	26.7	19.7	12.9	12.7	8.5	0.9	3.0	2.0
18・19歳	8	50.0	-	62.5	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-
20代	98	80.6	27.6	34.7	14.3	14.3	4.1	7.1	-	4.1	1.0
30代	128	81.3	32.8	39.1	15.6	21.1	8.6	4.7	2.3	2.3	-
40代	145	82.1	29.7	30.3	12.4	11.7	12.4	6.9	2.1	2.1	1.4
50代	136	90.4	38.2	27.9	16.9	14.7	11.8	3.7	0.7	-	0.7
60代	174	87.9	39.1	21.3	26.4	9.2	17.8	12.6	-	2.3	-
70歳以上	231	67.5	39.8	16.5	26.0	10.0	16.0	11.3	0.4	5.2	6.1

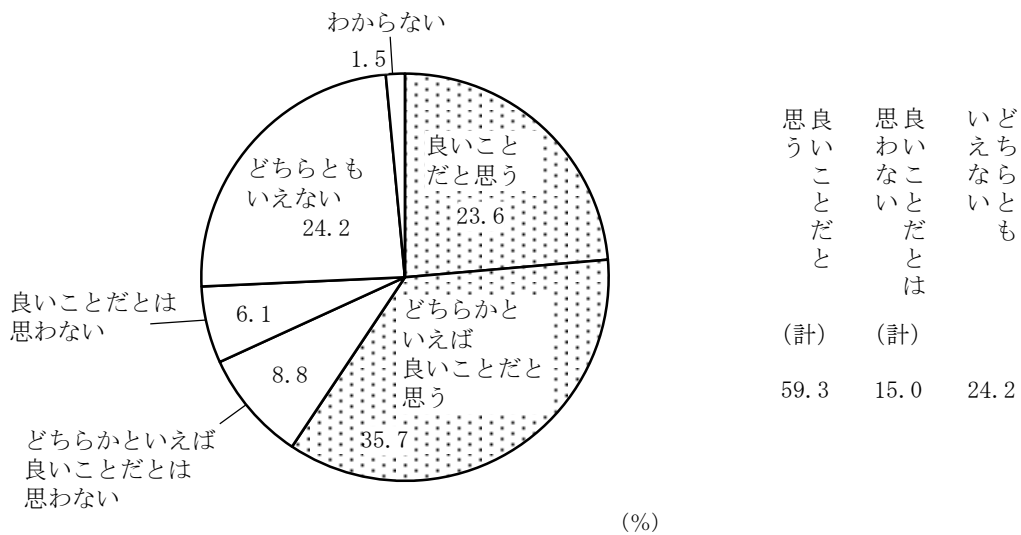
5-7 外国人が増えることについての考え

図5-7-1

(全員に)

Q19 あなたは、働く外国人や地域で活動する外国人が増えることについてどう思いますか。

(n=1,856)



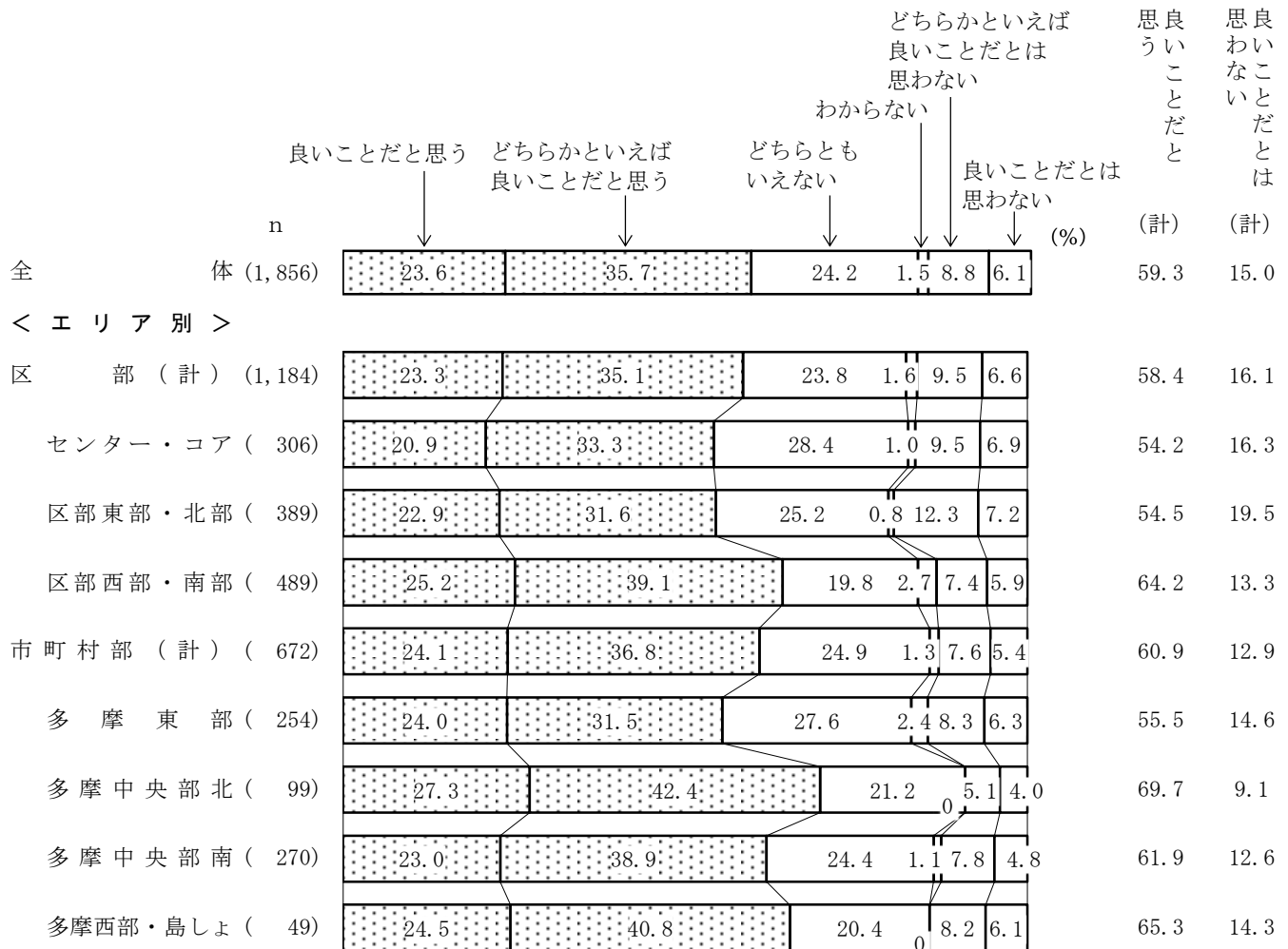
(注) 『良いことだと思 (計)』は「良いことだと思」「どちらかといえ良いことだと思」の合計
 『良いことだと思 (計)』は「良いことだと思」「どちらかといえ良いことだと思」の合計

外国人が増えることについて聞いたところ、『良いことだと思 (計)』59%、『良いことだと思 (計)』15%、「どちらともいえ」24%となっている。(図5-7-1)

エリア別にみると、『良いことだと思う（計）』は多摩中央部北で約7割、区部西部・南部で6割半ばと多くなっている。一方、『良いことだとは思わない（計）』は区部東部・北部で約2割となっている。

(図5-7-2)

図5-7-2 外国人が増えることについての考え—エリア別

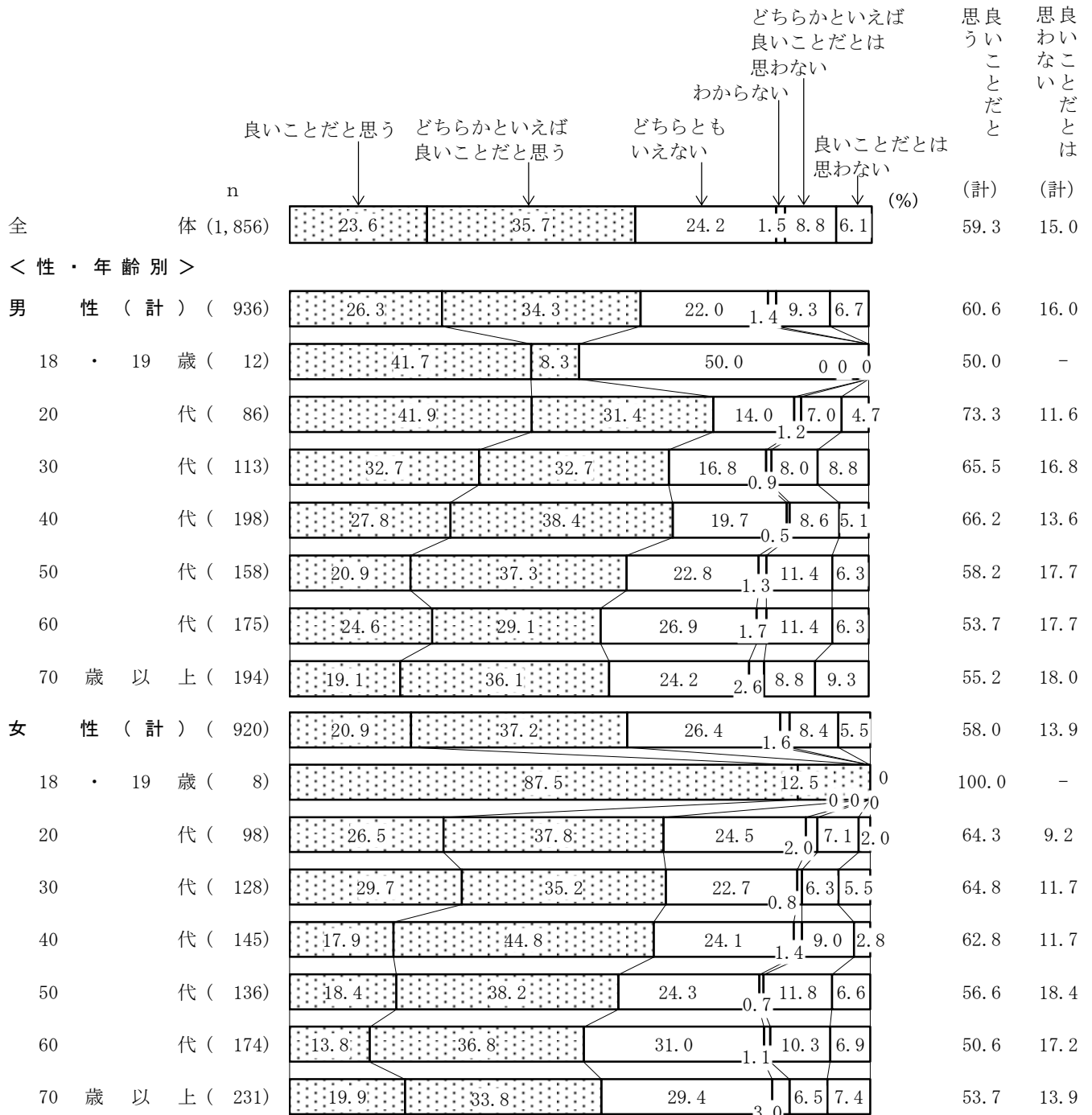


(注) 『良いことだと思う (計)』は「良いことだと思う」「どちらかといえば良いことだと思う」の合計
『良いことだとは思わない (計)』は「良いことだとは思わない」「どちらかといえば良いことだとは思わない」の合計

性・年齢別にみると、『良いことだと思う（計）』は男性20代で7割を超えて多くなっている。

(図5-7-3)

図5-7-3 外国人が増えることについての考え—性・年齢別



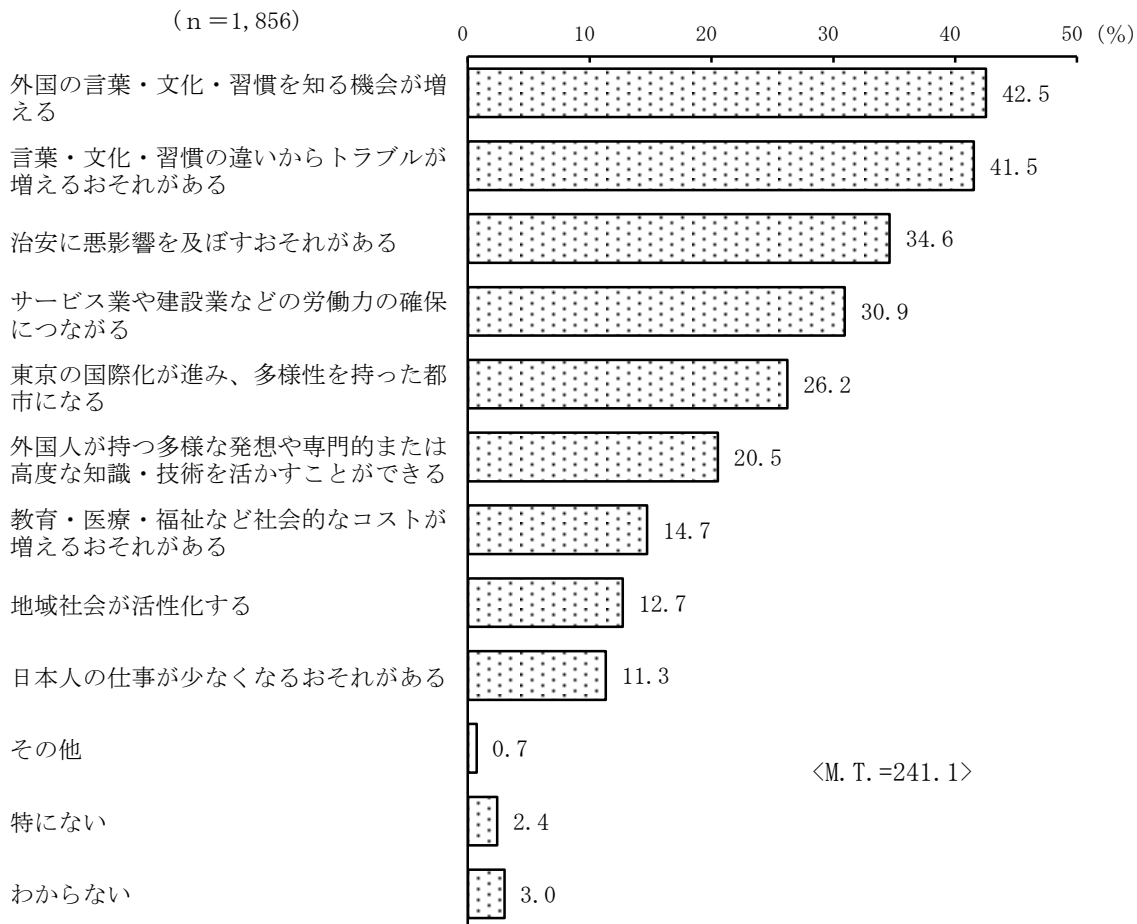
(注) 『良いことだと思う（計）』は「良いことだと思う」「どちらかといえば良いことだと思う」の合計
『良いことだとは思わない（計）』は「良いことだとは思わない」「どちらかといえば良いことだとは思わない」の合計

5-8 外国人が増えることの影響

図5-8-1

(全員に)

Q20 あなたは、地域で活躍する外国人や働く外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



外国人が増えることの影響について聞いたところ、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」が43%で最も多く、次いで「言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある」42%、「治安に悪影響を及ぼすおそれがある」35%、「サービス業や建設業などの労働力の確保につながる」31%、「東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる」26%などの順となっている。(図5-8-1)

エリア別にみると、「外国人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる」は多摩中央部北で3割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」は男性20代、女性の20代、30代、50代で5割台と多くなっている。「治安に悪影響を及ぼすおそれがある」は男性50代以上で4割台と多くなっている。(表5-8-1)

表5-8-1 外国人が増えることの影響—エリア別、性・年齢別

	n	外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える	言葉・文化・習慣の違おそれがある	治安に悪影響を及ぼすおそれがある	サービスの確保や建設などの労働力の確保	東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる	専門的または高度な知識や技術を活かすことができる	外国人が持つ多様な発想や知識・技術がある	教育・医療・福祉など社会的コストが増えるおそれがある	地域社会が活性化する	日本人の仕事が少なくなるおそれがある	その他	特にない	わからない
全体	1,856	42.5	41.5	34.6	30.9	26.2	20.5	14.7	12.7	11.3	0.7	2.4	3.0	
< エリア別 >														
区部(計)	1,184	42.1	43.6	35.3	30.7	26.9	19.2	14.3	12.5	11.7	0.7	1.8	3.6	
センター・コア	306	39.9	45.4	34.0	31.0	26.5	16.7	12.4	12.4	11.4	1.0	1.0	2.6	
区部東部・北部	389	39.8	45.5	38.8	31.4	23.1	17.7	13.9	13.4	13.6	1.0	2.8	2.3	
区部西部・南部	489	45.4	40.9	33.3	30.1	30.1	21.9	15.7	11.9	10.4	0.2	1.4	5.3	
市町村部(計)	672	43.2	37.8	33.5	31.1	25.1	22.9	15.3	13.1	10.4	0.7	3.6	1.9	
多摩東部	254	41.3	30.7	29.9	31.5	30.3	19.7	9.4	10.6	7.9	0.8	6.7	2.8	
多摩中央部北	99	48.5	42.4	36.4	35.4	24.2	31.3	16.2	15.2	10.1	1.0	2.0	-	
多摩中央部南	270	43.3	42.2	33.3	30.7	20.7	24.4	20.0	14.1	13.3	0.7	1.5	1.9	
多摩西部・島しょ	49	40.8	40.8	46.9	22.4	24.5	14.3	18.4	16.3	8.2	-	2.0	2.0	
< 性・年齢別 >														
男性(計)	936	39.5	43.8	38.0	33.3	24.9	19.9	15.1	14.6	11.0	0.6	2.6	2.1	
18・19歳	12	33.3	33.3	41.7	25.0	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	-	-	-	
20代	86	55.8	39.5	23.3	19.8	31.4	27.9	10.5	15.1	11.6	-	2.3	1.2	
30代	113	45.1	41.6	33.6	34.5	30.1	27.4	12.4	14.2	11.5	1.8	1.8	-	
40代	198	42.4	44.4	35.4	36.9	26.3	19.2	12.6	16.2	11.1	1.5	1.0	1.0	
50代	158	36.7	46.8	42.4	41.1	23.4	22.2	15.8	13.9	9.5	-	1.3	3.8	
60代	175	36.0	47.4	40.0	33.1	25.7	15.4	20.0	12.6	10.3	0.6	3.4	1.7	
70歳以上	194	32.0	41.2	44.3	29.4	18.6	14.9	16.5	15.5	12.4	-	5.2	4.1	
女性(計)	920	45.5	39.1	31.2	28.4	27.6	21.2	14.2	10.8	11.5	0.8	2.3	3.9	
18・19歳	8	75.0	-	12.5	12.5	62.5	25.0	12.5	12.5	25.0	-	-	-	
20代	98	57.1	37.8	22.4	21.4	32.7	28.6	3.1	7.1	10.2	-	-	2.0	
30代	128	56.3	38.3	28.9	29.7	37.5	25.0	14.8	10.2	12.5	-	0.8	0.8	
40代	145	48.3	43.4	31.0	27.6	31.7	22.8	11.7	11.0	15.2	0.7	2.1	2.1	
50代	136	52.2	41.9	37.5	33.8	23.5	18.4	18.4	6.6	10.3	2.2	1.5	2.2	
60代	174	39.7	47.1	32.8	33.3	21.8	21.3	16.1	16.1	11.5	0.6	1.1	2.9	
70歳以上	231	32.5	31.2	32.0	24.7	22.9	16.5	16.5	10.8	9.5	0.9	5.6	9.5	

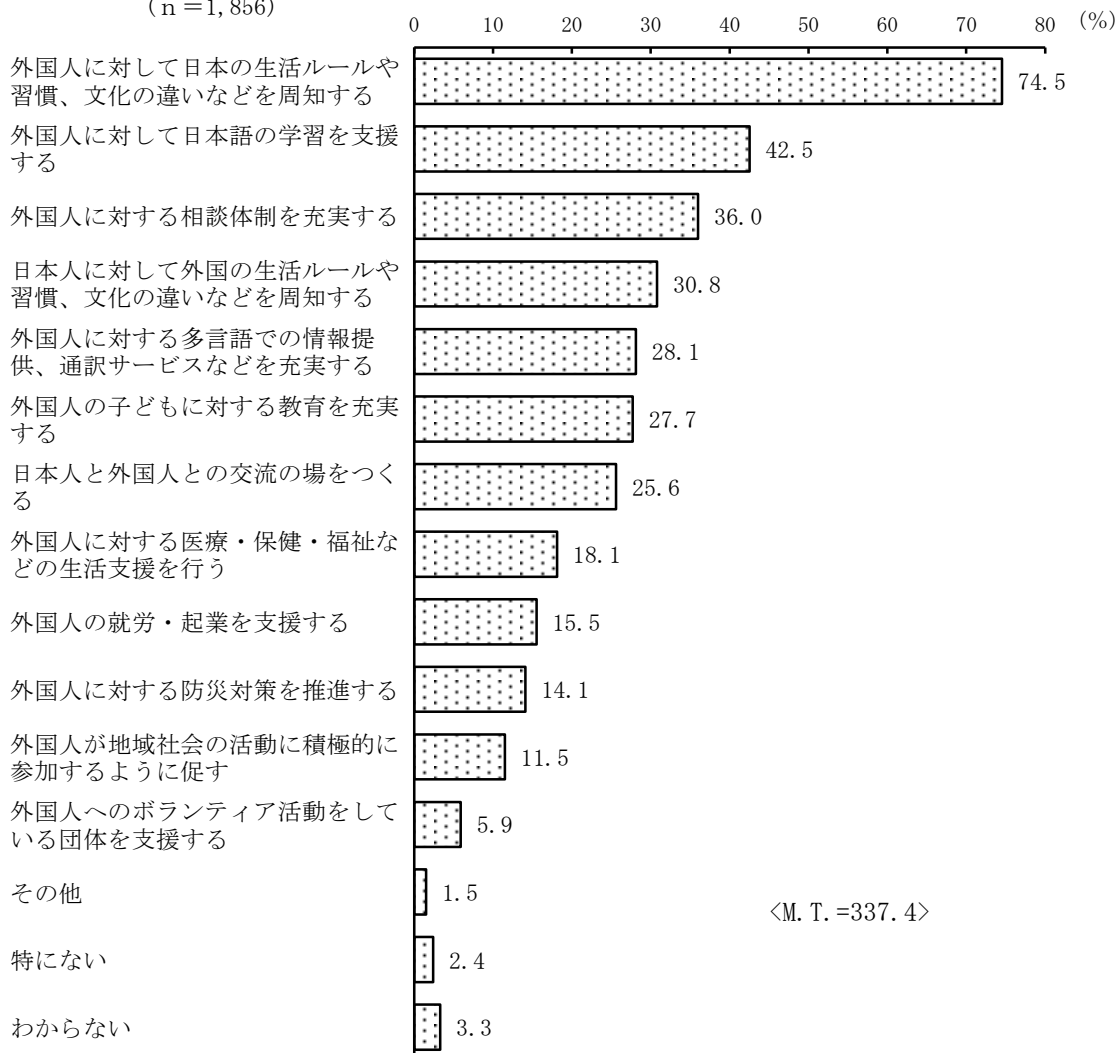
5-9 行政に求めること

図5-9-1

(全員に)

Q21 今後、さらに東京に暮らす外国人が増加することが見込まれています。多文化共生の社会づくりに向けて、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。この中から5つまでお答えください。(5M. A.)

(n=1,856)



多文化共生の社会づくりに向けて、行政はどのようなことに力を入れるべきか聞いたところ、「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」が75%で最も多く、次いで「外国人に対して日本語の学習を支援する」43%、「外国人に対する相談体制を充実する」36%、「日本人に対して外国の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」31%、「外国人に対する多言語での情報提供、通訳サービスなどを充実する」、「外国人の子どもに対する教育を充実する」28%などの順となっている。

(図5-9-1)

エリア別にみると、「日本人と外国人との交流の場をつくる」は多摩中央部北で3割半ばと多くなっている。「外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援を行う」も多摩中央部北で約3割と多くなっている。

性・年齢別にみると、「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」は女性50代、60代で8割を超えて多くなっている。「外国人に対して日本語の学習を支援する」は男性70歳以上、女性60代で5割台と多くなっている。「外国人に対する相談体制を充実する」は女性40代で4割半ばとなっている。(表5-9-1)

表5-9-1 行政に求めること—エリア別、性・年齢別

		(%)															
	n	外国人に対する生活ルールや文化の違いなどを周知する	外国人に対して日本語の学習を支援する	外国人に対する相談体制を充実する	日本人に対して外国の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する	外国人に対する多言語での情報提供、通訳サービスなどを充実する	外国人の子どもに対する教育を充実する	日本人と外国人との交流の場をつくる	外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援を行う	外国人の就労・起業を支援する	外国人に対する防災対策を推進する	外国人が地域社会の活動に積極的に参加するように促す	外国人へのボランティア活動をしていける団体への支援	その他	特になし	わからない	
全体	1,856	74.5	42.5	36.0	30.8	28.1	27.7	25.6	18.1	15.5	14.1	11.5	5.9	1.5	2.4	3.3	
< エリア別 >																	
区部(計)	1,184	75.6	42.2	34.7	31.4	27.8	26.2	25.7	17.7	14.4	14.4	11.1	6.3	1.4	2.4	4.0	
センター・コア	306	75.2	41.5	30.4	29.1	23.5	20.6	24.8	14.4	12.1	11.4	10.8	5.2	2.3	2.6	2.6	
区部東部・北部	389	76.6	42.4	37.8	34.2	29.8	30.1	26.5	16.7	15.2	17.0	11.3	5.7	1.5	2.6	3.6	
区部西部・南部	489	75.1	42.5	35.0	30.7	28.8	26.6	25.6	20.4	15.1	14.3	11.0	7.4	0.8	2.2	5.1	
市町村部(計)	672	72.6	43.0	38.2	29.6	28.6	30.4	25.4	18.9	17.6	13.5	12.2	5.4	1.6	2.2	2.1	
多摩東部	254	68.9	39.0	36.2	25.2	26.8	29.9	24.0	17.7	15.7	12.2	7.9	5.1	3.5	2.8	2.0	
多摩中央部北	99	72.7	46.5	41.4	37.4	32.3	32.3	34.3	30.3	23.2	13.1	11.1	7.1	-	1.0	-	
多摩中央部南	270	77.4	47.0	39.3	30.7	29.3	28.5	24.1	17.4	17.8	14.4	15.9	4.8	0.7	2.2	2.2	
多摩西部・島しょ	49	65.3	34.7	36.7	30.6	26.5	38.8	22.4	10.2	14.3	16.3	16.3	6.1	-	2.0	6.1	
< 性・年齢別 >																	
男性(計)	936	74.4	44.8	36.8	28.7	26.0	30.0	26.7	19.2	17.0	12.9	11.8	6.4	1.8	2.9	2.2	
18・19歳	12	66.7	66.7	16.7	16.7	25.0	-	25.0	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	-	-	-	
20代	86	67.4	31.4	31.4	26.7	34.9	19.8	31.4	17.4	16.3	11.6	11.6	4.7	2.3	3.5	2.3	
30代	113	75.2	38.1	31.0	34.5	31.0	33.6	25.7	17.7	24.8	13.3	10.6	4.4	2.7	2.7	-	
40代	198	75.8	45.5	41.4	28.3	29.8	32.3	32.3	17.2	17.2	9.6	9.6	5.6	2.0	1.5	1.0	
50代	158	77.2	43.7	43.0	31.6	29.7	34.8	19.6	21.5	14.6	8.9	13.3	5.1	1.9	2.5	3.2	
60代	175	78.3	46.9	35.4	25.7	21.1	29.7	24.6	21.7	18.3	14.3	12.6	8.0	1.7	2.3	2.9	
70歳以上	194	70.1	51.5	35.1	27.8	16.5	28.4	27.3	19.6	12.9	19.1	12.4	8.8	1.0	5.2	3.6	
女性(計)	920	74.7	40.2	35.2	32.8	30.2	25.3	24.5	17.0	14.0	15.3	11.2	5.4	1.2	1.8	4.3	
18・19歳	8	37.5	37.5	50.0	37.5	50.0	25.0	37.5	50.0	12.5	25.0	12.5	-	-	-	-	
20代	98	75.5	39.8	33.7	34.7	35.7	15.3	28.6	12.2	20.4	10.2	7.1	3.1	1.0	-	1.0	
30代	128	72.7	46.1	36.7	30.5	39.8	24.2	28.1	19.5	12.5	9.4	8.6	6.3	3.1	1.6	2.3	
40代	145	74.5	35.9	44.1	37.9	31.7	28.3	23.4	19.3	17.9	16.6	11.0	3.4	0.7	-	3.4	
50代	136	81.6	34.6	41.9	33.1	33.1	27.2	27.2	17.6	16.9	9.6	9.6	6.6	0.7	-	1.5	
60代	174	81.6	50.0	33.3	32.8	25.9	31.6	24.1	16.1	11.5	18.4	13.8	5.2	1.7	1.1	2.9	
70歳以上	231	67.5	35.9	26.4	29.9	22.5	22.5	19.5	15.2	10.0	20.8	13.4	6.9	0.4	5.6	10.4	

調査票及び単純集計結果

都民生活に関する世論調査

【調査主体】

東京都 生活文化局 広報広聴部 都民の声課 調査担当

【調査実施機関】

東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル 6階
株式会社サーベイリサーチセンター
電話 0120-380-271

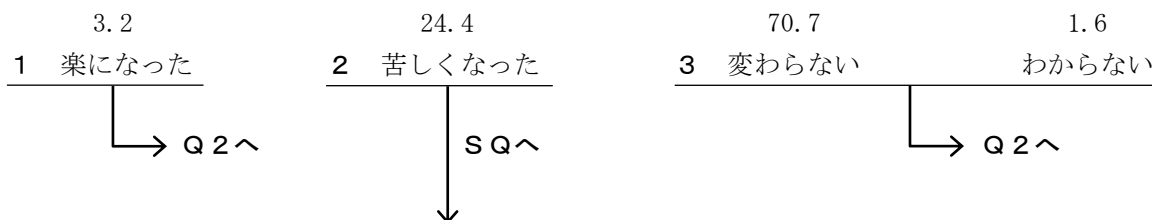


平成30年 7月

【暮らし】

(全員に)

※Q1〔回答票1〕 さっそくですが、お宅の暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。〈n=1,856〉



(Q1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

※SQ〔回答票1-1〕 それはなぜでしょうか。この中から、いくつでもあげてください。〈n=453〉

- 35.1 1 営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った
- 19.0 2 失業、退職、病気などで働き手が減った
- 10.6 3 利率の低下などにより預貯金が目減りした
- 26.7 4 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた
- 16.6 5 結婚、出産、病気など特別の出費があった
- 19.2 6 教育費が増えた
- 13.7 7 家や自動車、家電などの支出が増えた
- 37.5 8 税金や保険料の支払いが増えた
- 4.4 9 営業経費が増えた
- 11.9 その他（具体的に)
- 2.4 特に理由はない、わからない

M. T. =197.1

(全員に)

※Q2〔回答票2〕 お宅の暮らしは、このように分けるとどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけ選んでください。〈n=1,856〉

- | | |
|--------|--------|
| 5.2 1 | 38.1 3 |
| 49.1 2 | 6.8 4 |
| | 0.8 |
- 今の暮らしで十分余裕がある 今の暮らしではまだまだ余裕がない
今の暮らしであればまあまあだ 今の暮らしではとてもやりきれない
わからない

(全員に)

※Q3〔回答票3〕お宅の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに入りますか。〈n=1,856〉

0.9	1	上	44.4	3	中の中	9.2	5	下
12.3	2	中の上	29.5	4	中の下	3.7		わからない

(全員に)

※Q4〔回答票4〕あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になるといいますか、苦しくなるといいますか。それとも変わらないといっていますか。〈n=1,856〉

0.1	4.3	56.3	27.6	6.3	5.4
1	2	3	4	5	
かなり楽になる	やや楽になる	変わらない	やや苦しくなる	かなり苦しくなる	わからない
	→ Q5へ		SQへ		→ Q5へ

(Q4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

※SQ〔回答票4-1〕では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。この中からいくつでもお答えください。〈n=629〉

42.4	1	食費	22.4	10	保健、医療費
22.7	2	嗜好品費(酒、タバコなど)	20.2	11	理・美容、化粧品費
28.6	3	住居費(光熱水費を含む)	27.7	12	趣味、教養・娯楽費
36.9	4	被服費(身の回り品を含む)	29.9	13	旅行
19.2	5	装飾品費(宝石、貴金属類など)	43.6	14	外食費
21.9	6	家具、家電製品、車などの購入費	13.7	15	家族のこづかい
12.9	7	交通費(車の燃料・経費を含む)	12.6	16	冠婚葬祭、交際費
17.8	8	通信費(電話、インターネット接続など)	2.5		その他(具体的に)
7.0	9	教育費(塾を含む)	4.1		特にない

M. T. =386.2

(全員に)

※Q5〔回答票5〕あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。〈n=1,856〉

4.5	1	大変満足している	33.6	3	やや不満である	4.7		わからない
49.9	2	まあ満足している	7.2	4	大変不満である			
		↓ SQ1へ			→ SQ2へ			→ Q6へ

(Q5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

※SQ1〔回答票5-1〕どのような理由で満足されていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。〈n=1,010〉

68.0	1	健康であるから	13.6	8	スポーツやレジャー活動が充実しているから
18.9	2	衣生活が豊かだから	20.7	9	仕事や勉強がうまくいっているから
28.4	3	食生活が豊かだから	22.7	10	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから
27.4	4	住生活が豊かだから	12.4	11	家具、車など耐久消費財がそろっているから
56.0	5	家族との生活が充実しているから	4.4	12	十分な貯蓄があるから
40.5	6	友人、知人との人間関係が充実しているから	10.9	13	悩みや心配ごとがないから
7.4	7	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	1.1		その他(具体的に)
			0.3		わからない

M. T. =332.7

(Q5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

※SQ2〔回答票5-2〕どのような理由で不満であると感じていますか。この中から当てはまるものをいくつかもお答えください。<n=758>

26.6	1	健康でないから	18.9	8	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから
7.4	2	衣生活が不十分だから	13.9	9	仕事や勉強がうまくいっていないから
9.9	3	食生活が不十分だから	27.8	10	趣味、教養の時間が十分にとれないから
16.8	4	住生活が不十分だから	21.6	11	家具、車など、欲しいものが買えないから
7.3	5	家族との生活がうまくいっていないから	64.0	12	貯蓄が十分でないから
1.7	6	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	26.1	13	悩みや心配ごとがあるから
7.7	7	社会に貢献しているという充実感がないから	6.6		その他(具体的に)
			0.9		わからない
M. T. =257.1					

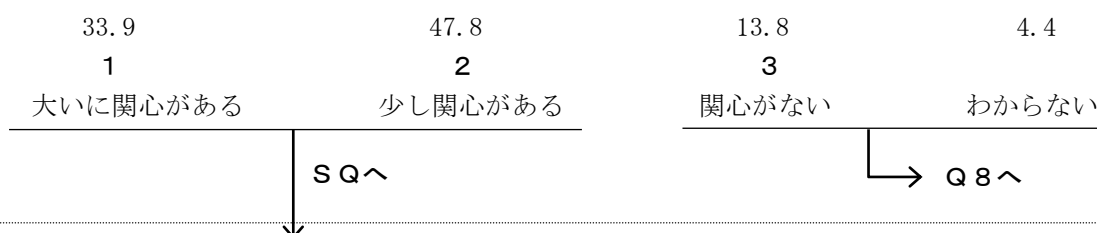
(全員に)

※Q6〔回答票6〕あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありますか。この中からいくつかもお答えください。<n=1,856>

64.1	1	自分の健康・病気	33.5	9	親などの介護
56.7	2	家族の健康・病気	50.6	10	老後の生活
10.9	3	自分の就職、結婚などの問題	5.3	11	家族・親族間の人間関係
9.8	4	家族の就職、結婚などの問題	3.8	12	近隣・地域の人間関係
16.7	5	子育て、子供の教育	14.6	13	仕事や職場のこと
43.4	6	今後の収入	0.9		その他(具体的に)
26.6	7	貯蓄や資産(借金や負債)	3.3		不安に感じることはない
31.3	8	税金や保険料(などの負担)			
M. T. =371.3					

(全員に)

※Q7〔回答票7〕あなたは、税金について関心がありますか。<n=1,856>



(Q7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

※SQ〔回答票7-1〕では、今、関心をもっているのはどのようなことですか。この中から当てはまるものをいくつかもあげてください。<n=1,518>

59.4	1	自分の納める税額	45.9	6	所得税や住民税などの減税
16.6	2	申告・納税のしかた	30.2	7	新税の導入や増税
68.6	3	税金の使われ方	1.0		その他(具体的に)
35.4	4	税負担の不公平さ	0.5		わからない
13.0	5	隠し所得や脱税の摘発			
M. T. =270.7					

【住んでいる地域】

(全員に)

※Q8〔回答票8〕ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。〈n=1,856〉

- | | | |
|---------------|------------------|-------|
| 83.6 | 9.9 | 6.6 |
| 1 住みよいところだと思う | 2 住みよいところだとは思わない | わからない |

(全員に)

※Q9〔回答票9〕あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。〈n=1,856〉

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 77.0 | 11.2 | 11.8 |
| 1 住みたい | 2 住みたくない | わからない |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| SQ1へ | SQ2へ | Q10へ |

(Q9で「1 住みたい」と答えた方に)

※SQ1〔回答票9-1〕そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。〈n=1,430〉

- | | | |
|------|----|------------------------------|
| 40.3 | 1 | 通勤・通学に便利なところだから |
| 50.6 | 2 | 買物など日常の生活環境が整っているから |
| 39.7 | 3 | 地域に愛着を感じているから
(住み慣れているから) |
| 42.3 | 4 | 自分の土地や家があるから |
| 15.4 | 5 | 親や子供、親類が近くにいるから |
| 5.6 | 6 | 仕事や商売に都合がよいから |
| 26.7 | 7 | 静かで住環境がよいから |
| 17.4 | 8 | 緑などの自然環境がよいから |
| 3.8 | 9 | 文化や教育の面で環境がよいから |
| 3.1 | 10 | 福祉サービスが充実しているから |
| 3.8 | 11 | 防災の面で安心だから |
| 11.4 | 12 | 治安の面で安心だから |
| 0.8 | | その他(具体的に) |
| 0.4 | | わからない |

M. T. =261.3

(Q9で「2 住みたくない」と答えた方に)

※SQ2〔回答票9-2〕そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。〈n=207〉

- | | | |
|------|----|-------------------------|
| 24.2 | 1 | 通勤・通学に不便なところだから |
| 21.3 | 2 | 買物など日常の生活環境が整っていないから |
| 31.9 | 3 | 地域に愛着を感じないから |
| 20.3 | 4 | 家賃など住居費が高いから |
| 9.7 | 5 | 親や子供、親類が近くにいないから |
| 20.8 | 6 | 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから |
| 9.7 | 7 | 緑などの自然環境がよくないから |
| 6.8 | 8 | 文化や教育の面で環境がよくないから |
| 4.3 | 9 | 福祉サービスが充実していないから |
| 14.5 | 10 | 防災の面で不安だから |
| 13.5 | 11 | 治安の面で不安だから |
| 11.1 | | その他(具体的に) |
| 1.4 | | わからない |

M. T. =189.4

【東京】

(全員に)

※Q10〔回答票10〕ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて、住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。〈n=1,856〉

- | | | | |
|--------|---------|-------------|-------|
| 60.9 | 7.3 | 29.7 | 2.1 |
| 1 住みよい | 2 住みにくい | 3 どちらともいえない | わからない |

(全員に)

※Q11〔回答票11〕あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。〈n=1,856〉

78.4	9.5	12.1
1 住みたい	2 住みたくない	わからない
↓ SQ1へ	↓ SQ2へ	→ Q12へ
(Q11で「1 住みたい」と答えた方に)		(Q11で「2 住みたくない」と答えた方に)
※SQ1〔回答票11-1〕そう思うのはなぜですか。 この中から <u>3つまで</u> お答えください。 〈n=1,456〉		※SQ2〔回答票11-2〕そう思うのはなぜですか。 この中から <u>3つまで</u> お答えください。 〈n=176〉
75.8 1 交通網が発達していて便利だから	52.8 1 人や車が多過ぎるから	
19.6 2 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから	27.3 2 通勤・通学ラッシュがひどいから	
14.3 3 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから	55.1 3 生活費が高いから	
15.3 4 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから	34.7 4 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	
13.1 5 教育や学習の機会や場が充実しているから	19.3 5 緑や公園などの自然が少ないから	
31.7 6 医療や福祉などの質が高いから	10.2 6 大気汚染や騒音などの公害がひどいから	
12.6 7 治安の面で安心だから	9.7 7 治安の面で不安だから	
14.1 8 東京が好きだから	11.9 8 人間関係が希薄だから	
46.5 9 東京に長く暮らしているから	7.4 9 街並みが雑然として景観がよくないから	
10.8 10 人間関係がわずらわしくないから	6.8 その他(具体的に)	
1.1 その他(具体的に)	2.8 わからない	
1.4 わからない		M. T. =238.1
M. T. =256.3		

【都政への要望】

(全員に)

※Q12〔回答票12〕あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。この中から特に望むことを3つまでお答えください。〈n=1,856〉

36.8 1 都政情報をわかりやすく提供する	14.1 8 住民に身近な事務は区市町村に任せる
30.2 2 情報公開を積極的に進める	7.0 9 国に対してさらに地方分権を働きかける
43.1 3 都民の意見や要望をよく知る	4.9 10 ボランティア活動や市民活動と協働する
28.4 4 事務手続きを簡素化する	2.9 その他(具体的に)
12.4 5 都庁の組織を簡素化する	5.0 特にない
17.4 6 職員の意識改革を進める	3.2 わからない
36.6 7 予算を効率的に執行する	

M. T. =242.1

(全員に)

※Q13〔回答票13〕 これからの都政全体について考えた場合、ここにあげてあることのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまで選んでください。

< n = 1,856 >

S Q〔回答票13-1〕 それでは、今あげられたことについて、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。この中から1つだけお答えください。

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
27.2 1 行財政	10.9 1 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放 16.9 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進 6.7 3 組織、人事制度など執行体制の整備 59.9 4 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化 3.0 5 都区制度を含む自治制度の見直し 1.0 その他 () 1.6 無回答 < n = 504 >
2.1 2 都市外交の推進	48.7 1 都市間交流の推進 48.7 2 国際交流・協力活動への支援 - その他 () 2.6 無回答 < n = 39 >
46.5 3 治安対策	21.0 1 警察官によるパトロールの強化 28.9 2 子供等に対する犯罪が起こりにくい環境の整備 8.0 3 少年犯罪・少年非行の防止 11.6 4 防犯設備の設置等に対する支援 18.9 5 外国人による犯罪の防止 9.6 6 テロ対策等新たな犯罪への取組 1.0 その他 () 1.0 無回答 < n = 863 >
20.8 4 交通安全対策	32.1 1 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 8.3 2 違法駐車対策 8.3 3 車の規制・取締り 9.6 4 交通安全教育の推進 38.3 5 自転車走行空間（自転車道等）の整備 1.3 その他 () 2.1 無回答 < n = 386 >
51.3 5 防災対策	46.6 1 防災都市づくり（無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等） 32.8 2 災害時の活動体制の充実 5.8 3 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 13.1 4 風水害対策 0.6 その他 () 1.0 無回答 < n = 953 >
9.3 6 中小企業対策	26.2 1 地域商工業の振興 22.7 2 融資制度等の充実 9.9 3 創業支援 13.4 4 技術の開発・向上支援 25.0 5 経営革新・経営安定の支援 1.2 その他 () 1.7 無回答 < n = 172 >

〔Q13 都政への要望〕	〔SQ 分野別要望〕
10.1 7 職業能力開発、雇用対策	61.0 1 雇用・就業の促進 19.3 2 職業能力開発・向上 17.1 3 労働相談・指導の充実 1.6 その他 () 1.1 無回答 < n = 187 >
3.1 8 観光振興対策	43.1 1 外国人旅行者の誘致のための取組 15.5 2 観光案内の充実 17.2 3 多摩・島しょ地域の観光振興 15.5 4 観光資源を活かしたまちづくりの推進 5.2 その他 () 3.4 無回答 < n = 58 >
19.8 9 消費生活対策	28.8 1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 30.4 2 悪質な事業者の指導・処分 23.1 3 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 8.7 4 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 6.8 5 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 0.5 その他 () 1.6 無回答 < n = 368 >
6.2 10 男女平等参画の推進	29.6 1 働く場での男女の均等な機会及び待遇の確保 49.6 2 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 3.5 3 配偶者等からの暴力(DV)の防止 12.2 4 男女平等の普及啓発 2.6 その他 () 2.6 無回答 < n = 115 >
2.3 11 地域活動の推進	30.2 1 NPO等の市民活動への支援 69.8 2 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 - その他 () < n = 43 >
5.3 12 青少年健全育成の推進	34.7 1 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 41.8 2 不健全図書類の販売等の制限など社会環境の整備 10.2 3 健全育成の担い手である地区委員などの育成 9.2 4 非行からの立ち直り支援 1.0 その他 () 3.1 無回答 < n = 98 >
24.4 13 環境対策	37.1 1 地球温暖化対策（省エネや自然エネルギーの活用） 2.9 2 ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 7.7 3 騒音・振動の防止対策 8.4 4 有害化学物質対策 16.1 5 緑の創出と自然環境の保全 7.7 6 東京湾や河川の水質改善 16.8 7 ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 0.9 その他 () 2.4 無回答 < n = 453 >

〔Q13 都政への要望〕	〔SQ 分野別要望〕
53.2 14 高齢者対策	30.0 1 介護保険サービスの質的向上 15.5 2 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 20.6 3 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 18.8 4 サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの確保 12.3 5 介護予防及び高齢期の健康づくり 1.4 その他 () 1.4 無回答 < n = 987 >
9.4 15 障害者(児)対策	16.1 1 ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 28.7 2 障害者支援施設等施設サービスの充実 12.6 3 グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 16.1 4 障害者の社会参加の促進 21.3 5 障害者の就労支援 1.1 その他 () 4.0 無回答 < n = 174 >
21.1 16 少子化・虐待防止などの子供対策	28.6 1 児童虐待対策の推進 15.3 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 8.2 3 ひとり親家庭への支援 9.4 4 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 27.6 5 子育て家庭への支援や相談の充実 9.4 6 妊娠・出産に対する支援 1.0 その他 () 0.5 無回答 < n = 392 >
41.0 17 医療・衛生対策	23.7 1 医療施設の整備 17.5 2 救急医療体制の整備 8.0 3 がん予防・医療対策 37.7 4 安心できる医療の確保 2.8 5 生活習慣病予防対策 1.3 6 新型インフルエンザやエイズ等感染症対策 3.2 7 花粉症などのアレルギー対策 3.4 8 食品の安全対策 1.6 その他 () 0.9 無回答 < n = 761 >
5.6 18 まちづくりの推進	33.7 1 まちのバリアフリー化 22.1 2 再開発などのまちづくり推進 17.3 3 良好な景観づくりの推進 26.0 4 みどり豊かな都市空間への取組 - その他 () 1.0 無回答 < n = 104 >
9.2 19 公園・緑地・水辺の整備	21.1 1 道路・河川の緑化の推進 57.3 2 公園・緑地の整備 18.1 3 親しめる水辺空間の創造 2.3 その他 () 1.2 無回答 < n = 171 >

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
7.8 20 水道・下水道の整備・維持	24.3 1 水道の安定供給 31.9 2 安全でおいしい水の供給 31.9 3 大雨による浸水被害対策 9.7 4 良好な水循環の確保 1.4 その他 () 0.7 無回答 < n = 144 >
7.9 21 道路交通網の整備	18.5 1 幹線道路の整備 32.2 2 生活に密着した道路の整備 18.5 3 道路と鉄道との立体交差の推進 29.5 4 歩道の設置・拡幅 0.7 その他 () 0.7 無回答 < n = 146 >
4.2 22 都営交通の整備	56.4 1 利用者サービスの向上 6.4 2 環境にやさしい車両の導入 14.1 3 安心・安全の確保 12.8 4 施設や車両のバリアフリー化 7.7 その他 () 2.6 無回答 < n = 78 >
14.4 23 土地・住宅対策	14.9 1 公共住宅の供給 17.2 2 子育て世帯への住宅支援 18.3 3 高齢者・障害者向け住宅対策 13.1 4 住宅の耐震性確保 23.9 5 住宅（持家・賃貸）の価格対策 2.2 6 住宅における省エネ化・CO2削減対策 6.0 7 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 1.5 8 マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 1.1 その他 () 1.9 無回答 < n = 268 >
15.4 24 学校教育の充実	30.4 1 個性を生かす学校教育の充実 25.2 2 教員の資質向上のための研修の充実 12.9 3 学校施設の整備 27.3 4 いじめ・不登校対策 2.8 その他 () 1.4 無回答 < n = 286 >
3.4 25 生涯学習、社会教育の振興	46.0 1 学習機会の充実 36.5 2 施設の充実 12.7 3 情報提供の充実 3.2 その他 () 1.6 無回答 < n = 63 >

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
3.5 26 文化・芸術の振興	23.1 1 都立文化施設の魅力の向上 43.1 2 文化・芸術活動の支援や人材育成 16.9 3 伝統文化の継承と発展 4.6 4 文化財・歴史的建築物の保存・整備 10.8 5 文化事業の実施 - その他 () 1.5 無回答 < n =65 >
4.4 27 スポーツ・レクリエーションの振興	54.3 1 施設の充実 18.5 2 スポーツ・レクリエーション活動への支援 2.5 3 競技スポーツの振興 2.5 4 障害者スポーツの振興 17.3 5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組 1.2 その他 () 3.7 無回答 < n =81 >
2.3 28 多文化共生社会の推進	20.9 1 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 67.4 2 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 7.0 3 在住外国人に対する防災知識の普及 2.3 その他 () 2.3 無回答 < n =43 >
2.3 29 その他	32.6 1 人権尊重 7.0 2 平和意識の高揚 4.7 3 農林水産業振興 - 4 港湾整備 2.3 5 市場の整備・運営 48.8 その他 () 4.7 無回答 < n =43 >
1.5 わからない	

M. T. =433.5

【多文化共生】

(全員に)

※Q14〔回答票14〕 現在、東京には52万人を超える外国人（観光客は含みません。以下の質問も同様です。）が暮らしています。東京都は、「多文化共生 *」の社会づくりを推進していますが、あなたは、「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。〈n=1,856〉

37.0
1 はい
63.0
2 いいえ → Q15へ

SQへ

* 「多文化共生」(総務省による定義)

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

(Q14で「1 はい」と答えた方に)

※SQ〔回答票14-1〕 あなたは、「多文化共生」という言葉の意味を知っていますか。〈n=687〉

12.2	56.9	29.3	1.6
1	2	3	4
よく知っている	知っている	あまり知らない	まったく知らない

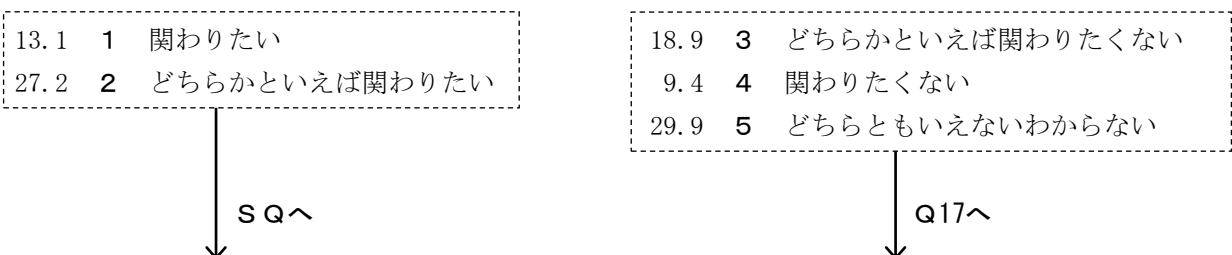
(全員に)

※Q15〔回答票15〕 あなたはこの一年間で、東京に暮らす外国人とどのような関わりがありましたか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。〈n=1,856〉

- 3.3 1 家族・親戚として付き合った
- 5.1 2 友人・恋人として付き合った
- 6.3 3 近所付き合いがあった
- 2.2 4 学校で一緒に勉強した
- 4.6 5 子供を通じた活動（PTAや子供を通じた親同士の交流など）を共にした
- 26.2 6 職場や仕事関係で関わりがあった
- 1.4 7 外国人を支援するボランティア活動（日本語学習や日本文化を伝える活動など）をした
- 2.4 8 地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）と一緒に参加した
- 2.4 9 国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどで一緒になった
- 16.4 10 あいさつ程度の関わりがあった
- 49.0 11 関わりがなかった
- 2.6 その他（具体的に) M. T. =121.9

(全員に)

※Q16〔回答票16〕 今後、あなたは東京に暮らす外国人と関わりたいですか。〈n=1,856〉



(Q16で「1 関わりたい」「2 どちらかといえば関わりたい」と答えた方に)

※SQ [回答票16-1] あなたは外国人とどのように関わりたいですか。この中から当てはまるものをいくつかでもお答えください。今現在行っている活動も含めます。<n=748>

- 6.6 1 家族・親戚として付き合いたい
 - 21.1 2 友人・恋人として付き合いたい
 - 23.3 3 近所付き合いをしたい
 - 6.0 4 学校で一緒に勉強したい
 - 13.5 5 子供を通じた活動（PTAや子供を通じた親同士の交流など）を共にしたい
 - 40.4 6 職場や仕事関係で関わりたい
 - 15.2 7 外国人を支援するボランティア活動（日本語学習や日本文化を伝える活動など）をしたい
 - 23.0 8 地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）と一緒に参加したい
 - 26.3 9 国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい
 - 30.5 10 あいさつ程度はしたい
 - 0.7 その他（具体的に _____)
 - 1.5 わからない M. T. =208.0
-

(全員に)

※Q17 [回答票17] あなたが東京に暮らす外国人と関わるに当たり、壁になっていると感じるものはありますか。この中から3つまでお答えください。<n=1,856>

- 63.8 1 言葉の違い
 - 10.8 5 壁になっているものはない
 - 54.2 2 文化・生活習慣・価値観の違い
 - 1.1 その他（具体的に _____)
 - 16.6 3 外国人への苦手意識
 - 2.7 わからない
 - 31.0 4 外国人と関わる機会がない M. T. =180.3
-

(全員に)

※Q18 [回答票18] あなたは、東京に暮らす外国人が地域社会の一員として生活していく上で、してほしいと思うことは何ですか。この中から3つまでお答えください。<n=1,856>

- 80.3 1 地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい
- 38.1 2 日本語を話せるようになってほしい
- 19.9 3 あいさつをしてほしい
- 12.1 4 地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）へ参加してほしい
- 26.4 5 外国の言葉や文化を教えてほしい
- 14.2 6 地域（東京）の魅力を海外に発信してほしい
- 8.2 7 外国人住民同士で助け合ってほしい
- 1.1 その他（具体的に _____)
- 3.4 特にない
- 1.7 わからない M. T. =205.4

(全員に)

※Q19〔回答票19〕あなたは、働く外国人や地域で活動する外国人が増えることについてどう思いますか。

< n = 1, 856 >

- 23.6 1 良いことだと思う
- 35.7 2 どちらかといえば良いことだと思う
- 8.8 3 どちらかといえば良いことだとは思わない
- 6.1 4 良いことだとは思わない
- 24.2 5 どちらともいえない
- 1.5 わからない

(全員に)

※Q20〔回答票20〕あなたは、地域で活躍する外国人や働く外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。この中から3つまでお答えください。< n = 1, 856 >

- 42.5 1 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える
- 20.5 2 外国人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる
- 30.9 3 サービス業や建設業などの労働力の確保につながる
- 12.7 4 地域社会が活性化する
- 26.2 5 東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる
- 41.5 6 言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある
- 11.3 7 日本人の仕事が少なくなるおそれがある
- 34.6 8 治安に悪影響を及ぼすおそれがある
- 14.7 9 教育・医療・福祉など社会的なコストが増えるおそれがある
- 0.7 その他（具体的に）
- 2.4 特にない
- 3.0 わからない

M. T. = 241.1

(全員に)

※Q21〔回答票21〕今後、さらに東京に暮らす外国人が増加することが見込まれています。多文化共生の社会づくりに向けて、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。この中から5つまでお答えください。< n = 1, 856 >

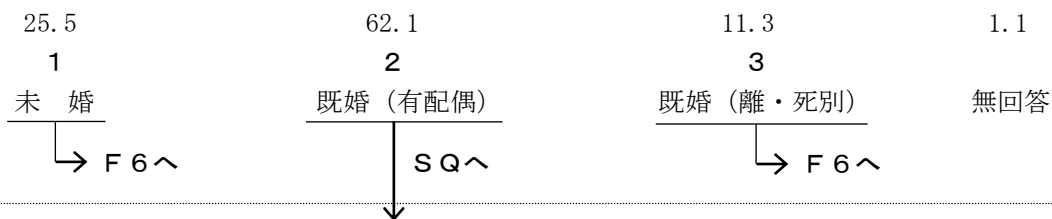
- 74.5 1 外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する
- 42.5 2 外国人に対して日本語の学習を支援する
- 27.7 3 外国人の子どもに対する教育を充実する
- 36.0 4 外国人に対する相談体制を充実する
- 28.1 5 外国人に対する多言語での情報提供、通訳サービスなどを充実する
- 18.1 6 外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援を行う
- 14.1 7 外国人に対する防災対策を推進する
- 15.5 8 外国人の就労・起業を支援する
- 11.5 9 外国人が地域社会の活動に積極的に参加するように促す
- 25.6 10 日本人と外国人との交流の場をつくる
- 30.8 11 日本人に対して外国の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する
- 5.9 12 外国人へのボランティア活動をしている団体を支援する
- 1.5 その他（具体的に）
- 2.4 特にない
- 3.3 わからない

M. T. = 337.4

F 4 <住居形態>〔回答票 F 4〕 現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。 <n=1,856>

- 55.5 1 持家（一戸建）
- 9.6 2 持家（分譲マンションなど集合住宅）
- 2.2 3 民間の借家（一戸建）
- 23.4 4 民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅）
- 5.9 5 都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート
- 1.6 6 社宅・公務員住宅など給与住宅
- 0.3 7 住み込み・寮・寄宿舎など
- 0.8 8 その他（具体的に)
- 0.6 無回答

F 5 <未・既婚>〔回答票 F 5〕 あなたは、結婚していらっしゃいますか。この中のどれにあたりますか。 <n=1,856>

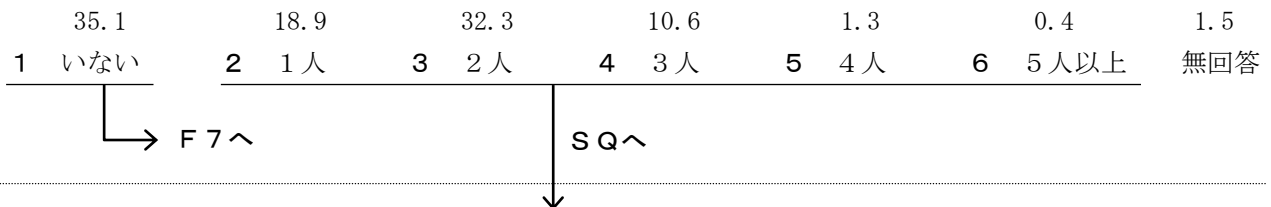


(F 5で「2 既婚（有配偶）」と答えた方に)

SQ <共働き有無> ご夫婦とも働いていますか。 <n=1,152>

- 48.8 1 はい
- 46.6 2 いいえ
- 4.6 無回答

F 6 <子供の数>〔回答票 F 6〕 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居・別居は問いません。亡くなった方は除いてお答えください。 <n=1,856>



(F 6で「2 1人」～「6 5人以上」と答えた方に)

SQ <子供の成長段階>〔回答票 F 6-1〕 それぞれどんな段階の方ですか。すべてのお子様についてお答えください。 <n=1,177>

- 3.2 1 乳児（0歳）
- 9.5 6 高校生
- 9.0 2 1～3歳
- 7.7 7 大学生・大学院生
- 7.7 3 4歳以上で小学校入学前
- 62.4 8 学校教育終了
- 14.0 4 小学生
- 3.1 その他（具体的に)
- 8.5 5 中学生
- 1.7 無回答
- M. T. =125.9

F 7 <家族人数>〔回答票 F 7〕 今、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

<n=1,856>

- 18.1 1 1人
- 6.3 5 5人
- 28.8 2 2人
- 2.5 6 6人
- 24.7 3 3人
- 1.1 7 7人以上
- 17.2 4 4人
- 1.1 無回答

F 8<出生地>〔回答票F 8〕あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも、他の地域からいらしたのですか。<n=1,856>

25.8 1 生まれてからずっとこの地域に住んでいる 73.5 2 他の地域からきた 0.8 無回答
(一時的にこの地域を離れた人も含む)

F 9<地域居住年数>〔回答票F 9〕では、この地域にお住みになってから何年になりますか。
<n=1,856>

3.0	1	1年未満	9.8	4	5～10年未満	13.2	7	20～30年未満
7.2	2	1～3年未満	10.2	5	10～15年未満	42.8	8	30年以上
5.4	3	3～5年未満	7.3	6	15～20年未満	0.4		わからない
						0.7		無回答

F 10<東京生まれ>〔回答票F 10〕あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。<n=1,856>

48.8 1 生まれてからずっと東京に住んでいる 49.2 2 東京以外からきた 2.0 無回答
(一時的に東京を離れた人も含む)

F 11<東京都居住年数>〔回答票F 11〕では、東京都にお住みになってから何年になりますか。
<n=1,856>

0.8	1	1年未満	5.7	4	5～10年未満	13.7	7	20～30年未満
2.4	2	1～3年未満	5.3	5	10～15年未満	64.1	8	30年以上
2.1	3	3～5年未満	5.1	6	15～20年未満	0.2		わからない
						0.7		無回答

F 12<世帯年収>〔回答票F 12〕お宅全体の昨年1年間の収入はおよそどのくらいでしたか。
<n=1,856>

9.8	1	200万円未満	7.5	7	900～1,100万円未満
10.2	2	200～300万円未満	4.2	8	1,100～1,300万円未満
10.8	3	300～400万円未満	2.3	9	1,300～1,500万円未満
10.1	4	400～500万円未満	2.2	10	1,500～2,000万円未満
13.6	5	500～700万円未満	3.0	11	2,000万円以上
9.1	6	700～900万円未満	13.8		わからない
			3.6		無回答

F 13<インターネットの利用>〔回答票F 13〕あなたはインターネットを利用していますか。
<n=1,856>

57.2	1	よく利用している	4.6	3	あまり利用していない
13.8	2	ときどき利用している	23.8	4	利用していない
			0.5		無回答

付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。

図1 暮らしむきの変化

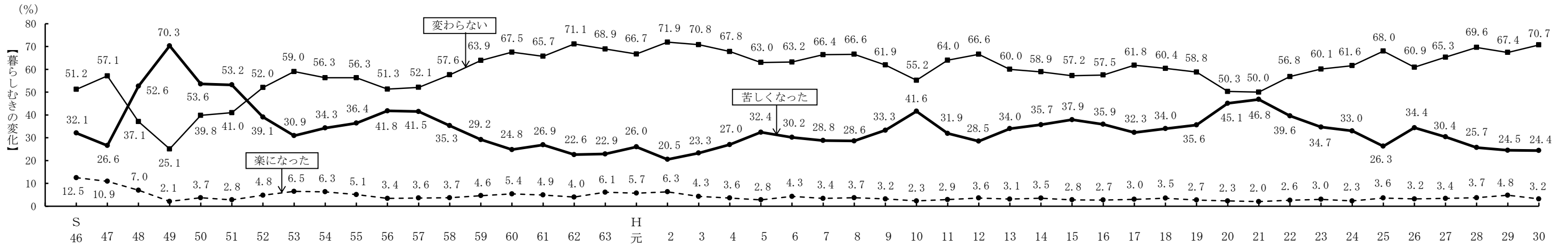


図2 消費者物価上昇率

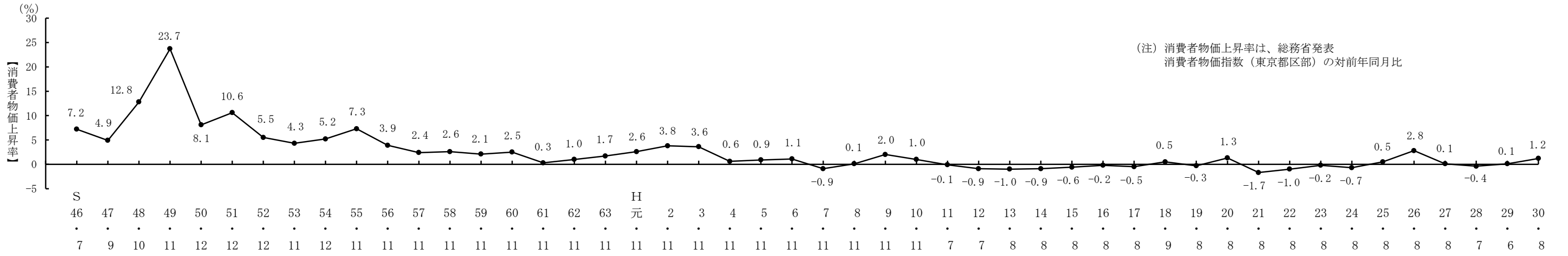


図3 社会経済の年表

年	社会経済の年表
S46	「内外均衡達成への道」 円切上げ（46年10月） ニクソンショック
S47	「成長経済を超えて」 変動相場制移行 「インフレなき福祉をめざして」 第四次中東戦争（48年10月）
S48	「新しい福祉社会の建設」
S49	「新しい安定成長軌道をめざして」 地価・物価急騰モノ不足
S50	「新たな発展への基礎がため」
S51	「先進国日本の試練と課題」 「すぐれた適応力と新たな出発」 東京サミット（54年6月）
S52	「日本経済の創造的活力を求めて」
S53	「経済効率性を活かす道」
S54	「持続的成長への足がため」
S55	「新たな国際化に対応する日本経済」
S56	「経済的拡大への道」
S57	「平成経済の門出と日本経済の新しい潮流」 消費税スタート（元年4月） 昭と天皇崩御（平成）に改元（元年1月）
S58	「内需型成長の持続と国際社会への貢献」
S59	「進む構造転換と今後の課題」 株世界的大暴落（62年10月） 国鉄民営化、公示地価東京で暴騰（62年4月） 「国際的調和をめざす日本経済」 男女雇用機会均等法施行（61年4月）
S60	「新しい成長とその課題」 円高・原油価格下落
S61	「調整をこえて新たな展開をめざす日本経済」 PKO協力法案可決（4年6月） 「長期拡大の条件と国際社会における役割」 バブル崩壊
S62	「改革が展望を切り開く」
S63	「日本経済のダイナミズムの復活をめざして」 阪神・淡路大震災（7年1月）
H元	「厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ」 「パブルの教訓と新たな発展への課題」 コメ不作で緊急輸入を決定（5年9月）
H2	「改革なくして成長なし」 山一証券自主廃業（9年11月） 消費税5%に引き上げ（9年4月）
H3	「改革なくして成長なし」 サッカードワールドカップ日韓共催（14年6月）
H4	「改革なくして成長なし」 確定拠出年金法施行（13年10月） 米同時多発テロ（13年9月） 「新しい世の中が始まる」
H5	「改革なくして成長なし」 介護保険制度スタート（12年4月） 地方分権一括法施行（12年4月） 「経済再生への挑戦」 1〜3月期実質GDP、6期ぶりプラス成長
H6	「改革なくして成長なし」 改正男女雇用機会均等法施行（11年4月） 「創造的発展への基礎固め」 緊急経済対策決定、総事業規模は過去最大の24兆円 完全失業率が初の4%台（10年4月）
H7	「改革なくして成長なし」 「改革なくして成長なし」 完全失業率が5.5%に（15年1月） イラク戦争（15年3月）
H8	「改革なくして成長なし」 年金改革関連法施行（16年10月） 「改革なくして成長なし」 原油価格高騰
H9	「改革なくして成長なし」 道路関係四公団民営化（17年10月）
H10	「改革なくして成長なし」 介護保険法改正施行（18年4月） 「成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済」
H11	「改革なくして成長なし」 郵政民営化（19年10月） 「生産性向上に向けた挑戦」
H12	「改革なくして成長なし」 東日本大震災（23年3月） 「必要の創造による成長力の強化」 エコカー減税・エコカー補助金実施（21年10月）
H13	「改革なくして成長なし」 「危機の克服と持続的回復への展望」 サブプライムローンに端を発した世界金融危機 「リスクに立ち向かう日本経済」 後期高齢者医療制度施行（20年4月）
H14	「改革なくして成長なし」 「日本経済の復興から発展的創造へ」
H15	「改革なくして成長なし」 「四半世紀ぶりの成果と再生する日本経済」
H16	「改革なくして成長なし」 「経済の好循環の確立に向けて」
H17	「改革なくして成長なし」 「消費税8%に引き上げ（26年4月）」
H18	「改革なくして成長なし」 「新たな国際化に対応する日本経済」
H19	「改革なくして成長なし」 「持続的成長への足がため」
H20	「改革なくして成長なし」 「新たな国際化に対応する日本経済」
H21	「改革なくして成長なし」 「経済効率性を活かす道」
H22	「改革なくして成長なし」 「持続的成長への足がため」
H23	「改革なくして成長なし」 「新たな国際化に対応する日本経済」
H24	「改革なくして成長なし」 「経済的拡大への道」
H25	「改革なくして成長なし」 「平成経済の門出と日本経済の新しい潮流」
H26	「改革なくして成長なし」 「進む構造転換と今後の課題」
H27	「改革なくして成長なし」 「調整をこえて新たな展開をめざす日本経済」
H28	「改革なくして成長なし」 「改革が展望を切り開く」
H29	「改革なくして成長なし」 「日本経済のダイナミズムの復活をめざして」
H30	「改革なくして成長なし」 「厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ」

※「」は経済財政白書の副題

(注) 実質経済成長率（暦年）は、平成29年度経済財政白書（内閣府）
「国内総生産（GDP）実質前年比」による。

景気の動き	不況				列島改造景気				第1次オイルショック				第2次オイルショック				円高不況		バブル景気						平成不況（失われた10年）						景気回復				景気悪化				緩やかな回復								
	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
実質経済成長率(%)	4.4	8.4	8.0	-1.2	3.1	4.0	4.4	5.3	5.5	2.8	4.2	3.3	3.5	4.5	5.2	3.3	4.7	6.8	4.9	4.9	3.4	0.8	-0.5	1.0	2.7	3.1	1.1	-1.1	-0.3	2.8	0.4	0.1	1.5	2.2	1.7	1.4	1.7	-1.1	-5.4	4.2	-0.1	1.5	2.0	0.4	1.4	1.0	1.7

表1 暮らしの余裕

(%)

	n	余裕がある (計)	今の暮らしで		余裕がない (計)	今の暮らしで		わからない
			十分余裕がある	あだばあまで		はまだまだ余	きれないやり	
昭和46年	(2,264)	51.1	3.9	47.2	46.8	41.1	5.7	2.1
47	(2,291)	53.5	4.7	48.8	43.5	39.7	3.8	3.0
48	(2,186)	44.5	2.1	42.4	54.2	44.4	9.8	1.3
49	(2,168)	35.5	1.9	33.6	63.8	45.6	18.2	0.8
50	(2,191)	45.1	2.4	42.7	53.0	44.8	8.2	1.9
51	(2,181)	43.1	2.3	40.8	55.3	45.3	10.0	1.6
52	(2,210)	48.2	3.3	44.9	50.1	41.5	8.6	1.5
53	(2,268)	53.9	3.2	50.7	45.4	39.2	6.2	0.7
54	(2,104)	52.4	3.4	49.0	46.4	39.8	6.6	1.2
55	(2,193)	50.8	3.0	47.8	47.8	40.3	7.5	1.5
56	(2,202)	47.6	4.0	43.6	50.6	41.6	9.0	1.9
57	(2,172)	49.1	3.6	45.5	49.6	42.6	7.0	1.3
58	(2,150)	51.2	3.4	47.8	47.3	39.7	7.6	1.5
59	(2,165)	56.3	4.2	52.1	42.0	36.7	5.3	1.7
60	(2,188)	57.2	4.8	52.4	41.7	36.4	5.3	1.1
61	(2,178)	55.2	4.4	50.8	43.6	38.2	5.4	1.2
62	(2,209)	53.9	5.2	48.7	45.0	40.0	5.0	1.1
63	(2,143)	54.8	4.4	50.4	44.0	38.3	5.7	1.2
平成元年	(2,219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9
2	(2,230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5
3	(2,106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6
4	(2,107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4
5	(2,111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4
6	(2,136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3
7	(2,190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2
8	(2,115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4
9	(2,165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6
10	(2,132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2
11	(2,074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6
12	(2,115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6
13	(2,124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9
14	(2,132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4
15	(1,873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1
16	(1,857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5
17	(2,031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7
18	(2,081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2
19	(2,084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0
20	(2,030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9
21	(2,025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9
22	(2,013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7
23	(2,009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5
24	(2,002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4
25	(2,010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6
26	(1,850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7
27	(1,900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9
28	(1,805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9
29	(1,810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1
30	(1,856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8

(注1) 『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
 (注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

表2 これからの暮らしむき

(%)

	n	楽になる (計)	なかな		変わらない	苦しくなる (計)	なかな		わからない
			かなり楽に	やや楽にな			やや苦しく	かなり苦し	
昭和55年	(1,048)	8.3	1.2	7.1	51.9	39.8	34.8	5.0	-
56	(1,099)	8.3	1.0	7.3	60.6	31.1	26.9	4.2	-
57	(1,083)	7.3	0.8	6.5	55.3	36.4	31.8	4.6	1.0
58	(1,110)	6.1	0.6	5.5	55.0	34.8	29.9	4.9	4.1
59	(1,199)	6.7	0.5	6.2	65.0	28.1	25.1	3.0	0.2
60	(2,134)	9.0	1.0	8.0	63.7	26.6	23.0	3.6	0.7
61	(2,143)	8.3	0.7	7.6	63.1	28.7	23.8	4.9	-
62	(2,119)	9.1	0.7	8.4	61.9	29.0	24.9	4.1	-
63	(2,029)	8.8	1.1	7.7	66.8	24.3	21.4	2.9	-
平成元年	(2,106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-
2	(2,157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-
3	(2,207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1
4	(2,132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-
5	(2,117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-
6	(2,123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-
7	(2,190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1
8	(2,115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5
9	(2,165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4
10	(2,132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0
11	(2,074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6
12	(2,115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5
13	(2,124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4
14	(2,132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2
15	(1,873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7
16	(1,857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3
17	(2,031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8
18	(2,081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4
19	(2,084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6
20	(2,030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6
21	(2,025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9
22	(2,013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0
23	(2,009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8
24	(2,002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6
25	(2,010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1
26	(1,850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5
27	(1,900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7
28	(1,805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8
29	(1,810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3
30	(1,856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4

(注1) 『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計
 (注2) 平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」

表3 生活満足度

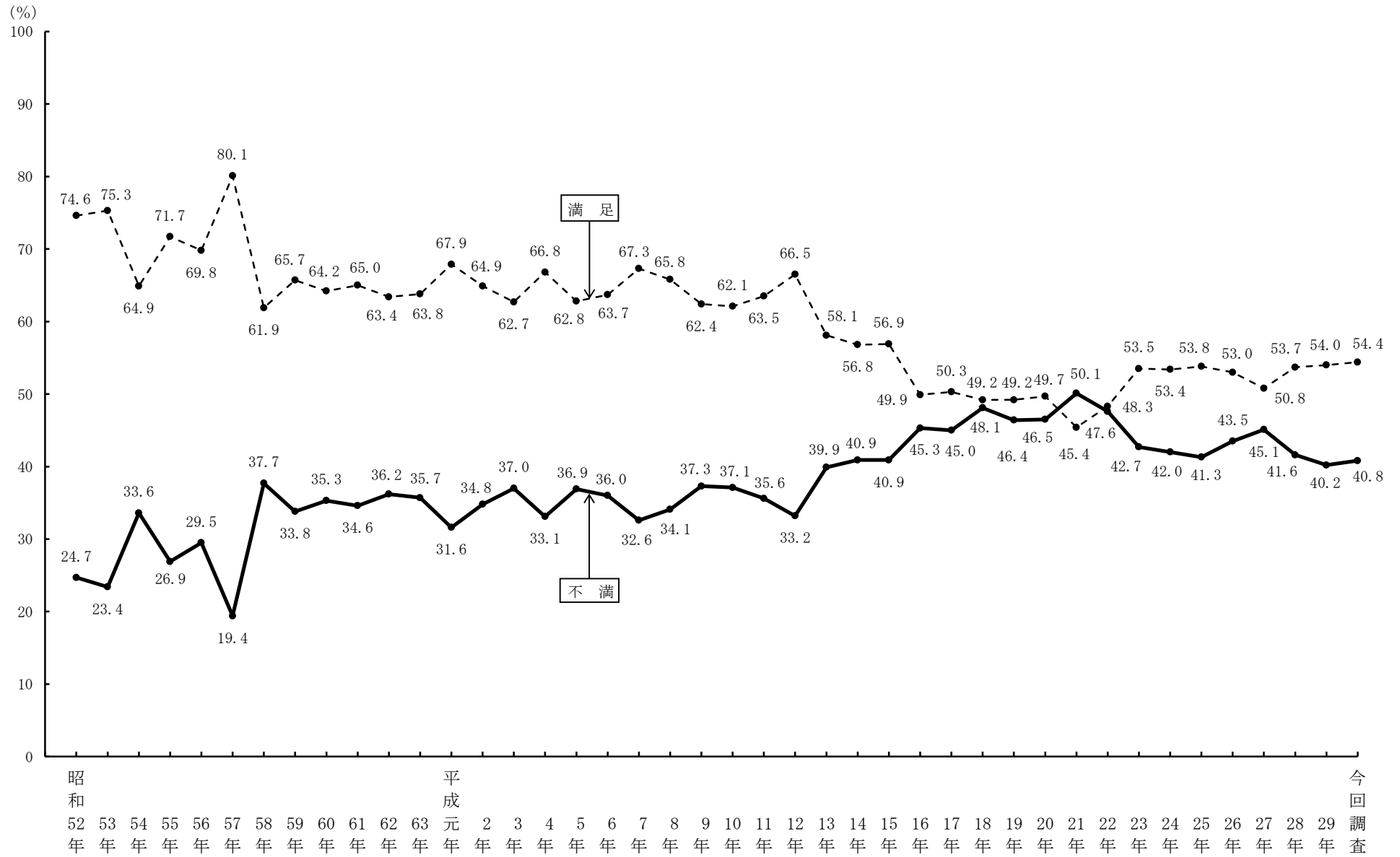
(%)

	n	満足 (計)	満足		不満 (計)	不満		わからない
			大変満足 している	まあ満足 している		やや不満 である	大変不満 である	
昭和52年	(2, 210)	74.6	9.9	64.7	24.7	21.4	3.3	0.6
53	(2, 268)	75.3	10.8	64.5	23.4	20.5	2.9	1.3
54	(2, 104)	64.9	5.6	59.3	33.6	27.9	5.7	1.6
55	(2, 193)	71.7	8.1	63.6	26.9	22.3	4.6	1.4
56	(2, 202)	69.8	8.7	61.1	29.5	25.2	4.3	0.7
57	(2, 172)	80.1	15.1	65.0	19.4	17.7	1.7	0.5
58	(2, 150)	61.9	5.4	56.5	37.7	30.6	7.1	0.4
59	(2, 165)	65.7	5.4	60.3	33.8	28.9	4.9	0.5
60	(2, 188)	64.2	7.5	56.7	35.3	30.2	5.1	0.4
61	(2, 178)	65.0	6.8	58.2	34.6	29.7	4.9	0.4
62	(2, 209)	63.4	6.8	56.6	36.2	31.5	4.7	0.4
63	(2, 143)	63.8	7.0	56.8	35.7	30.8	4.9	0.6
平成元年	(2, 219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5
2	(2, 230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3
3	(2, 106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3
4	(2, 107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1
5	(2, 111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3
6	(2, 136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3
7	(2, 190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2
8	(2, 115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1
9	(2, 165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3
10	(2, 132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8
11	(2, 074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9
12	(2, 115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3
13	(2, 124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1
14	(2, 132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3
15	(1, 873)	56.5	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2
16	(1, 857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7
17	(2, 031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7
18	(2, 081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7
19	(2, 084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4
20	(2, 030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8
21	(2, 025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5
22	(2, 013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1
23	(2, 009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8
24	(2, 002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6
25	(2, 010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9
26	(1, 850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6
27	(1, 900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1
28	(1, 805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8
29	(1, 810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8
30	(1, 856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7

(注1) 『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

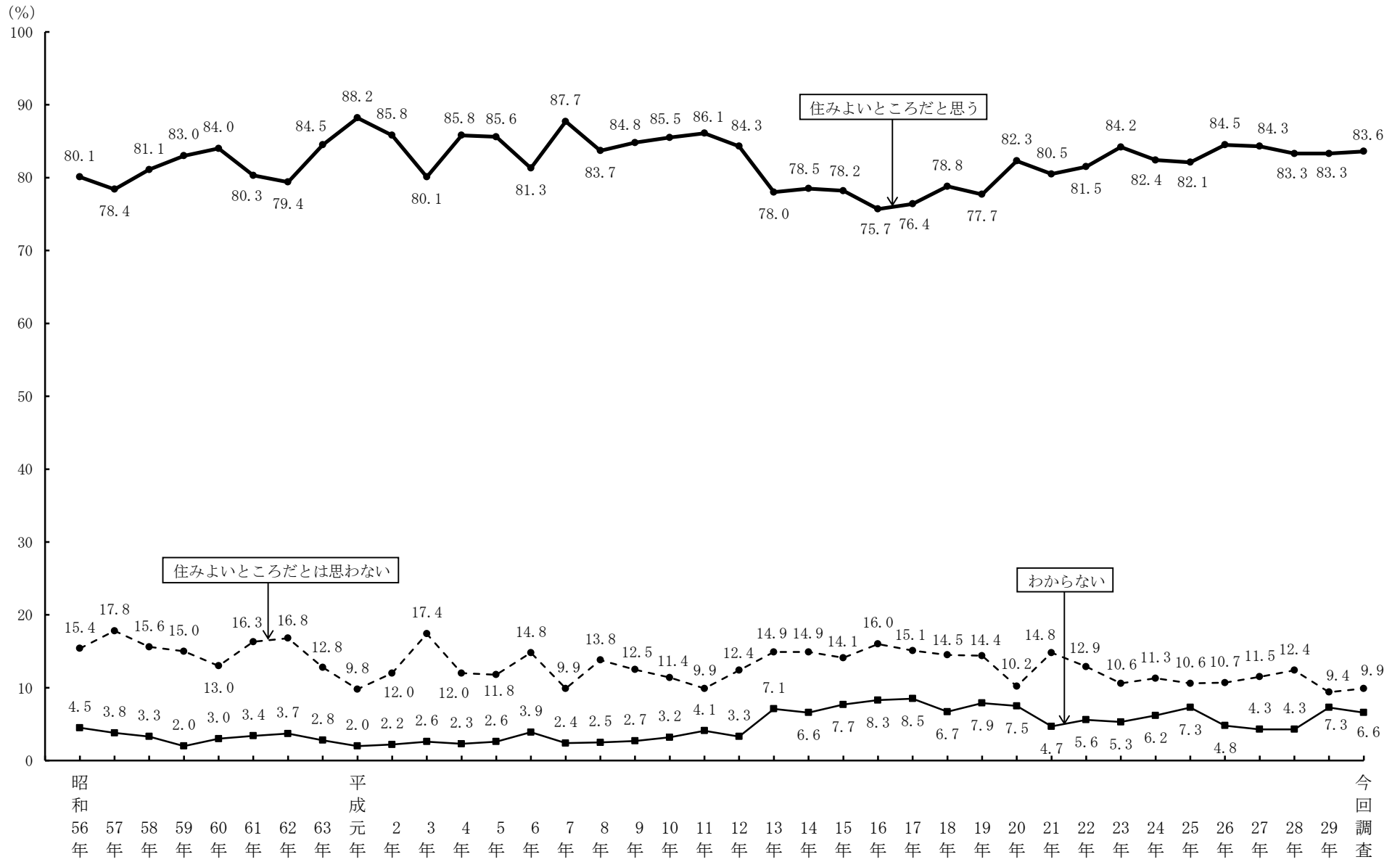
(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図4 生活満足度



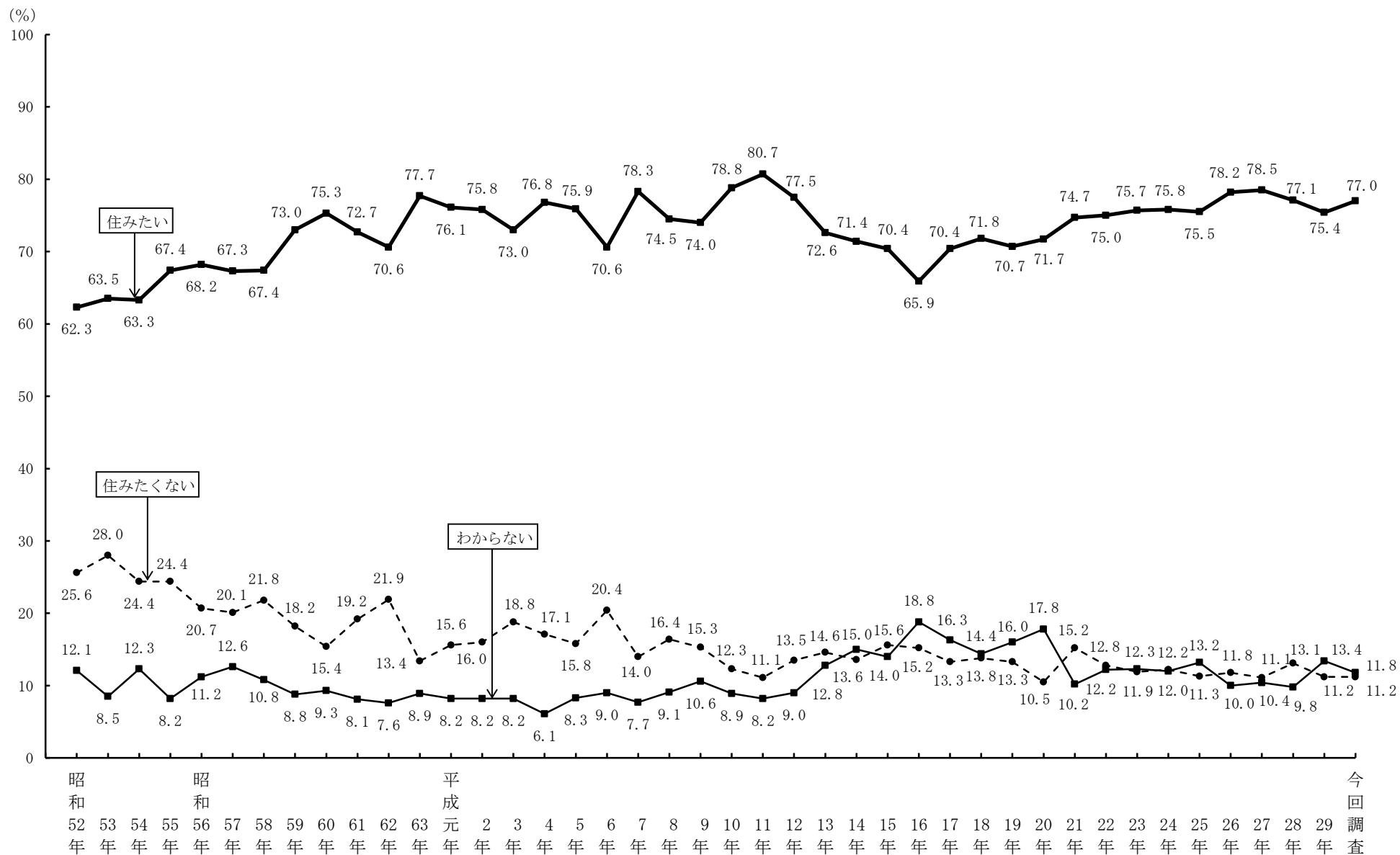
(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図5 地域の住みよさ



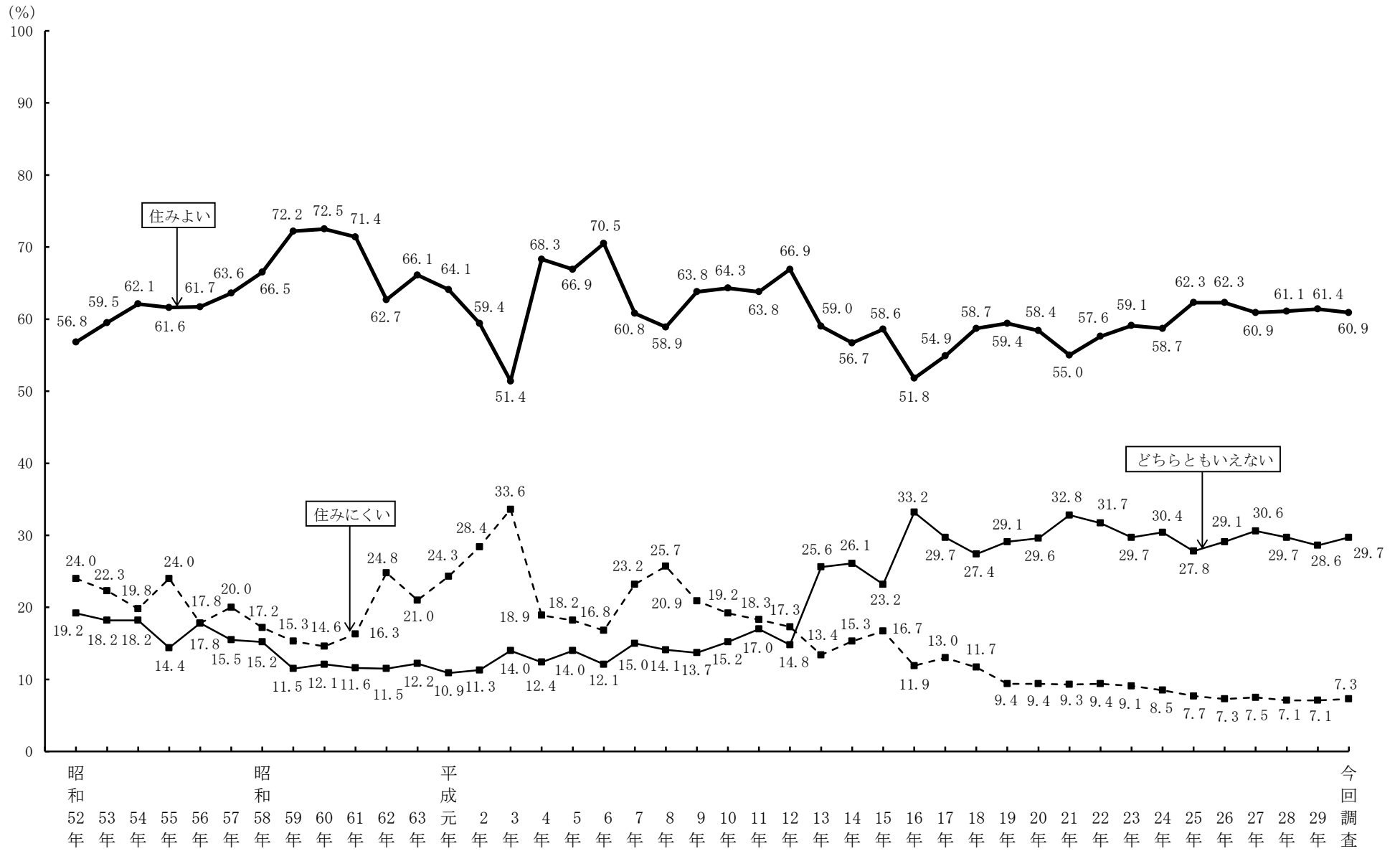
(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図6 地域定住意向



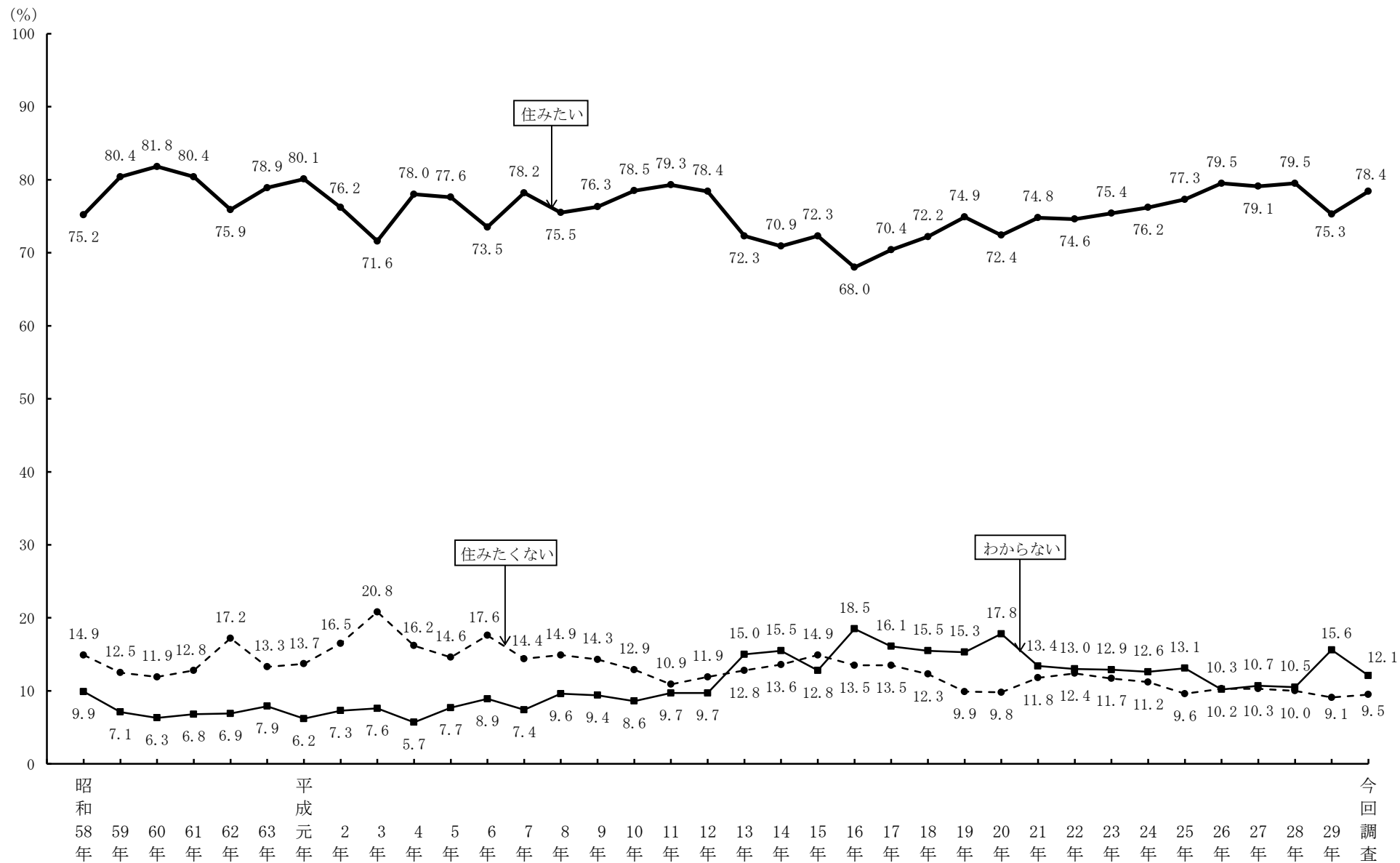
(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図7 東京の住みよさ



(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図8 東京定住意向



(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

表4 都政への要望（昭和50年～平成30年）

(%)

順位	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年
1	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	高齢者
2	医療・衛生	住宅	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	住宅	医療・衛生	住宅	住宅	住宅	住宅	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	物価・消費者
4	公害	公害	老人	老人	老人	老人	住宅	住宅	住宅	学校教育	住宅	公園・緑化
5	老人	老人	震災	震災	震災	震災	公害	公害	公園・緑化	学校教育	公園・緑化	住宅
6	公園・緑化	交通災害	公園・緑化	公害	公害	公害	青少年	公害	防犯	公害	学校教育	学校教育
7	下水道	震災	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	青少年	学校教育	公園・緑化	住宅	学校路	学校路
8	交通災害	公園・緑化	交通災害	下水道	公園・緑化	下水道	公園・緑化	交通災害	公害	心身障害者	心身障害者	道路
9	心身障害者	心身障害者	文教	交通災害	中小企業	青少年	交通災害	防犯	青少年	防犯	生涯教育	防犯
10	震災	下水道	下水道	心身障害者	交通災害	交通災害	心身障害者	青少年	心身障害者	青少年	公害	心身障害者
11	中小企業	下水道	心身障害者	中小企業	下水道	心身障害者	道路	心身障害者	交通災害	防犯	青少年	交通災害
12	中小企業	中小企業	中小企業	中小企業	中小企業	中小企業	下水道	心身障害者	生涯教育	道路	防犯	中小企業
13	文教	文教	文教	青少年	青少年	青少年	中小企業	中小企業	上下水道	交通災害	上下水道	ごみ
14	道路	青少年	青少年	文教	文教	文教	文教	文教	道路	道路	上下水道	上下水道
15	青少年	道路	道路	道路	道路	道路	文教	文教	上下水道	防犯	都市再開発	青少年
16	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通	生涯教育	中小企業	防犯	生涯教育
17	婦人	婦人	婦人	婦人	上水道	婦人	婦人	婦人	ごみ	ごみ	都市再開発	都市再開発
18	上水道	上水道	上水道	上水道	上水道	上水道	上水道	上水道	都市再開発	都市再開発	生涯教育	中小企業
19	—	—	—	—	—	—	—	—	婦人	文化・芸術	勤労者	文化・芸術
20	—	—	—	—	—	—	—	—	文化・芸術	婦人	婦人	勤労者
21	—	—	—	—	—	—	—	—	婦人	勤労者	都営交通	都営交通
22	—	—	—	—	—	—	—	—	勤労者	都営交通	勤労者	婦人
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 回答項目について、昭和57年調査で、新たに若干の施策を加えるとともに一部表現を変更し、平成3年から新たに「国際交流の推進」を加えたので、過去の調査との比較は、この点を留意する必要がある。なお、平成元年から「婦人」は「女性」に、平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。

(%)

順位	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
1	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者
2	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	高齢者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	物価・消費者	住宅	医療・衛生	物価・消費者	ごみ	住宅	医療・衛生	ごみ	ごみ	物価・消費者	物価・消費者	環境
4	住宅	医療・衛生	住宅	住宅	物価・消費者	ごみ	物価・消費者	住宅	住宅	ごみ	ごみ	ごみ・産業廃棄物
5	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	ごみ	住宅	医療・衛生	住宅	住宅	住宅	住宅	公害	物価・消費者
6	道路	道路	公園・緑化	道路	公園・緑化	公害	公園・緑化	道路	医療・衛生	防犯	住宅	防犯
7	学校教育	公害	道路	公園・緑化	公害	道路	公園・緑化	公害	公園・緑化	公害	学校教育	子ども
8	学校	学校教育	学校教育	公害	公害	道路	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	土地・住宅
9	心身障害者	防犯	ごみ	学校教育	心身障害者	学校教育	心身障害者	心身障害者	心身障害者	道路	道路	学校教育
10	上下水道	心身障害者	心身障害者	心身障害者	学校教育	防犯	学校教育	交通災害	公害	学校教育	防犯	防犯
11	都市再開発	交通災害	防犯	交通災害	交通災害	心身障害者	防犯	学校教育	都市再開発	心身障害者	心身障害者	道路
12	生涯教育	都市再開発	防犯	生涯学習	都市再開発	交通災害	生涯学習	学校教育	学校教育	交通災害	防犯	中小企業
13	交通災害	青少年	交通災害	都市再開発	上下水道	上下水道	交通災害	都市再開発	青少年	防犯	交通災害	自動車交通
14	ごみ	ごみ	上下水道	防犯	生涯学習	生涯学習	防犯	防犯	心身障害者	生涯学習	青少年	障害者
15	防犯	生涯教育	都市再開発	上下水道	防犯	都市再開発	都市再開発	防犯	中小企業	都市再開発	都市再開発	公園・緑地・水辺
16	青少年	生涯教育	青少年	文化・芸術	文化・芸術	青少年	上下水道	中小企業	生涯学習	都市再開発	生涯学習	職業・雇用
17	中小企業	上下水道	生涯教育	青少年	防犯	防犯	文化・芸術	勤労者	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	青少年
18	防犯	中小企業	中小企業	女性	青少年	中小企業	青少年	上下水道	文化・芸術	中小企業	中小企業	まちづくり
19	文化・芸術	文化・芸術	中小企業	中小企業	中小企業	都営交通	都営交通	青少年	都営交通	勤労者	女性	生涯学習
20	勤労者	都営交通	都営交通	防犯	女性	文化・芸術	女性	女性	交通災害	女性	勤労者	都営交通
21	婦人	婦人	女性	勤労者	国際交流	女性	勤労者	都営交通	女性	都営交通	都営交通	文化・芸術
22	都営交通	勤労者	勤労者	都営交通	都営交通	勤労者	国際交流	文化・芸術	国際交流	上下水道	上下水道	水道・下水道
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	男女平等
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	国際交流

(%)

順位	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
1	高齢者	高齢者	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
2	ごみ・産業廃棄物	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	防犯	防犯	高年齢者	高年齢者	高年齢者	医療・衛生	高齢者
3	医療・衛生	ごみ・産業廃棄物	環境	環境	環境	医療・衛生	高年齢者	高年齢者	医療・衛生	医療・衛生	高年齢者	医療・衛生
4	環境	環境	防犯	消費生活	環境	環境	環境	環境	防犯	防犯	防犯	防犯
5	物価・消費者	消費生活	学校教育	学校教育	消費生活	交通安全	交通安全	交通安全	環境	環境	環境	環境
6	土地・住宅	学校教育	自動車交通	防犯	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活
7	学校教育	少子化・子ども	消費生活	少子化・子ども	学校教育	防犯	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	消費生活
8	学校	防犯	防犯	防犯	防犯	学校教育	行財政	行財政	行財政	行財政	行財政	交通安全
9	少子化・子ども	防犯	防犯	防犯	防犯	青少年	土地・住宅	行財政	学校教育	学校教育	少子化・子ども	少子化・子ども
10	障害者	自動車交通	防犯	防犯	障害者(児)	交通安全	土地・住宅	学校教育	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
11	防犯	公園・緑地・水辺	土地・住宅	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	学校教育
12	自動車交通	土地・住宅	公園・緑地・水辺	土地・住宅	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	青少年	公園・緑地・水辺	まちづくり
13	公園・緑地・水辺	道路	障害者(児)	道路	公園・緑地・水辺	道路	行財政	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	青少年	青少年
14	職業・雇用	障害者(児)	職業・雇用	交通安全	職業・雇用	職業・雇用	道路	公園・緑地・水辺	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	公園・緑地・水辺
15	道路	青少年	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺	職業・雇用	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用
16	中小企業	中小企業	中小企業	生涯学習	青少年	中小企業	職業・雇用	道路	障害者(児)	中小企業	水道・下水道	中小企業
17	青少年	職業・雇用	青少年	青少年	青少年	中小企業	職業・雇用	水道・下水道	水道・下水道	職業・雇用	道路	道路
18	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	男女平等	文化・芸術	障害者(児)	職業・雇用	中小企業	中小企業	障害者(児)
19	生涯学習	生涯学習	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	水道・下水道	水道・下水道	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道
20	文化・芸術	まちづくり	文化・芸術	中小企業	まちづくり	男女平等	生涯学習	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	男女平等
21	水道・下水道	国際交流	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	都営交通	障害者(児)	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	文化・芸術
22	都営交通	都営交通	都営交通	男女平等	水道・下水道	生涯学習	生涯学習	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	都営交通	都営交通
23	男女平等	男女平等	国際交流	行政サービス	都営交通	文化・芸術	都営交通	都営交通	生涯学習、社会教育	生涯学習、社会教育	都営交通	生涯学習、社会教育
24	国際交流	水道・下水道	都営交通	国際交流	行政サービス	都市外交	都市外交	都市外交	都営交通	都営交通	都市外交	生涯学習、社会教育
25	—	—	—	都営交通	国際交流	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	防犯	防犯	防犯	防犯	高齢者	高齢者	防犯	高齢者
2	治安	治安	治安	治安	治安	防犯	治安	防犯
3	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	医療・衛生	治安	高齢者	治安
4	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	防犯	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
5	環境	環境	環境	消費生活	交通安全	行財政	行財政	行財政
6	消費生活	消費生活	交通安全	交通安全	土地・住宅	交通安全	交通安全	環境
7	行財政	行財政	消費生活	環境	少子化・子供	環境	環境	少子化・子供
8	交通安全	交通安全	土地・住宅	土地・住宅	環境	少子化・子供	少子化・子供	交通安全
9	少子化・子供	少子化・子供	行財政	少子化・子供	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活
10	土地・住宅	土地・住宅	少子化・子供	行財政	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
11	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	行財政	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
12	まちづくり	まちづくり	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用
13	青少年	青少年	青少年	公園・緑地・水辺	道路	中小企業	中小企業	障害者(児)
14	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	道路	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	中小企業
15	文化・芸術	文化・芸術	公園・緑地・水辺	職業・雇用	青少年	道路	道路	公園・緑地・水辺
16	中小企業	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	男女平等	障害者(児)	障害者(児)	道路
17	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	文化・芸術	青少年	水道・下水道	まちづくり	まちづくり	水道・下水道
18	都市外交	都市外交	道路	男女平等	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	男女平等
19	道路	道路	道路	文化・芸術	文化・芸術	男女平等	まちづくり	まちづくり
20	生涯学習、社会教育	生涯学習、社会教育	都市外交	文化・芸術	職業・雇用	青少年	青少年	青少年
21	障害者(児)	障害者(児)	男女平等	生涯学習、社会教育	都営交通	文化・芸術	文化・芸術	生涯学習、社会教育
22	水道・下水道	水道・下水道	生涯学習、社会教育	障害者(児)	都営交通	青少年	都営交通	都営交通
23	男女平等	男女平等	障害者(児)	生涯学習、社会教育	障害者(児)	都市外交	文化・芸術	文化・芸術
24	生涯学習、社会教育	生涯学習、社会教育	都営交通	都市外交	生涯学習、社会教育	文化・芸術	文化・芸術	生涯学習、社会教育
25	都営交通	都営交通	生涯学習、社会教育	都営交通	都市外交	観光振興	都営交通	観光振興
26	市民活動	市民活動	市民活動	市民活動	観光振興	都市外交	観光振興	観光振興
27	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	市民活動	地域活動	多文化共生	多文化共生
28	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」

(注2) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。

「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通災害対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。

(注3) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。

(注4) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。

(注5) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。

(注6) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。

(注7) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。

(注8) 平成16年から「防犯対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。

(注9) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加された「行政財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。

(注10) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。

(注11) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。

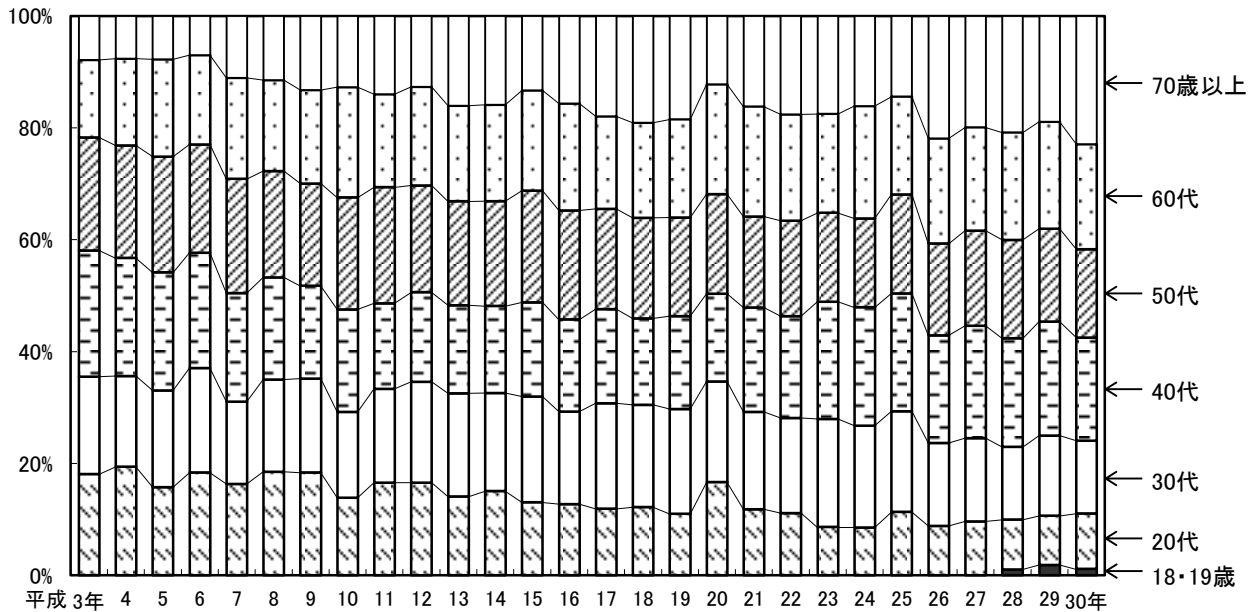
(注12) 平成19年から「生涯学習、スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習、社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。

(注13) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

(注14) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。

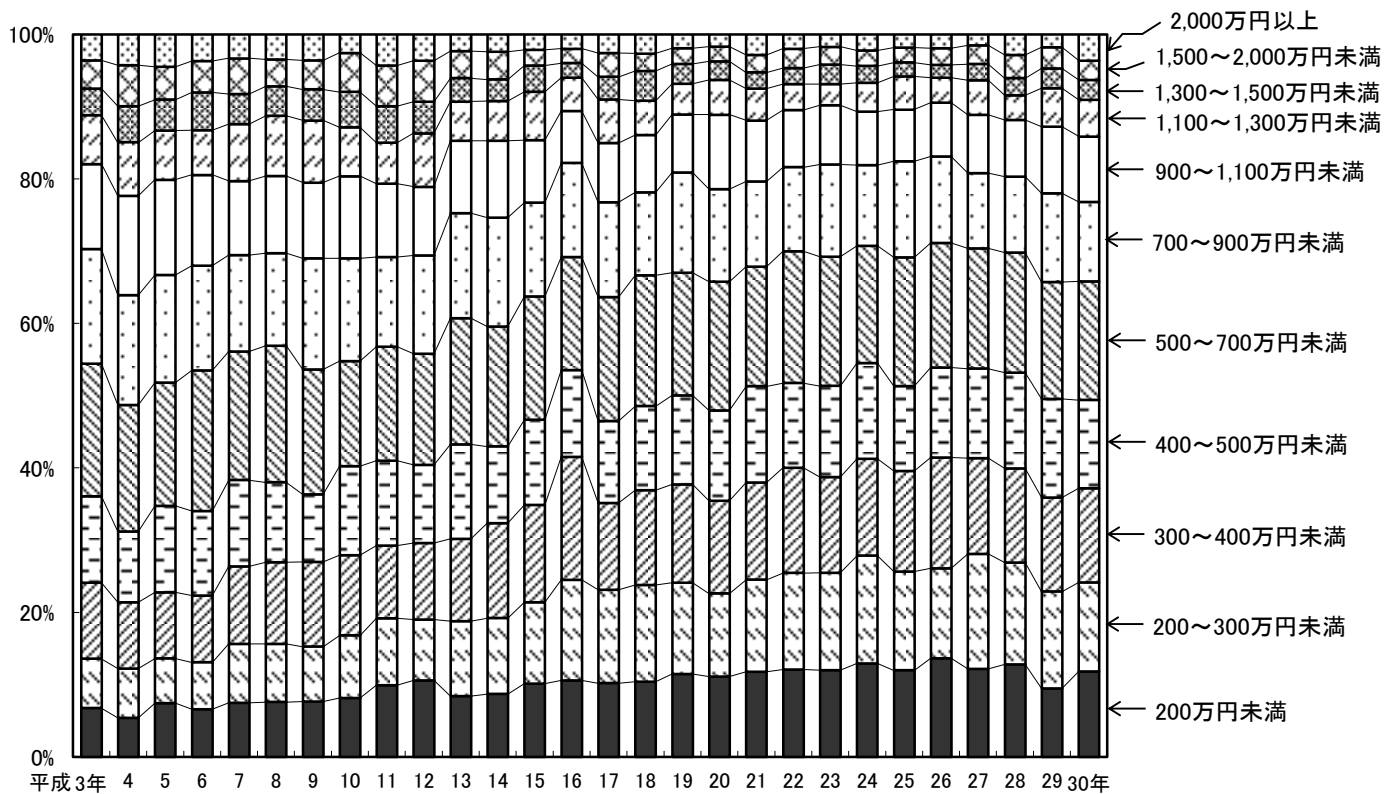
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成3年～30年）



(注) 平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成3年～30年）



(注1) 図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」を除く。

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

「都民生活に関する世論調査」

登録番号 (30) 40

平成30年11月発行

編集・発行 東京都生活文化局広報広聴部都民の声課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3133

印刷 株式会社 三交社
東京都新宿区市谷砂土原町三丁目四番
電話 03(3267)3641

< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

**東京都生活文化局
広報広聴部都民の声課調査担当**

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 03 (5388) 3133

F A X 03 (5388) 1222

E-mail : S0000010@section.metro.tokyo.jp